

授業評価 2015

—平成 27 年度学生による授業評価報告書—

【2015 年度新規開設科目】

平成 28 年 3 月



授業評価 2015

—平成 27 年度学生による授業評価報告書—

【2015 年度新規開設科目】

I. 「学生による授業評価 2015」の概要 ----- 1

- I-1. 目的
- I-2. 構成と内容
- I-3. 方法と期間
- I-4. 時系列分析
- I-5. 回答者の特性
- I-6. 評価結果の提供と公表
 - I-6-1. 評価結果の提供
 - I-6-2. 評価結果の公表
- I-7. その他

II. 評定尺度調査の分析結果 ----- 19

- II-1. 学部の分析結果
 - II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-1-2. 学習への取組姿勢
 - II-1-3. 学部の授業評価
 - II-1-4. 参考
- II-2. 大学院の分析結果
 - II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-2-2. 学習への取組姿勢
 - II-2-3. 大学院の授業評価
 - II-2-4. 参考

III. 自由記述のまとめ ----- 131

- III-1. 総括
- III-2. 学部
- III-3. 大学院

付録 ----- 219

平成 27 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価2015」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、平成17年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第11回目となる今年度は、2015年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については239、240頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、平成27年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、今年度に開設した科目（開講1年目の科目）、学部58科目、大学院18科目、計76科目である（表1-1参照）。またこのような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	平成27年度(2015)		平成27年度(2015)			平成27年度(2015)		平成27年度(2015)	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基礎科目	6	6	642	11%	生活健康科学	5	5	304	26%
共通科目：人文系	6	6	634	11%	臨床心理学	3	3	242	21%
共通科目：社会系	2	2	195	3%	社会経営科学	1	1	44	4%
共通科目：外国語	4	4	376	6%	人文学	2	2	186	16%
生活と福祉	8	8	896	15%	情報学	1	1	28	2%
心理と教育	7	7	628	11%	自然環境科学	1	1	21	2%
社会と産業	5	5	616	10%	人間発達科学	5	5	323	28%
人間と文化	3	3	358	6%	全体	18	18	1148	100%
情報	2	2	132	2%					
自然と環境	6	6	566	10%					
総合科目	7	7	740	13%					
夏季集中科目	2	2	118	2%					
全体	58	58	5,901	100%					

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 76 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 13,698 名、大学院 2,538 名、計 16,236 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 8 月下旬から 10 月中旬までの約 1 ヶ月半とした。有効回答数は学部 5,901 票、大学院 1,148 票、計 7,049 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 43.1%、大学院 45.2%、全体で 43.4%と、昨年度の有効回答率(2014 年度新規開設科目 学部 41.5%、大学院 46.5%、全体 41.9%)と比較すると、大学院の有効回答率は下がっているが、全体および学部の有効回答率は過去 3 年で最も高い数値となっている。

表 1 - 2 調査対象者数および有効回答率

	27年度（2015年新規開設科目）			26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	13,698	5,901	43.1%	12,924	5,357	41.5%	11,767	5,051	42.9%
大学院	2,538	1,148	45.2%	1,332	620	46.5%	1,874	856	45.7%
計	16,236	7,049	43.4%	14,256	5,977	41.9%	13,641	5,907	43.3%

I - 4. 時系列分析

報告書の一部に第 9 回目（平成 25 年度）以降の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講 1 年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、属性分布が回答者と母集団で乖離していないかを検証する。

学部では、年齢階層において20~40歳代と50歳以上で顕著に異なる。20歳代の母集団13.8%に回答者7.3%でマイナス6.5%、30歳代の母集団17.2%に回答者12.5%でマイナス4.7%、40歳代の母集団20.9%に回答者20.9%でマイナス2.4%であるが、50歳以上では逆転し、50歳代の母集団17.7%に回答者は18.3%でプラス0.6%、60歳代の母集団19.8%に回答者27.6%でプラス7.8%、70歳代の母集団9.4%に回答者14.9%で5.5%のプラスとなっている。

性別では、男性でマイナス1.8%、女性でプラス0.3%と若干の差が認められる。

また、学生種別では全科履修生の差異がやや大きく、母集団72.2%に対して回答者69.2%でマイナス2.9%となっている。

一方、大学院は、年齢階層では30歳代でマイナス3.8%、70歳以上でプラス3.0%とやや差異が大きく、60歳代でプラス5.4%と大きな差異が認められる。

性別では、男性がマイナス0.6%、女性がマイナス3.0%となり学部とは逆転している。

学生種別では修士選科生でマイナス6.9%と大きく、かなりの差異がみられる。

なお、ここで比率が高いからと言って、それらの属性の回答率が高いことを意味するものでないことは留意されたい。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		27年度（2015年新規開設科目）			26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）		
		回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差	回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差	回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差
性別	男性	51.2%	53.1%	▲1.8%	48.9%	51.3%	▲2.3%	51.7%	44.9%	6.9%
	女性	47.3%	46.9%	0.3%	49.5%	48.7%	0.8%	46.4%	55.1%	▲8.7%
年齢階層別	19歳以下	0.4%	1.2%	▲0.8%	0.4%	0.8%	▲0.4%	0.4%	1.0%	▲0.6%
	20～29歳	7.3%	13.8%	▲6.5%	7.8%	14.1%	▲6.3%	8.5%	12.8%	▲4.4%
	30～39歳	12.5%	17.2%	▲4.7%	13.6%	19.3%	▲5.7%	14.2%	20.2%	▲6.1%
	40～49歳	18.5%	20.9%	▲2.4%	21.1%	24.0%	▲2.9%	19.9%	24.1%	▲4.2%
	50～59歳	18.3%	17.7%	0.6%	19.5%	17.9%	1.6%	16.9%	17.0%	▲0.1%
	60～69歳	27.6%	19.8%	7.8%	25.2%	16.7%	8.5%	26.3%	17.5%	8.7%
	70歳以上	14.9%	9.4%	5.5%	11.9%	7.1%	4.9%	13.4%	7.4%	6.1%
学生種別	全科履修生	69.2%	72.2%	▲2.9%	70.5%	71.4%	▲0.9%	71.8%	68.9%	3.0%
	選科履修生	16.4%	17.8%	▲1.4%	16.5%	19.9%	▲3.4%	16.7%	22.4%	▲5.7%
	科目履修生	8.9%	8.1%	0.8%	7.7%	8.0%	▲0.3%	7.3%	8.8%	▲1.4%
人数（N）		5,901	-	-	5,357	-	-	5,051	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		27年度（2015年新規開設科目）			26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）		
		回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差	回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差	回答者	母集団 （全受講 登録者）	母集団 との差
性別	男性	52.4%	53.0%	▲0.6%	63.5%	64.4%	▲0.9%	61.2%	60.2%	1.0%
	女性	44.0%	47.0%	▲3.0%	33.1%	35.6%	▲2.5%	35.4%	39.8%	▲4.4%
年齢階層別	20～29歳	3.7%	5.2%	▲1.5%	2.6%	3.6%	▲1.0%	3.4%	5.2%	▲1.8%
	30～39歳	10.5%	14.3%	▲3.8%	8.4%	11.8%	▲3.4%	13.8%	15.8%	▲2.1%
	40～49歳	21.3%	23.6%	▲2.3%	22.1%	23.5%	▲1.4%	22.0%	26.7%	▲4.7%
	50～59歳	26.7%	28.7%	▲1.9%	25.2%	26.7%	▲1.6%	23.8%	25.6%	▲1.8%
	60～69歳	27.0%	21.6%	5.4%	27.4%	24.5%	2.9%	24.4%	20.0%	4.4%
	70歳以上	9.6%	6.6%	3.0%	13.7%	9.8%	3.9%	11.1%	6.7%	4.4%
学生種別	修士全科生	20.1%	18.3%	1.8%	28.7%	25.5%	3.3%	27.2%	23.2%	4.1%
	修士選科生	66.5%	73.3%	▲6.9%	59.8%	66.8%	▲7.0%	59.7%	69.1%	▲9.4%
	修士科目生	9.0%	8.4%	0.6%	8.1%	7.7%	0.3%	7.6%	7.8%	▲0.2%
人数（N）		1,148	-	-	620	-	-	856	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

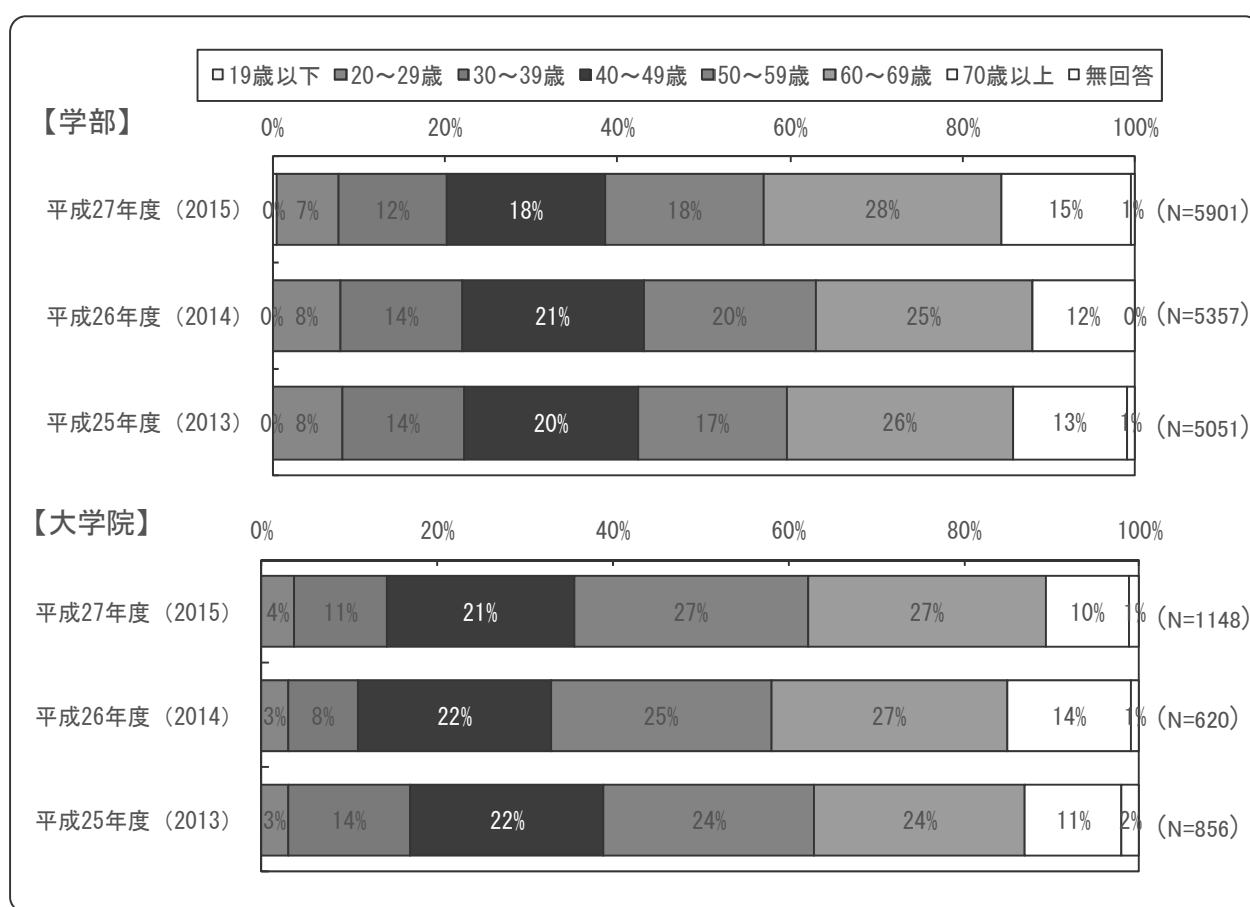
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別回答者（2015年新規開設科目）

年齢階層別に今年度（2015年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図1-1）、学部では40代～70歳以上が中心であり、60歳代が最も多く28%、次いで40歳代と50歳代が18%、70歳以上が15%を占める。全体の傾向は変わらないものの、前回の調査と比べると、60歳以上の割合がやや増加し、60歳未満の割合がやや減少している。

大学院でも全体的には同様の傾向を示し、40歳代～60歳代の割合が多く、50歳代と60歳代が27%と最も多く、次いで40歳代が21%となっている。また、前回の調査と比べると、40歳未満と50歳代の割合がわずかに増加した。

図1-1 年齢階層別回答者

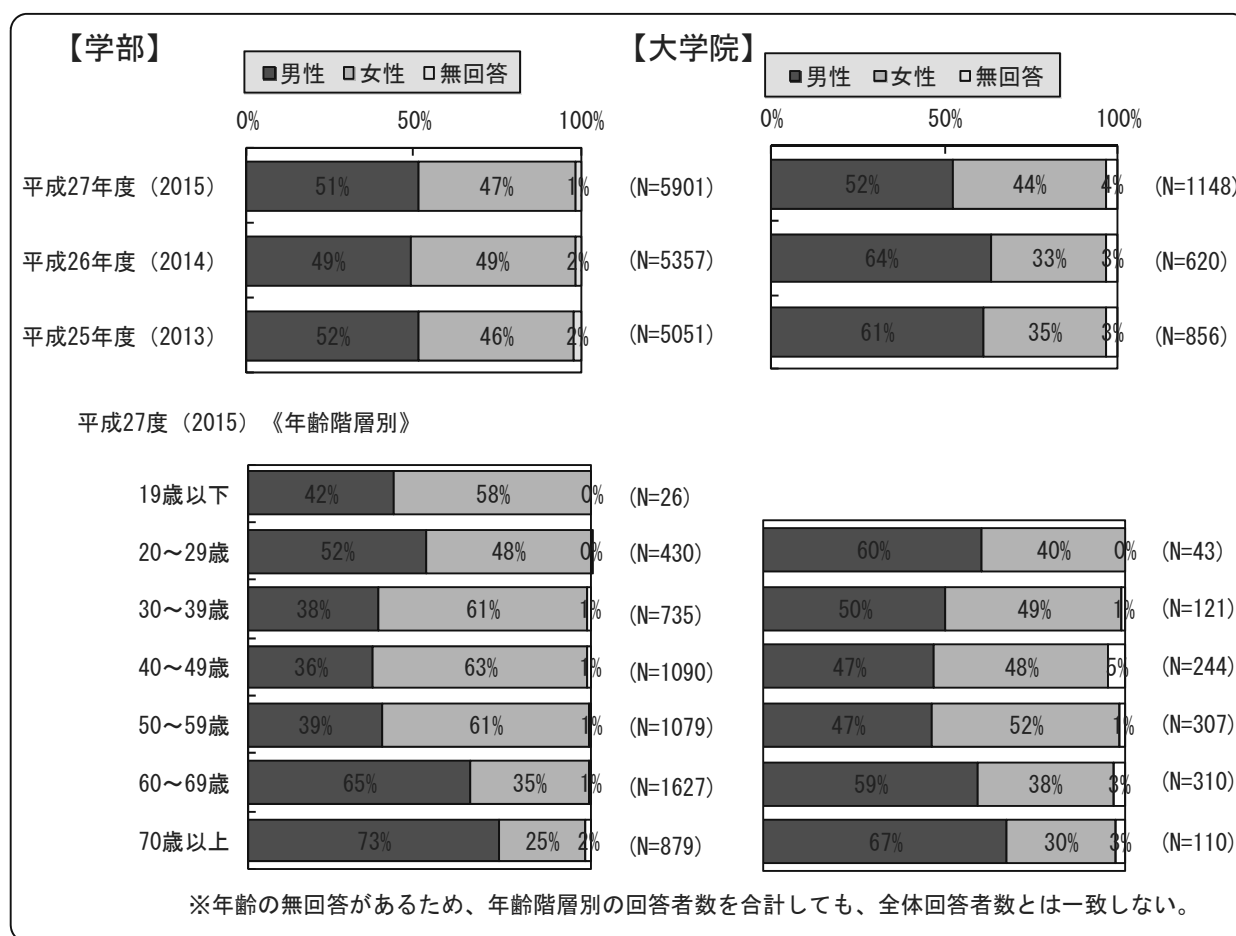


(3) 性別回答者（2015年新規開設科目）

回答者の性別（図1-2）は、学部では「男性」51%、「女性」47%となっており、昨年の調査に比べると「男性」の割合がやや増えている。また、19歳以下、30歳代、40歳代、50歳代は「男性」よりも「女性」が多い。

大学院は、「男性」52%、「女性」44%と「男性」の比率が高い。昨年までの調査と比べると「女性」の割合が増えている。また、30歳代、40歳代、50歳代は「女性」の割合がやや多くなっている。60歳以上になると、男性の割合が顕著に増加する。

図1-2 性別回答者



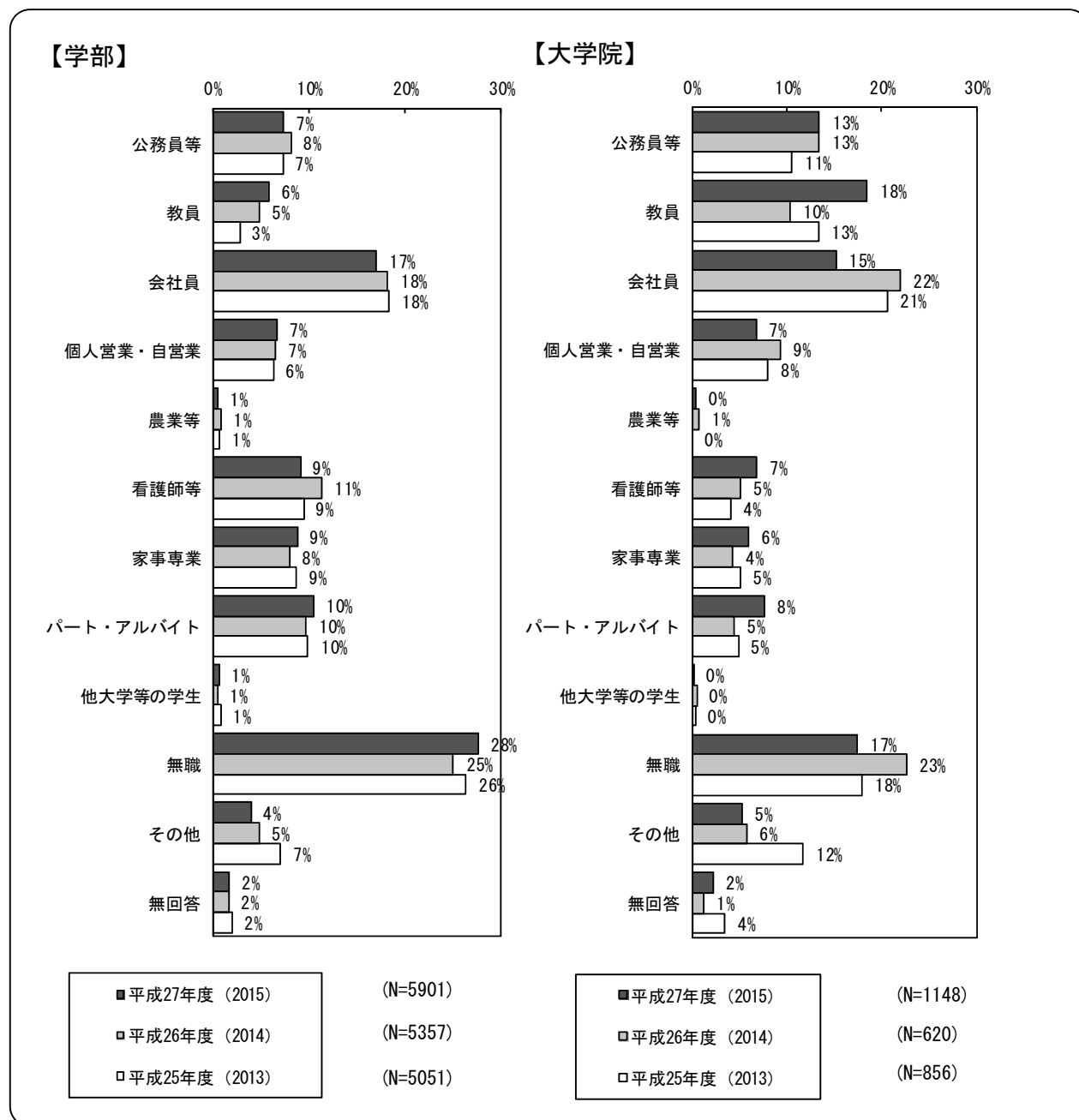
(4) 職業別回答者（2015年新規開設科目）

職業別に回答者の分布を見ると（次頁図1-3）、学部では「無職」が28%と最も多いが、有職者（パート・アルバイト含む）が全体の7割程度を占め、「会社員」17%、「パート・アルバイト」10%、「看護師等」9%となっている。時系列で見ると、昨年よりも「教員」「無職」の割合がやや増加している。

一方、大学院では「無職」は17%で、有職者で多かったのは「教員」が18%と最も多く、次いで「会社員」15%、「公務員等」13%となっており、有職者は8割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1 - 3 職業別回答者

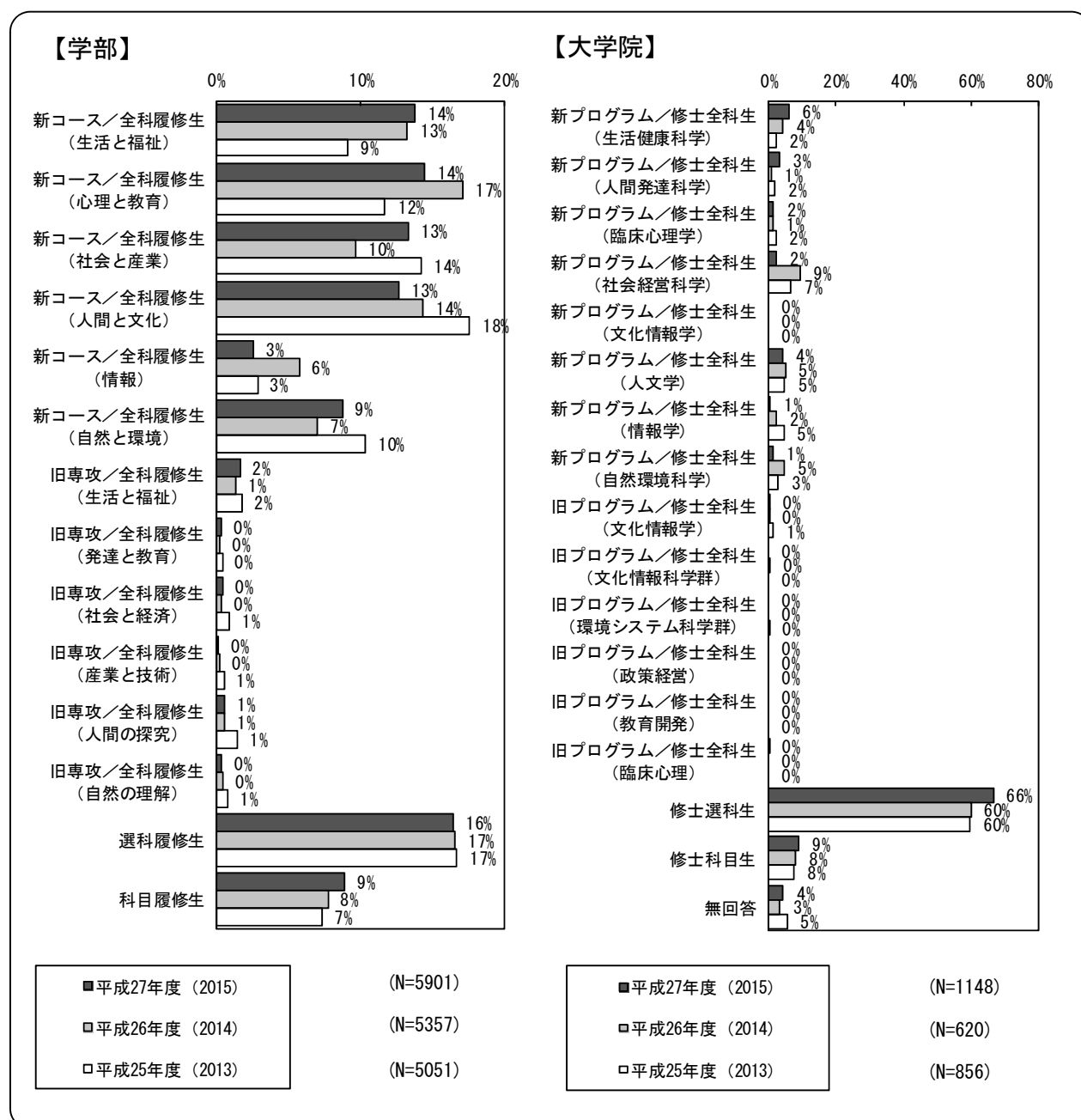


(5) 所属コース（プログラム）別回答者（2015年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布を見ると（図1-4）、学部では全科履修生が69%を占め、そのうち新コース所属が66%、旧専攻所属が3%となっている。全科履修生の中では、新コース所属の「生活と福祉」「心理と教育」が14%、「社会と産業」「人間と文化」が13%と、「情報」3%、「自然と環境」9%を引き離して多くなっている。

大学院では修士選科生が66%を占めており、修士全科生が19%、修士科目生が9%となっている。修士全科生の所属プログラムでは「生活健康科学」が6%でやや多くなっているものの、顕著な差は見られず全体的にばらついている。

図1-4 学生の所属コース（プログラム）別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3)公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

今年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、今年度は次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（8月）や方法（オンライン上での調査・集計）が異なること
- ・放送授業の評価項目の一部は調査対象にならないこと（例：印刷教材を作成していない）
- ・導入初年度であり対象科目が少ない（2科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部10001

2015年度学生による授業評価の調査結果【2015年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○○○（R）

（○○○○）

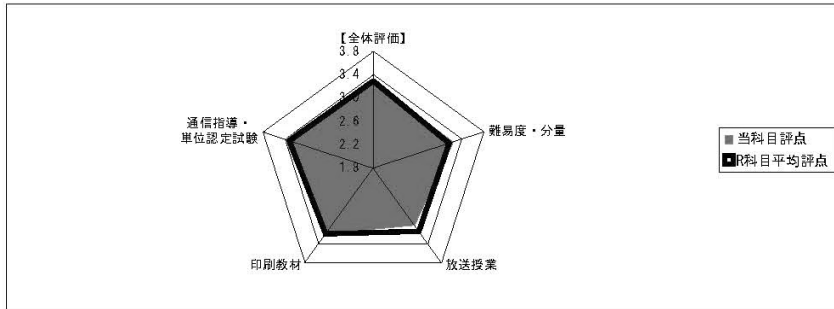
教員氏名 ○○○○

（注）平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	111	31%	51%	15%	3%	3.10	3.27	3.28	-0.18
	A-2 放送授業を十分に視聴した	111	14%	29%	26%	32%	2.24	2.86	2.73	-0.48
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	111	46%	43%	11%	0%	3.35	3.28	3.35	0.00

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	94	34%	49%	9%	9%	3.09	3.19	3.13	-0.04
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	93	35%	44%	11%	10%	3.05	3.18	3.12	-0.07
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	110	45%	51%	4%	1%	3.39	3.22	3.23	0.16
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	111	49%	48%	4%	0%	3.45	3.23	3.23	0.22
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	86	37%	44%	8%	10%	3.08	3.22	3.18	-0.10
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	86	36%	41%	12%	12%	3.01	3.33	3.29	-0.28
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	84	33%	46%	10%	11%	3.02	3.21	3.13	-0.11
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	82	32%	41%	13%	13%	2.91	3.12	2.95	-0.04
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	86	35%	49%	7%	9%	3.09	3.27	3.27	-0.18
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	109	37%	54%	8%	1%	3.27	3.20	3.23	0.03
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	106	27%	54%	18%	1%	3.08	3.10	3.01	0.07
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	108	41%	50%	9%	0%	3.31	3.25	3.26	0.05
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	106	44%	53%	3%	0%	3.42	3.30	3.34	0.08
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	107	50%	44%	6%	0%	3.45	3.34	3.38	0.07
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	107	44%	46%	8%	2%	3.32	3.18	3.23	0.09
全体評価	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	108	37%	52%	10%	1%	3.25	3.25	3.26	-0.01
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	110	36%	51%	12%	1%	3.23	3.32	3.32	-0.09
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	111	43%	52%	5%	0%	3.39	3.46	3.46	-0.07
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	110	35%	52%	14%	0%	3.21	3.14	3.16	0.05
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	110	41%	50%	8%	1%	3.31	3.27	3.27	0.04

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）							全科履修生（旧専攻所属）							全科履修生【小計】	
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解				
	40	5	3	3	0	5	8	0	0	0	2	0	66			
													32	6	7	111

性別	男性	女性	無回答	計
		20	89	2

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
		1	3	29	27	26	20	5	0

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
		7	2	9	4	1	52	11	9	1	13	1	1

通信指導・単位認定試験	単位認定試験受験	通信指導未提出	無回答	計
		106	4	0

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
		3	58	42	8

2015年度学生による授業評価の調査結果【2015年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学 科	A-1 全体として、この科目の学習に専心に取り組んだ										A-2 教習授業を十分に受講した										A-3 印刷教材を専心に学習した									
	選択肢別回答割合・回答数				割合	評価	選択肢別回答割合・回答数				割合	評価	選択肢別回答割合・回答数				割合	評価	選択肢別回答割合・回答数				割合	評価						
	4	3	2	1	割合	平均	4	3	2	1	割合	平均	4	3	2	1	割合	平均	4	3	2	1	割合	平均						
合計(全体)	5901	44%	40%	12%	3%	1%	84%	3.23	5901	32%	32%	21%	1%	1%	2%	64%	2.86	5901	46%	39%	12%	2%	1%	84%	3.23					
生活と福祉	813	41%	43%	12%	2%	2%	84%	3.26	813	28%	31%	21%	1%	1%	3%	59%	2.73	813	48%	39%	11%	2%	1%	86%	3.32					
心理と教育	852	40%	41%	14%	4%	1%	81%	3.13	852	23%	29%	25%	1%	2%	5%	53%	2.72	852	42%	41%	13%	4%	1%	83%	3.22					
社会と産業	784	44%	44%	13%	3%	1%	80%	3.26	784	32%	33%	21%	1%	1%	3%	65%	2.86	784	44%	39%	14%	3%	1%	83%	3.25					
人間と文化	745	43%	38%	11%	2%	2%	86%	3.34	745	39%	34%	18%	8%	2%	7%	72%	3.06	745	50%	35%	12%	2%	1%	84%	3.34					
情報	154	40%	45%	10%	3%	1%	86%	3.24	154	36%	30%	24%	10%	1%	4%	68%	2.92	154	38%	45%	14%	3%	1%	83%	3.20					
自然と環境	517	45%	39%	11%	3%	2%	84%	3.30	517	33%	31%	17%	10%	4%	6%	69%	3.01	517	42%	38%	15%	2%	3%	80%	3.24					
生活と福祉	98	31%	46%	14%	6%	3%	77%	3.04	98	19%	30%	26%	23%	2%	2%	49%	2.46	98	37%	33%	13%	8%	4%	74%	3.07					
発達と教育	22	23%	41%	27%	9%	0%	64%	2.77	22	18%	36%	27%	18%	0%	9%	55%	2.56	22	32%	50%	16%	0%	0%	82%	3.14					
社会と経済	23	14%	57%	18%	7%	4%	71%	2.81	23	11%	32%	25%	21%	11%	43%	2.36	23	32%	36%	18%	7%	7%	68%	3.00						
産業と技術	11	27%	45%	18%	9%	0%	73%	2.91	11	18%	27%	45%	9%	0%	4%	68%	2.56	11	36%	27%	16%	9%	5%	64%	3.00					
人間の探究	36	42%	33%	19%	3%	3%	75%	3.17	36	22%	42%	14%	14%	8%	64%	2.79	36	42%	42%	11%	3%	3%	83%	3.26						
自然の理解	24	42%	48%	13%	0%	0%	83%	3.29	24	21%	42%	29%	8%	0%	63%	2.75	24	22%	46%	25%	0%	0%	75%	3.04						
全学履修生 【合計】	4084	43%	41%	12%	3%	2%	83%	3.25	4084	32%	32%	21%	1%	1%	3%	63%	2.85	4084	44%	39%	13%	3%	1%	83%	3.26					
選科履修生	967	50%	37%	10%	2%	1%	87%	3.37	967	35%	33%	19%	11%	1%	6%	75%	2.95	967	48%	39%	10%	2%	1%	87%	3.34					
科目履修生	527	49%	41%	9%	1%	0%	90%	3.39	527	31%	34%	21%	1%	1%	65%	2.84	527	53%	39%	7%	0%	0%	92%	3.46						
課外履修生	212	22%	22%	23%	25%	8%	44%	2.44	212	19%	20%	23%	30%	8%	39%	2.30	212	21%	25%	22%	25%	7%	45%	2.44						
単位認定試験 出席者	2371	2101	535	69	43				2371	1712	1671	1056	599	82					2371	2461	2016	523	72	45						
単位認定試験 出席者	401	33%	37%	21%	5%	3%	70%	3.01	401	24%	30%	27%	14%	5%	54%	2.68	401	32%	39%	23%	3%	3%	71%	3.03						
単位認定試験 出席者	131	150	86	20	14				131	97	120	109	56	19					131	129	156	91	14	11						
単位認定試験 出席者	212	22%	22%	23%	25%	8%	44%	2.44	212	19%	20%	23%	30%	8%	39%	2.30	212	21%	25%	22%	25%	7%	45%	2.44						

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる」：4点、「ややあてはまる」：3点、「ややあてはまらない」：2点、「あてはまらない」：1点として集計した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

[Blank response area for item 1]

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

[Blank response area for item 2]

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

[Blank response area for item 3]

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>[全科履修生 新コース所属の方]</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>[全科履修生 旧専攻所属の方]</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>[選科履修生・科目履修生]</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院20001

2015年度学生による授業評価の調査結果【2015年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○○○○

(○○○○)

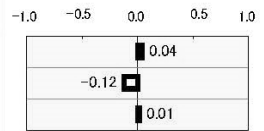
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

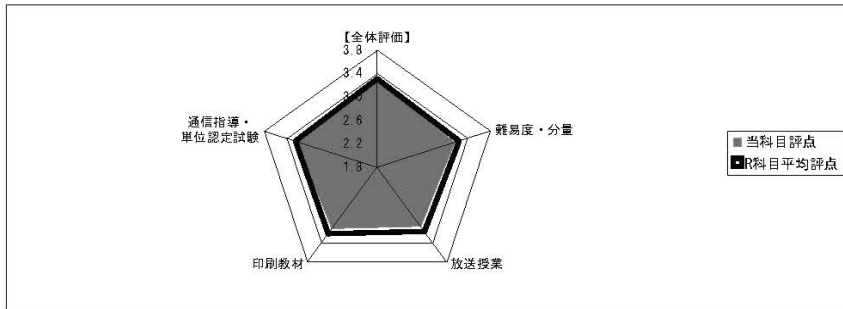
1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	57	46%	47%	5%	2%	3.37	3.38	3.33
	A-2 放送授業を十分に視聴した	57	26%	35%	28%	11%	2.77	3.01	2.89
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	57	46%	46%	7%	2%	3.35	3.35	3.34

【当科目評点と、R科目平均評点との差】

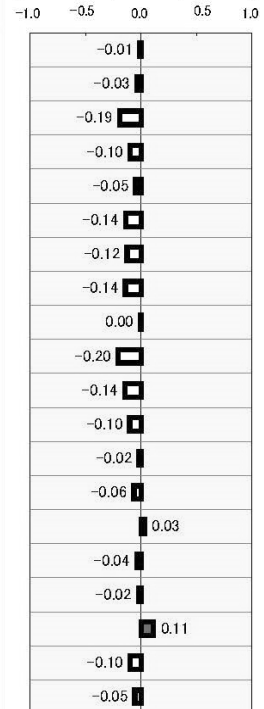


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	54	43%	43%	9%	6%	3.22	3.31	3.23
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	54	37%	46%	13%	4%	3.17	3.28	3.20
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	56	34%	50%	11%	5%	3.13	3.33	3.31
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	56	43%	38%	14%	5%	3.18	3.31	3.28
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	52	33%	48%	15%	4%	3.10	3.23	3.14
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	53	42%	45%	9%	4%	3.25	3.44	3.38
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	54	31%	46%	15%	7%	3.02	3.23	3.14
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	50	30%	38%	16%	16%	2.82	3.11	2.96
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	52	40%	48%	10%	2%	3.27	3.28	3.27
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	55	27%	51%	18%	4%	3.02	3.23	3.22
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	54	26%	46%	24%	4%	2.94	3.14	3.09
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	55	40%	38%	18%	4%	3.15	3.26	3.25
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	53	36%	51%	13%	0%	3.23	3.30	3.24
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	54	35%	56%	7%	2%	3.24	3.31	3.30
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	52	38%	48%	12%	2%	3.23	3.21	3.20
全体評価	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	55	47%	35%	15%	4%	3.25	3.28	3.29
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	55	51%	36%	9%	4%	3.35	3.42	3.37
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	56	68%	25%	4%	4%	3.57	3.52	3.46
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	56	36%	43%	16%	5%	3.09	3.25	3.19
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	56	43%	41%	11%	5%	3.21	3.32	3.27

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生(新プログラム所属)										修士全科生(旧プログラム所属)				修士全科生【小計】		
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	文化情報学	文化情報科学	環境システム科学	政策経営	教育開発	臨床心理	無回答		計	
	15	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	19		
														修士選科生	修士科日生	無回答	計
														31	1	6	57

性別	男性	女性	無回答	計
		20	35	2

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
		0	3	5	19	18	8	3	1

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
		3	10	7	3	0	18	2	2	0	4	7	1

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答	計
	受験	未受験	未提出	提出		
	48	6	2	1		57

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答	計
	2	18	4	7	1			
	2	18	4	7	1		4	57

2015年度学生による授業評価の調査結果【2015年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	科目名	A-1 全体として、この科目の学習に専心に取り組んだ										A-2 教授陣を十分に尊敬した										A-3 日原教授を専心に学習した									
		回数		割合		平均		回数		割合		平均		回数		割合		平均		回数		割合		平均							
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4						
大学院生	合計(全体)	1143	42%	37%	10%	2%	2%	86%	3.36	1143	32%	32%	21%	12%	2%	64%	2.86	1143	52%	30%	9%	1%	83%	3.40							
	生活環境系専攻	70	43%	37%	13%	3%	4%	80%	3.25	70	24%	33%	24%	14%	4%	57%	2.70	70	51%	40%	4%	1%	91%	3.42							
	人間発達系専攻	33	39%	47%	8%	0%	5%	87%	3.33	33	28%	37%	24%	11%	3%	63%	2.81	33	47%	32%	13%	0%	3%	79%	3.30						
	臨床心理系専攻	19	63%	21%	11%	0%	0%	89%	3.53	19	37%	42%	21%	0%	0%	79%	3.16	19	68%	21%	11%	0%	0%	89%	3.53						
	社会経営系専攻	23	32%	54%	11%	4%	0%	86%	3.14	23	32%	21%	36%	11%	0%	54%	2.75	23	32%	57%	0%	4%	0%	96%	3.32						
	人間文化系専攻	43	56%	33%	6%	0%	0%	94%	3.50	43	44%	23%	15%	17%	2%	67%	2.96	43	56%	33%	8%	0%	2%	90%	3.49						
	情報系専攻	8	75%	13%	13%	0%	0%	83%	3.63	8	50%	33%	0%	13%	0%	83%	3.25	8	75%	25%	0%	0%	0%	100%	3.75						
	自然環境系専攻	16	44%	44%	6%	0%	0%	88%	3.25	16	25%	31%	31%	13%	0%	56%	2.69	16	44%	44%	6%	0%	0%	88%	3.25						
	文化情報系専攻	3	33%	33%	0%	0%	0%	67%	3.00	3	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67	3	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67						
	文化情報系専攻	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-						
大学院生	旧田原系専攻	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-							
	環境システム系専攻	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-							
	政策経営系専攻	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-							
	経営情報系専攻	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-							
	臨床心理系専攻	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00						
	修士課程生(小計)	231	47%	39%	10%	2%	2%	86%	3.34	231	32%	31%	23%	12%	3%	63%	2.85	231	52%	38%	7%	2%	1%	90%	3.42						
	修士課程生	763	50%	35%	10%	2%	2%	86%	3.37	763	34%	33%	19%	12%	2%	67%	2.91	763	52%	38%	10%	1%	1%	88%	3.40						
	修士課程生	103	38%	27%	7%	1%	1%	88%	3.27	103	23%	31%	23%	16%	1%	54%	2.63	103	49%	39%	10%	2%	1%	87%	3.35						
	修士課程生	45	44%	44%	11%	3%	0%	86%	3.42	45	34%	32%	21%	11%	2%	67%	2.92	45	54%	38%	8%	0%	1%	90%	3.46						
	修士課程生	524	37%	35%	8%	1%	1%	85%	3.19	524	34%	32%	20%	11%	1%	64%	2.81	524	54%	38%	8%	0%	1%	90%	3.46						
修士課程生	66	27%	35%	27%	6%	3%	64%	2.83	66	15%	33%	25%	23%	3%	43%	2.42	66	27%	44%	23%	6%	0%	71%	2.92							
修士課程生	34	18%	29%	21%	2%	1%	47%	2.50	34	12%	22%	12%	32%	15%	41%	2.24	34	32%	28%	15%	2%	6%	52%	2.75							

(注) 1. 「選択別の回答割合」は、小人数以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、第1回の選択(あてはまる)と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択別(あてはまる: 4点)「ややあてはまる: 3点」「あまりあてはまらない: 2点」「あてはまらない: 1点」として集計した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔修士全科生 新プログラム所属の方〕 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 〔修士選科生・修士科目生〕 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差も大きく出る可能性があるため、注意が必要である。たとえば、学部年齢階層別「19歳以下」、職業別「農業等」「他大学等の学生」、大学院年齢階層別「20～29歳」等の場合である。なお、大学院の職業別「農業等」「他大学の学生」は極端に回答者数が少ないため、本報告書の分析からはずした。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】				【大学院】			
全体		(単位：人)		全体		(単位：人)	
メディア		年齢階層		メディア		年齢階層	
テレビ科目 (TV)	3,704	19歳以下	26	テレビ科目 (TV)	226	20～29歳	43
ラジオ科目 (R)	2,197	20～29歳	430	ラジオ科目 (R)	922	30～39歳	121
職業		30～39歳	735	職業		40～49歳	244
公務員等	437	40～49歳	1090	公務員等	154	50～59歳	307
教員	348	50～59歳	1079	教員	212	60～69歳	310
会社員	1,004	60～69歳	1627	会社員	174	70歳以上	110
個人営業・自営業	396	70歳以上	879	個人営業・自営業	78	プログラム	
農業等	32	コース		看護師等	79	生活健康科学	304
看護師等	538	基礎科目	642	家事専業	69	人間発達科学	323
家事専業	520	共通科目：人文系	634	パート・アルバイト	88	臨床心理学	242
パート・アルバイト	617	共通科目：社会系	195	無職	200	社会経営科学	44
他大学等の学生	42	共通科目：外国語	376	その他	61	人文学	186
無職	1,627	生活と福祉	896			情報学	28
その他	235	心理と教育	628			自然環境科学	21
		社会と産業	616				
		人間と文化	358				
		情報	132				
		自然と環境	566				
		総合科目	740				
		夏季集中科目	118				

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

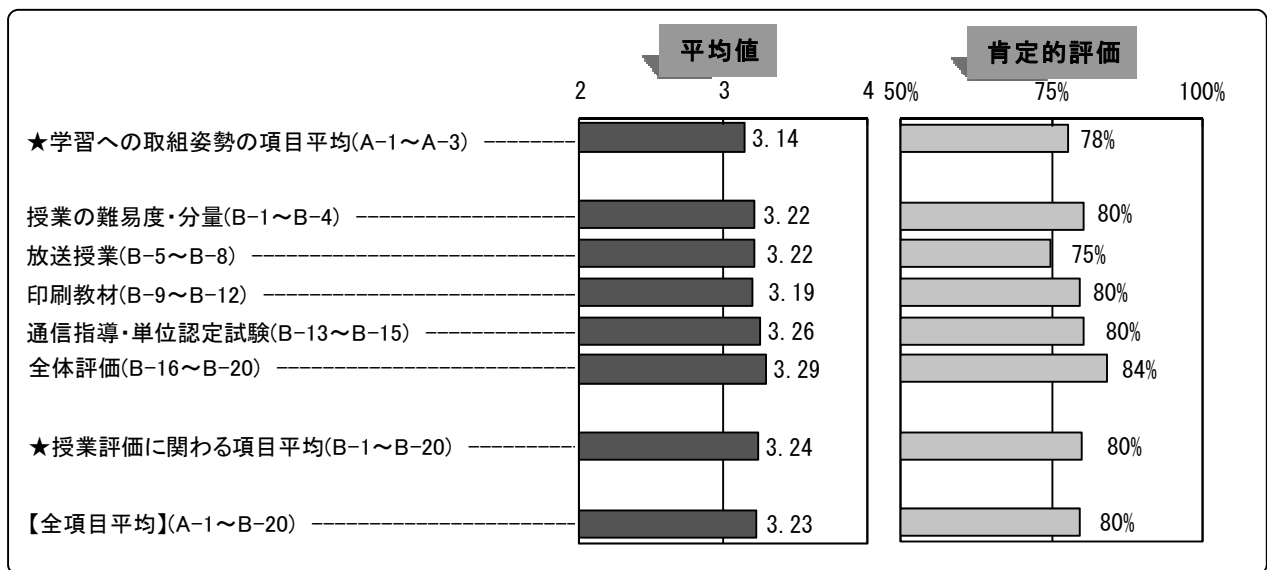
学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが（図 2－1）である。まずはこの図によって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

今回の調査における項目平均は、いずれもまずまずの高評価と言える。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.14、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）78%、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.24、肯定的評価 80%と高い値を示している。

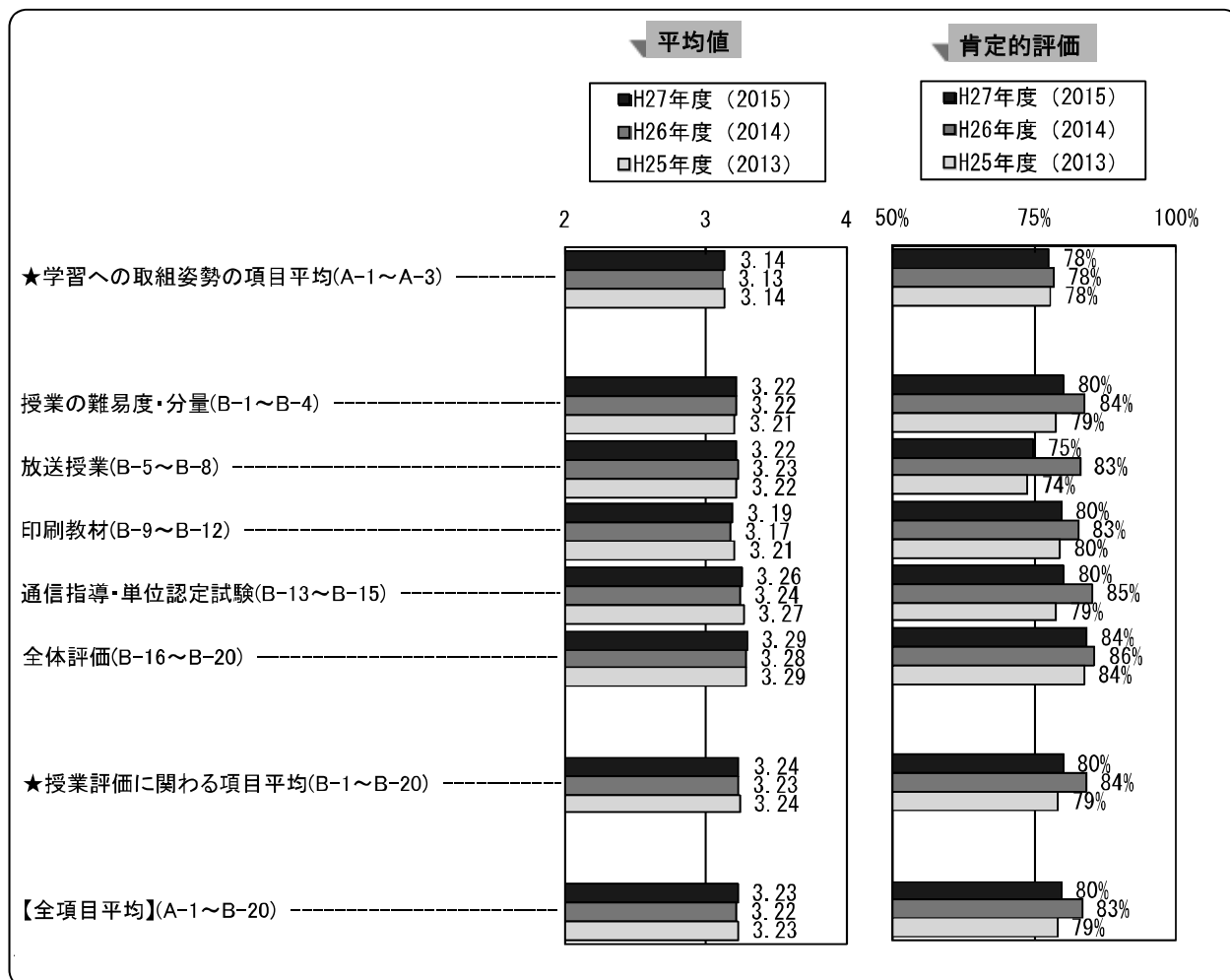
『学習への取組姿勢の項目平均』をさらに内容ごとにみると、『全体評価』は肯定的評価をしている人が 84%と高い。その他の項目もある程度平均的であるが、『放送授業』の評価は 75% と他と相対的に低めである。

図 2－1 【学部】 項目平均による全体的傾向



評価項目平均を科目の開設年度で比較した時(図2-2)、2015年度新規開設科目は、2014年度新規開設科目に比べ、平均値ではほぼ同じ水準を維持しているが、肯定的評価の割合は授業評価に関わる項目の全てにおいて、2014年度より低くなっている。

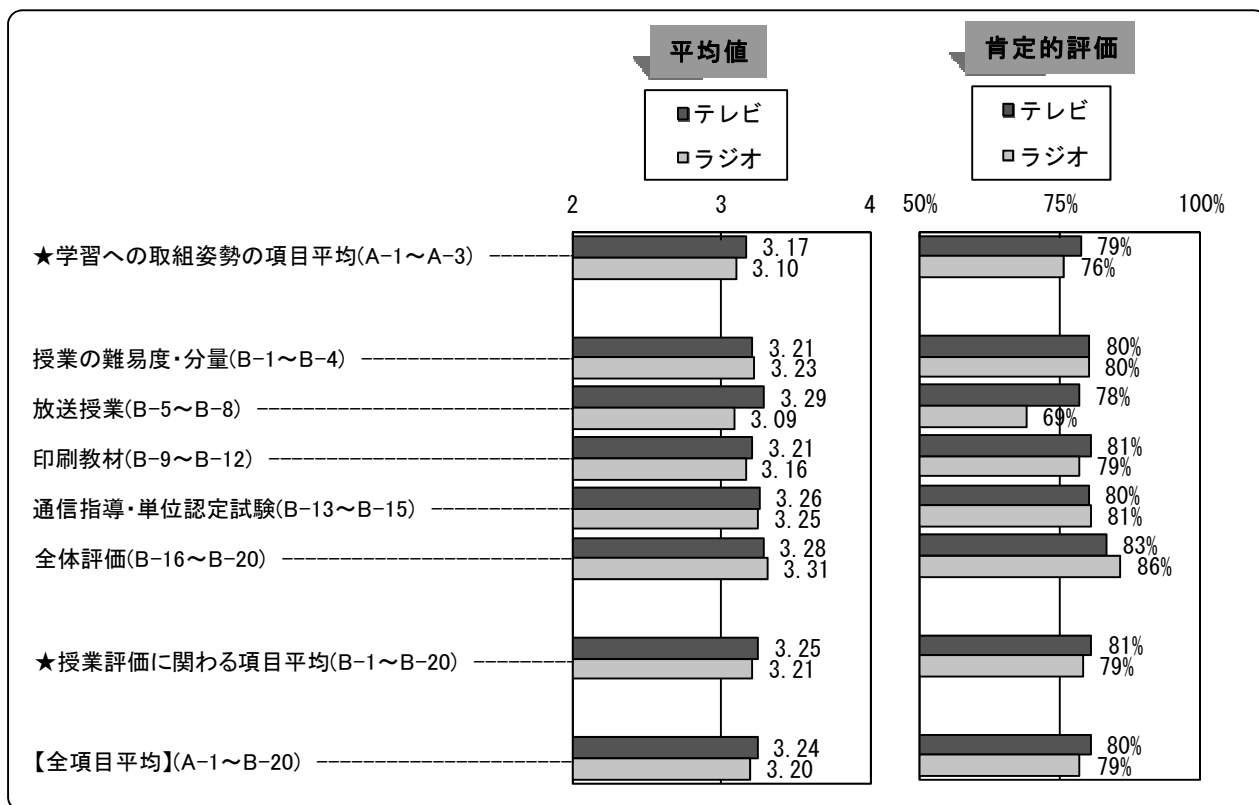
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)



メディア別に 2015 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると(図 2-3)、『全体評価』は、ほぼ同じ値であり、『授業の難易度・分量』、『全体評価』の項目を除き、テレビ科目がラジオ科目を上回っている。

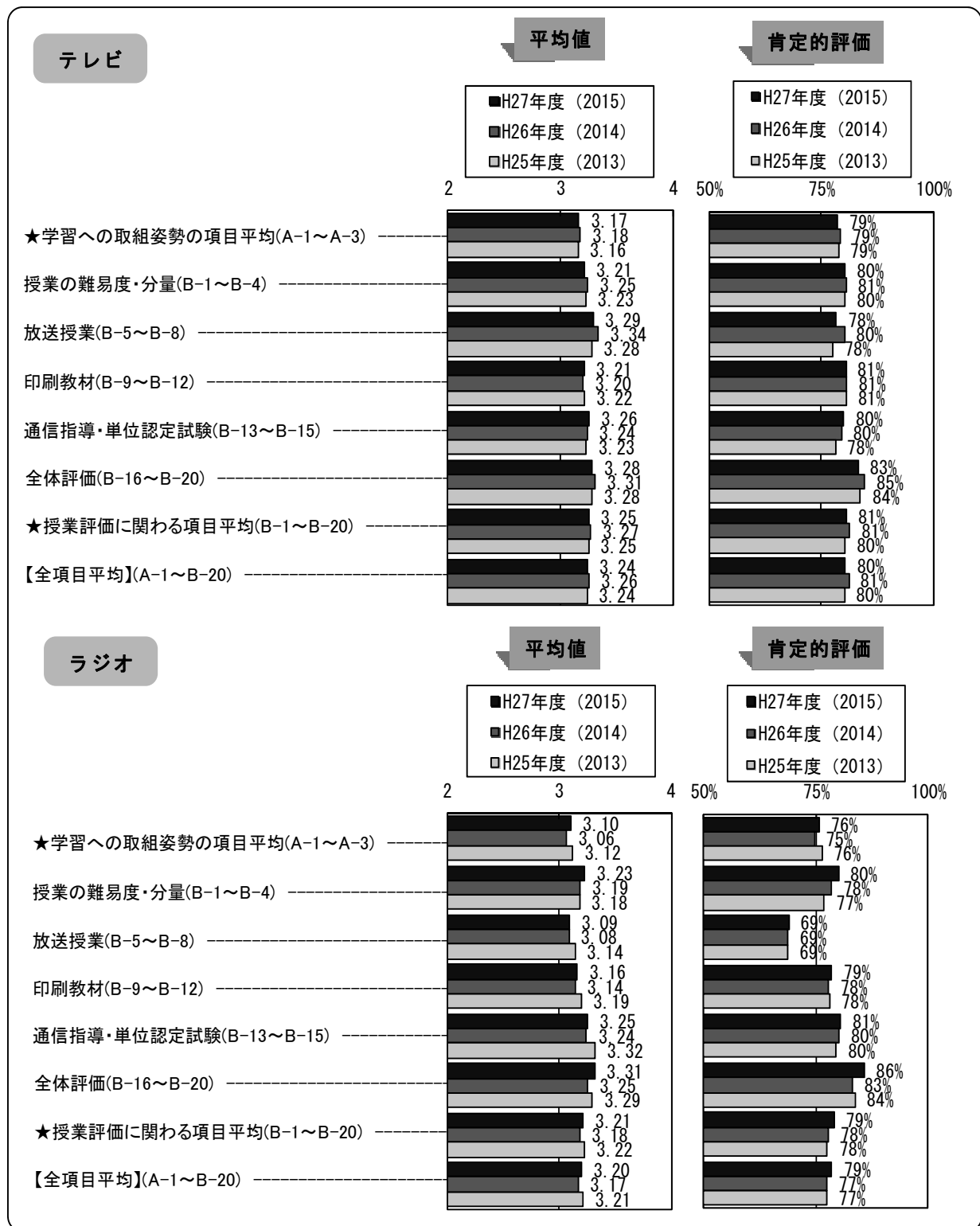
肯定的評価についても、概ね平均値の結果をそのまま反映していると言えるが、『通信指導・単位認定試験』と『全体評価』で平均と結果が逆転している。

図 2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



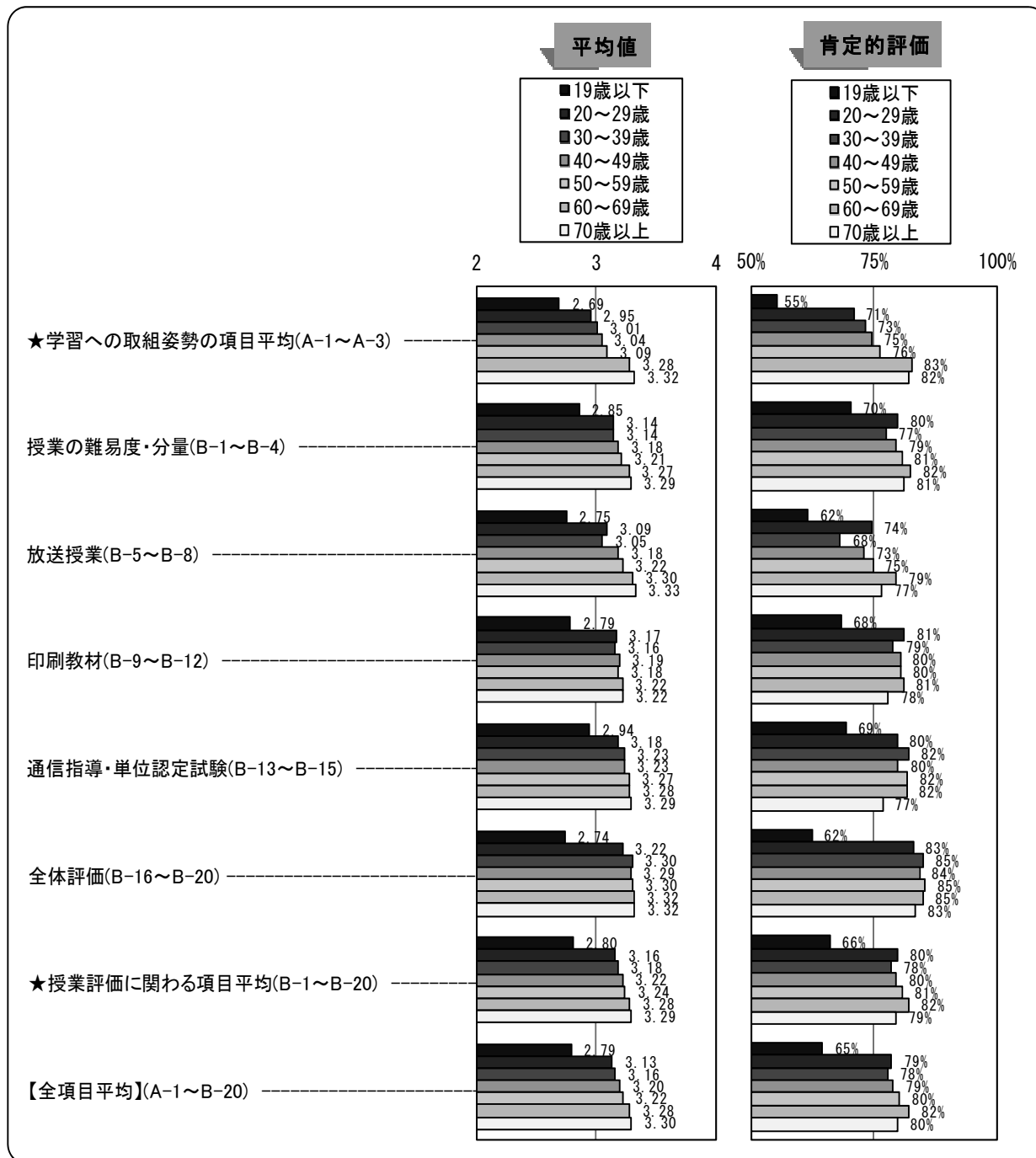
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-4）、テレビ科目は、「印刷教材」、「通信指導・単位認定試験」以外の項目平均で2014年度より若干低い値となっているが、全体的には2013年度からほぼ同じ数値で推移している。ラジオ科目では、いずれの項目平均でも昨年度の水準を上回っており、昨年度よりやや改善の傾向がうかがえる。肯定的評価についても、平均値の結果がそのまま反映されている。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



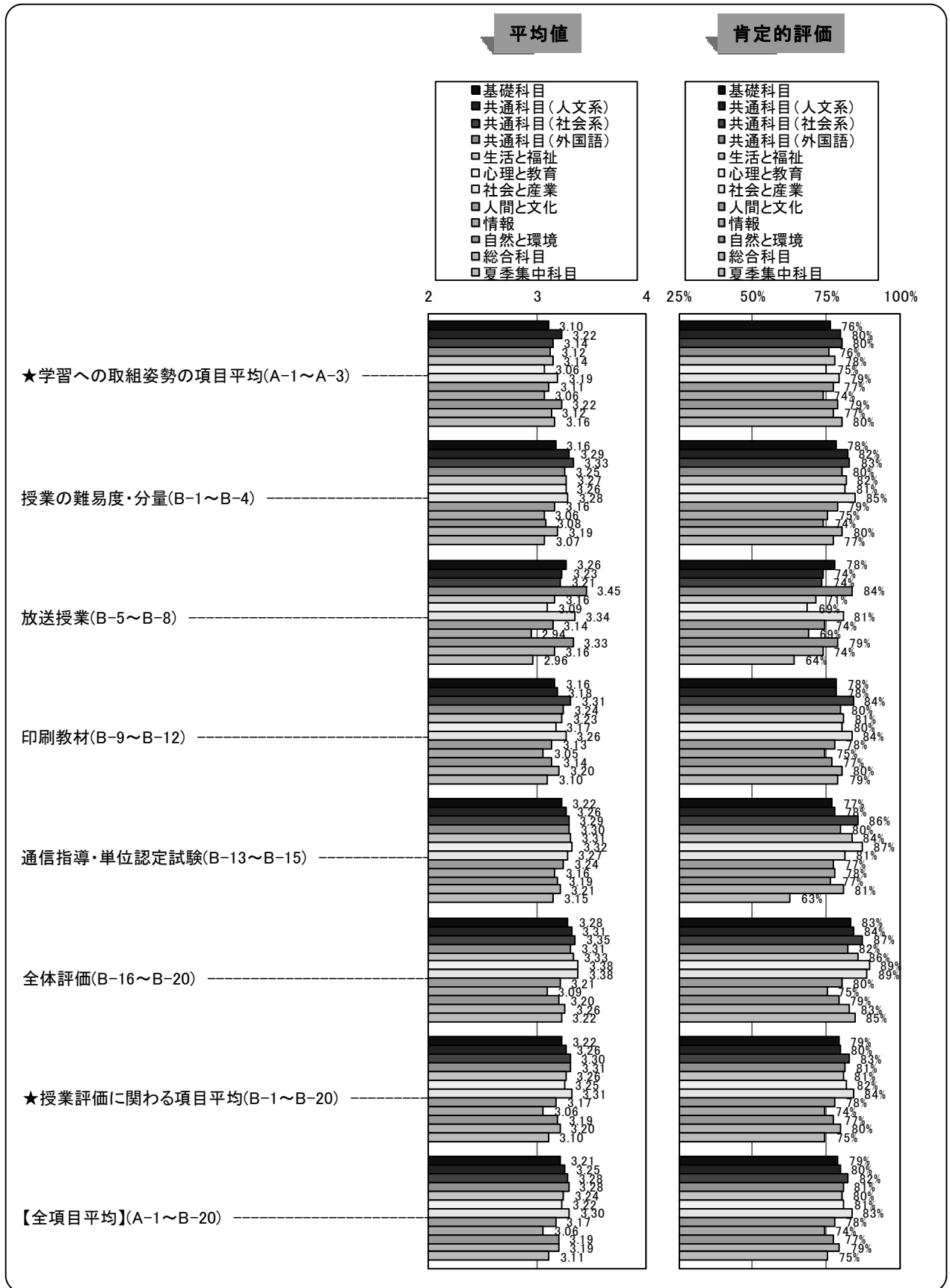
回答者の年齢階層別に 2015 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2-5）、ほとんどの項目において、年齢層が高くなるほど評価平均が高くなっている。一方で、19 歳以下の平均が、全項目で著しく低い。

図 2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース別に項目平均を見ると(次頁図2-6)、ほとんどの項目において「共通科目(社会系)」と「社会と産業」は評価が高い傾向にあるが、「情報」と「夏季集中科目」の評価が低い傾向にあり、改善が求められる。他は大きな差異は認められず、どのコースもそれなりの評価を得ていると言えるが、「放送授業(B-5~B-8)」の項目においては、科目によって評価の高いコースや低いコースとばらつきが大きい。

図 2 - 6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

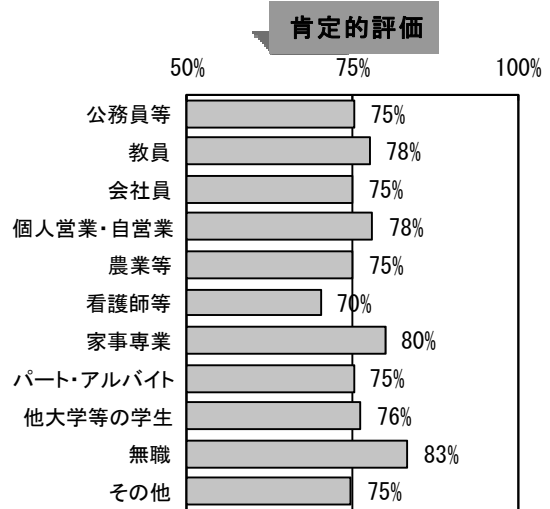
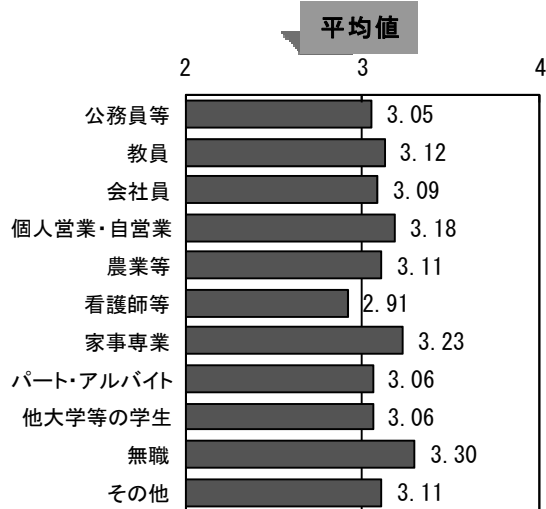


回答者を職業別に見ると(次頁図2-7)、『学習への取組姿勢の項目平均』は、「無職」、「家事専業」、「個人営業・自営業」の順で高く、在宅者の取り組み姿勢が高いといえる。『授業評価に関わる項目平均』、『全項目平均』では、「農業等」が高い値となっている。肯定的評価を見ても、いずれの項目でも「農業等」の評価が高い一方、「看護師等」、「他大学等の学生」、「その他」の評価が低い結果となっている。

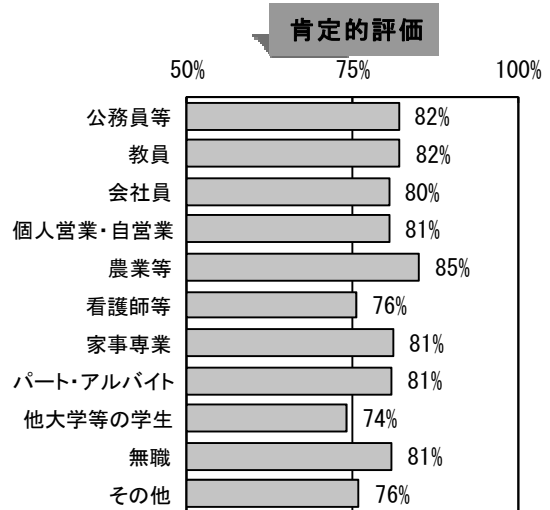
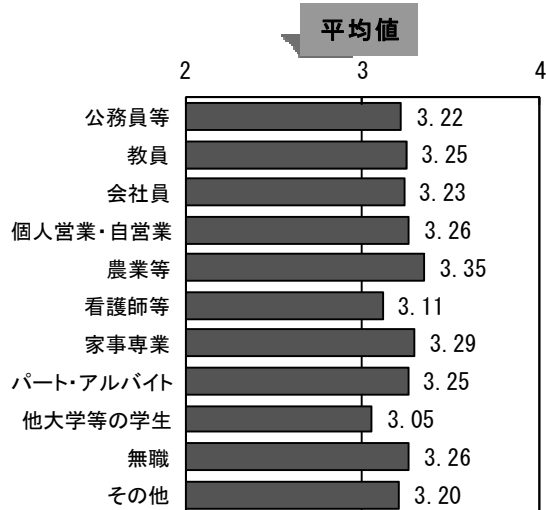
現役学生と専門職の評価が低いことは、一考すべき課題である。

図 2 - 7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

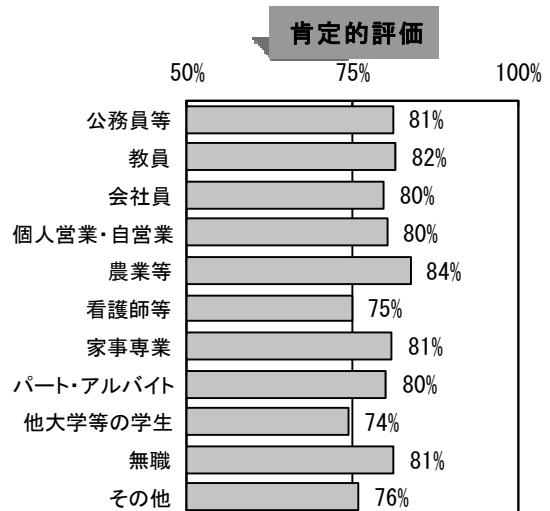
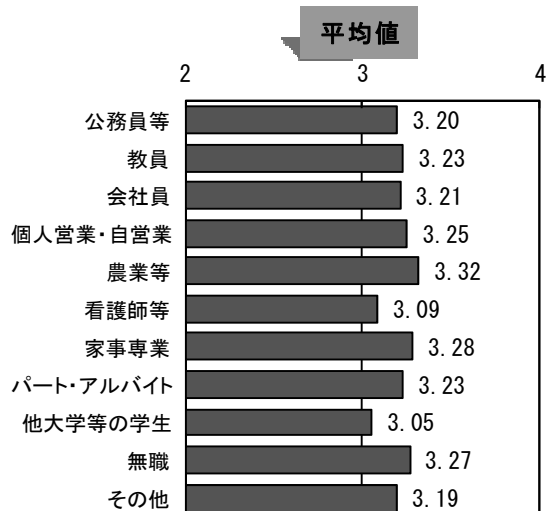
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1～A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1～B-20)



【全項目平均】(A-1～B-20)

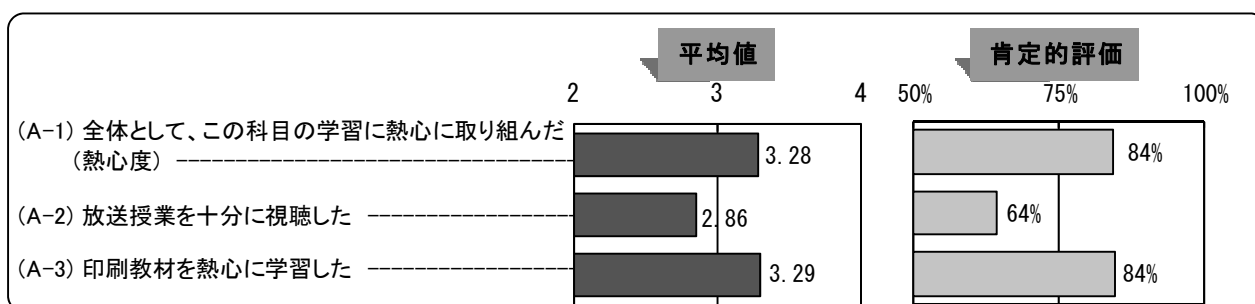


Ⅱ-1-2. 学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

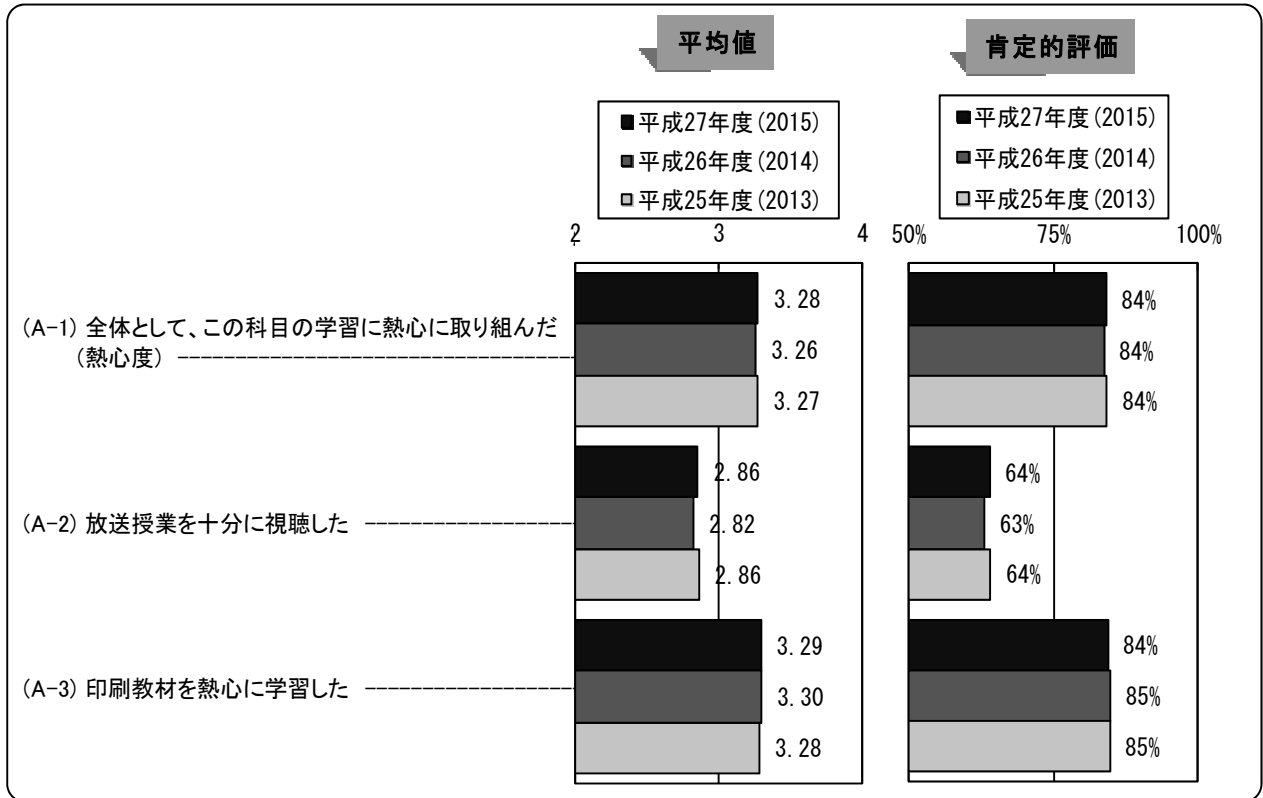
学習への取組姿勢（図2-8）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が平均値 3.28、肯定的評価 84%と、総じて熱心に学習していることが表れている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.29、肯定的評価 84%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.86、肯定的評価 64%と低く、学習は印刷教材中心という傾向を示している。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



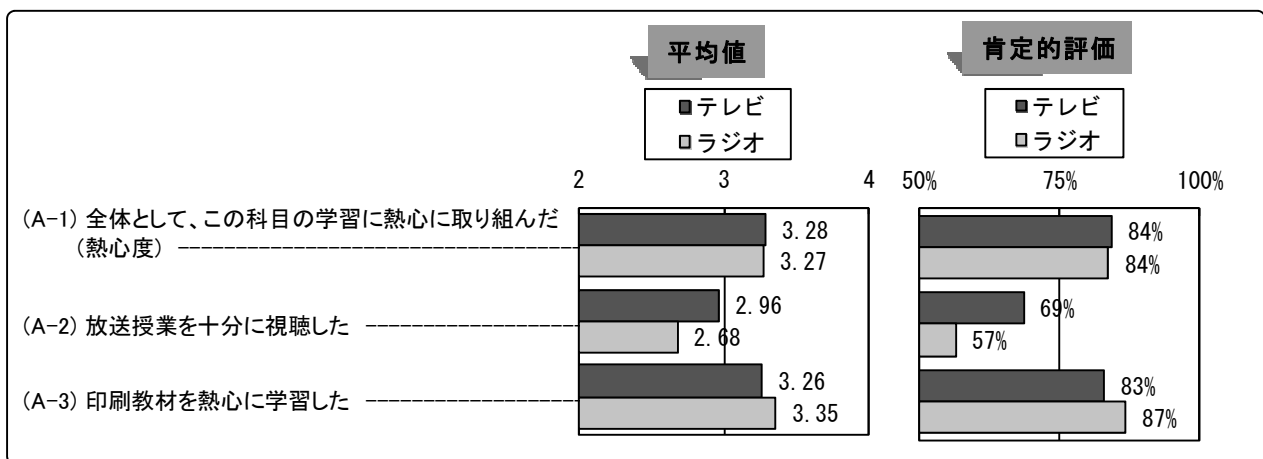
取組姿勢を時系列で見ると（次頁図2-9）、いずれの項目においても、平均値、肯定的評価ともに前回とほぼ同じ水準である。年度によっての変化は認められないが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目は低いままである。この傾向が続いていることを考えれば、その原因を追求し、今後の授業内容の改善を試みることにより取組姿勢も向上するものと考えられる。時間に制約がある放送授業ではインターネットやオンデマンドなどでの番組提供を増やすことにより、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図 2 - 9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



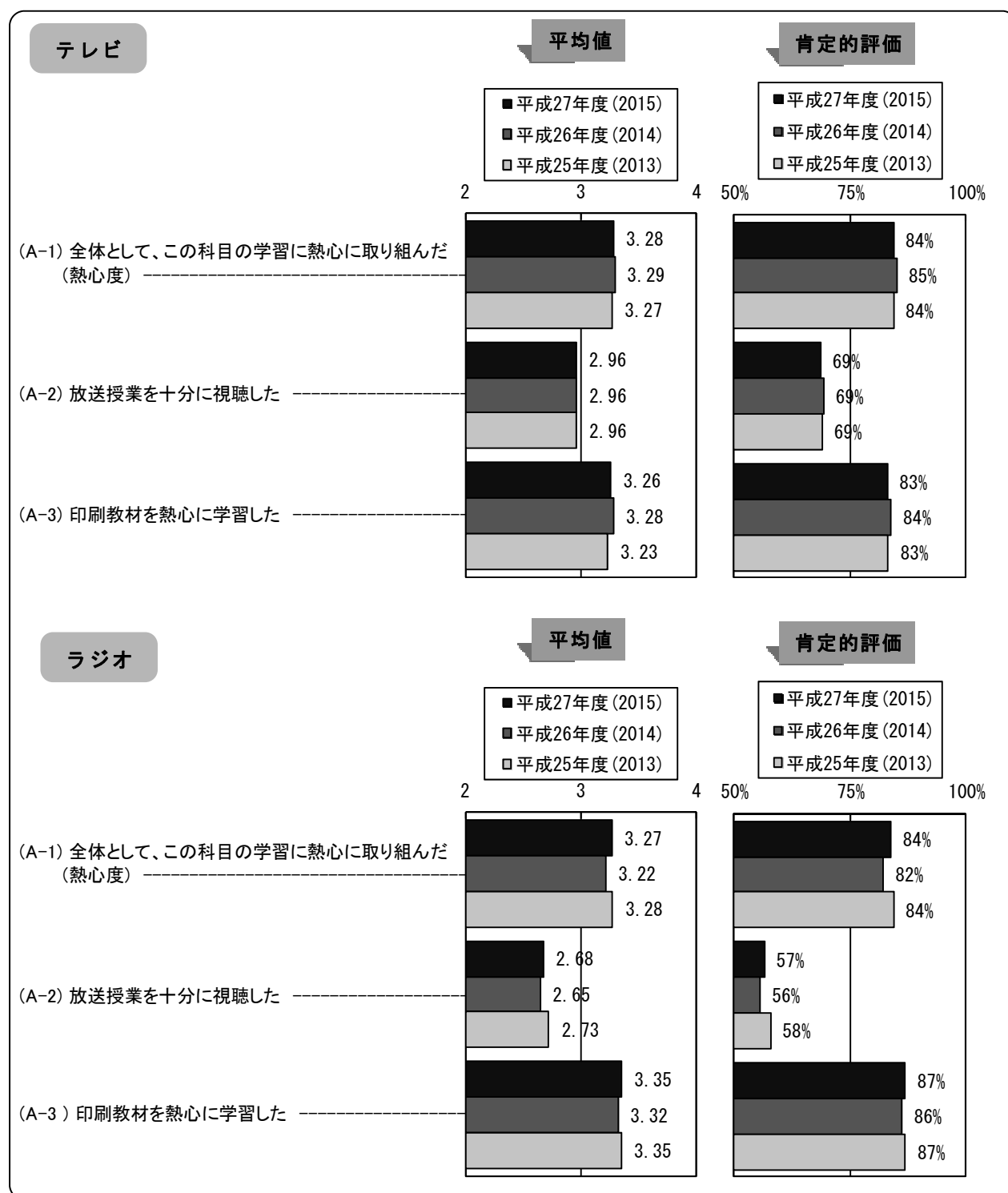
次にメディア別に取り組姿勢を見ると（図 2 - 1 0）、(A-1)「全体として、この科目の学習に取り組んだ」の項目ではテレビ科目とラジオ科目が拮抗しているが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の項目ではテレビ科目の方がラジオ科目を大きく上回る評価となっている。逆に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」という項目ではラジオ科目の方がテレビ科目より高い。

図 2 - 1 0 【学部】メディア別の取組姿勢



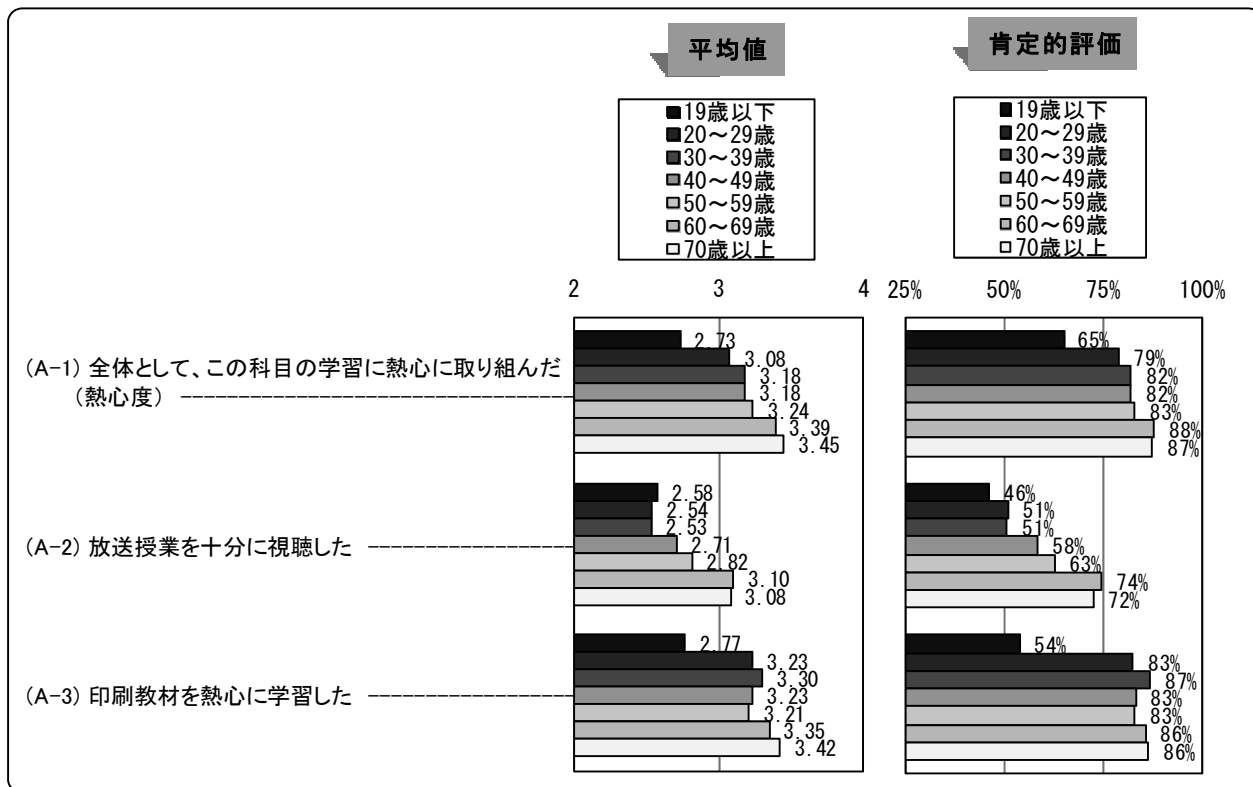
メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、2014年度に比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の項目でやや下がっている。ラジオ科目については、いずれの項目においても僅かに上がっている。これらについては、『図2-4【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向』（24ページ）も参照されたい。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



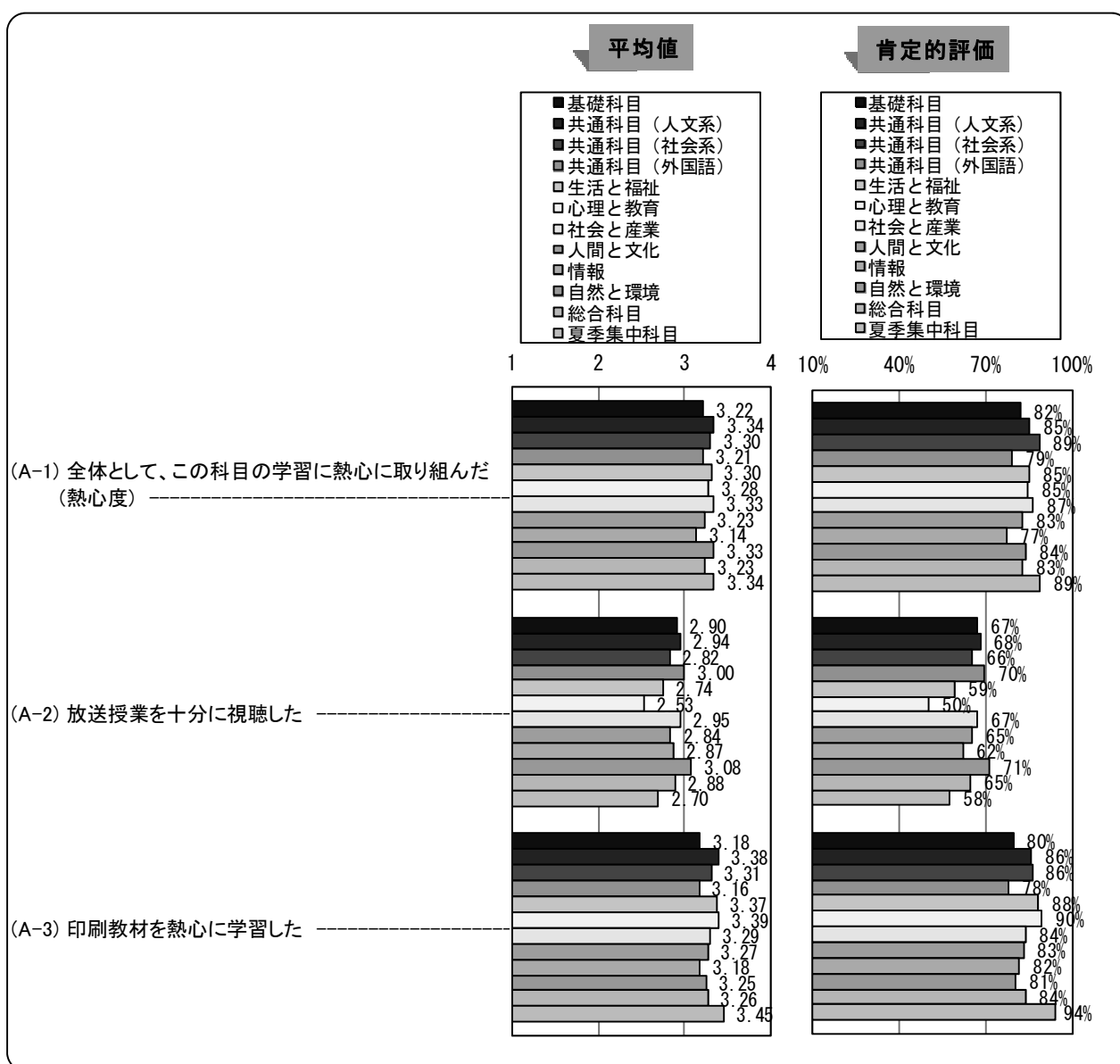
年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、年齢階層が上がるほど値が高くなっていくのが特徴的である。しかし（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」の項目において、40～49歳、および50～59歳の値が低くなっている。学習意欲はあるものの、仕事などによって教材に取り組む時間がなかったのではないかと推測される。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属コース別に取り組姿勢を見ると（図2-13）、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「心理と教育」、「夏季集中科目」の値が極めて低くなっている。他のコースも平均値で3.00を下回っているものがほとんどである。「夏季集中科目」については授業内容以外の要素もあると思われるが、いずれにせよ、放送授業に潜在的な改善の必要があり、視聴を増加させる工夫が必要かと思われる。(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は全体的に高い値となっている。また、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」を比べると、前者の値が高いと後者の値が低くなり、逆に前者が低いと、後者が高くなる傾向がある。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢



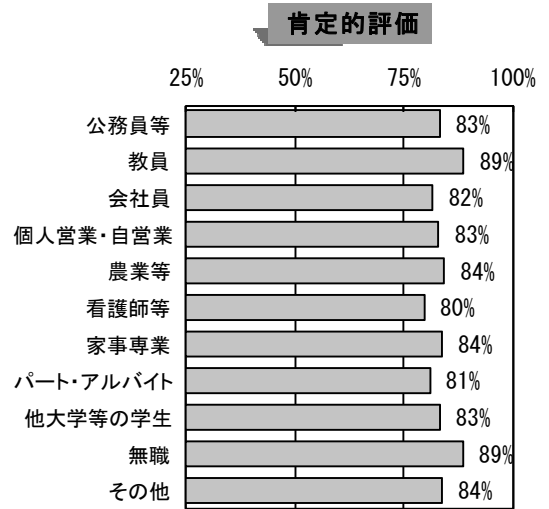
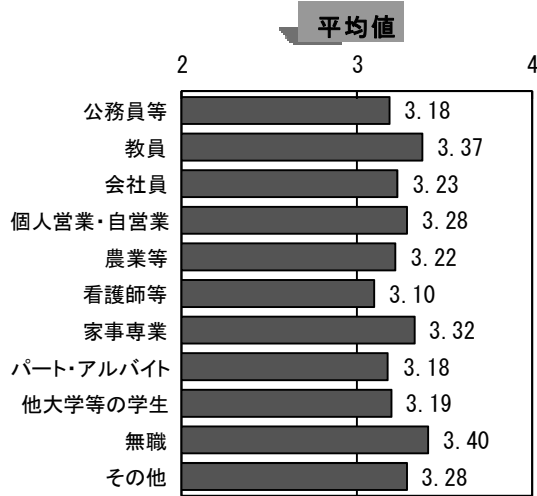
職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図 2 - 1 4）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、「看護師等」の値がやや低いものの全体的に値が高い傾向にある。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も、全体的に高い値となっている。

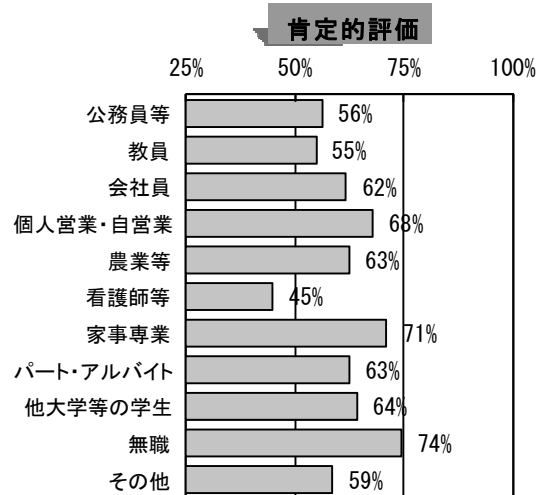
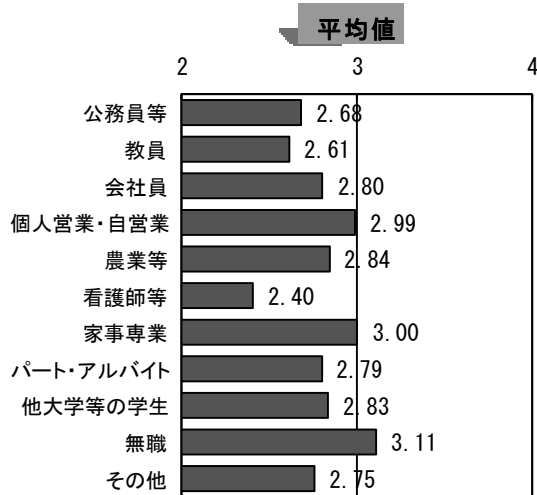
(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」に比べ、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の値が全体的に低いのは特徴的である。「看護師等」は値が極めて低いが、これは職業ならではの事情が背景にあると思われる。放送時間に都合をつけやすい「無職」「家事専業」「個人営業・自営業」では相対的に値が高くなっているが、全体的に値が低いのは、テレビ・ラジオ以外で受講できるシステムの構築など、講義提供手段を増幅・充実させることが求められている現れである。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

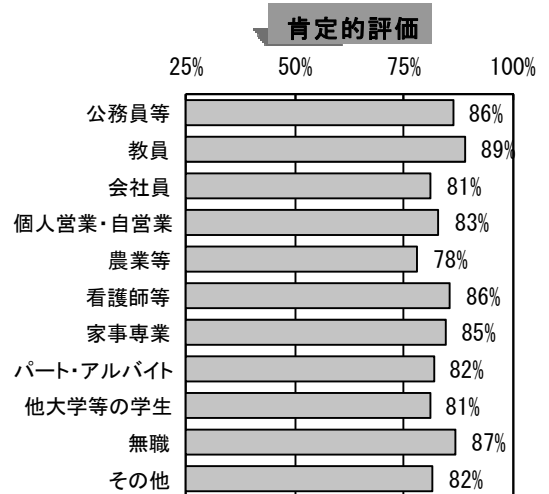
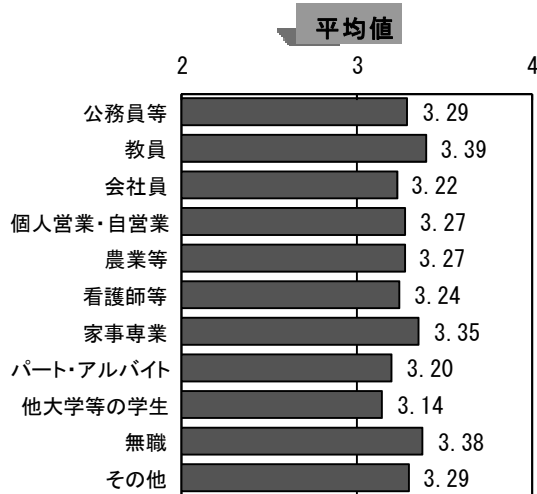
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



(A-2) 放送授業を十分に視聴した

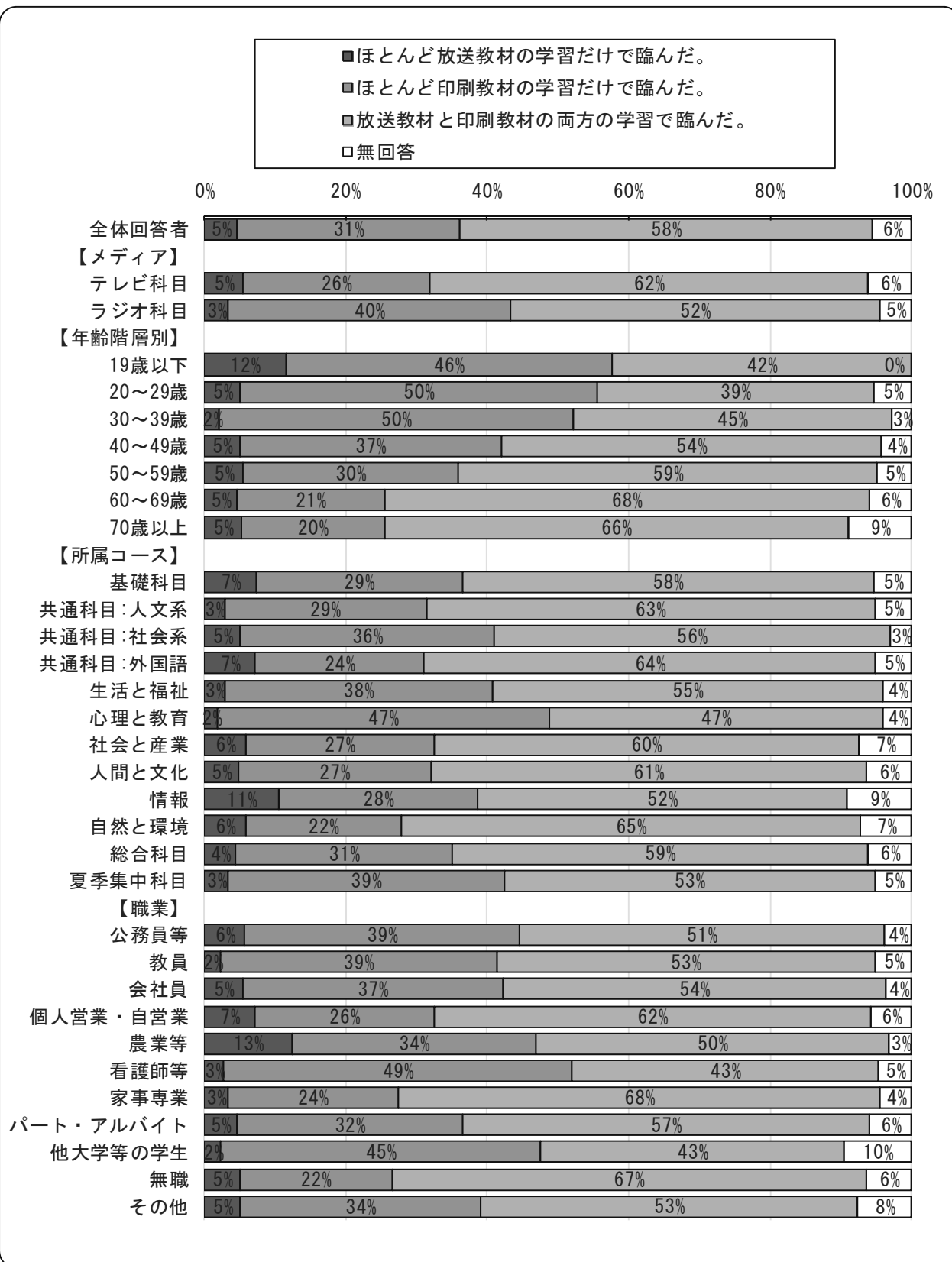


(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2-15）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 58% を占めており、最も値が高い傾向にある。年齢階層別では高齢層になるほど値が高くなる傾向があり、年齢とともに教材学習のバランスが良くなる傾向がみられる。次に『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』は全体で 31% を占めており、メディア別では「テレビ科目」に比べて「ラジオ科目」が高い。これは「ラジオ科目」という特質上、印刷教材で視覚的に学習を補おうとしたためと受け取れる。職業別では「看護師等」が印刷教材での学習だけで臨む比率が最も高く、交替制の勤務体系で、決まった時間に放送授業を受けられなかったのではと推測される。『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は全体で 5% 程度の割合であり、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』の 31% と比べても、受講生がいかに関印刷教材を重視しているかがうかがえる。自由な時間に繰り返し読むことができる印刷教材と、視聴に制約のある放送教材という違いはあるにしても、この傾向に、放送教材の問題点が逆説的に浮かびあがっていると考えることもできる。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

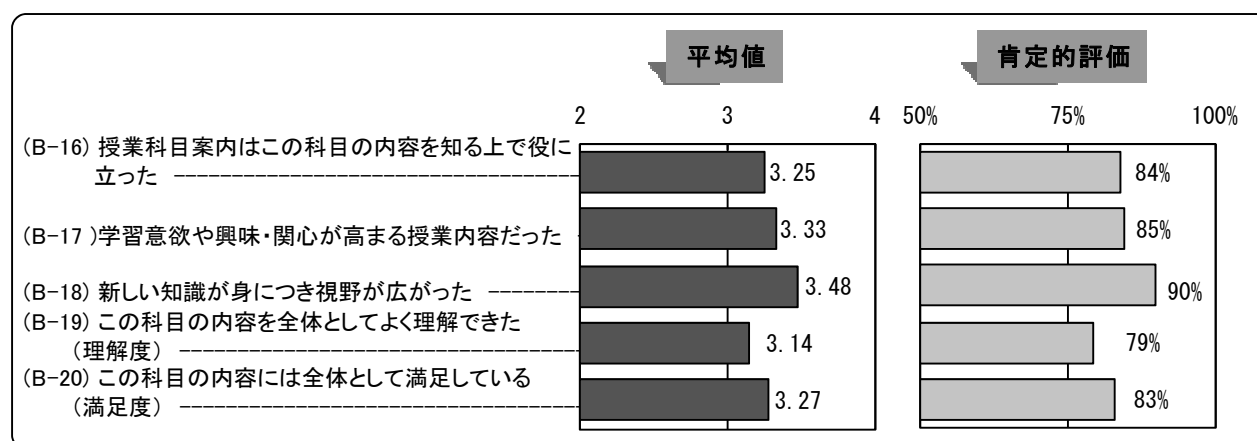
(1) 全体評価

ここからは学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると(図2-16)、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は平均値 3.48、肯定的評価 90%とかなり高い評価を得ている。また(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値 3.33、肯定的評価 85%と高くなっている。

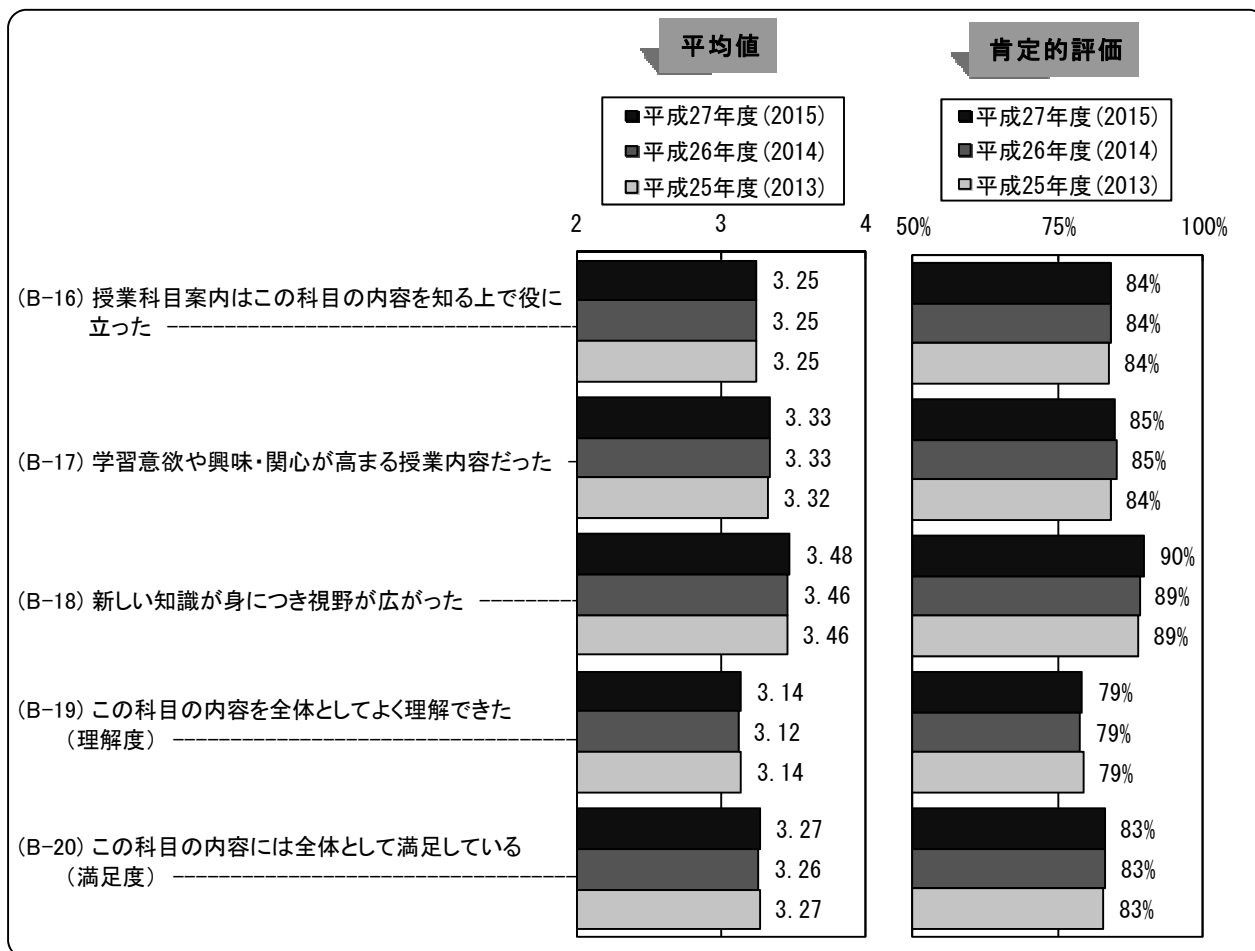
さらに(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も平均値 3.27、肯定的評価 83%、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は平均値 3.25、肯定的評価 84%と、比較的高い評価と言える。ただ理解度については満足度に比べると値が低い。これは履修生自身の理解能力も関係しているであろうが、「実際に履修したが、難しくてついていけなかった。自分の思っていた内容と違った」という声がかかり存在することを考えれば、内容について、さらに詳しく説明・解説する必要性が感じられる。

図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



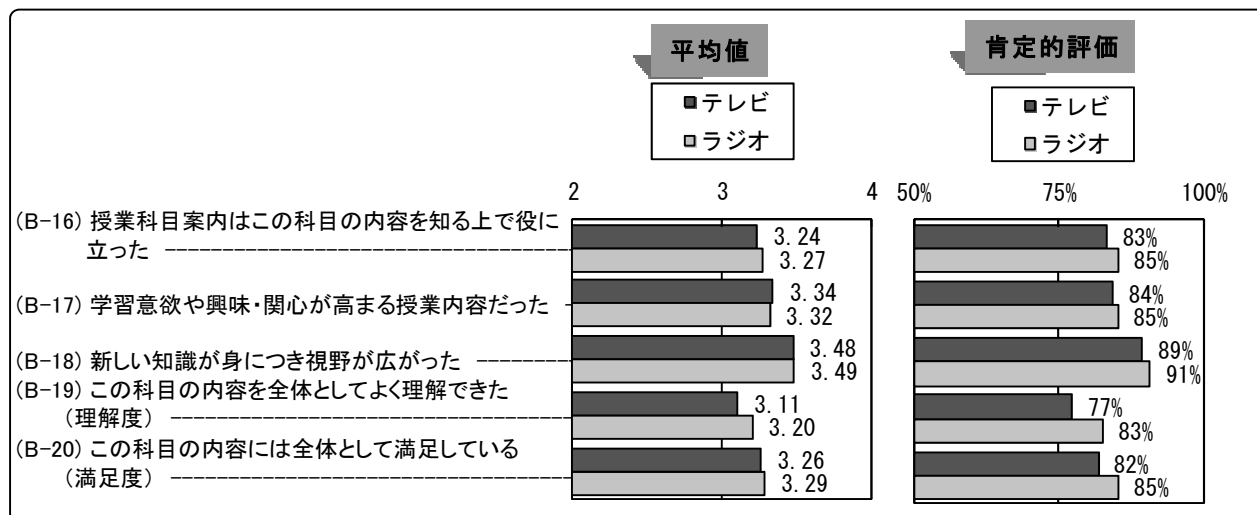
全体評価を時系列で見ると（図2-17）、全体的に2014年度とほぼ同じ水準の高い値を維持しているが、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」(B-19)「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においては昨年度の平均値をわずかながら上回っている。

図2-17 【学部】 回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図 2-18）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」の平均値を除く全ての項目においてラジオ科目の方がテレビ科目より高くなっている。

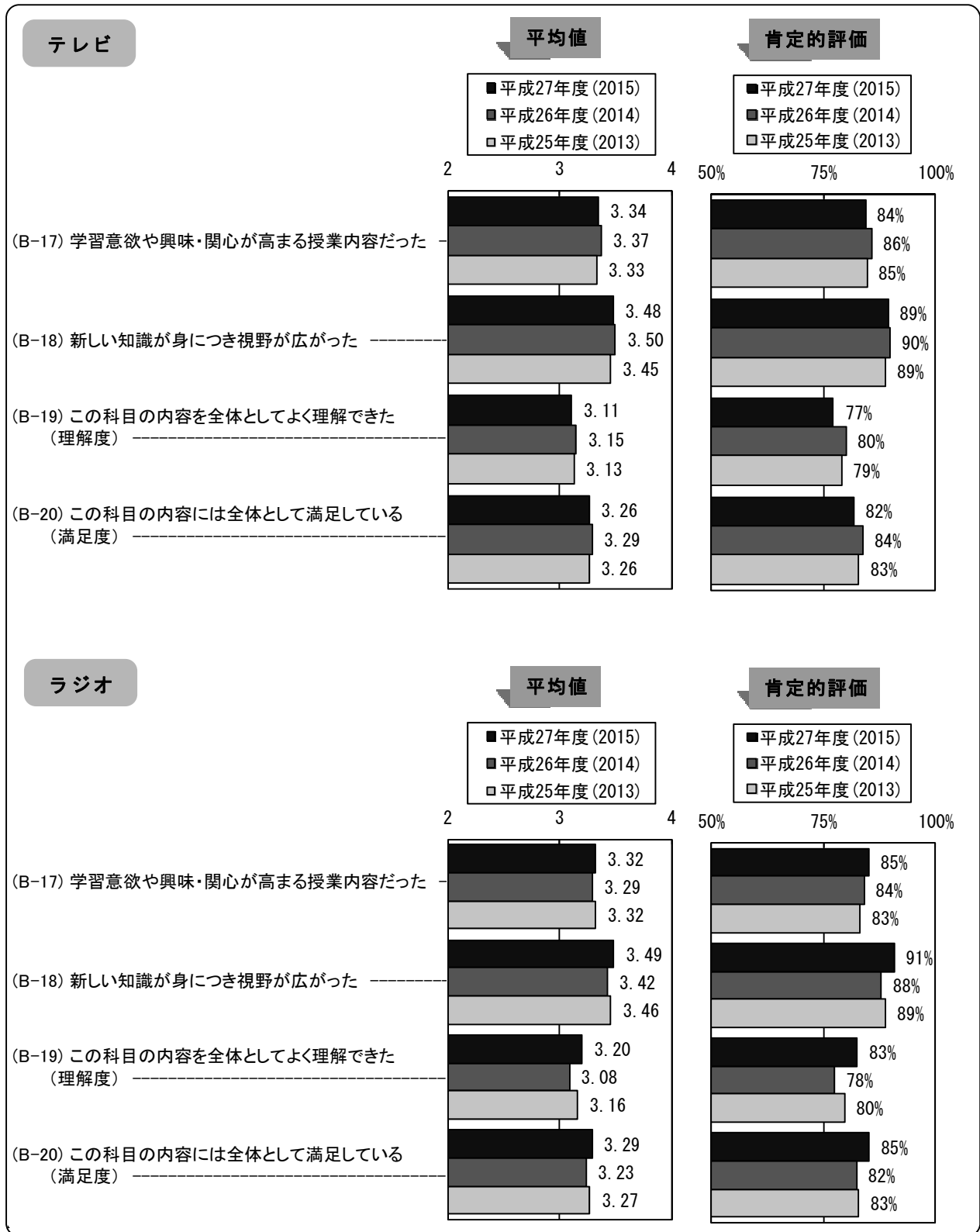
図 2-18 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図 2-19）、テレビ科目ではどの評価においても 2014 年度より低い数値となっているが、ラジオ科目ではいずれの項目でも 2014 年度より高い数値となっている。

これらについても、『図 2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向』（24 ページ）を参照されたい。

図 2 - 1 9 【学部】メディア別の全体評価（時系列）

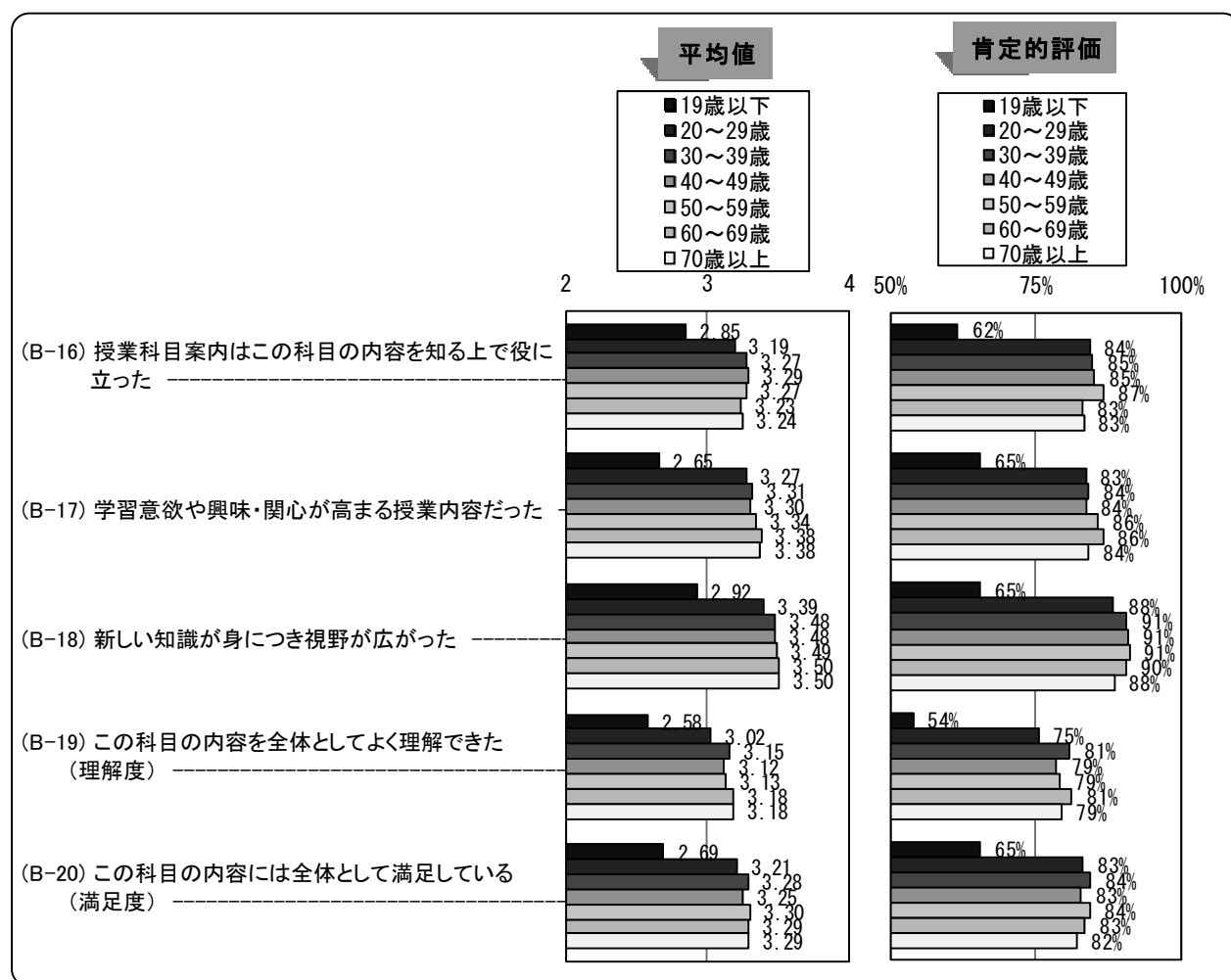


年齢階層別に全体評価を見ると（図2-20）、19歳以下を除けば、どの項目でも評価は高い傾向にある。（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は、いずれの年齢階層でも評価が高い傾向にある。

しかし（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、他の項目に比べて全体が低い傾向にあり、19歳以下ではさらに低い評価となっている。

19歳以下の平均値は全てにおいて3を下回っていることから、19歳以下では肯定的な印象がなく、納得いく学習ができていないことがうかがえる。

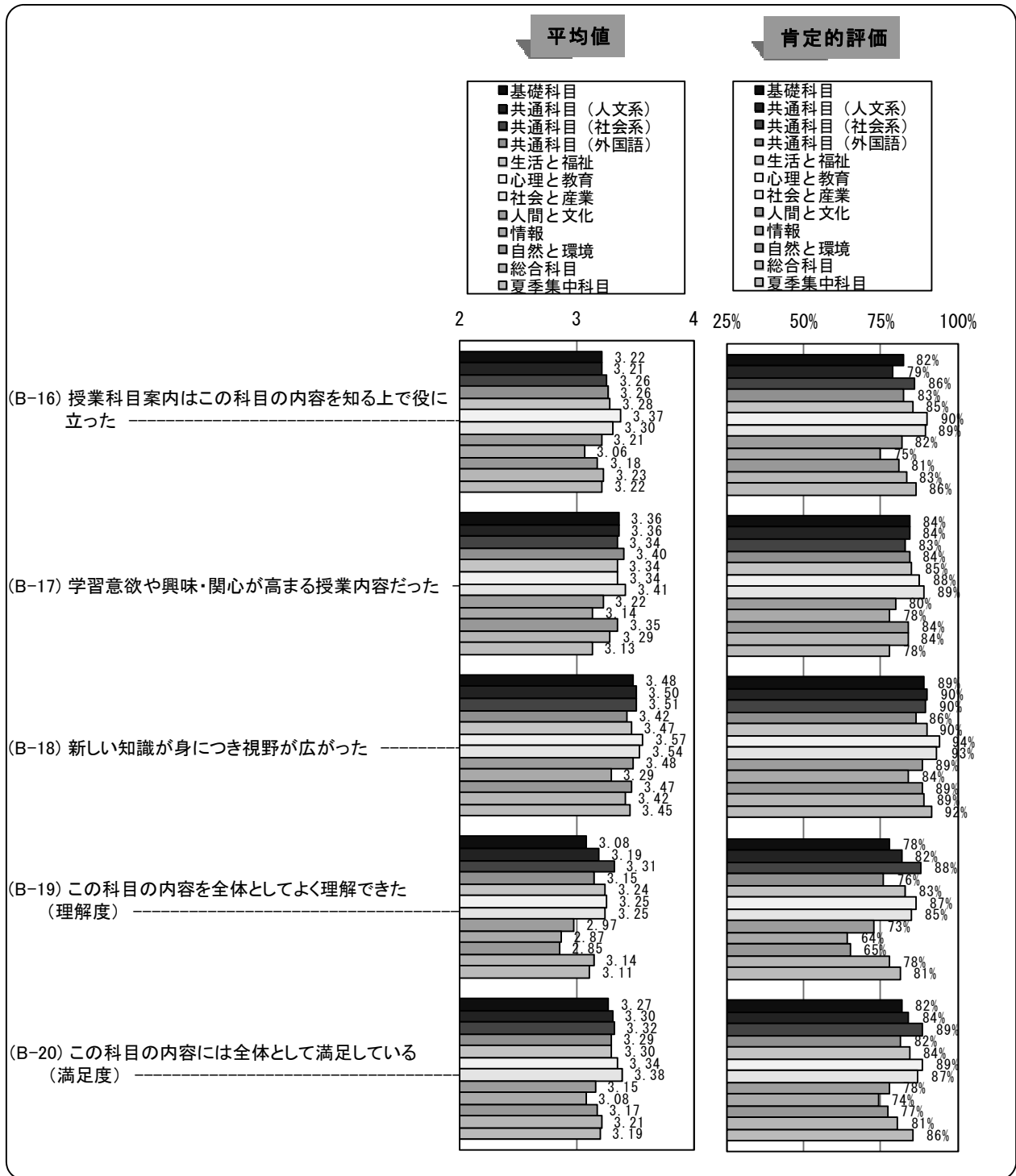
図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別に全体評価を見ると（次頁図 2 - 2 1）、全体的には肯定的であるが（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」において「人間と文化」「情報」「自然と環境」では 3 を下回っているのが特徴的である。このコースにおいては、興味を引く新しい情報は提供できたものの全体的な理解には結びついていない様子がうかがえる。学生の理解をさらに高めるような、講義内容・指導が求められている。

また、「共通科目：社会系」「生活と福祉」「心理と教育」はいずれの項目でも評価が高いことから、現在の水準を維持しつつ、さらに向上を心がけるべきであろう。

図 2 - 2 1 【学部】所属コース別の全体評価

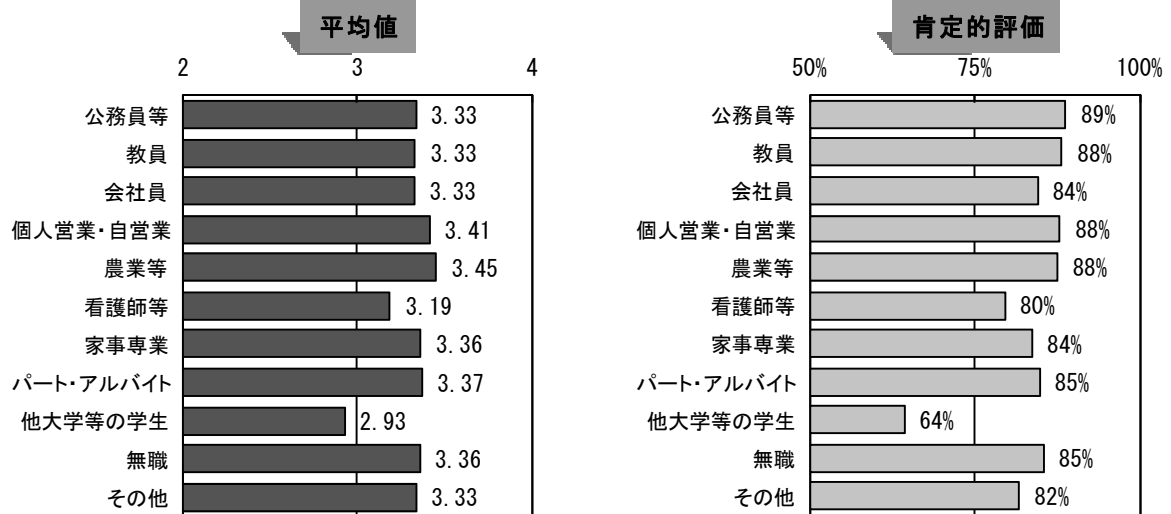


職業別に全体評価を見ると（次頁図 2 - 2 2）、平均値において（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「他大学等の学生」が、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、「農業等」が、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、「他大学等の学生」でわずかではあるが 3 を下回っている。また、全てにおいて「他大学等の学生」からの評価が低く「公務員等」「教員」においては高い評価を得ているのが特徴である。

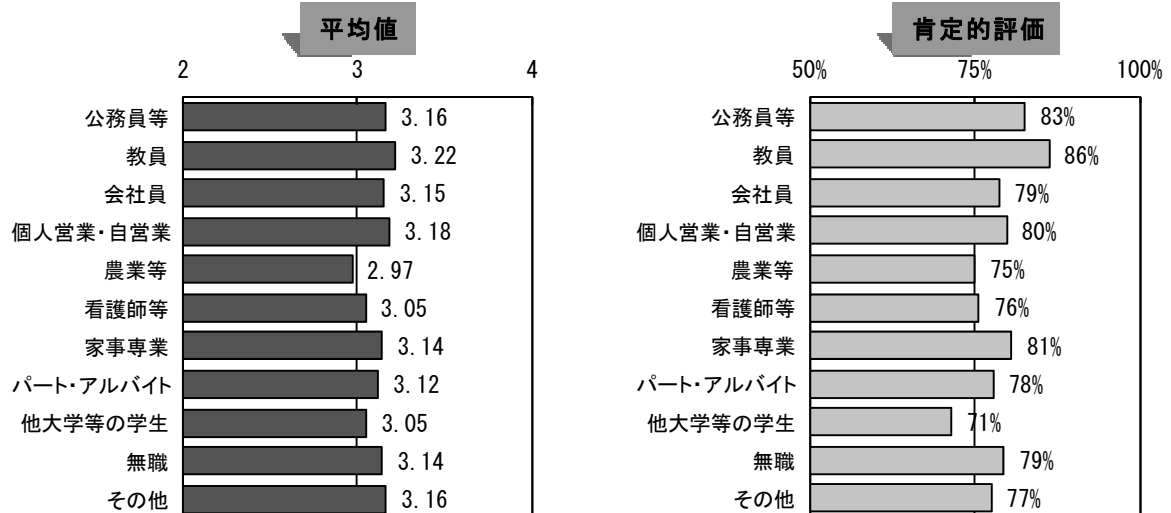
評価の低い職業が絞られているので、その職業に対する対応が効果的な改善につながると思われる。

図 2-22 【学部】 職業別の全体評価

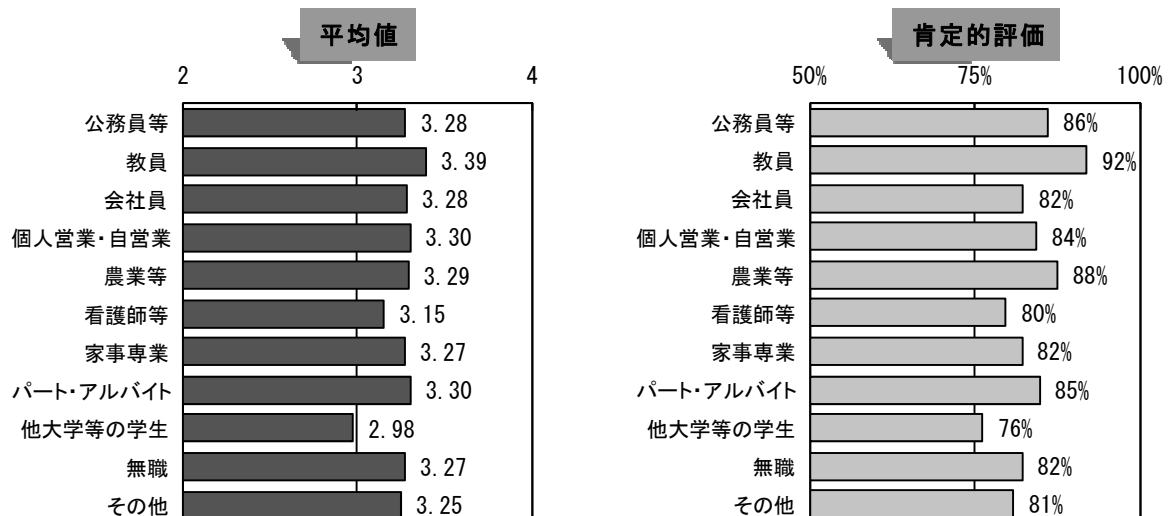
(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

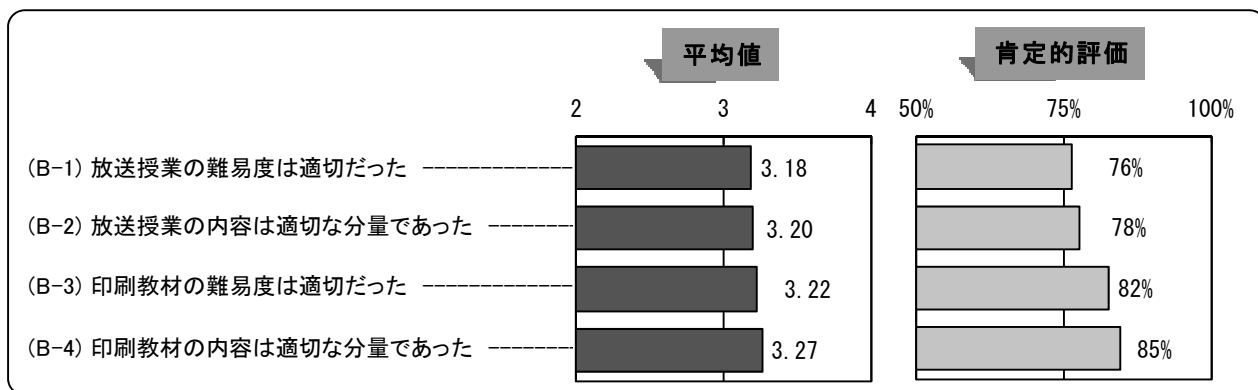


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていくこととする。

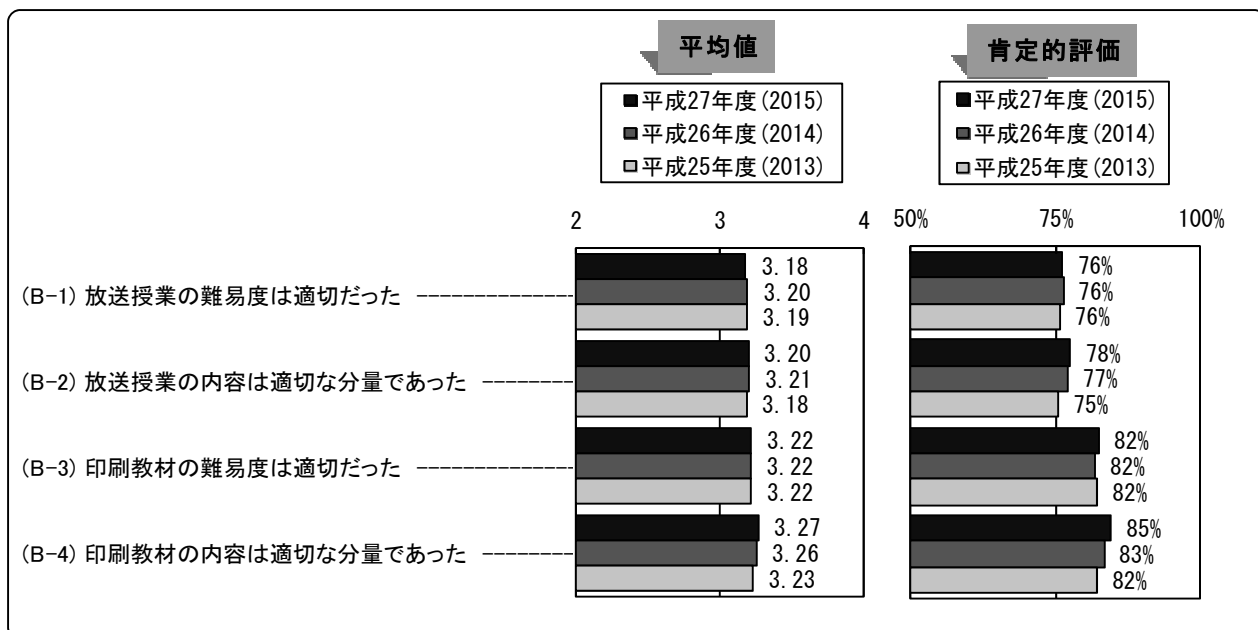
難易度・分量については(図2-23)、平均値で見ると放送授業・印刷教材ともに比較的高い評価となっているが、肯定的評価の割合で比較すると放送授業よりも印刷教材についての評価が高い。放送教材については特に難易度・分量ともに改善の必要性が大きい。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



授業の難易度・分量を開設年度で比較すると(図2-24)、分量においては平均値・肯定的評価の両方で放送授業・印刷教材ともに2014年度よりほぼ同じか、若干高い評価となっている。難易度に関しては放送授業・印刷教材ともに2014年度とほぼ同じ水準を保っている。

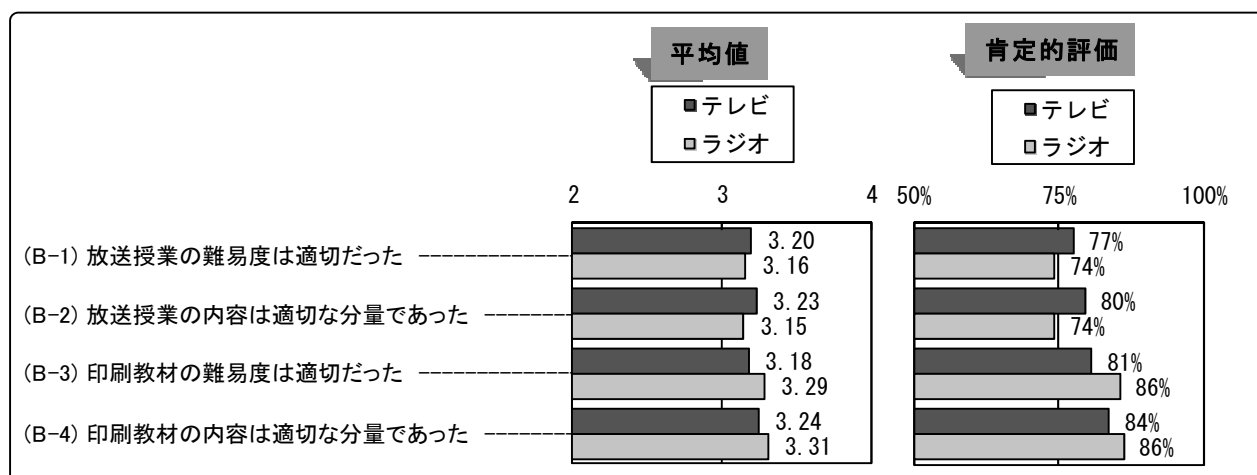
図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、放送授業の項目でテレビ科目がラジオ科目を上回っている。特に肯定的評価の割合においてはその傾向が顕著である。ラジオ科目については、難易度・分量ともに工夫を求められていることがうかがえる。

また、印刷教材の項目では、反対に難易度・分量ともにラジオ科目の方がやや高い。音声のみで受講するので、反対に印刷教材（活字）に集中するということがあるのかもしれない。

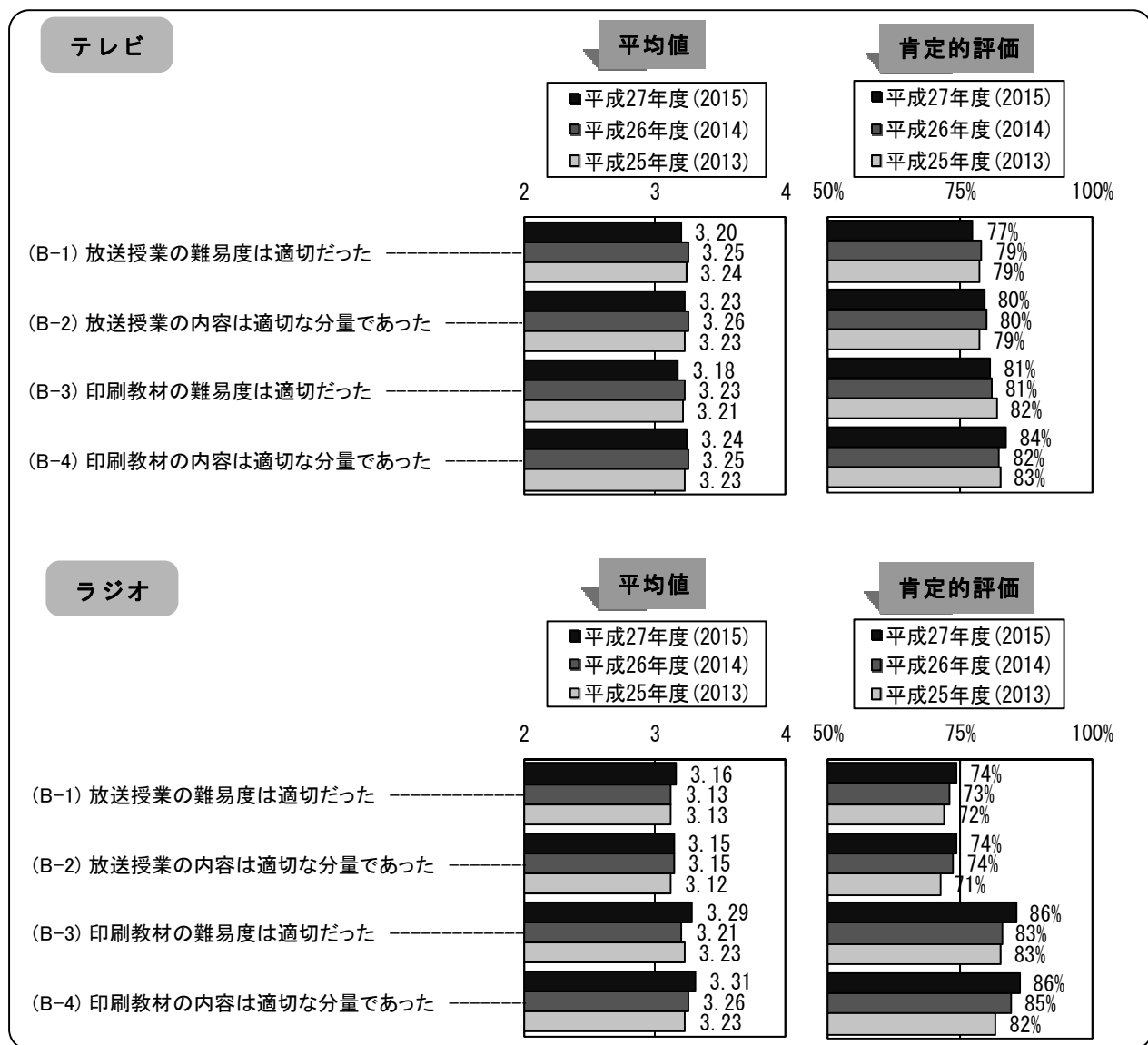
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、2014年度に比べてテレビ科目は全ての項目で平均値がやや下がっている。肯定的評価は印刷教材の方が上がっており、放送授業はやや下がっている。

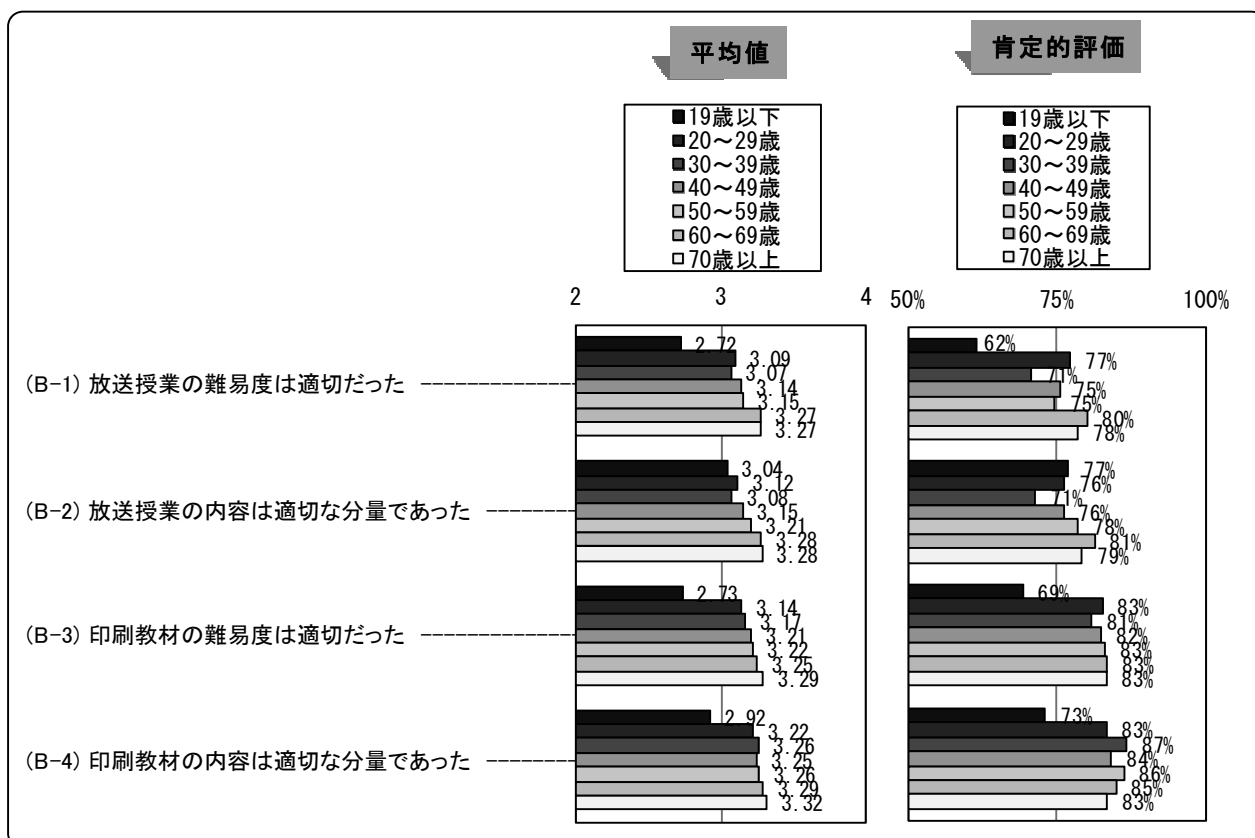
ラジオ科目はほぼ全ての項目で2014年度より、評価がやや上がっているが、肯定的評価全体においては放送授業の割合がかなり低いため、放送授業そのものにさらなる改善が必要と考えるべきである。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の項目で19歳以下の評価が低いが、ここからは、この年代にとって「物足りないのか、難しすぎるのか」は推し量ることができない。しかし、印刷教材の評価は全体として高い傾向にある。

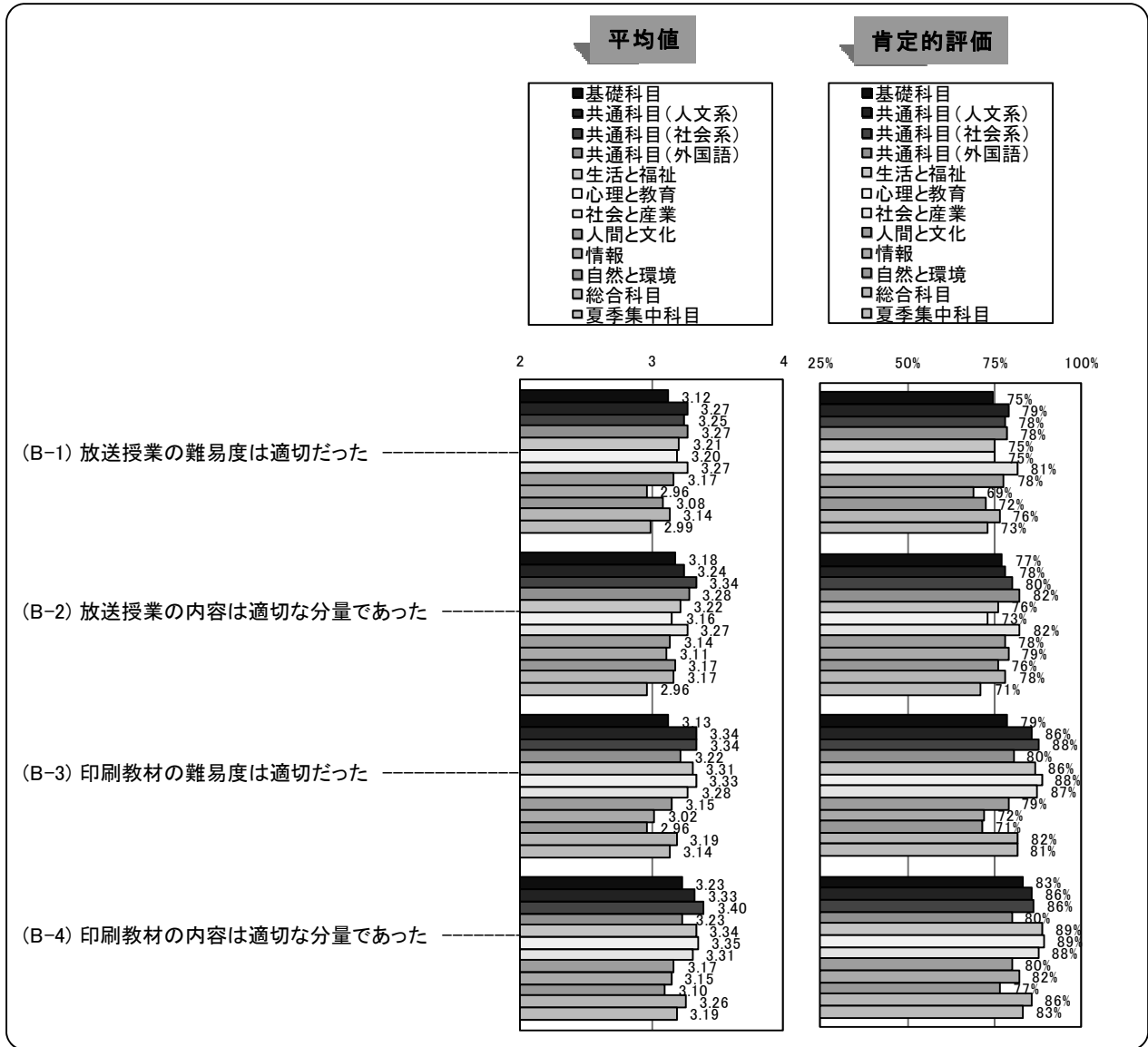
図2-27 【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、放送授業、印刷教材ともに、難易度と分量は、「社会と産業」で評価が高くなっている。

一方、放送授業に対する「夏季集中科目」の評価はやや低い。これは短期集中という「時間的制約」が影響していることも考えられる。

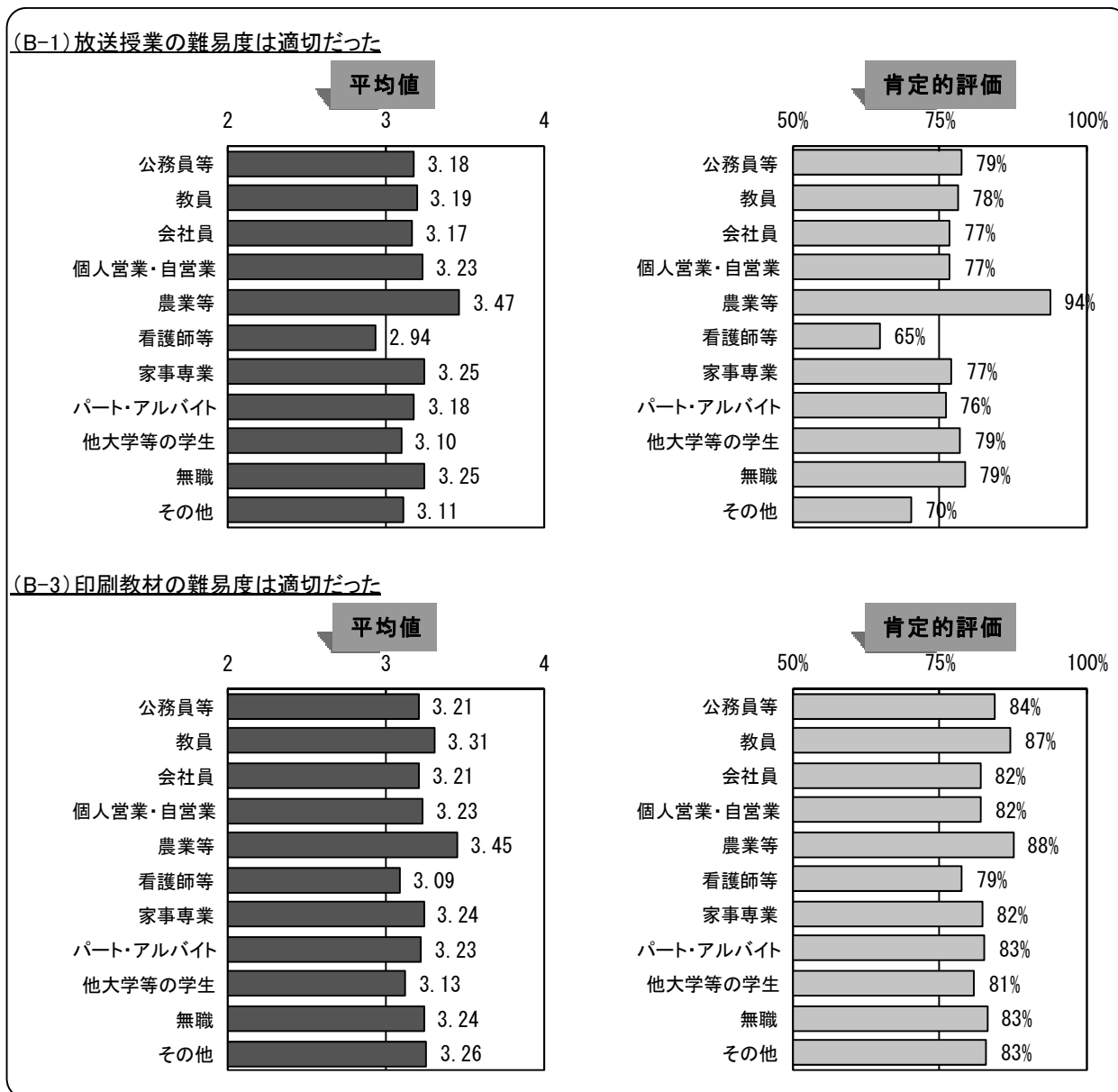
図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図2-29）、放送授業の難易度は、「看護師等」で評価が低く、「農業等」で評価が高くなっているのが際立つ。取組姿勢の分析結果に表れたように、「看護師等」は時間的制約がある職業であり、そもそも放送授業を視聴することが難しいことや現場での実践と授業内容との関係性が関連していると思われる。

授業の難易度は、科目そのものの難易度、授業方法、そして学生個人個人の取組姿勢や学習意欲などが互いに影響し合い、評価がされていると考えられる。

図2-29 【学部】職業別の授業難易度の評価

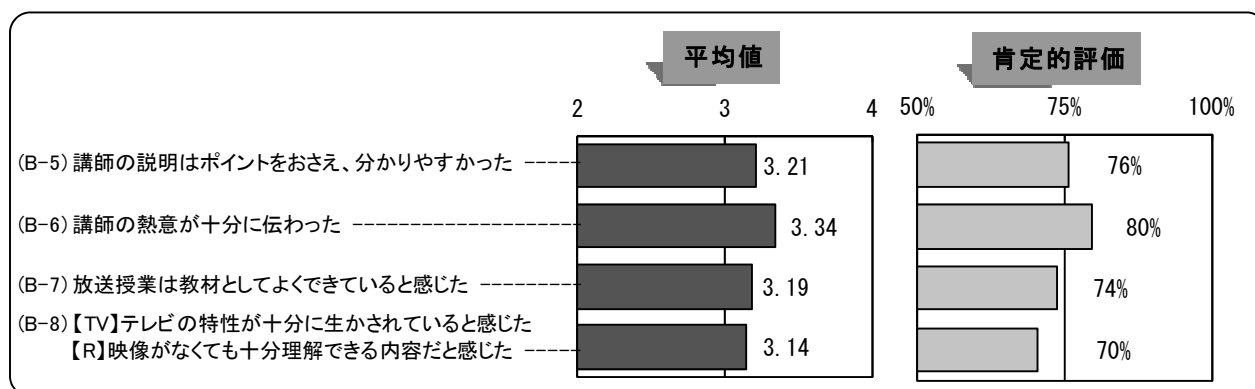


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは（図2-30）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.34、肯定的評価 80%となっている。しかし、放送授業の総合評価でもある (B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.19、肯定的評価 74%とやや低めである。なお、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、平均値 3.14、肯定的評価 70%とやや低い水準である。放送上の構成や演出にも一工夫が必要である。

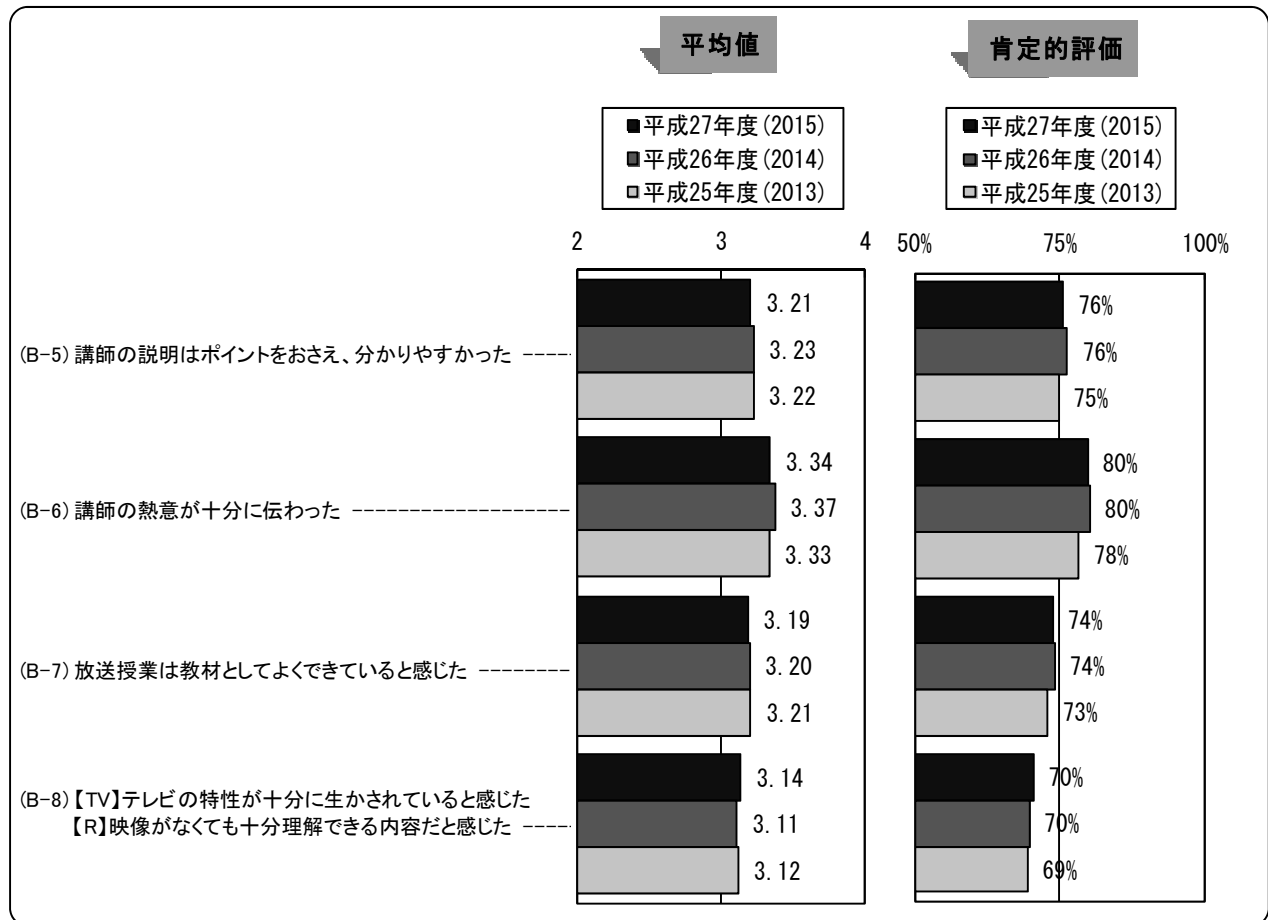
図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価の平均を時系列で見ると（図2-31）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」の平均値は2014年度より若干低くなっているものの、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の平均値は2014年度よりやや高くなっている。

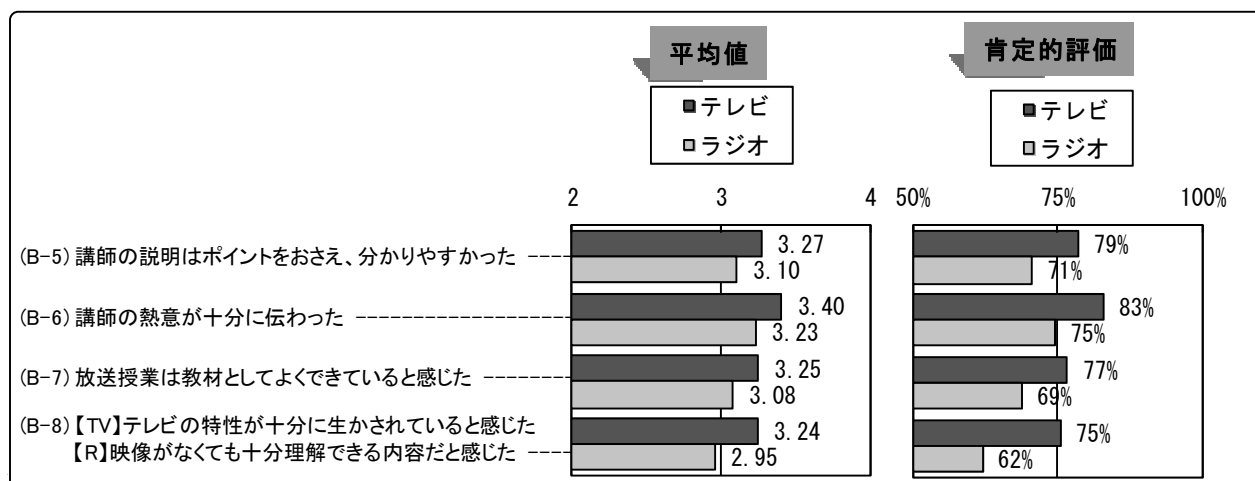
しかし、いずれも低めの水準であり、さらなる改善が望まれる。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図 2-32）、いずれの項目もテレビ科目がラジオ科目を上回っている。

図 2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価

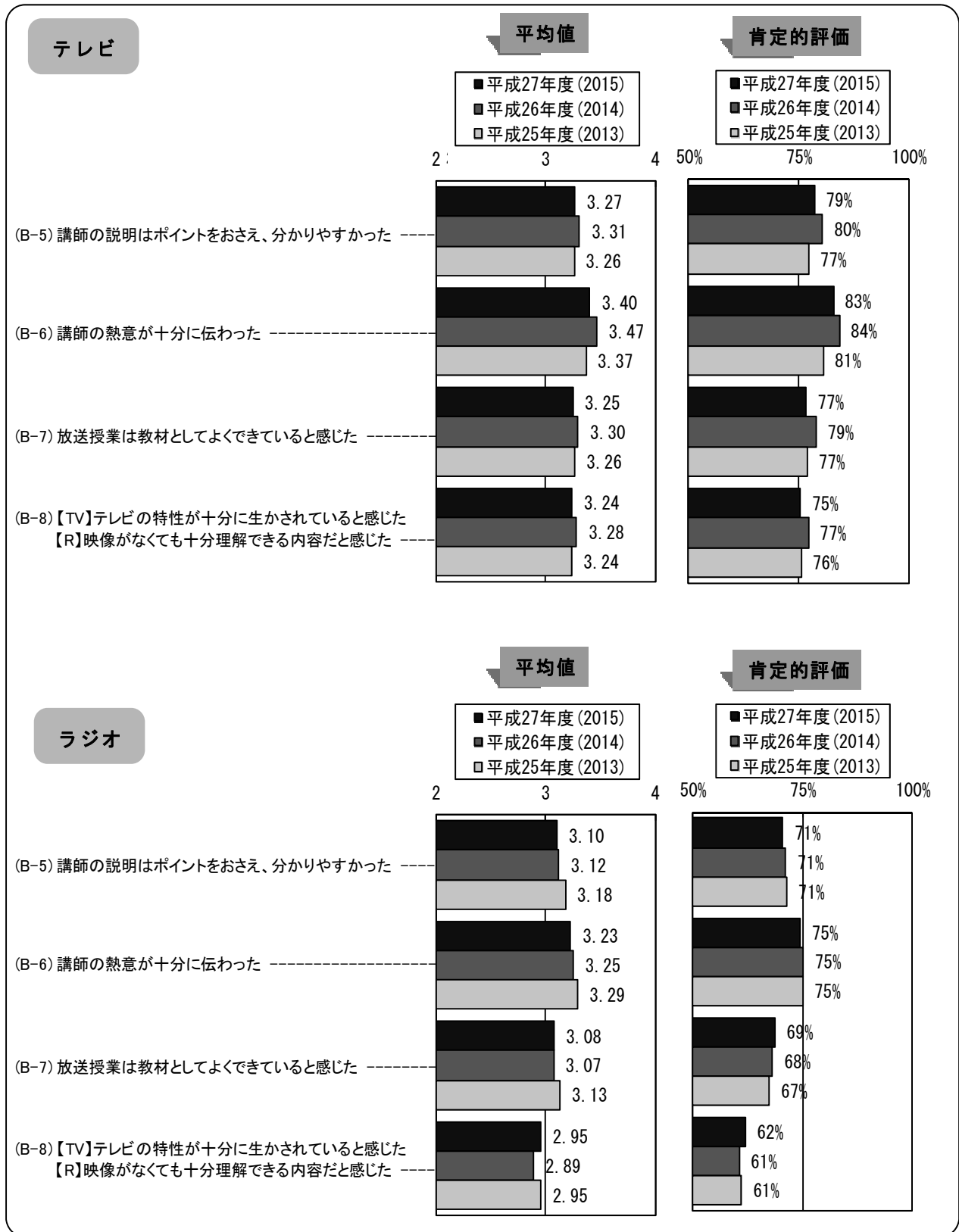


また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図 2-33）、テレビ科目では、いずれの項目も 2014 年度に比べ、低い評価となっている。

ラジオ科目においては、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の平均値は 2014 年度に比べ低くなっているが、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の平均値・肯定的評価はともにやや高くなっている。

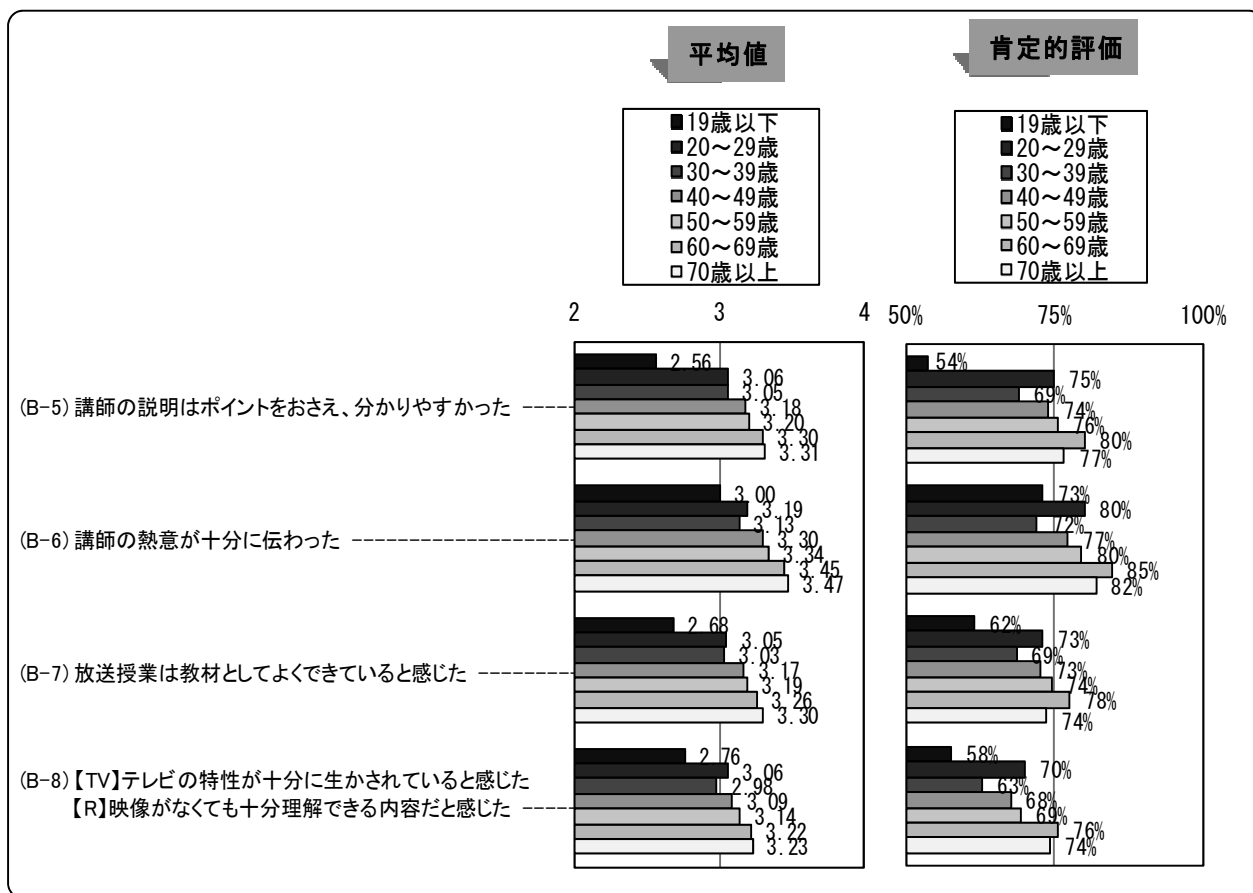
放送授業そのものは評価されても、講師によって評価にばらつきが生じた結果と受け取れる。

図 2 - 3 3 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-34）、いずれの項目も、60歳代、70歳以上は評価が高く、19歳以下の評価は低い水準である。

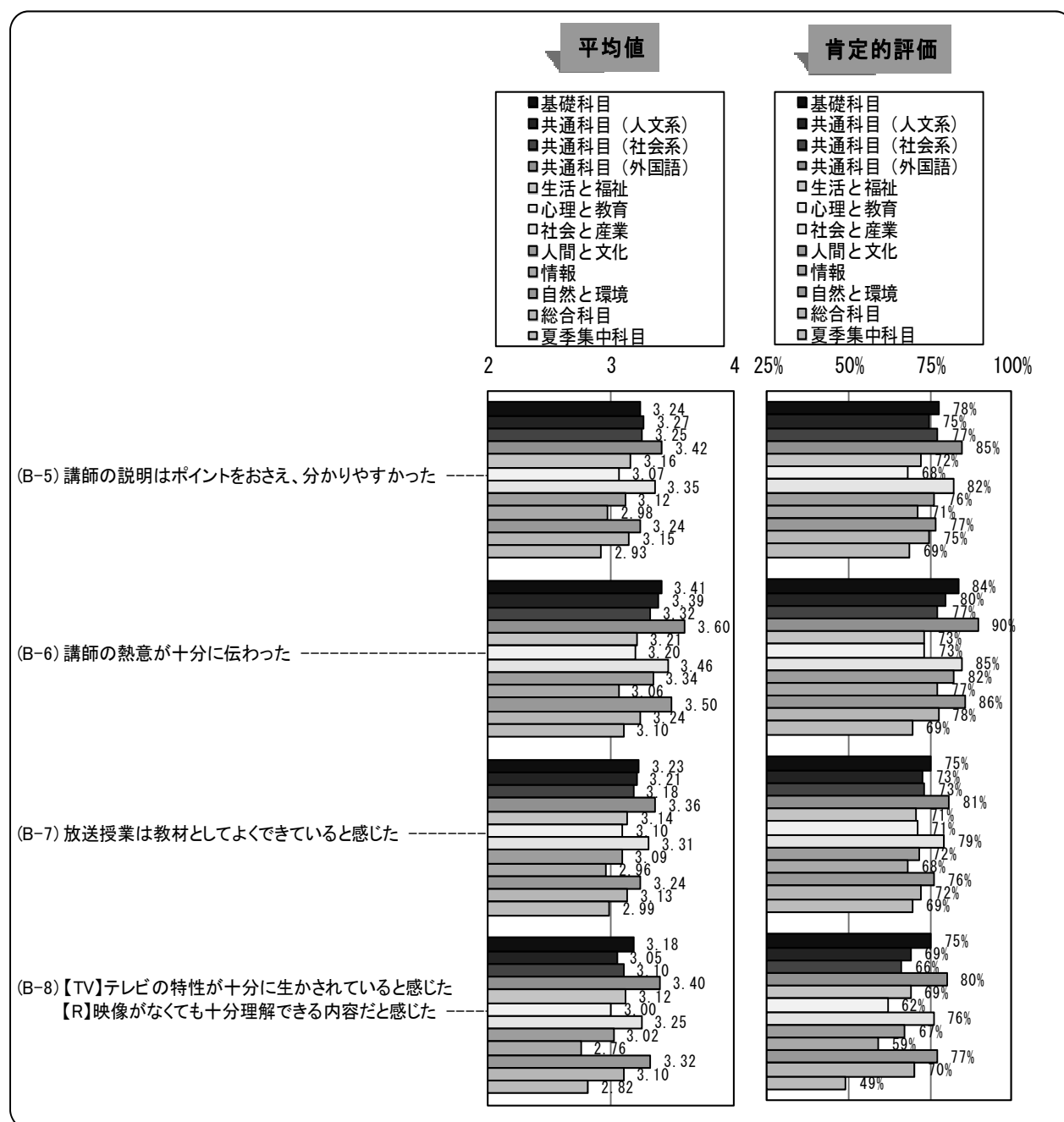
図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、すべての項目において「共通科目：外国語」の評価が高く、それ以外の科目では、「社会と産業」「自然と環境」の評価がいずれの項目でも高い水準にある。

一方、「夏季集中科目」「情報」はいずれの項目でも評価は低い水準にとどまった。

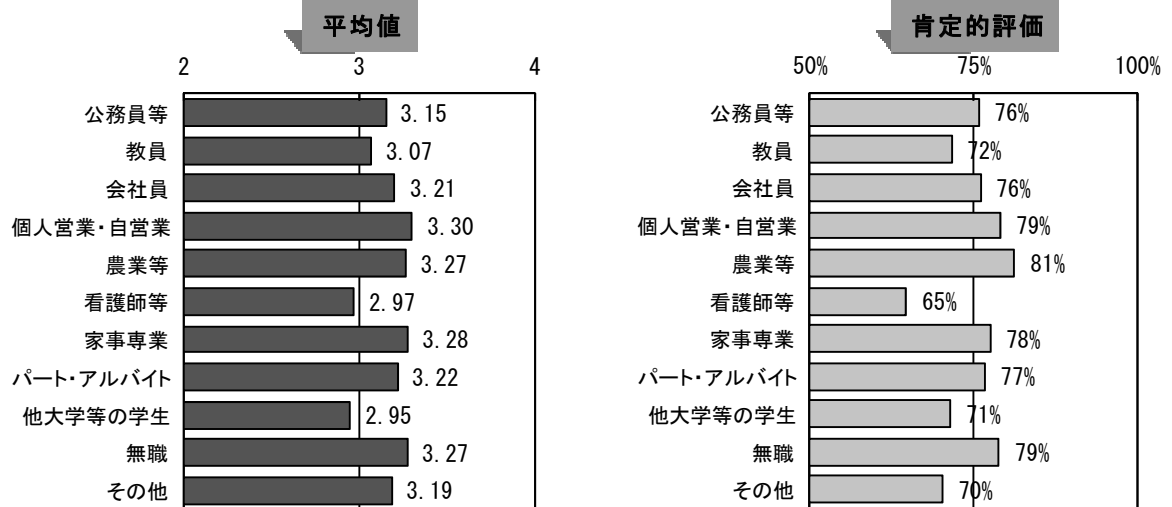
図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



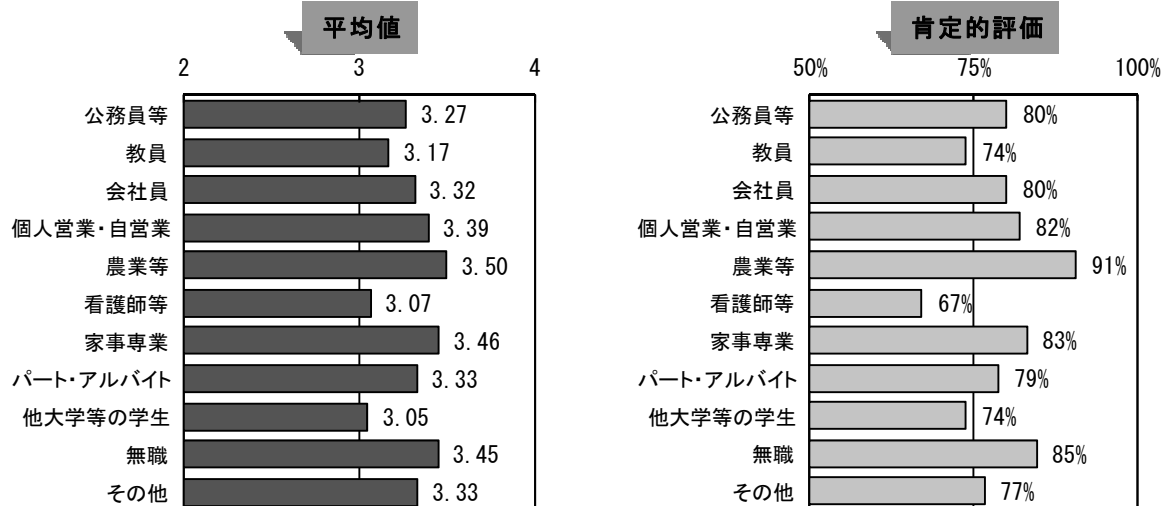
職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図 2-36）、全体的に「看護師等」の評価が低く、不規則な職業のため放送時間に合わせた視聴が難しい状況や、彼らの講義内容に対する要求の高さがうかがえる。一方、「農業等」の評価はいずれの項目も評価が高い。

図 2 - 3 6 【学部】職業別の放送授業の評価

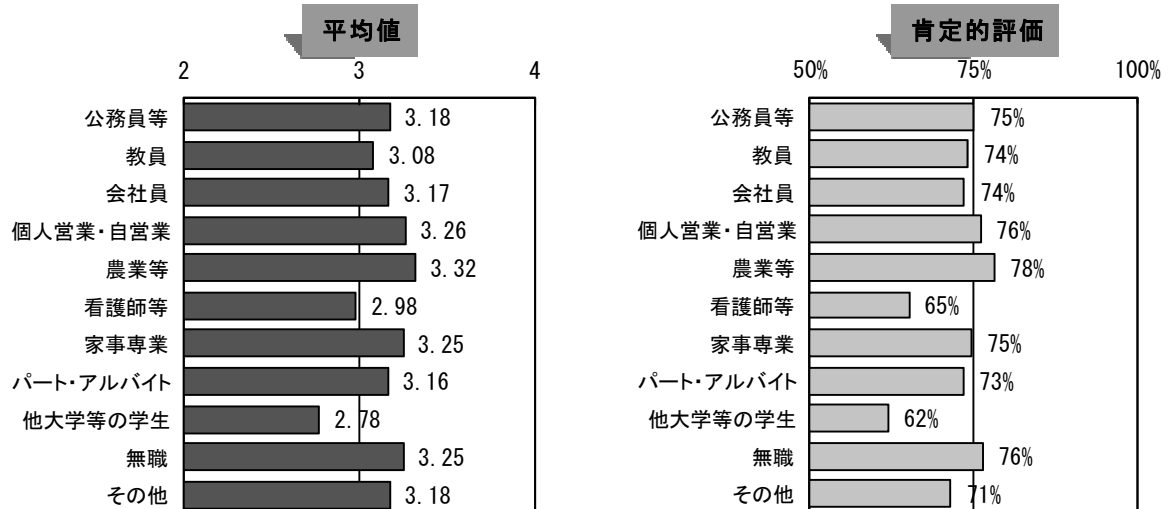
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった



(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた

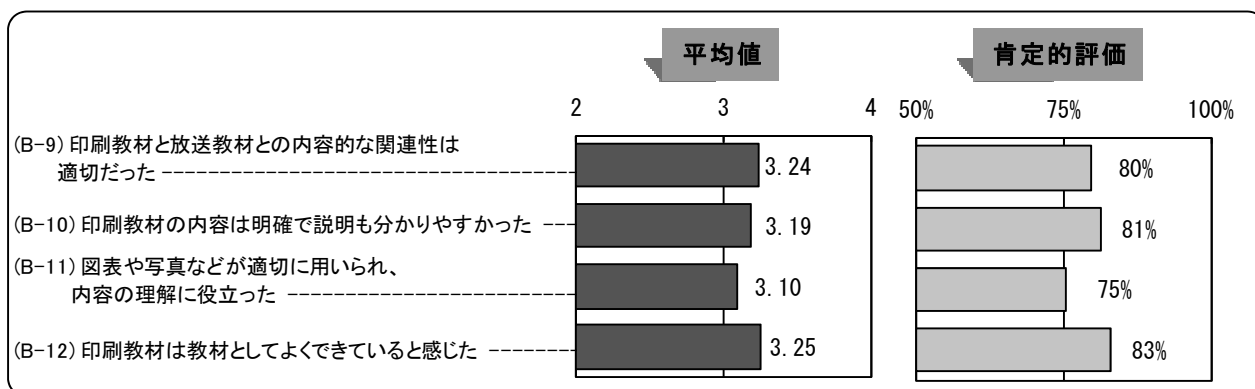


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

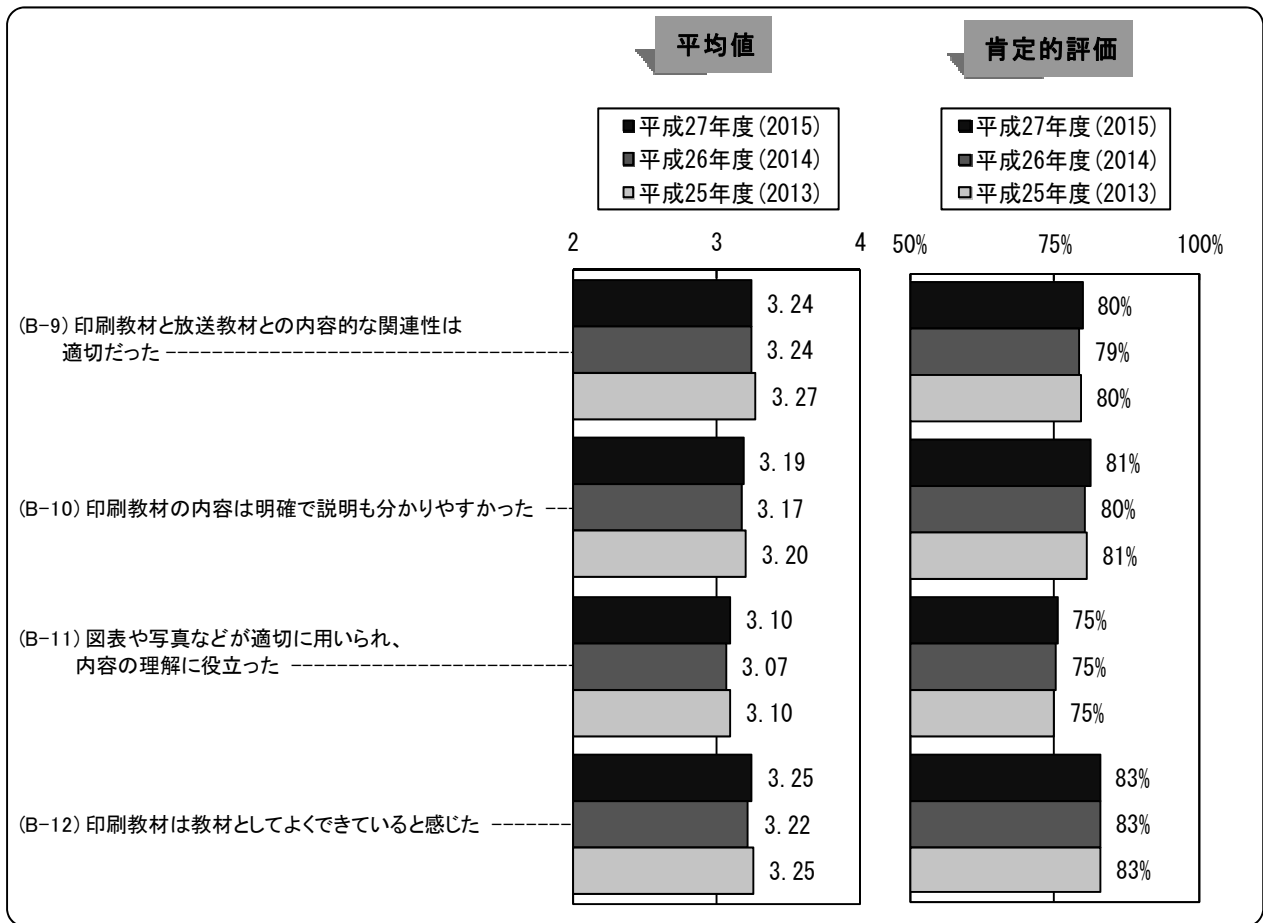
印刷教材の評価項目では(図2-37)、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が平均値 3.25、肯定的評価 83%と高い評価のため、印刷教材として総合的に高評価といえる。また(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」も高い評価であるが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。自由記述でも図表や写真・参考文献・用語解説などに対する改善要望が見られたので、それらを参考にしたより理解しやすい教材に期待している様子が見えがえる。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると(次頁図2-38)、いずれの項目においても2013年度とほぼ同じか、やや低い。

図 2 - 3 8 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）

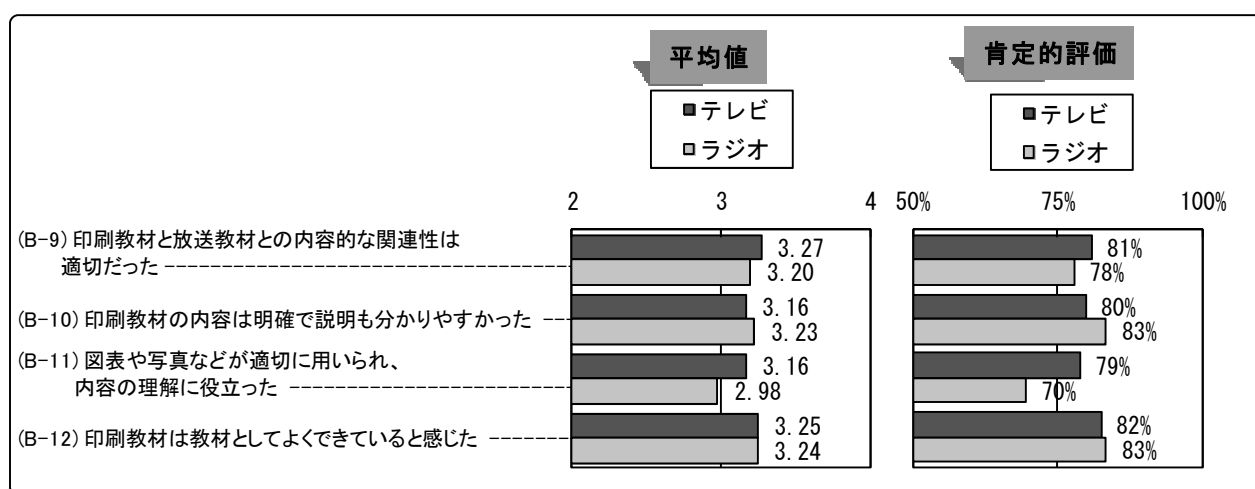


メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、前年度まではテレビ科目のほうがラジオ科目よりも評価が高い項目が多かったが、今回は肯定的評価の割合においては（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と B-12「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の項目では、テレビ科目の評価よりラジオ科目の評価が高くなっている。

（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」においてはテレビ科目とラジオ科目の評価の差はまだ大きいですが、ラジオ科目の印刷教材の改善は全体としてはわずかながら進んでいるということがうかがえる。

テレビ科目の評価が下がったことに関しては、綿密な分析と対策が必要となろう。

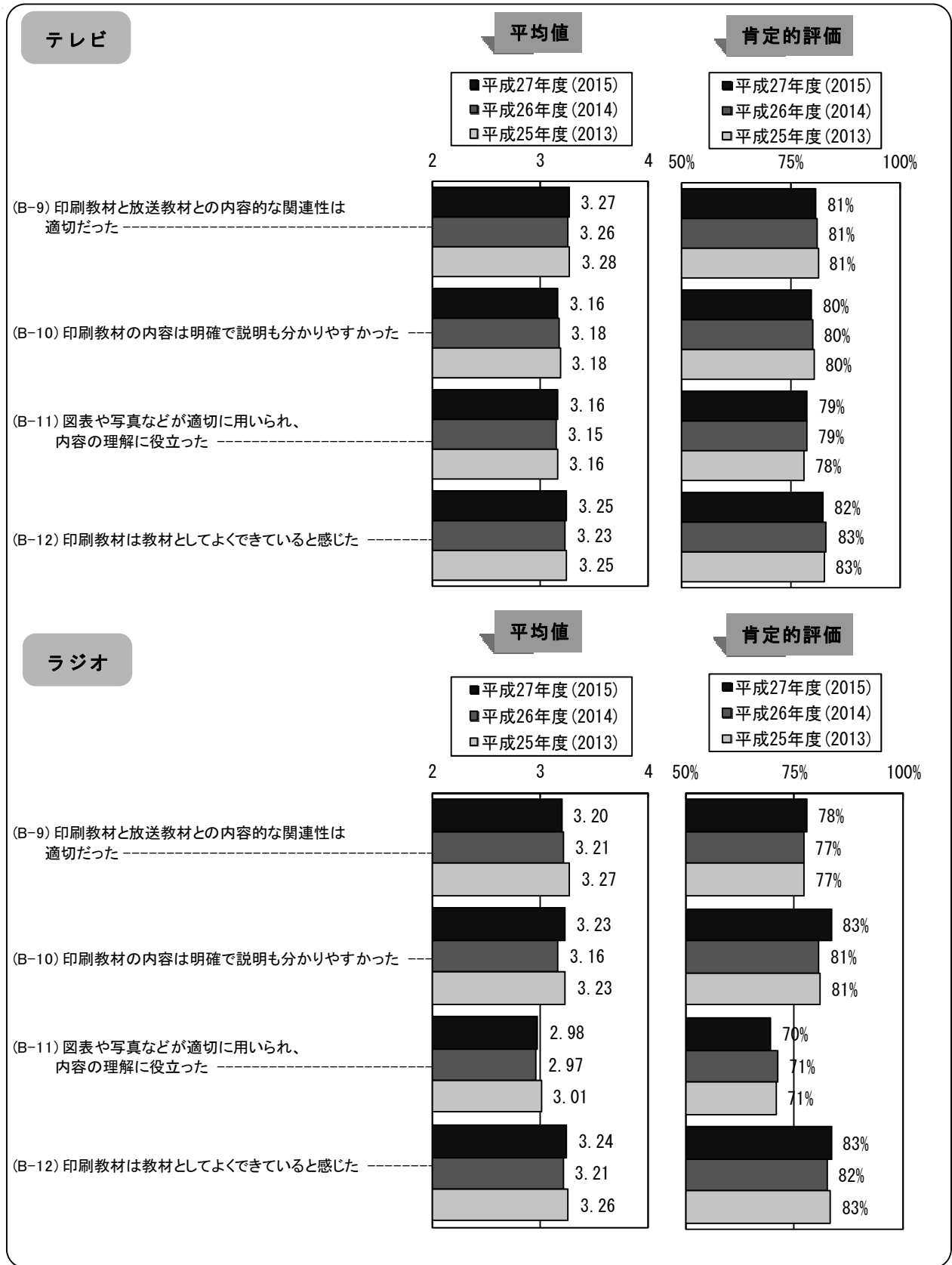
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（次頁図2-40）、テレビ科目の肯定的評価はいずれの項目でも横ばいかわずかに低くなっているが、平均値では、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の項目以外の3項目で前年度を上回っている。ラジオ項目では平均値では（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」以外の3項目で前年の評価を上回っているほか、肯定的評価においても、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」の項目以外の3項目で前年を上回っている。

印刷教材の改善の効果は出始めており、特にラジオ科目においてそれが顕著であると言えるが、映像-音と印刷物の相関性も影響していると考えられる。テレビでカラーの図表を見たり、動画を見ると印刷物の写真は物足りなくなるであろうし、反対にラジオでは想像力が高まり、印刷された図表がイメージとして拡大されることも考えられる。実際に自由記述では、それをうかがわせる書き込みも散見された。

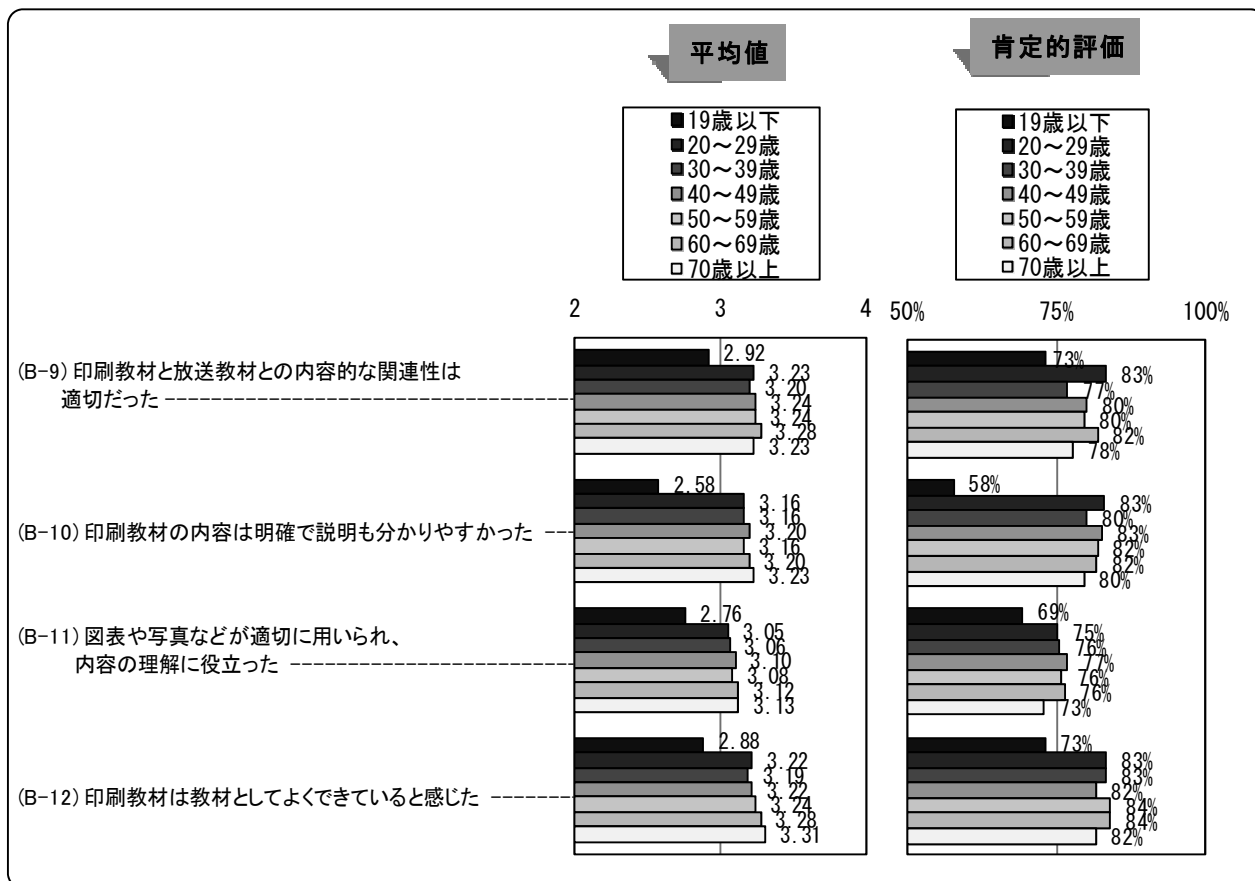
図 2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）わかるように、全体として高い値となっている。しかし、全ての評価項目において、平均値・肯定的評価ともに19才以下の年代の評価が低い傾向である。読書量や社会経験などが反映されるのか、20歳代以上の年齢層と19歳代以下の年齢層との間に理解度においてギャップがある。

しかし、先述したが、19歳以下が「物足りない」と考えているのか、「難しすぎる」と感じているのかは、ここからは読み取れない。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価

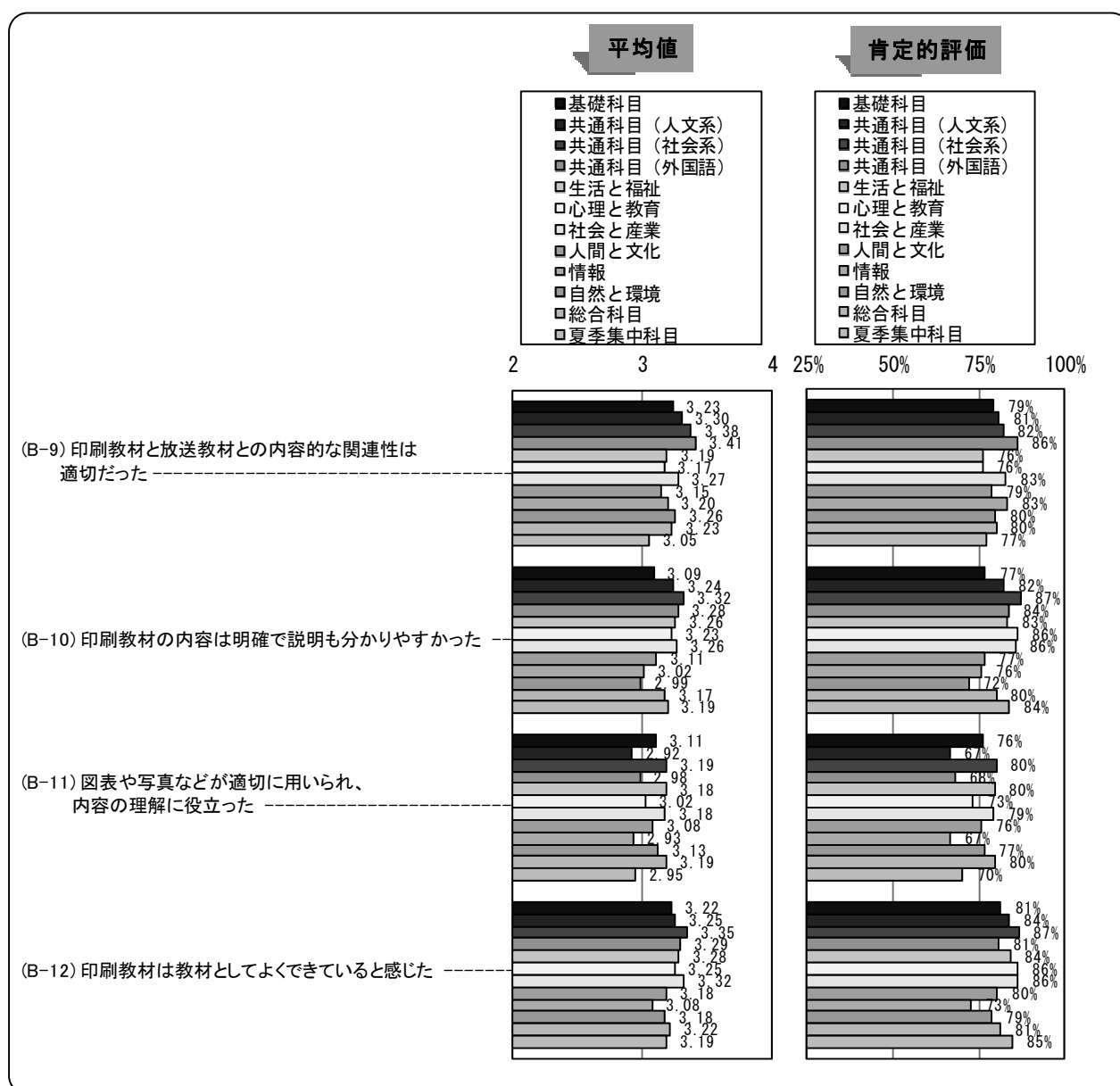


所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、全体的に共通科目（社会系）が平均値・肯定的評価の割合ともに評価が高い。

一方、「共通科目：外国語」が（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」において評価が低いのは、図表や写真をあまり必要とせず学べるような科目内容だったからではないかと推測される。それでも、評価自体としては分析全体を通して高い方である。

「夏季集中科目」は（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」の評価が著しく低く、印刷教材と放送教材の連動制・整合性に改善が必要と感じられる。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

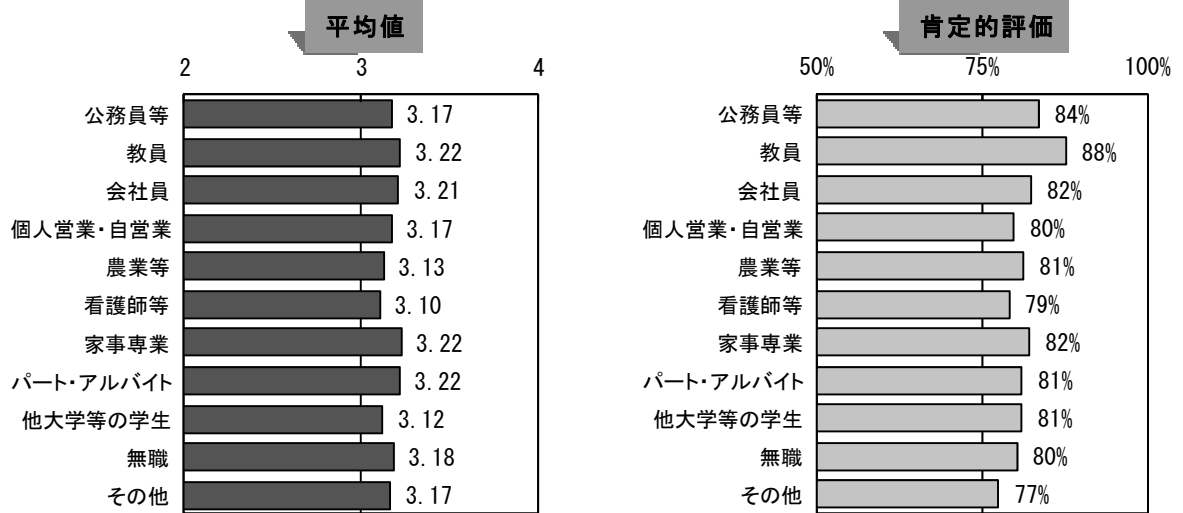


職業別の印刷教材の評価では（次頁図 2 - 4 3）、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は平均値、肯定的評価ともに「農業等」が高いのに反し、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では「農業等」の肯定的評価はやや低い。

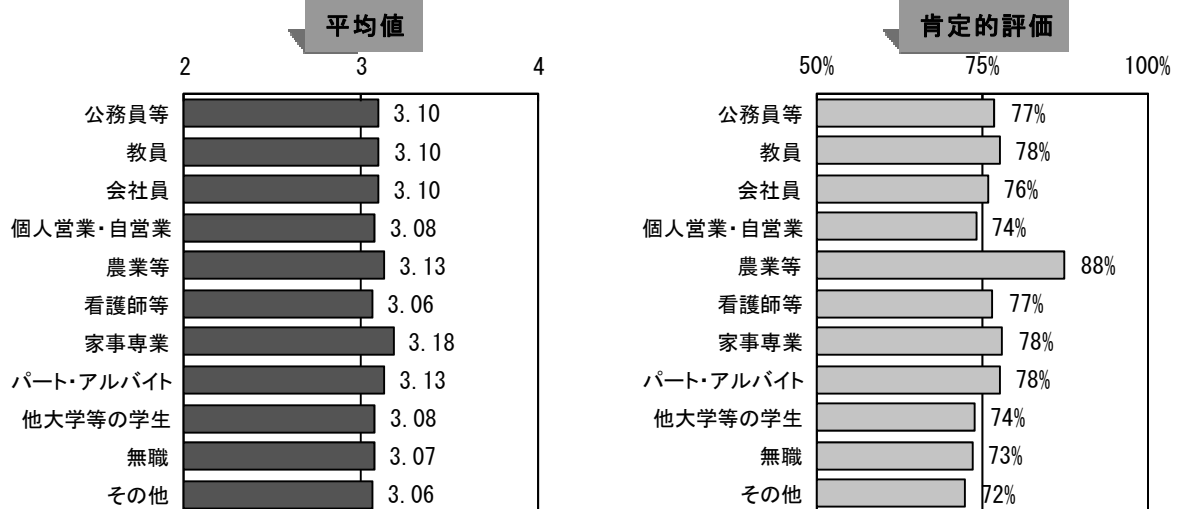
「看護師等」でも(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は高いが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」はやや低くなっている。印刷教材に盛り込む資料の改善が必要とされる。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

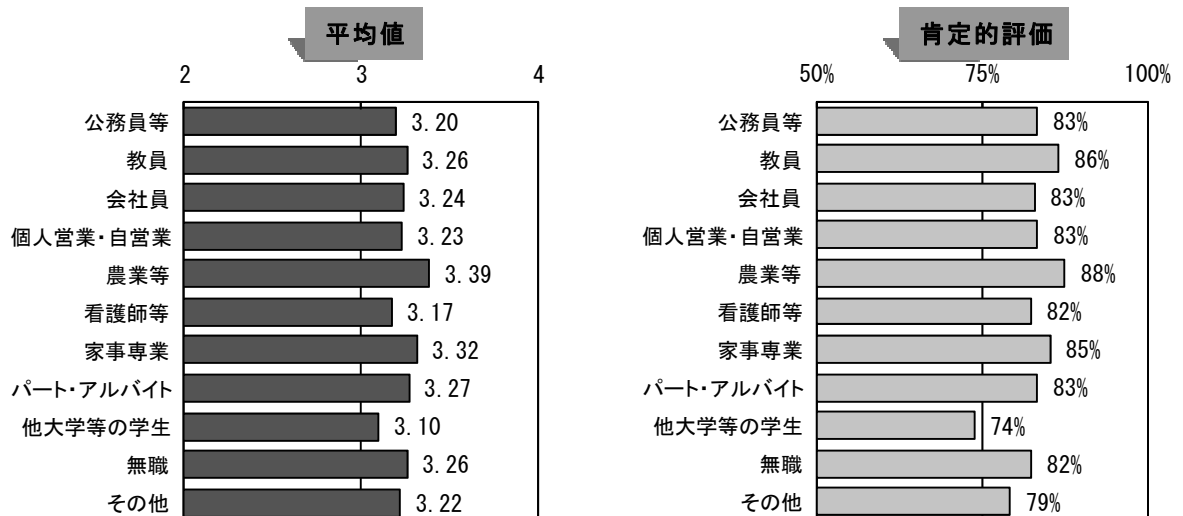
(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた



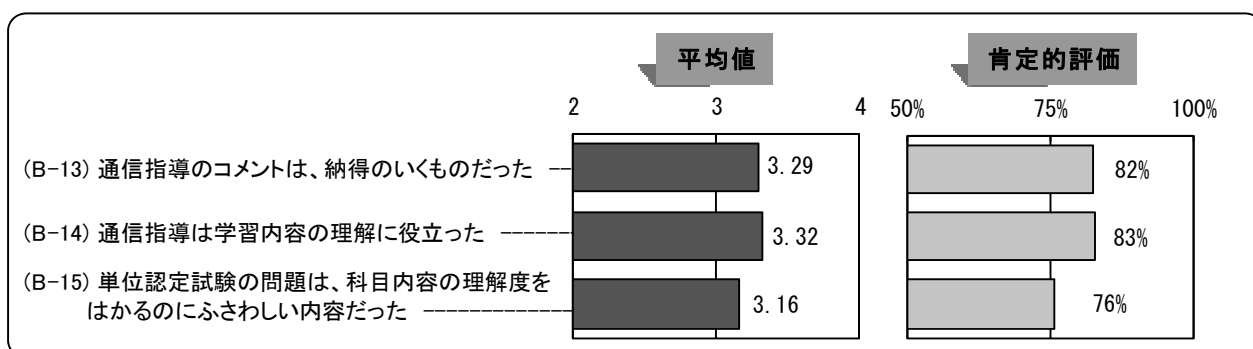
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.29、肯定的評価 82%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.32、肯定的評価 83%と、いずれも高い評価を得ている。

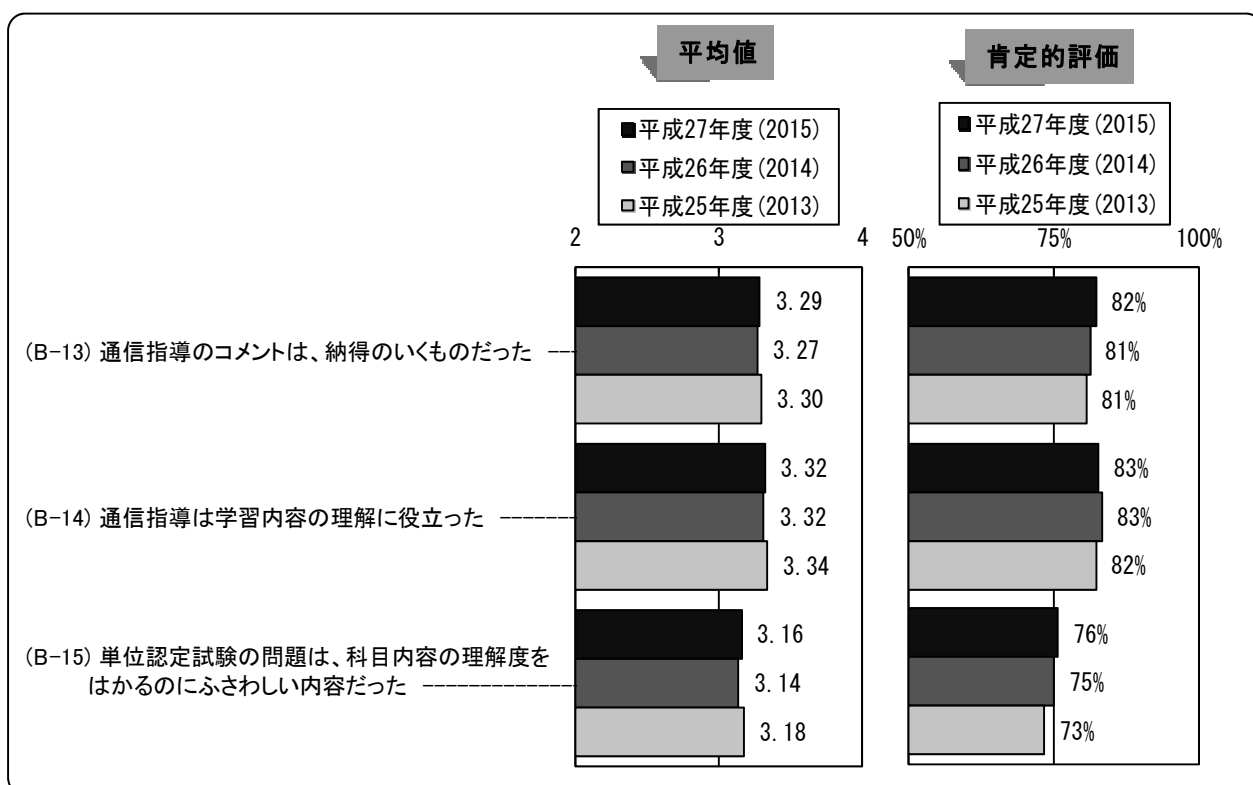
単位認定試験については、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.16、肯定的評価 76%と比較的评价が低い。

図2-44 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-45)、総じて平均値では2013年度よりやや評価が低くなっているが、肯定的評価ではわずかに高くなっている。

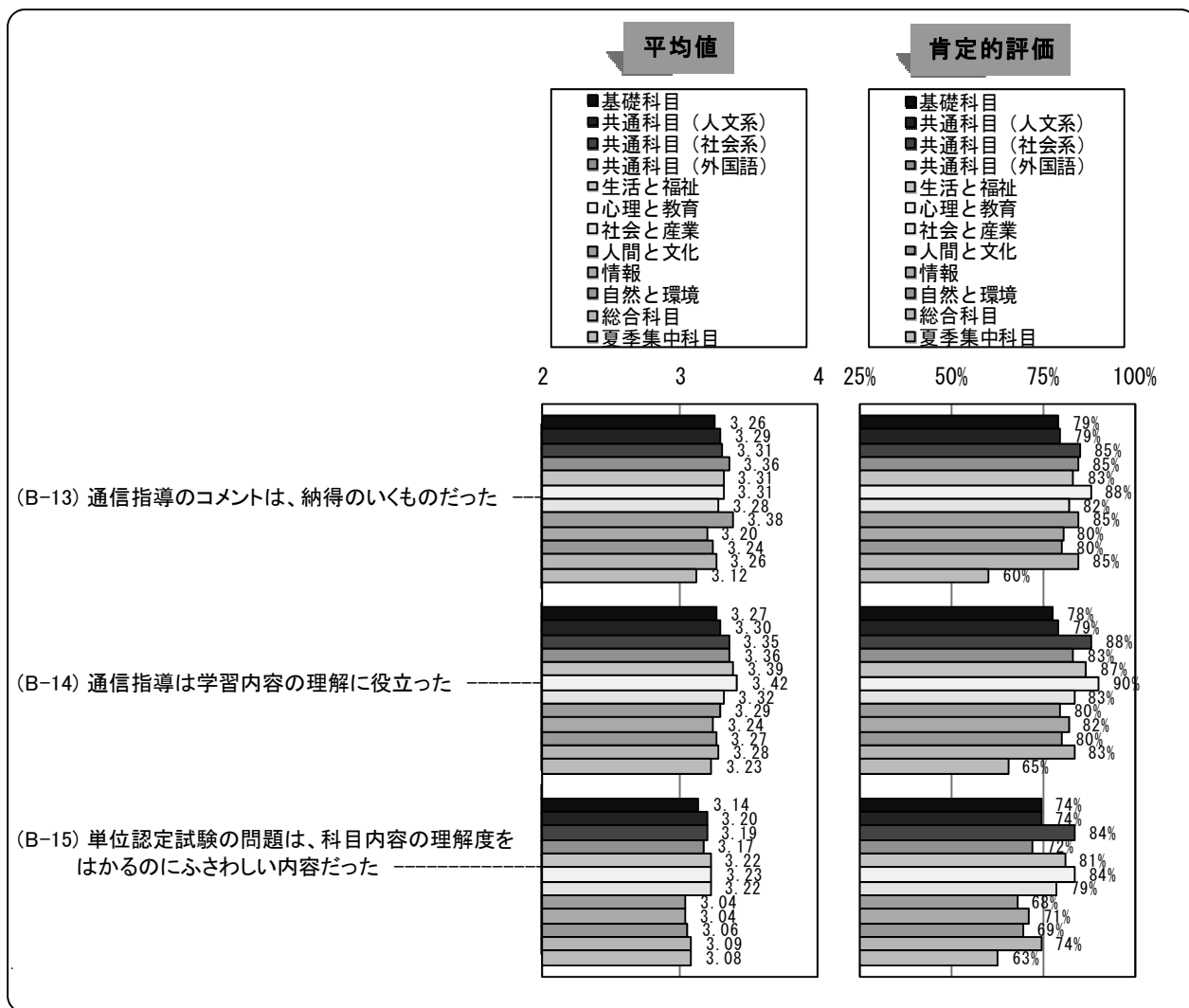
図2-45 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、全ての項目において「心理と教育」の評価が高い。

一方、全ての項目において「夏季集中科目」の評価は相対的に低い。自由記述などの内容を精査し、原因を読み取り改善すべきであろう。

図2-46 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



単位認定試験の評価が低いことに関しては、放送授業との関連が考えられる。自由記述をみると、「放送授業ではやったようだが、印刷教材に書いていなかったことが、試験に出た。」という内容の記述が散見された。「放送教材と印刷教材の両方で学習した」学生が 58%であったことを考えると、放送教材と印刷教材の連動性や、放送授業への呼び込みに改善が求められる。

Ⅱ－１－４．参考

ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数（以下、相関係数）を用いた。相関係数については巻末の参考資料を参照されたい。

ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係（つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ）は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。

この分析では、「いずれの項目を基準に、いずれの項目との相関を見るのか？」ということが分析において重要である。概して、総合的な評価は個別の評価を考慮してなされることを前提として、総合評価を基準にそのような評価となった個別評価はいずれの項目か、という観点から総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

（表２－２）は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）を元にした放送授業の各項目との相関の分析と、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）を元にした放送授業の各項目との相関の分析を並べたものである。

表 2 - 2 【学部】放送授業と各項目との単相関係数

	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A-2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.407
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.411	0.610
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.426	0.612
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.422	0.765
(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.450	0.719
(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.407	1.000
(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.408	0.703

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢)と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価)の相関係数は0.407と、相関は見られるものの、弱い相関となっている。つまり放送授業の取組姿勢は放送授業の評価とは、あまり関連性が強くない事を示している。

それに比べ、放送授業の総合評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と各項目の相関は軒並み高く、特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた・【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の相関係数は0.7を越え、極めて強い相関となっている。

次に、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)を基準に印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)を基準に印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果を並べたものが(表2-3)である。

表2-3 【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.318
(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.322	0.592
(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.329	0.590
(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.244	0.573
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.316	0.759
(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.257	0.702
(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.318	1.000

これを見ると、やはり取組姿勢と評価の間にはあまり強い相関はない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関は強い。特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は強い相関が見られる。

最後に(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」の3項目をそれぞれ基準として各評価項目の相関係数を見たのが表2-4である。

表 2 - 4 【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.449	0.415
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.558	0.265	0.253
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.676	0.412	0.342
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.371	0.541	0.549
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.351	0.493	0.520
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.334	0.601	0.606
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.322	0.557	0.567
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.349	0.523	0.589
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.353	0.415	0.503
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.338	0.485	0.583
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.304	0.422	0.494
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.310	0.469	0.531
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.317	0.606	0.625
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.282	0.473	0.519
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.311	0.560	0.636
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.274	0.417	0.499
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.308	0.448	0.528
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.254	0.482	0.550
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.319	0.531	0.599
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.430	0.615	0.736
	(B-18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.418	0.592	0.689
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.449	1.000	0.759
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.415	0.759	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）を見ると、取組姿勢に関する評価項目に関しては高い相関を示しているが、他評価項目との相関は非常に弱い。理解度と 0.499、満足度とは 0.415 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間の相関も決して強くない。

一方、理解度と満足度の相関係数は 0.759 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。尚、これまでの分析で注意すべき点は、「相関が強い」ということはすなわち「評価が高い」ということにはならないことである。つまり、元となる項目と低い評価が一致するところが多いため相関が強くなった、というケースも考えられるのである。

従って、改善点を洗い出す方法としては、次のアプローチが有効である。

- (1) 母集団から、評価の元になる項目で低い評価を出している標本を新たな母集団として抽出する
- (2) 新たな母集団で、評価の元になる項目と各項目の相関係数を求める。
- (3) その相関が強いということは、その項目は評価の元になる項目の評価が低い原因となっていると考えられる。

このようにして改善すべき項目を絞り込む。

このアプローチで放送授業、印刷教材について分析した結果が次頁の表 2 - 5 である。

表2-5 【学部】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。 (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.088
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.308
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.010
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.392
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.410
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.065
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.075
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.537
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.507
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8) 【TV】 テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.486
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.407
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.119
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.051
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.087
通信指導・単位認定試験	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.092
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.093
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.043
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.133
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.162
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.132
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.109
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.103

表から読み取れるのは、講師に関する項目の値が高い場合、放送授業に対する評価の低さと強い相関にあると考えられる。特に (B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、わかりやすかった」が 0.537、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が 0.507 と強い相関を示している。つまり、放送授業の評価に関しては、良くも悪くも「講師の説明と熱意」が強く関わっていることを示している。同じように、相関係数の高い項目に改善のポイントがあると推察できる。

次に、印刷教材についても同様の分析を行ったのが（次頁表 2 - 6）である。

表2-6 【学部】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。 (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.128
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.064
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.102
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.305
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.291
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.344
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.328
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.308
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.242
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.343
	(B-8) 【TV】 テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.278
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.342
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.456
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.418
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
通信指導・単位認定試験	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.242
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.248
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.234
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.331
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.302
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.290
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.319
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.359

この結果から読み取れるのは、「印刷教材の内容は必ずしも明確ではなかった／説明も必ずしも分かりやすくなかった」「図表や写真などが必ずしも適切に用いられていなかった／必ずしも内容の理解に役に立たなかった」と感じている学生が、印刷教材の評価を低くする要因となっている可能性も高いということである。

なぜか講師の項目ともある程度の相関が見られるが、授業というものは放送・印刷教材の両方で受けるものなので、アンケートで評価を下すにあたっては必ずしも放送授業・印刷教材という区分で分けられないケースもあるのではないかと推察される。

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

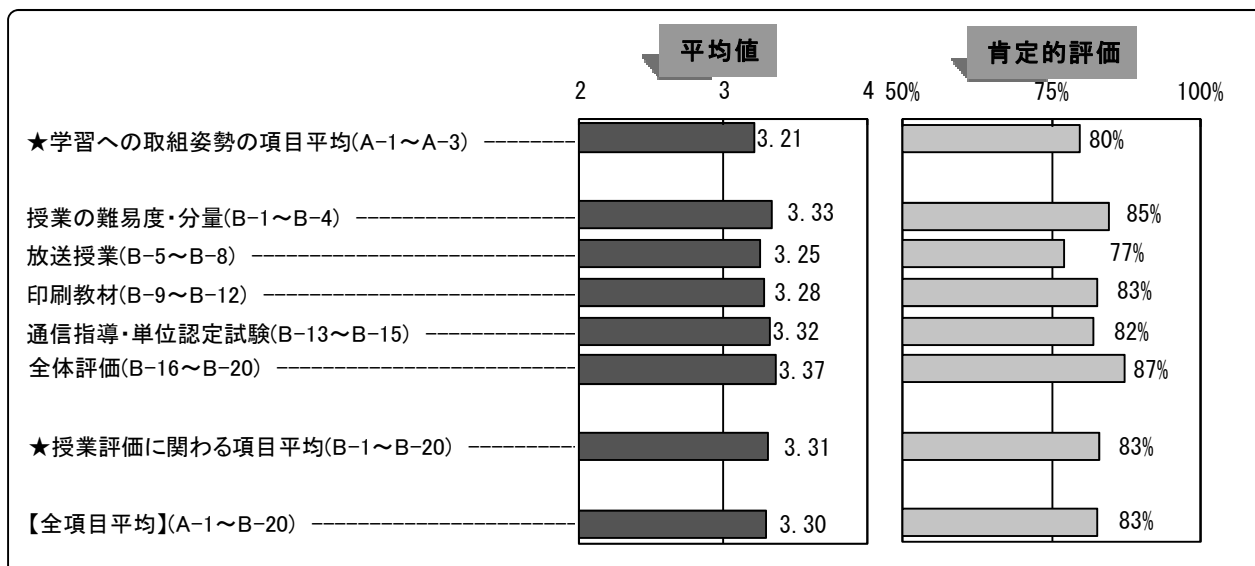
ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが（図２－４７）である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、やはり大学院は学部生に比べて取組姿勢・授業評価がやや高く、違った傾向がうかがえる。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値が 3.21、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）が 80%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値が 3.31、肯定的評価が 83%と高い値を示している。高い意識で学習に取り組んでいること、また授業に対する評価が高いことが特徴的である。

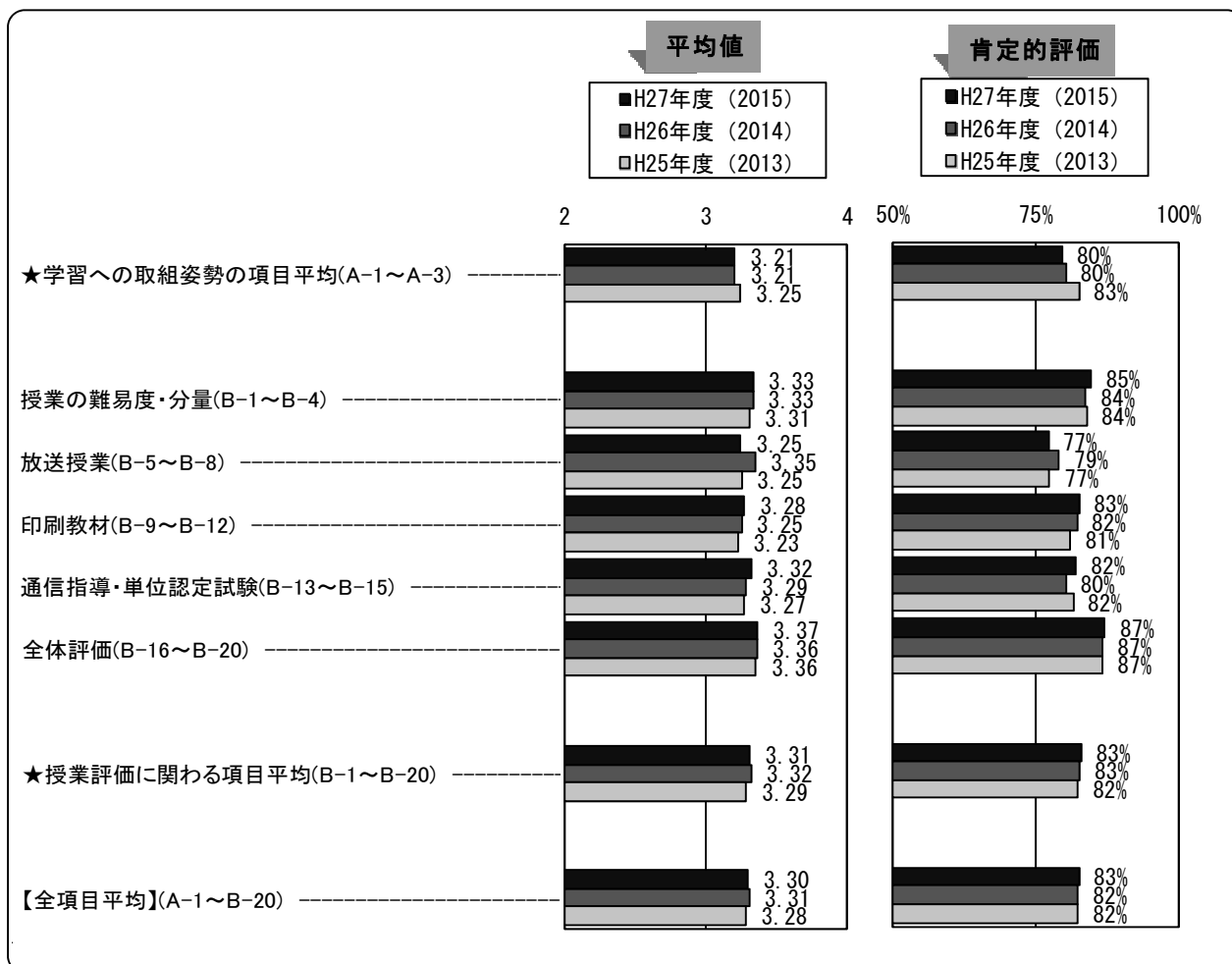
『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとに見ると、『全体評価』は平均値 3.37、肯定的評価 87%と評価が高い。しかし『放送授業』『通信指導・単位認定試験』は平均値が高いが、肯定的評価では他の項目に比べてやや低い割合となっている。特に『放送授業』は 77%と低い数字を示している。

図 2－47 【大学院】項目平均による全体的傾向



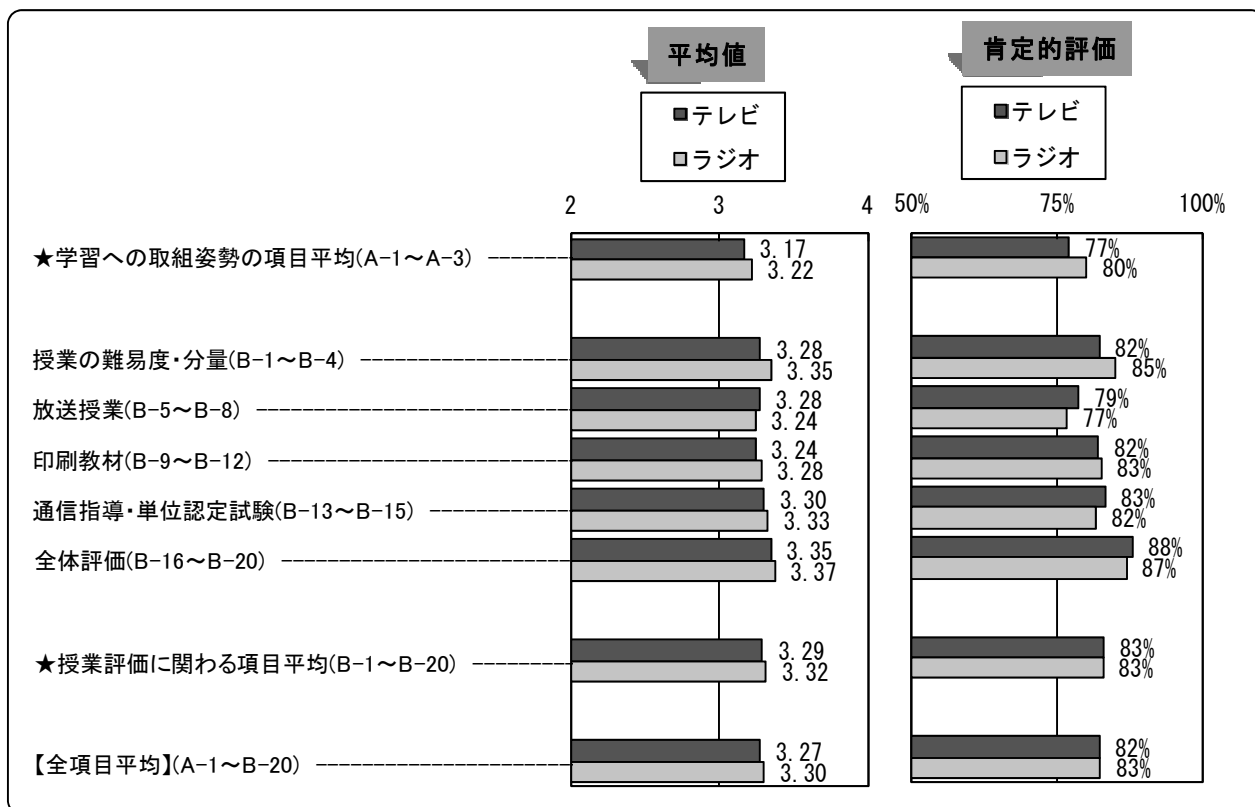
項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-48）、2015年度新規開設科目は、2014年度新規開設科目に比べ、『学習への取組姿勢の項目平均』を時系列で見た場合は平均値、肯定的評価ともに横ばいである。その他の項目では、放送授業を除いてほぼ昨年水準を保っている。

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2014 年度新規開設科目の項目平均を見ると (図 2-49)、『学習への取組姿勢の項目平均』『授業評価に関わる項目平均』ともに、テレビ科目に比べてラジオ科目の評価が高い。

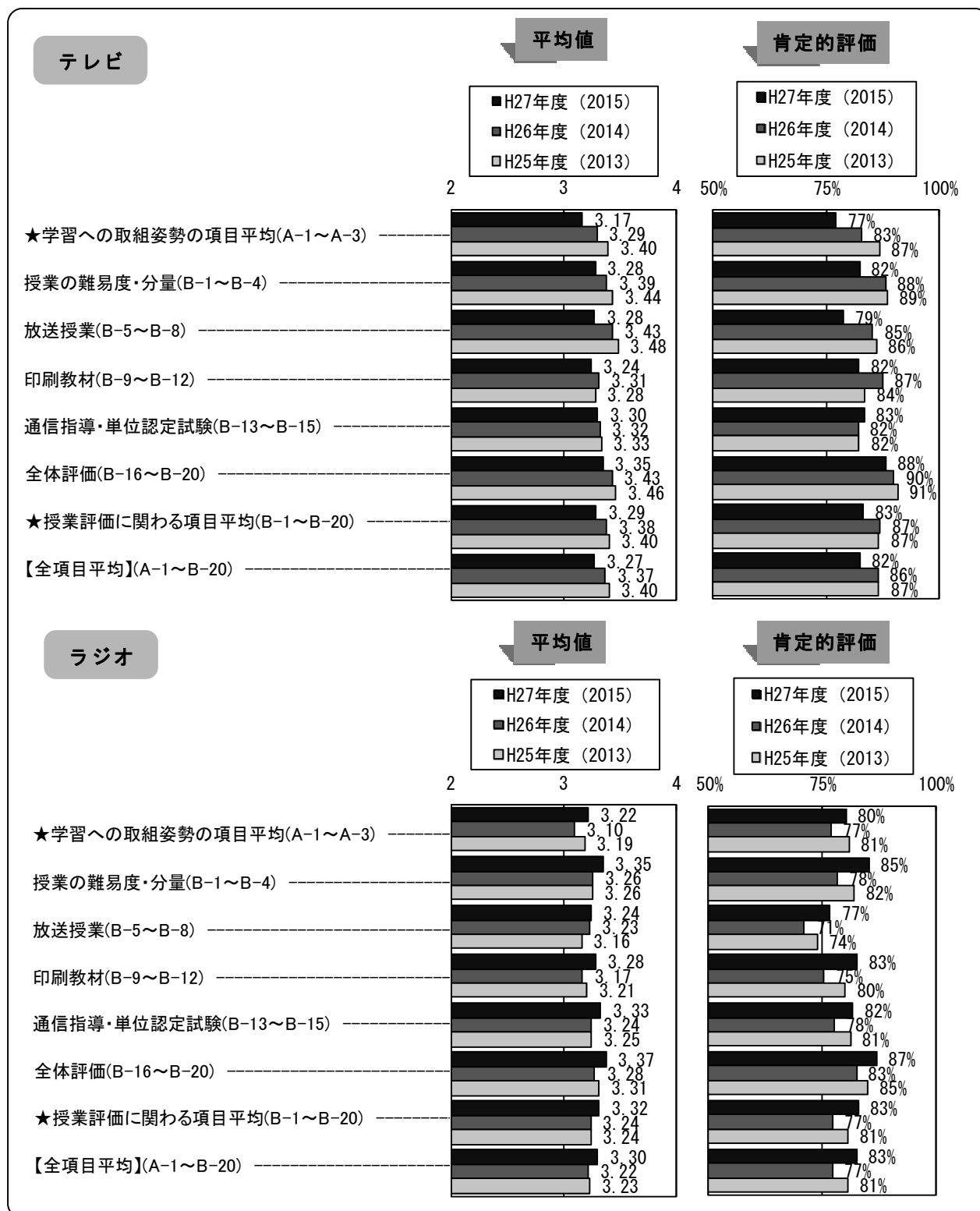
図 2-49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると（図2-50）、2015年度新規開設科目では、2014年度新規開設科目に比べ、テレビ科目は『学習への取組姿勢の項目平均』も『授業評価に関わる項目平均』も低くなっている。

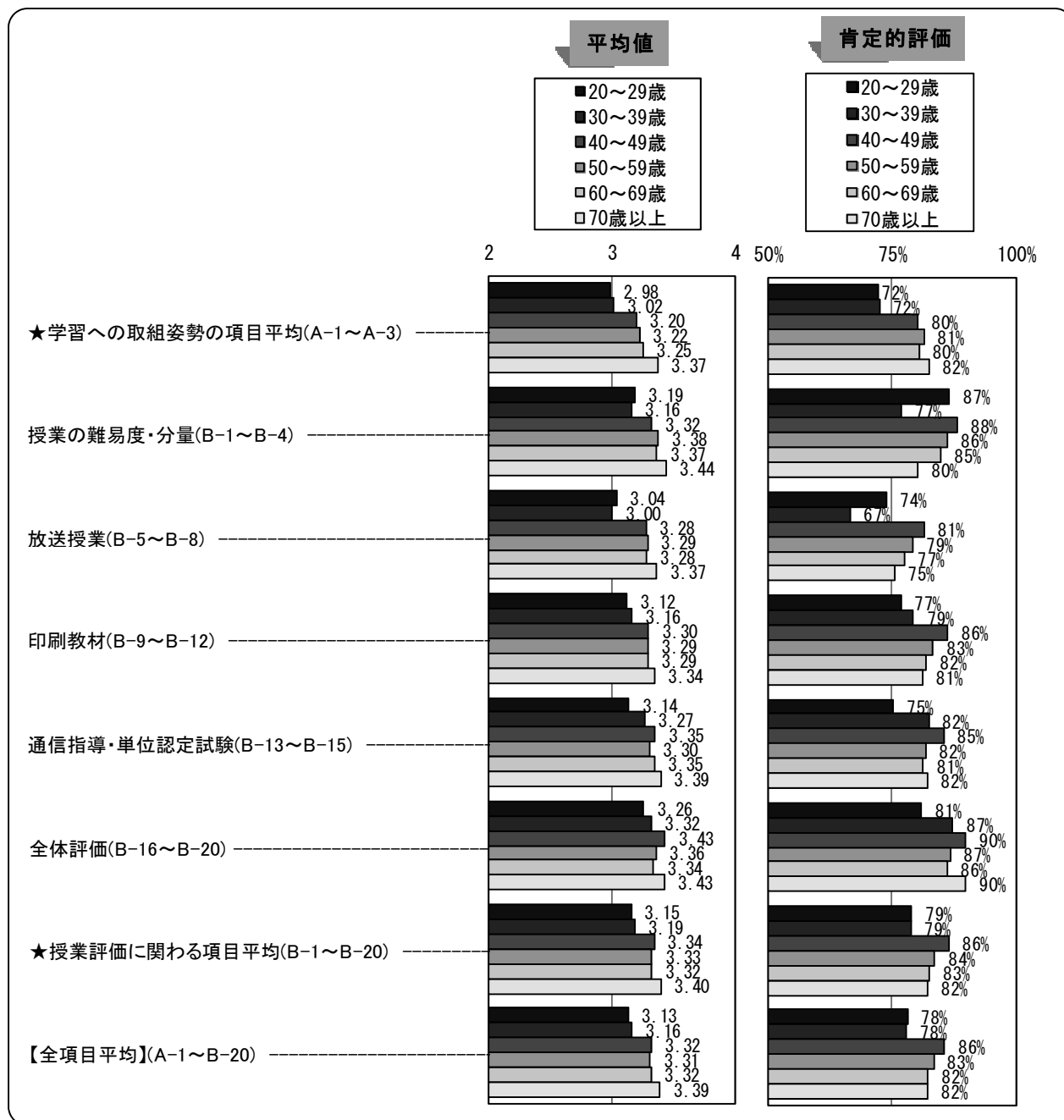
ラジオ科目では平均値も肯定的評価も昨年の水準を上回っている。

図2-50 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別で 2015 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図 2-5 1）、ほとんどの項目において 70 歳以上が高い傾向にある。肯定的評価は 40 歳代以上で高くなる傾向を示している。しかし 30 歳代で、『放送授業』の評価が目に見えて低くなっている。

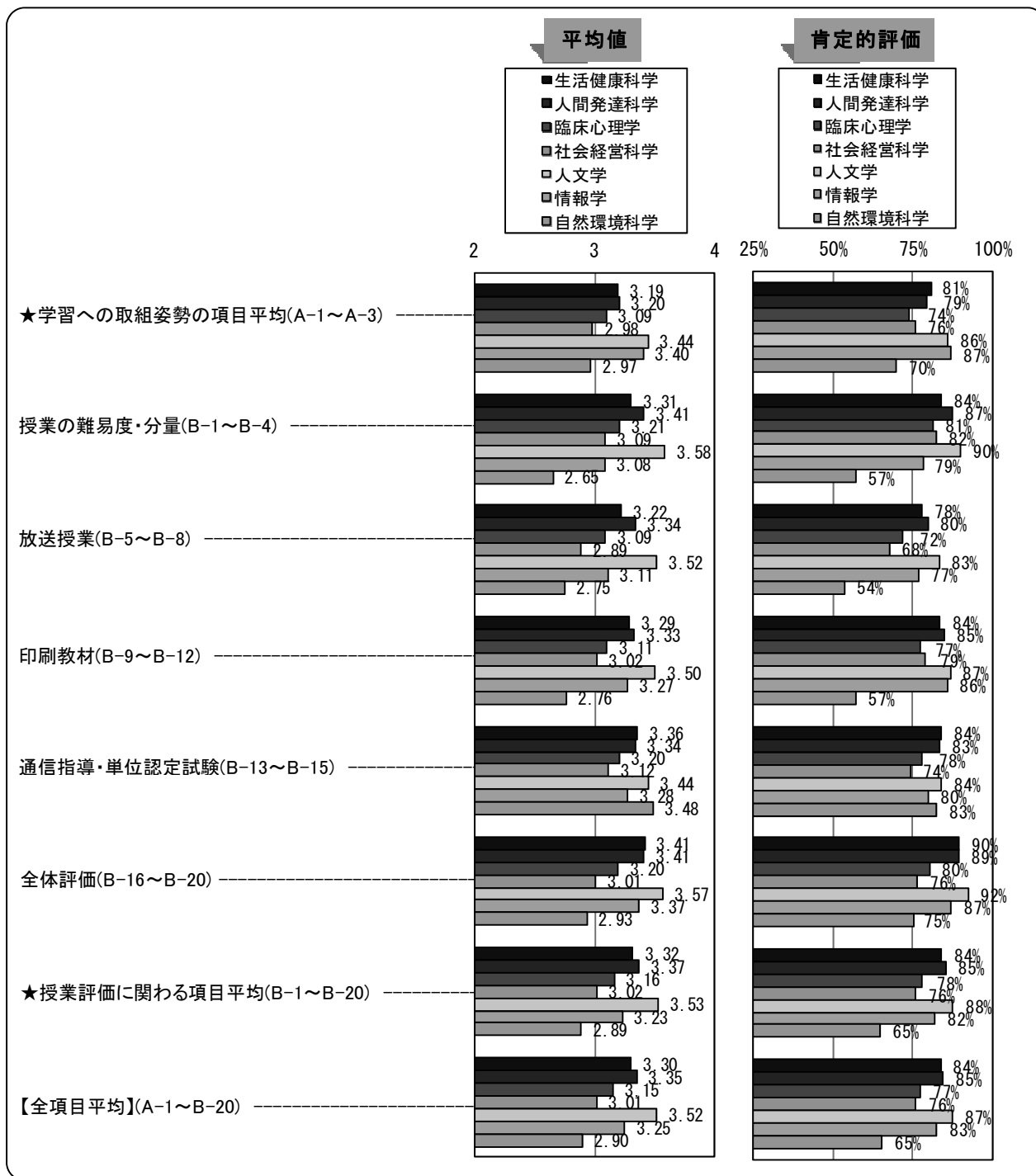
図 2-5 1 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると（図2-52）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「人文学」、「情報学」の値が高くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は、「人文学」、「人間発達科学」の評価が高い。一方で「自然環境科学」は多くの項目で低くなっており、改善が求められる。

図2-52 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

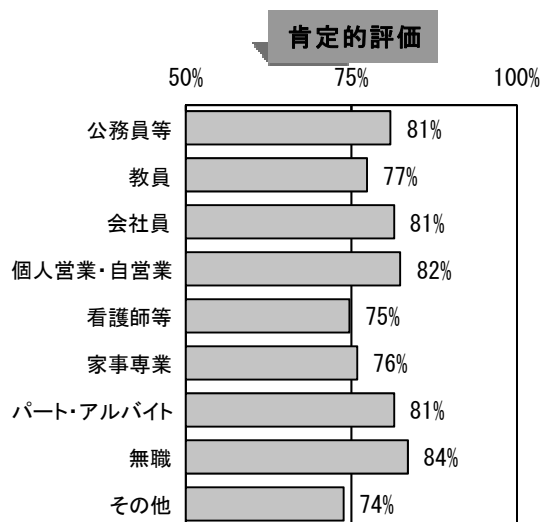
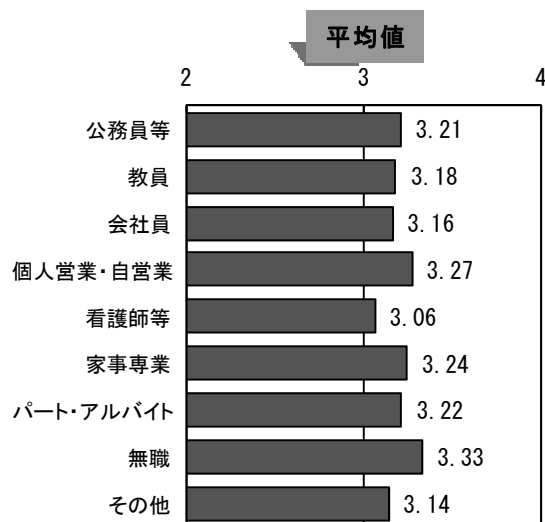


職業別に項目平均を見ると（次頁図2-53）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「無職」で評価が高く、「看護師等」で低くなっている。

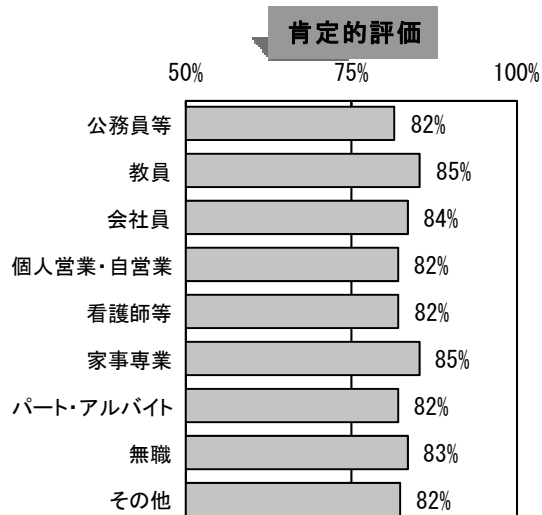
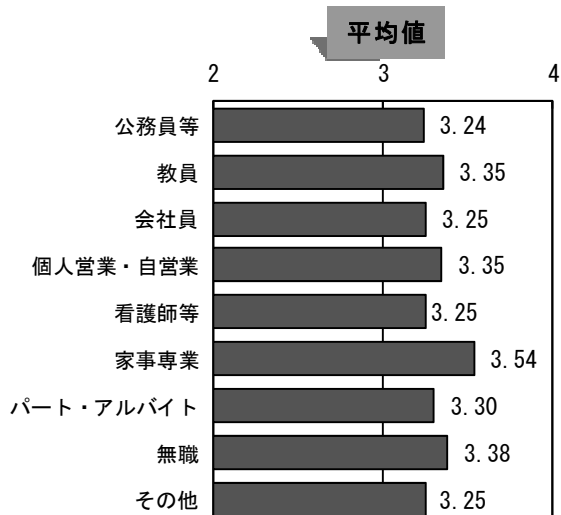
『授業評価に関わる項目平均』は、「公務員等」「会社員」「看護師」「その他」の評価がやや低めだが、他はまずまず高い水準になっている。

図 2 - 5 3 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

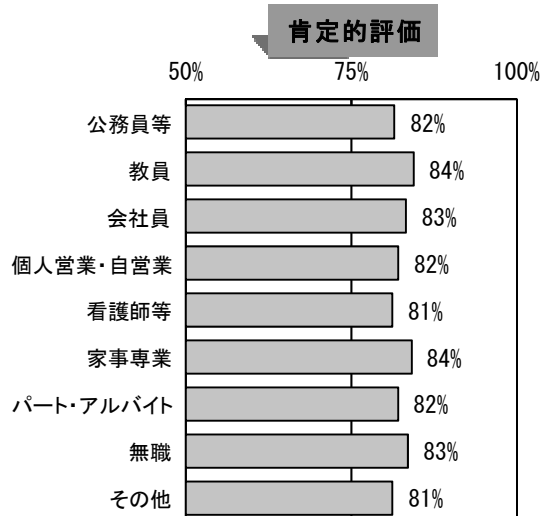
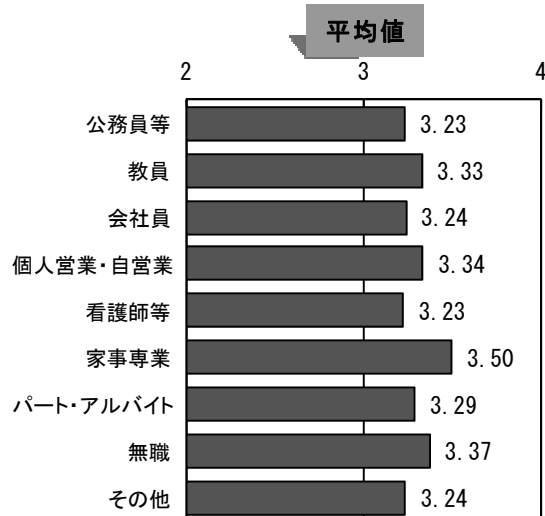
★学習への取組姿勢の項目平均(A-1~A-3)



★授業評価に関わる項目平均(B-1~B-20)



【全項目平均】(A-1~B-20)

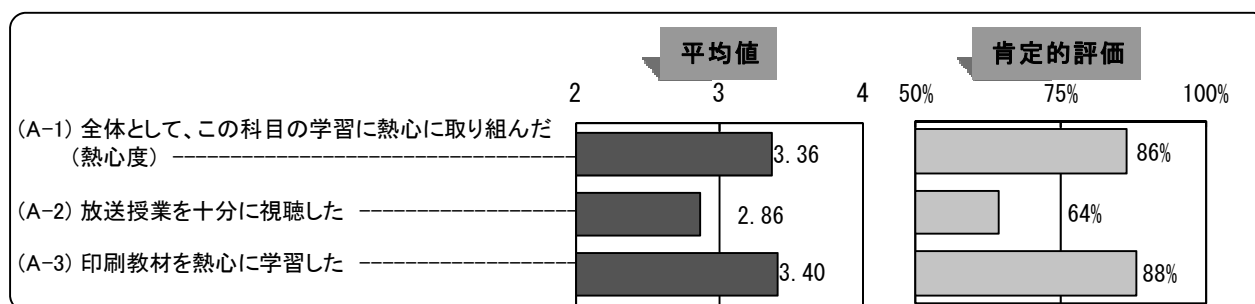


Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

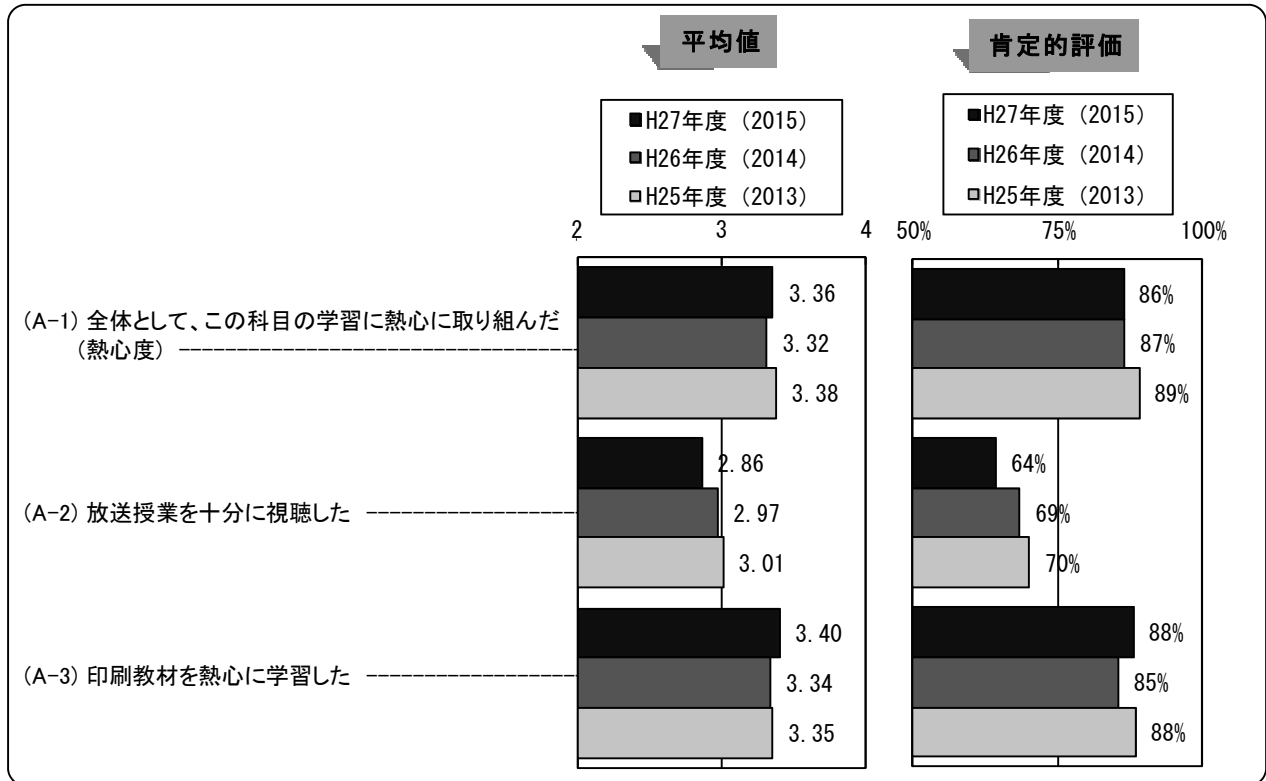
学習への取組姿勢（図 2－5 4）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、平均値 3.36、肯定的評価 86%で、熱心に学習されている。同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.40、肯定的評価 88%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.86、肯定的評価 64%と低くなっている。学部と同様、全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、印刷教材での学習が中心となっている。印刷教材に比べ放送授業の視聴度合いがよくないのは、時間的な制約も考えられるが、放送授業の内容そのものが影響しているとも考えられるので、今後もより興味・関心を引く講義への改善努力を進めるべきであろう。

図 2－5 4 【大学院】回答者全体の取組姿勢



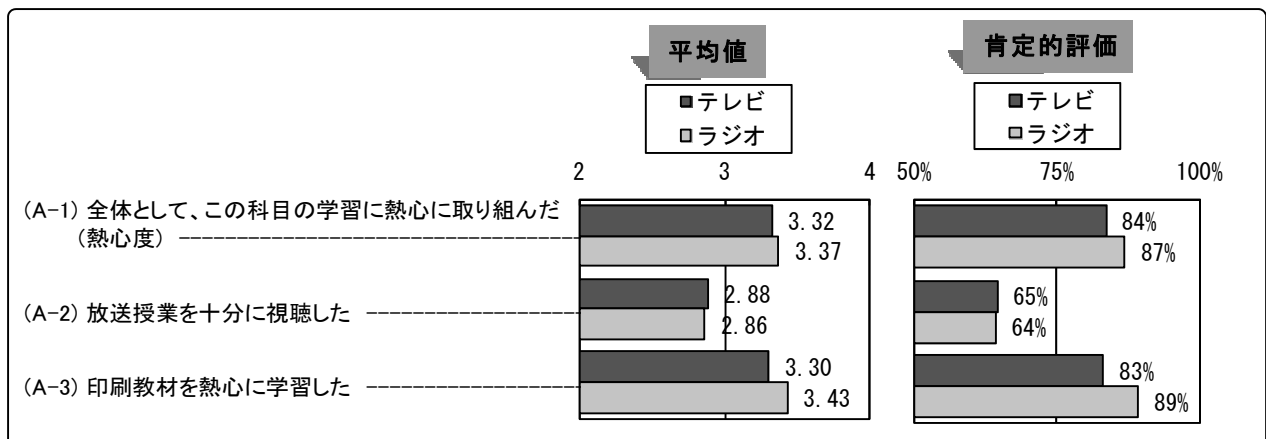
学習への取組姿勢を時系列で見ると（次頁図 2－5 5）、平均値において (A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の 2 項目では 2014 年を上回っている。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の評価は通年において低い。

図 2 - 5 5 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



メディア別の取組姿勢を見ると（図 2 - 5 6）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の 2 項目においてラジオ科目の方がテレビ科目より高い。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」ではラジオ科目がわずかに低くなっている。テレビ科目とラジオ科目の視聴度は同等の数字であるのに対し、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、ラジオ科目の方が印刷教材の視覚的イメージが膨らむせいか、高い評価を得ている。今後もテレビ科目、ラジオ科目ともに授業内容の見直し等を行うことにより、放送授業の視聴を上げていく必要があるだろう。

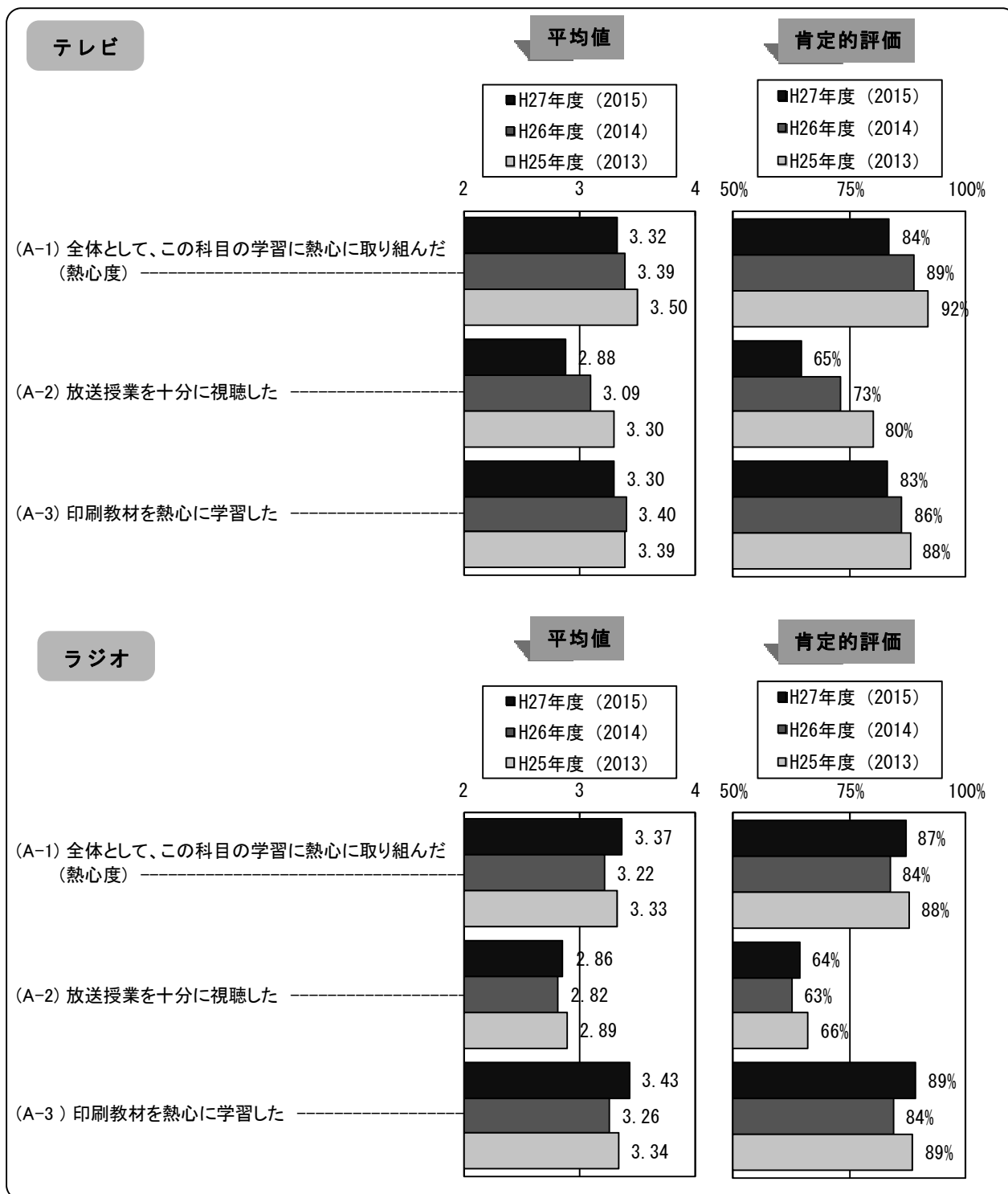
図 2 - 5 6 【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると(図2-57)、2015年度新規開設科目では、ラジオ科目はいずれの科目でも2014年度新設科目を上回ったが、テレビ科目はいずれの項目でも前年度を下回る評価となっている。

特に評価が低下したのはテレビ科目の(A-2)「放送授業を十分に視聴した」である。

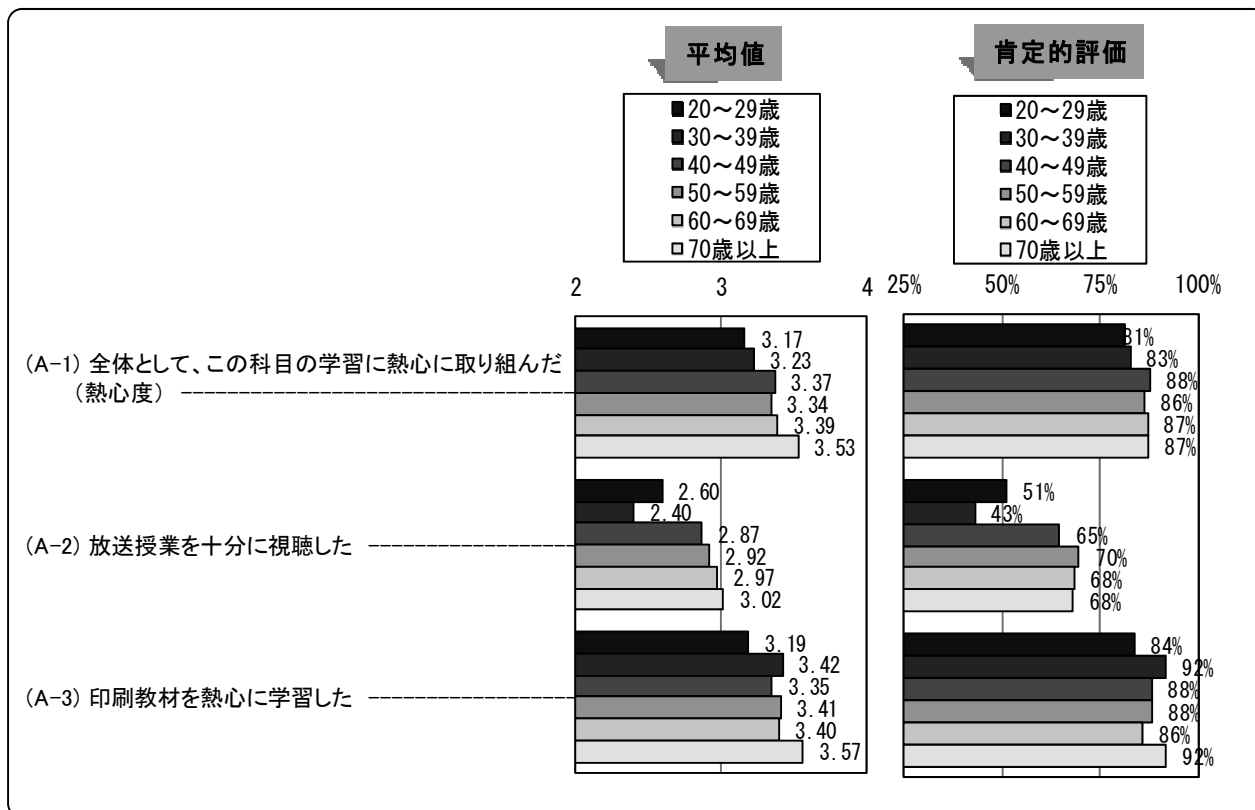
図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢(時系列)



年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-58）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では全ての年齢階層で評価が高く、同様に (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も全ての年齢階層で評価が高い。一方で (A-2)「放送授業を十分に視聴した」では全体的にやや低い傾向の中、30歳代の評価が際立って低い。

放送授業と印刷教材を比べると、総じて全ての年齢階層で学習の重心は印刷教材によっていることがうかがえる。

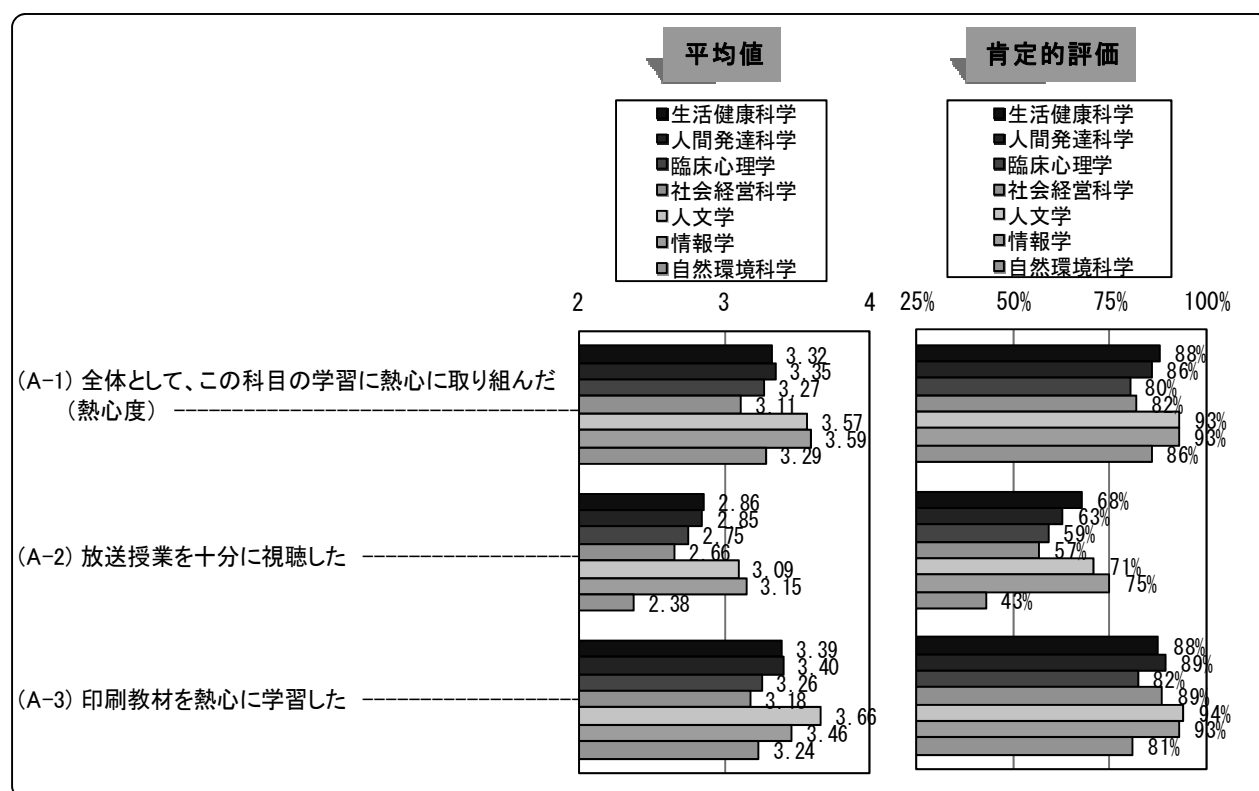
図2-58 【大学院】年齢階層別に取り組姿勢



所属プログラム別を取組姿勢を見ると（図2-59）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では「人文学」と「情報学」で肯定的評価が高く、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」においてもこの2科目が高い値を示している。

また、「自然環境科学」はいずれの項目でも評価が低く、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」に至っては50%を割り込んでいるので、原因の解明と改善策が求められる。

図2-59 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

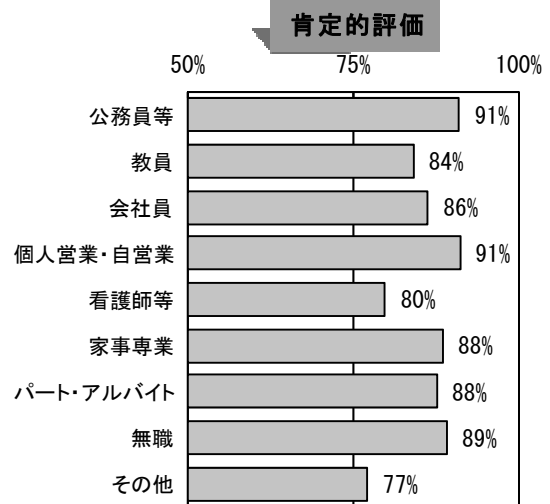
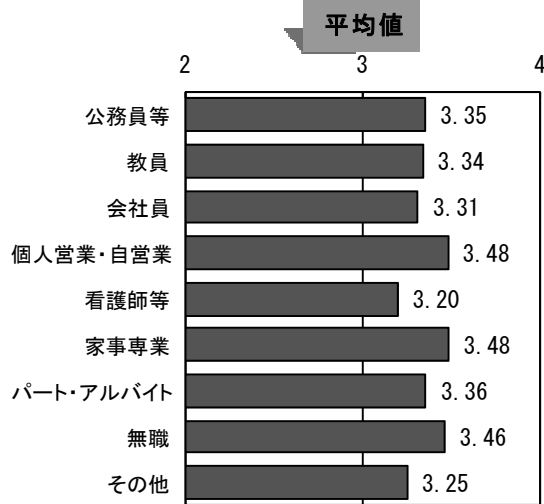


職業別を取組姿勢を見ると（次頁図2-60）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では全体的に評価が高いが、「会社員」「看護師等」は評価がやや低い。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」ではいずれの職業も取組姿勢は一定の高い水準を示している。これには、時間的余裕の有無も関係しているであろう。

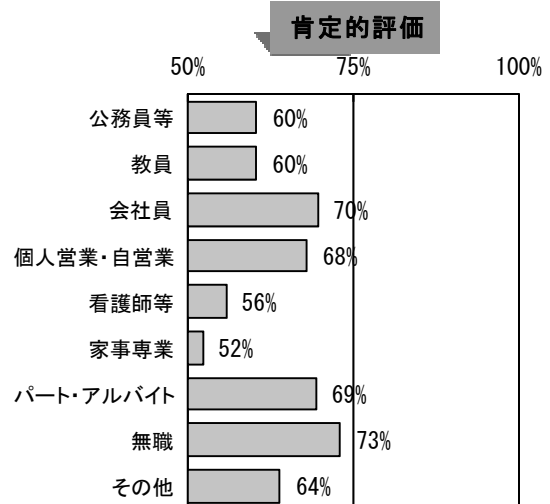
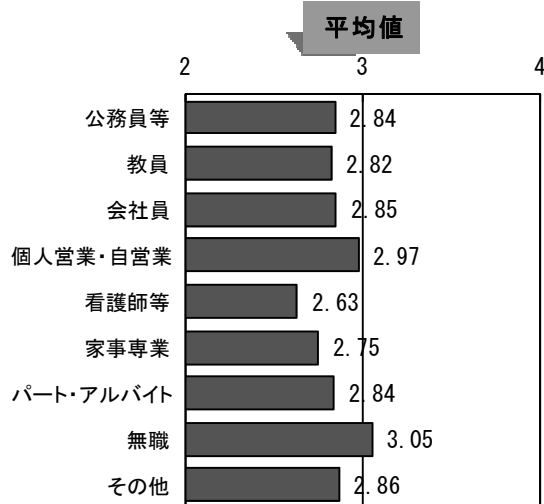
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、いずれの職業も低めの値だが、「個人営業・自営業」「無職」ではやや高めの値である。

図 2 - 6 0 【大学院】職業別の取組姿勢

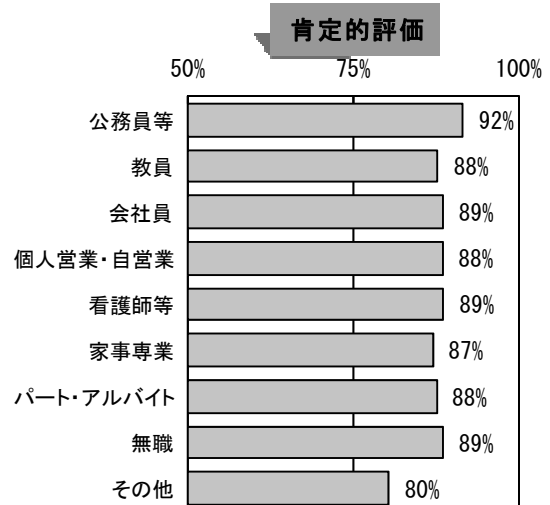
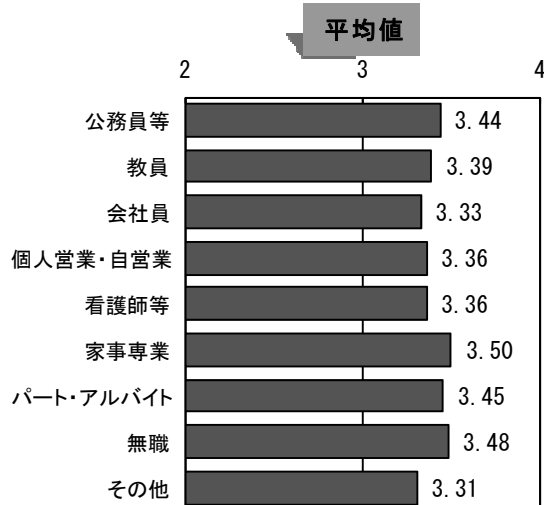
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



(A-2) 放送授業を十分に視聴した

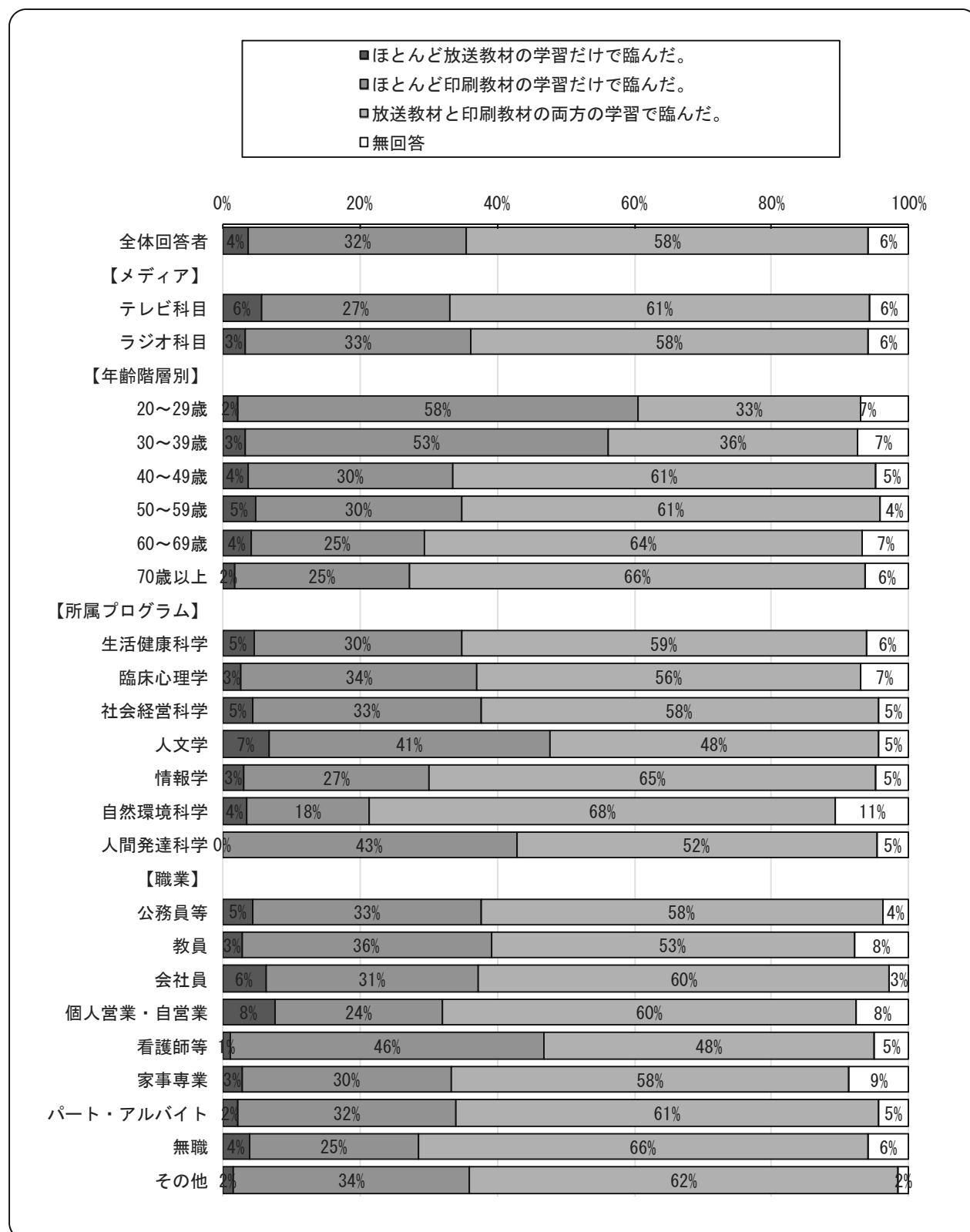


(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（図2-61）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が58%を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が32%となっている。「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は極めて少なく、所属プログラム別の「人間発達科学」の科目では0%である。半数近くの人が放送教材と印刷教材を連動させていないことになる。

図2-61 【大学院】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

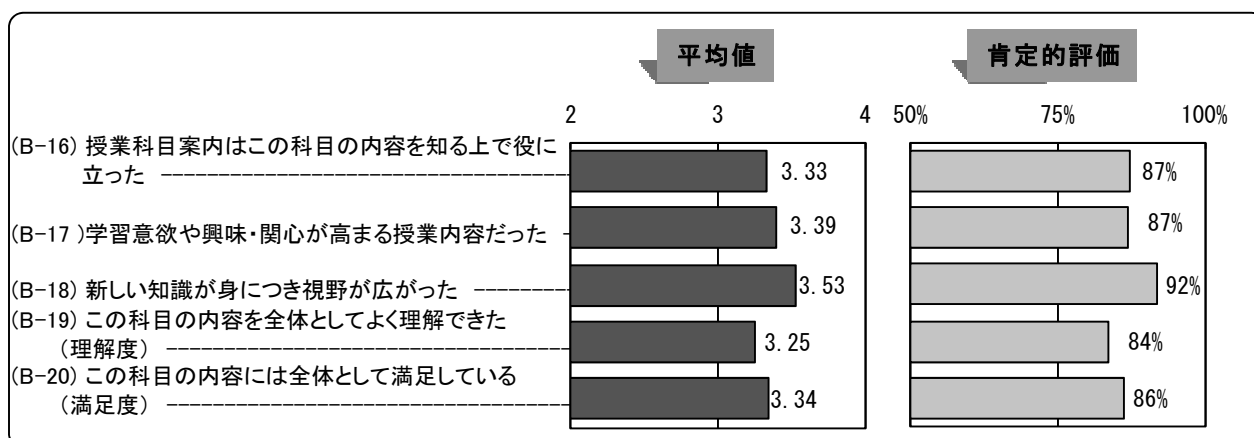
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価を見ると（図２－６２）、いずれの項目も高い評価となっている。特に（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は、平均値 3.53、肯定的評価 92%と非常に高くなっている。

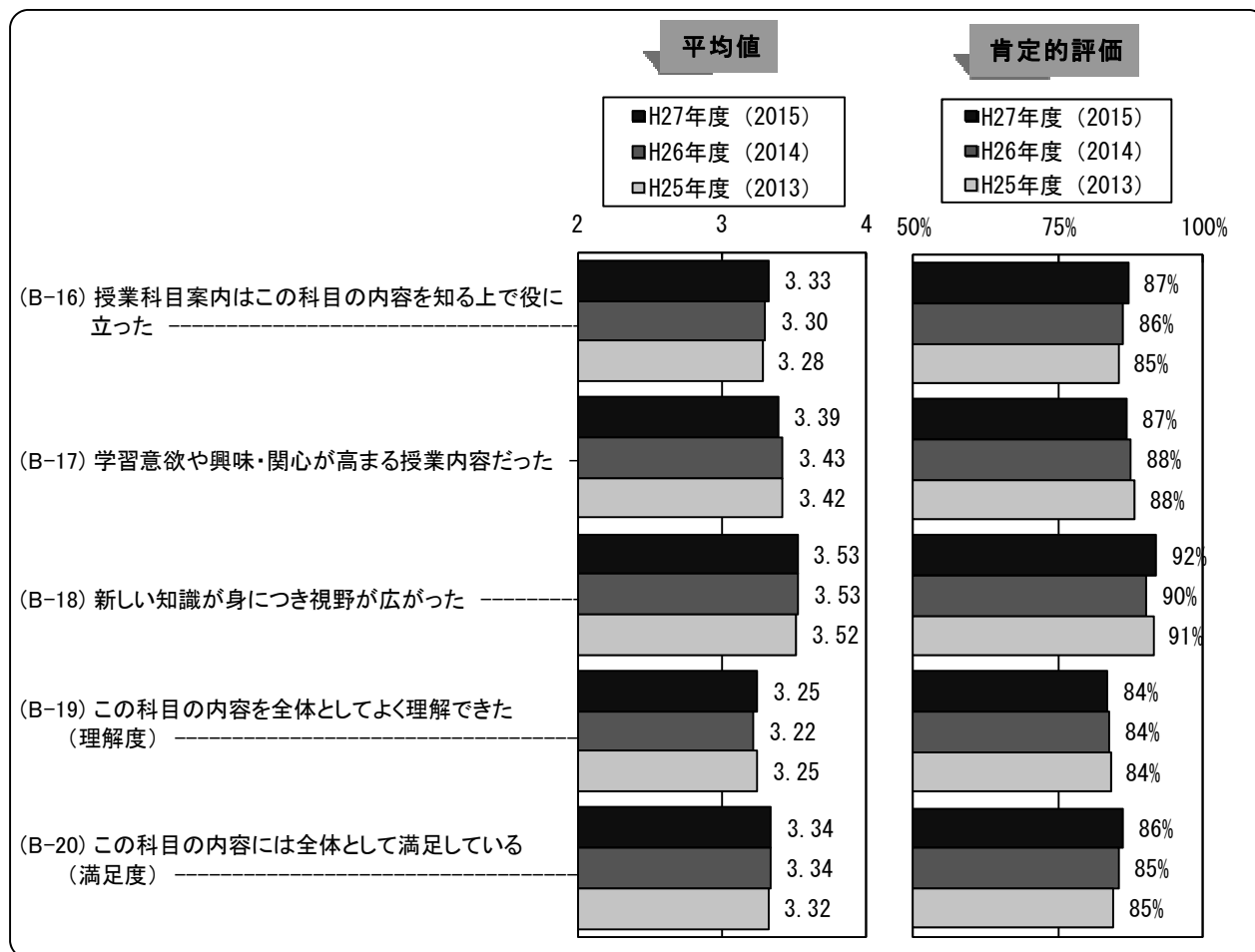
（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も平均値 3.34、肯定的評価 86%と高い満足度を示しているのに対し、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では、平均値 3.25、肯定的評価 84%となり、満足度と理解度に若干の差異を生じた。

図 2 - 6 2 【大学院】回答者全体の全体評価



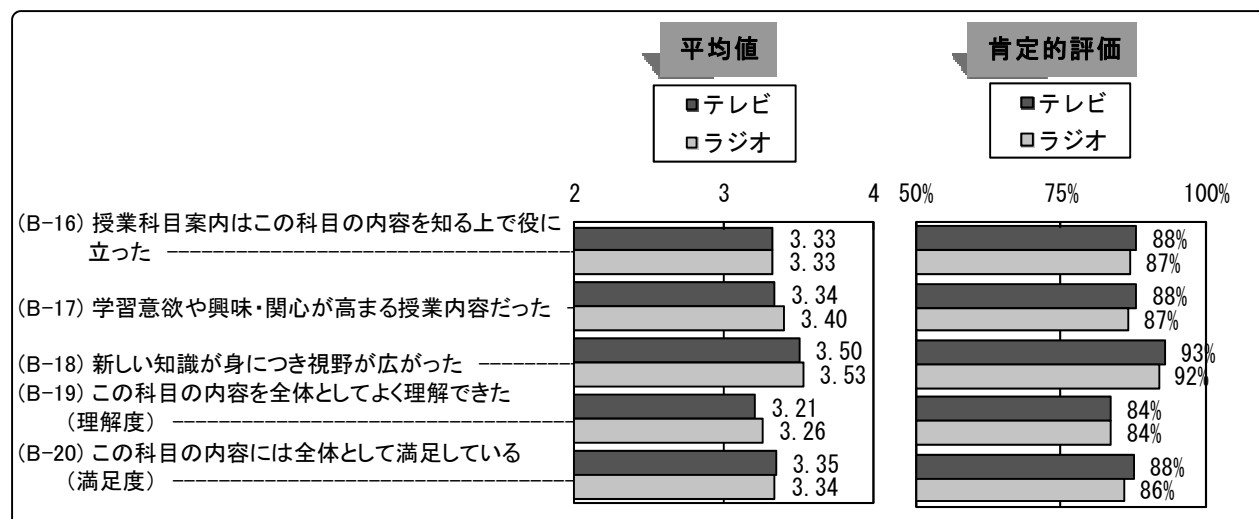
全体評価を時系列で見ると（図2-63）、全ての項目において2015年度は2014年度の水準とほぼ変わらない値を維持している。

図2-63 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



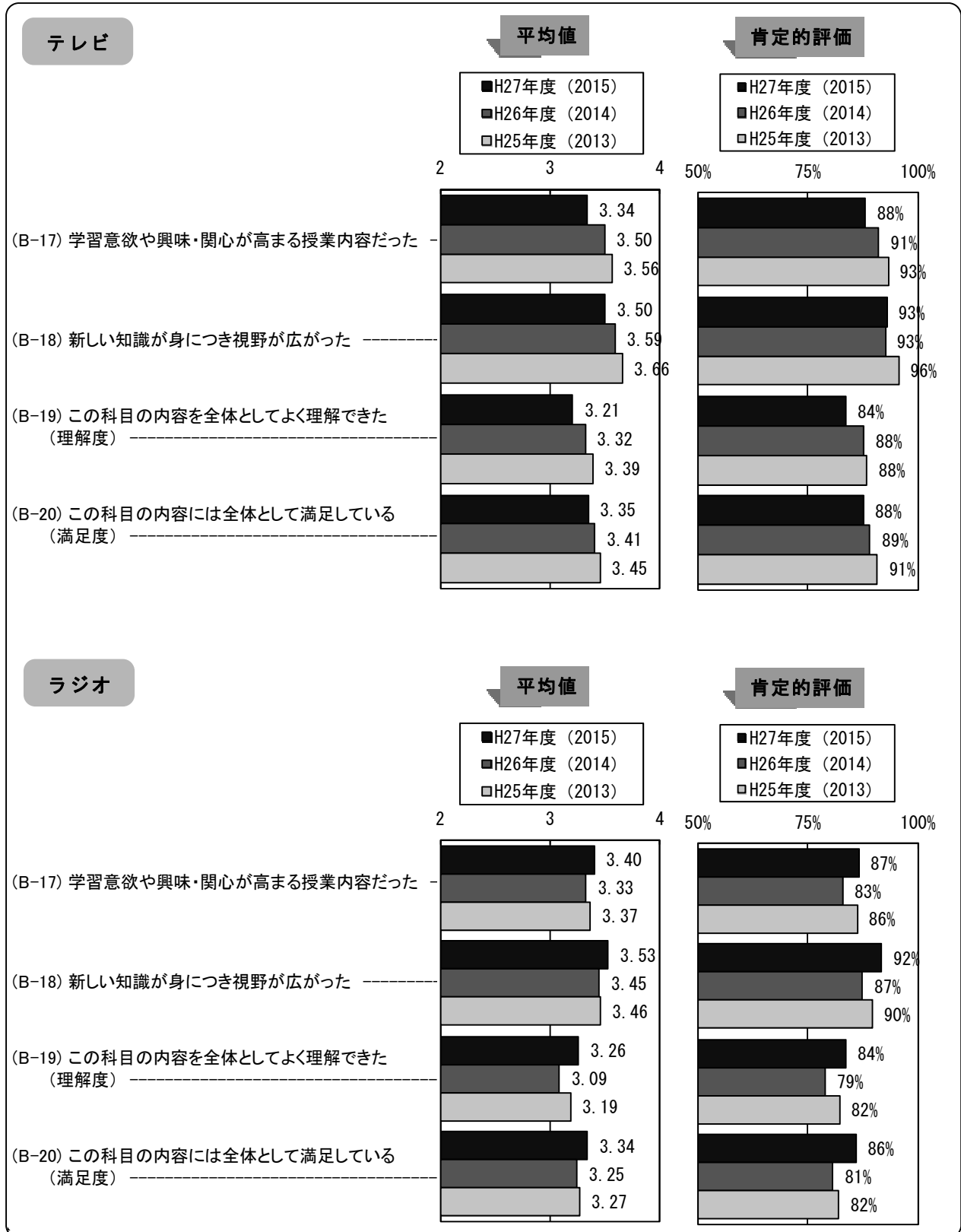
メディア別に全体評価を見ると（図 2-6 4）、全体的に評価は高い。特に（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」のテレビ科目では平均値 3.50、肯定的評価 93%と非常に高くなっている。ラジオ科目でも平均値 3.53、肯定的評価 92%と高い評価を得ている。

図 2-6 4 【大学院】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図 2-6 5）、テレビ科目は、いずれの項目も 2014 年新規開設科目に比べ 2015 年新規開設科目でやや低くなっているものの、全体的には高い評価を維持している。ラジオ科目は、2014 年度には一端低い数値になるものの 2015 年新規開設科目ではいずれの項目においても 2013 年度を上回る高い数値を示しているため、改善への取り組みの成果が表れている。

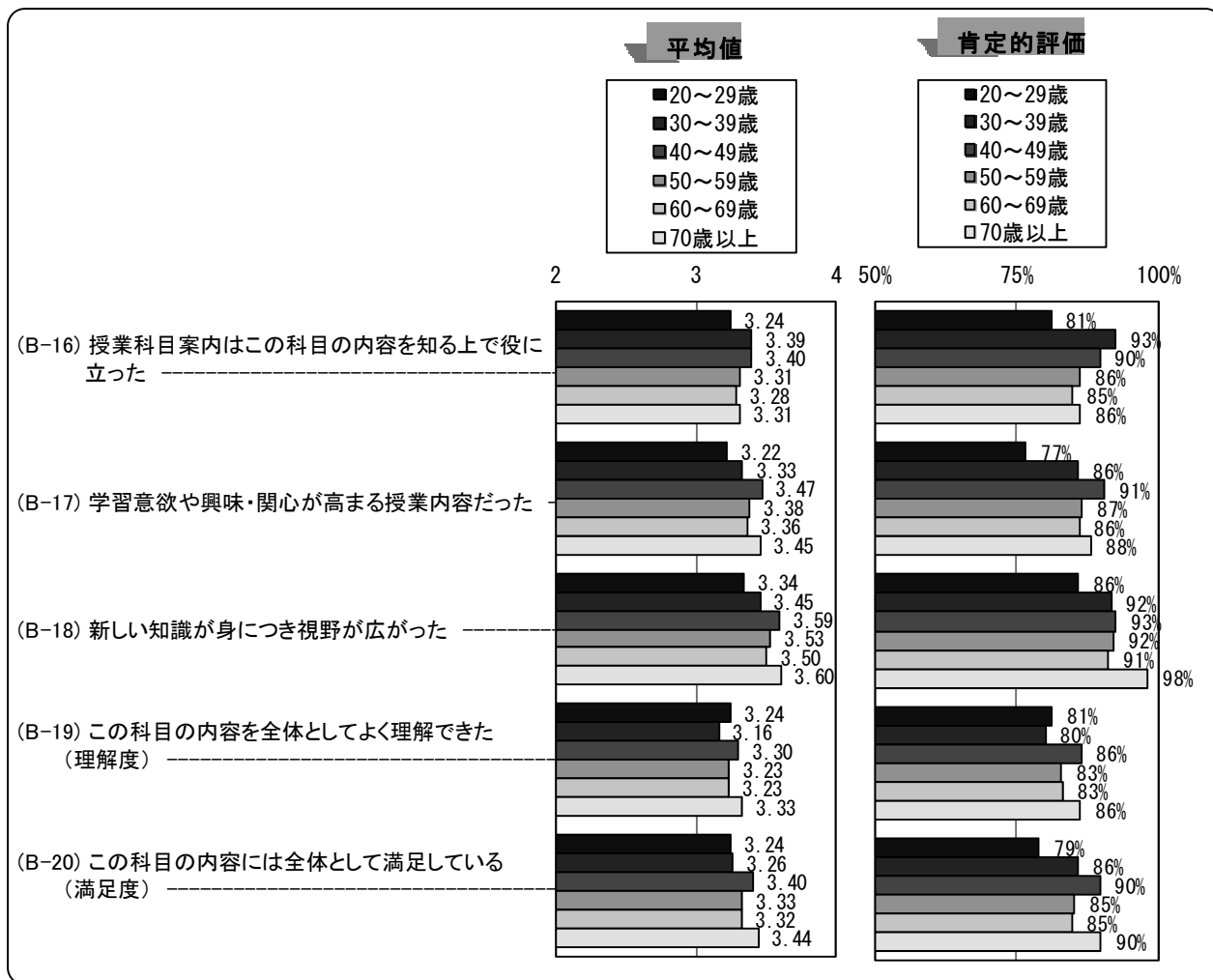
図 2-65 【大学院】メディア別の全体評価（時系列）



年齢階層別に全体評価を見ると（図2-66）、全体的に評価が高いことがわかる。

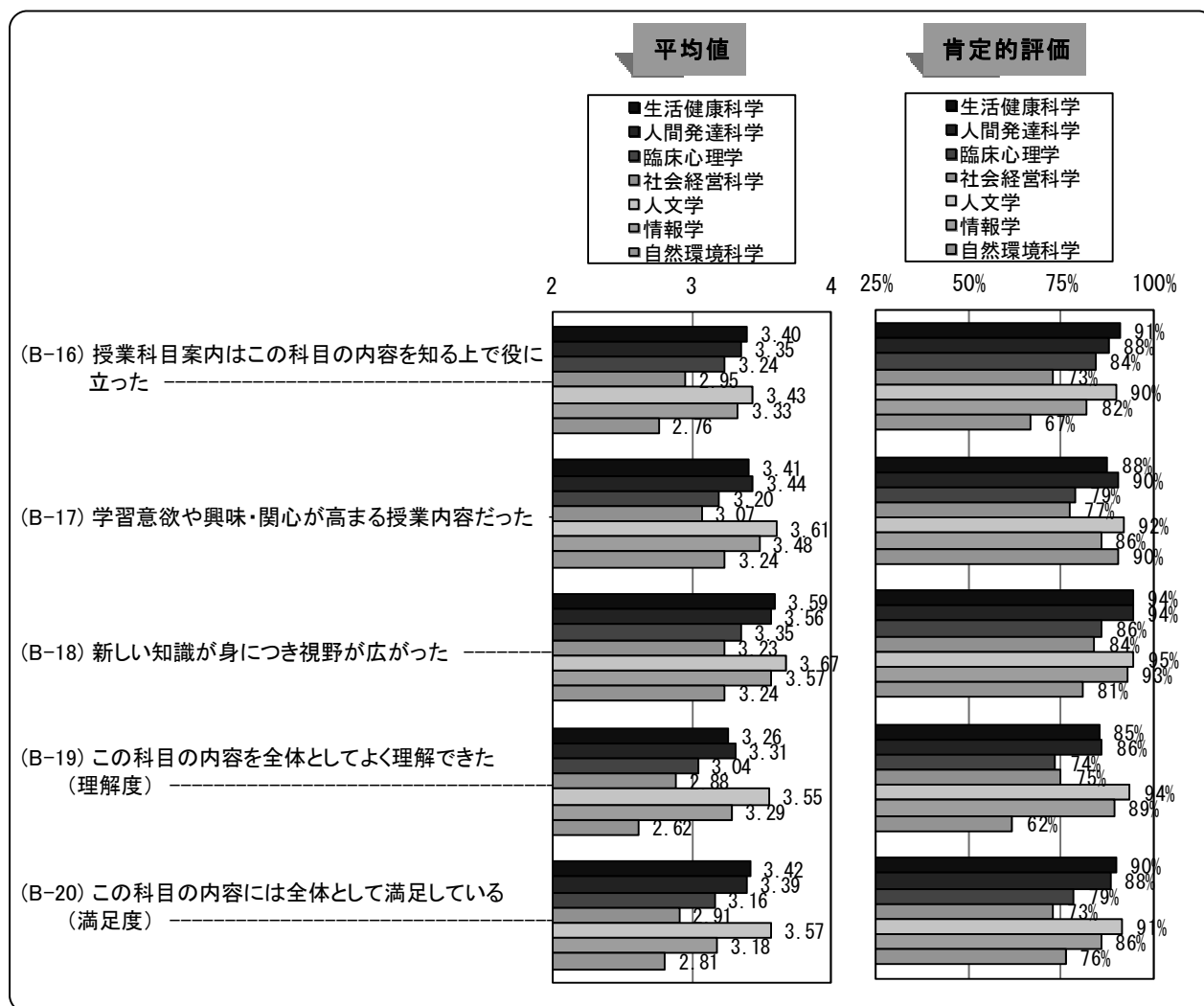
（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では19才以下の評価が低くなっているものの、総じて、ほとんどの年齢層でいずれの項目においても平均値は3.16以上で、肯定的評価は19才以下の一部の項目を除けば80%以上になっており、高い水準である。

図2-66 【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-67）、ほとんどのプログラムで高水準の値を示している中、自然環境科学は（B-16）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で低い値を示している。

図2-67【大学院】所属プログラム別の全体評価

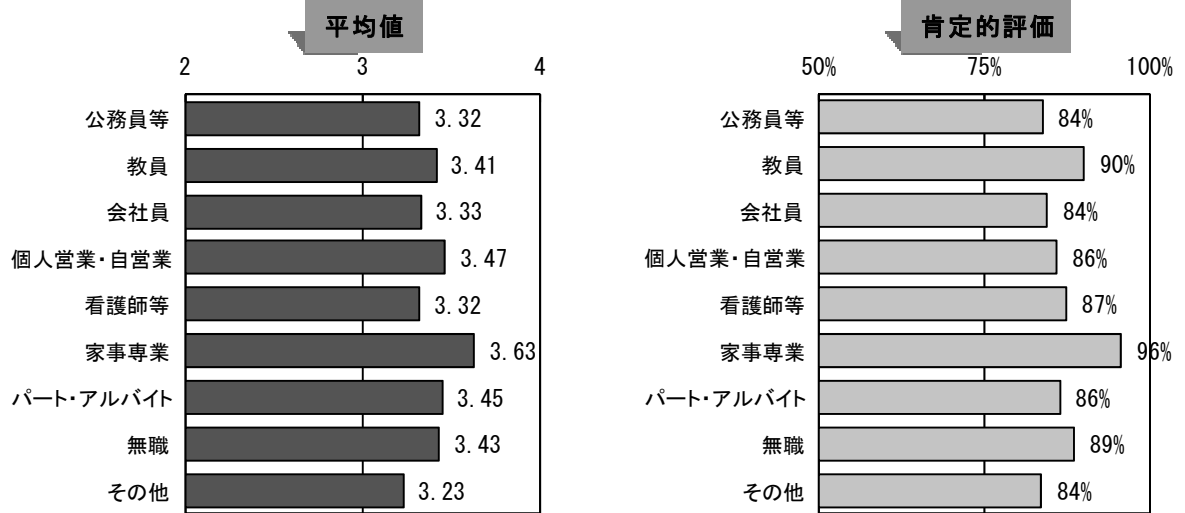


職業別に全体評価を見ると（次頁図2-68）、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は「公務員等」「会社員」「看護師等」がやや低く、その他の職業ではまずまずの高い評価となっている。（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では「看護師等」が他の職業に比べ低い。

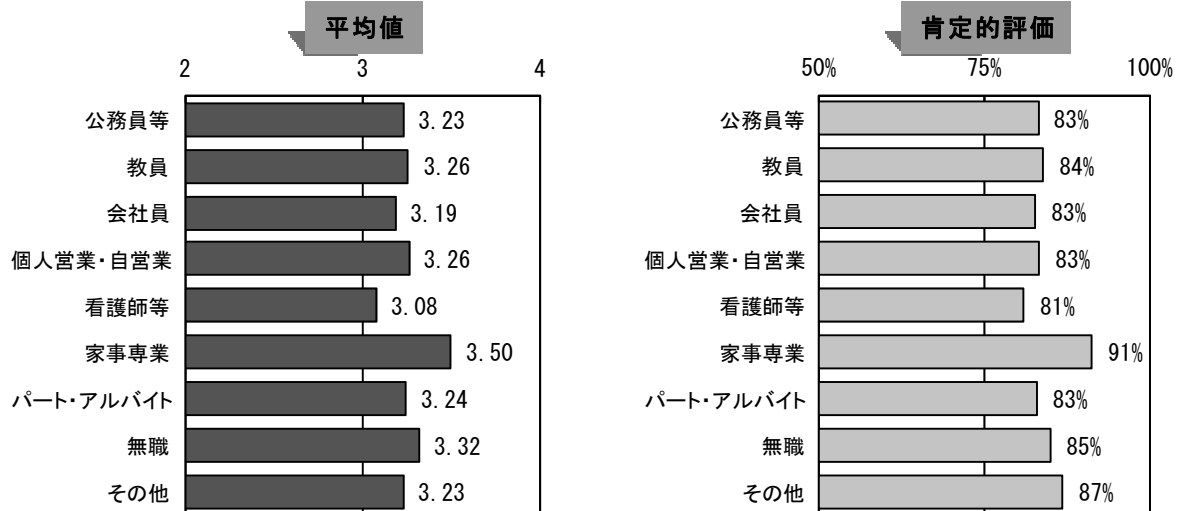
（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においては全体的に高評価が80%を超え、一定の水準の評価である。

図 2 - 6 8 【大学院】職業別の全体評価

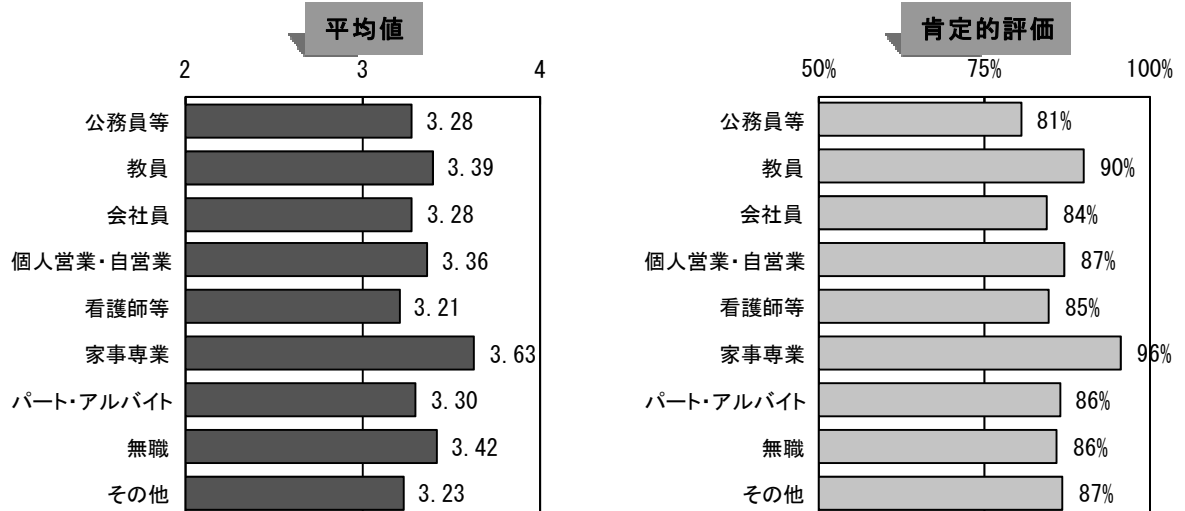
(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

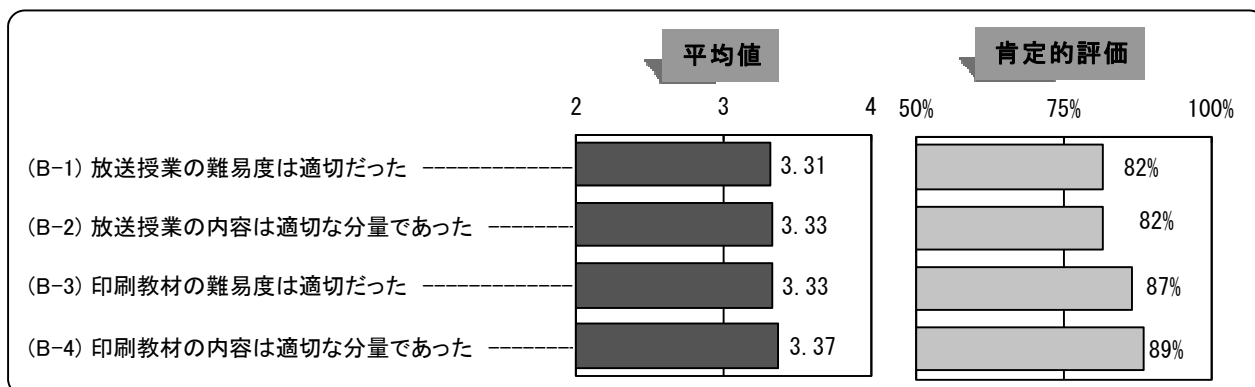


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

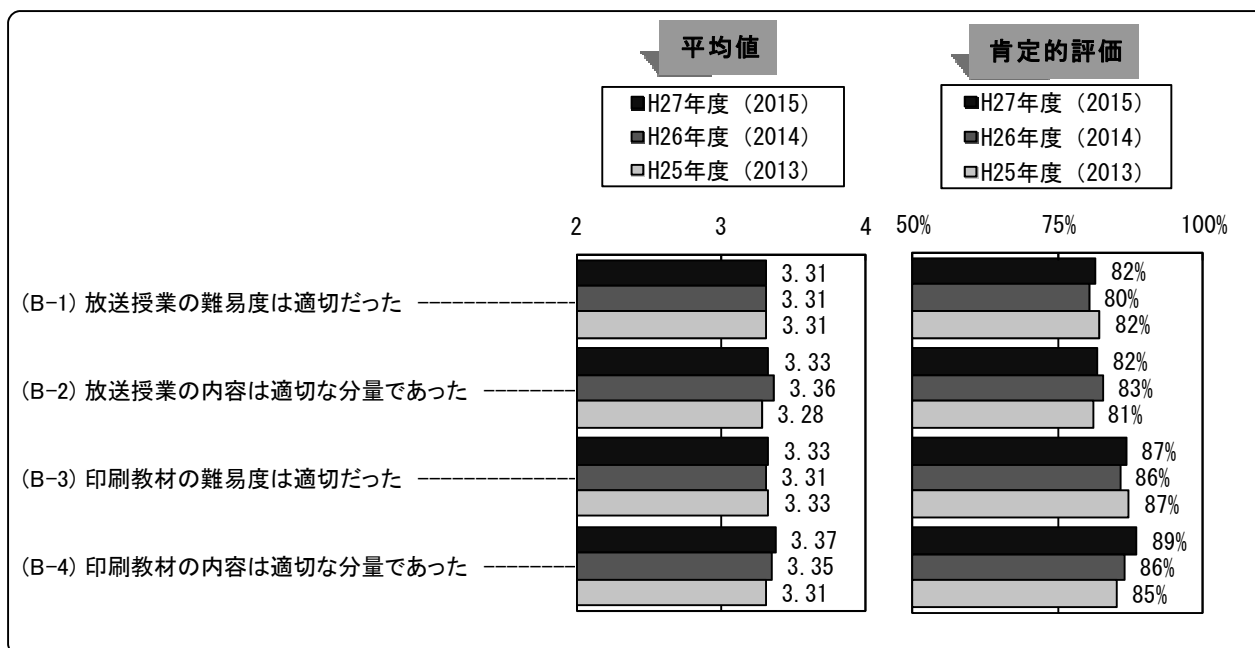
授業の難易度・分量の評価は(図2-69)、いずれも高い評価となっている。ただし、印刷教材に比べ、放送授業は肯定的評価において難易度・分量ともやや低い。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



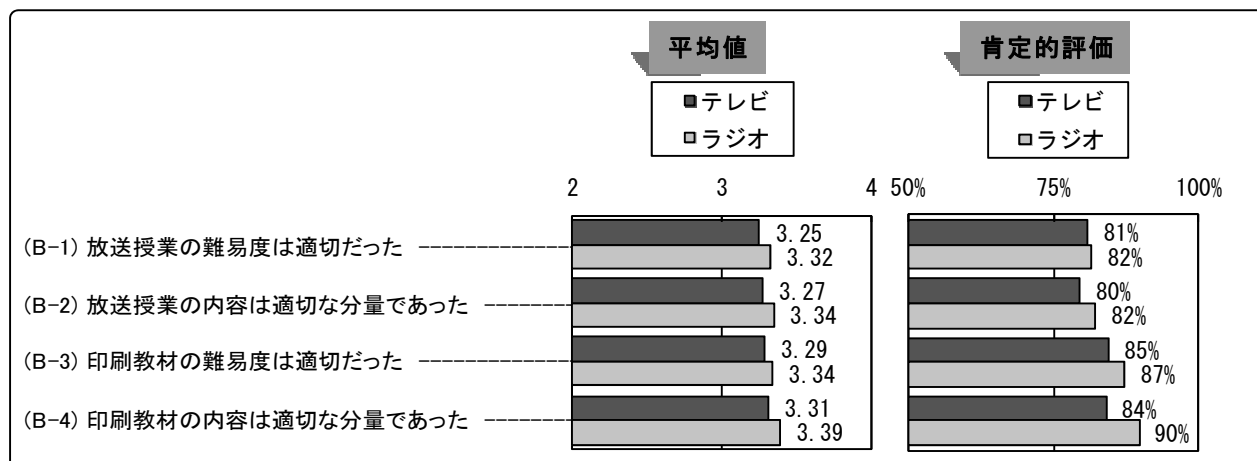
授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると(図2-70)、いずれの項目でも例年と同程度の水準を保っているが、印刷教材の内容が適量であるとの評価は年々上向きである。

図2-70 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、全体的にラジオ科目に比べてテレビ科目の評価が低くなっている。

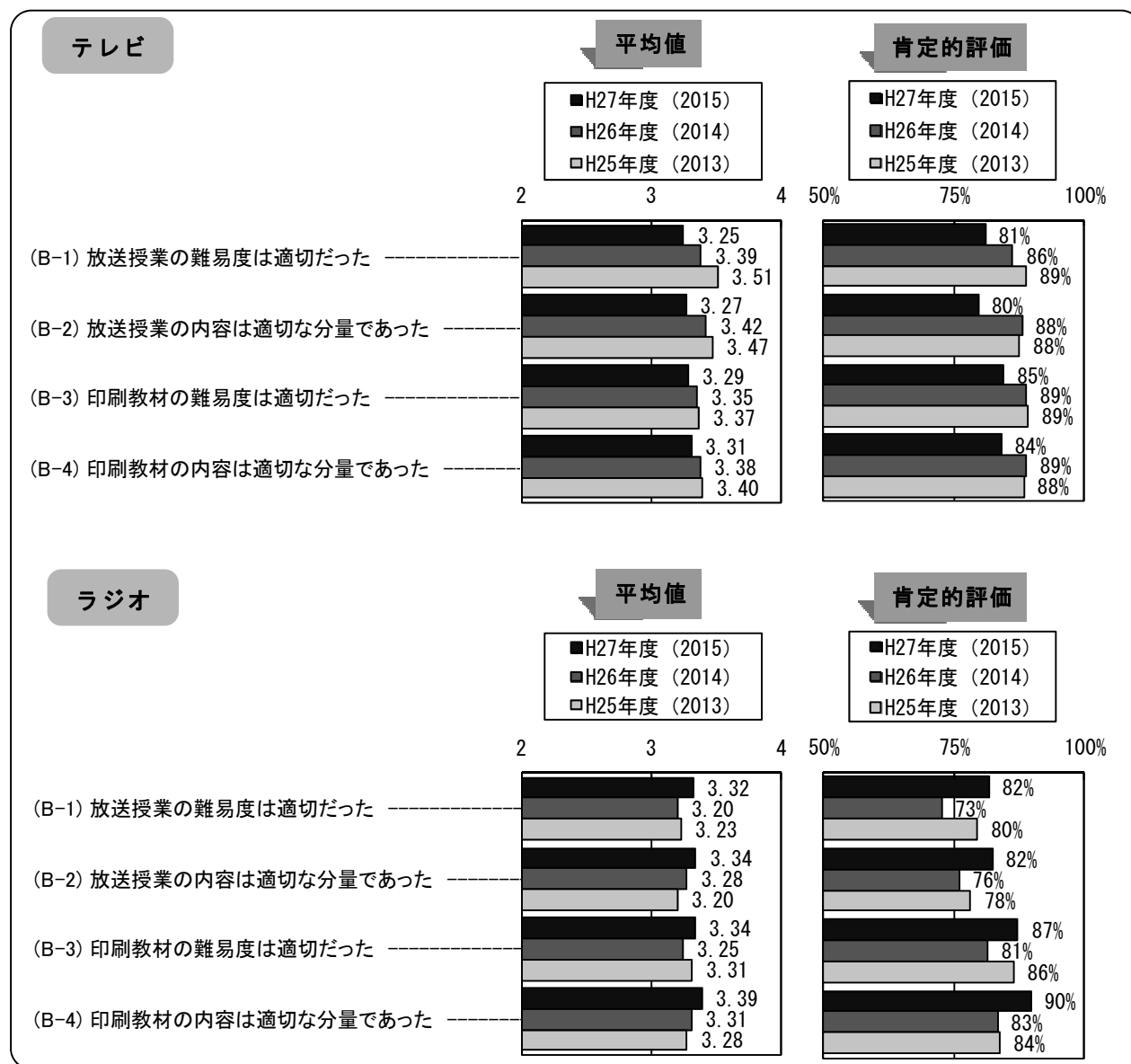
図2-71 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-72）、テレビ科目はますますの高い水準ではあるが、すべての項目で2014年度より平均値、肯定的評価が共に低くなっているのが注目される。

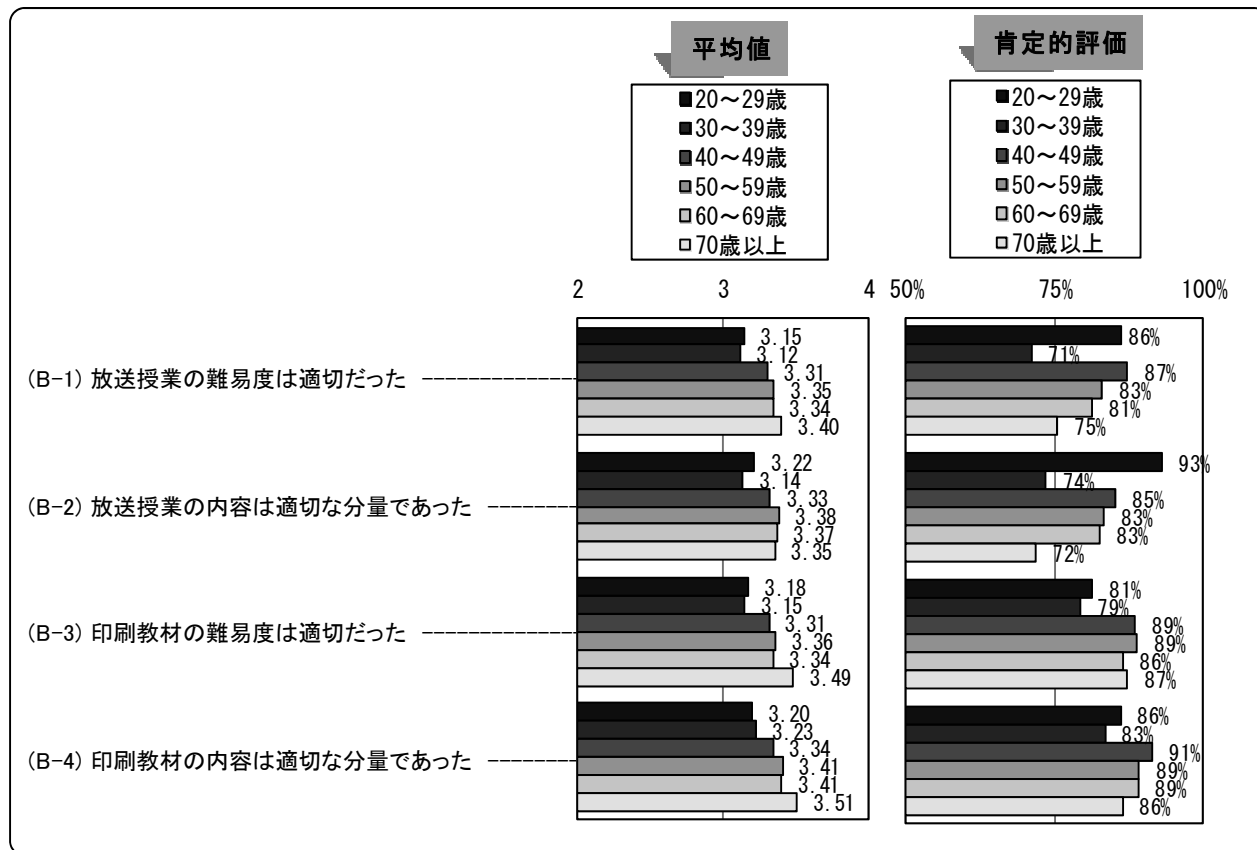
ラジオ科目は全ての項目の評価が前年度より高く、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」の肯定的評価の伸びが特に大きい。

図2-72 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-73）、放送授業、印刷教材共に難易度が30歳代で低くなっているのが特徴的である。

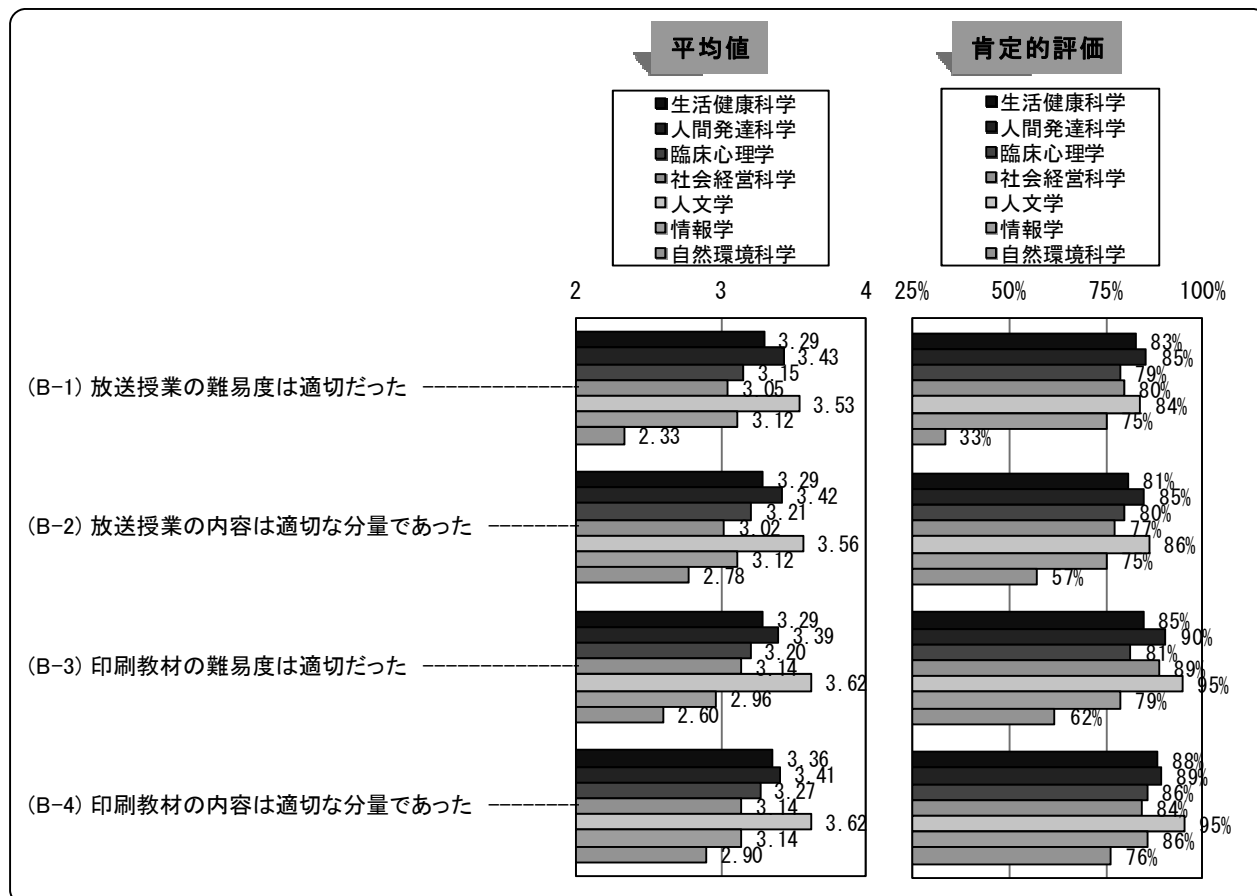
図2-73 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-74）、「人文学」がいずれの項目においても、肯定的評価が高い。

放送授業、印刷教材を通じて、難易度・分量ともに「自然環境科学」の評価がいずれの項目でも低くなっている。

図2-74 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価

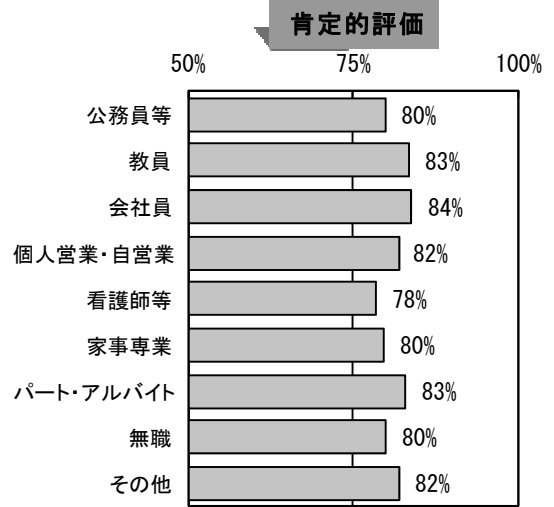
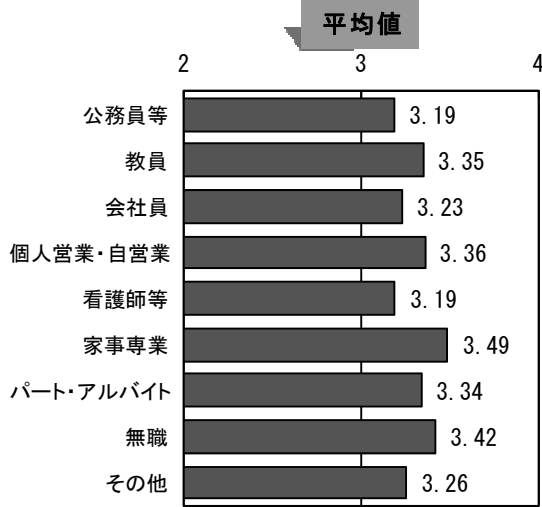


職業別に授業の難易度を見ると（次頁図2-75）、印刷教材では「家事専業」で難易度の評価が高くなっている。

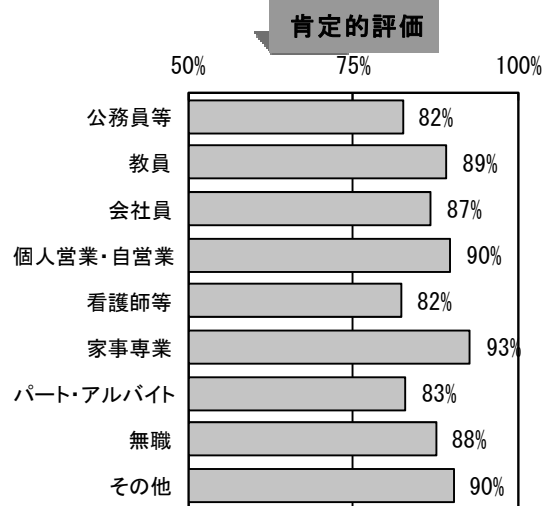
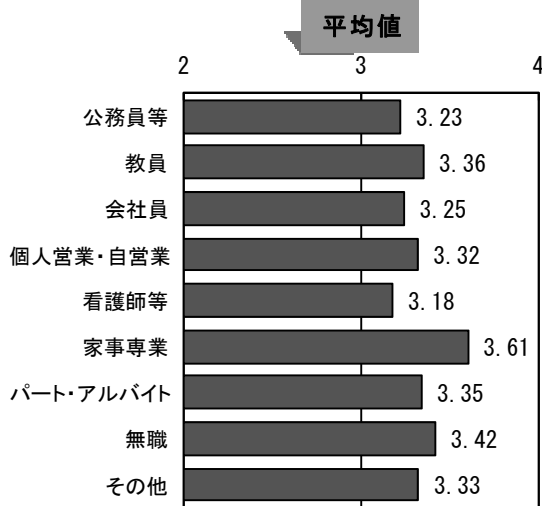
また、放送授業、印刷教材ともに難易度については「看護師等」の評価が低いのも注目される。

図 2 - 7 5 【大学院】職業別の授業難易度の評価

(B-1) 放送授業の難易度は適切だった



(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった

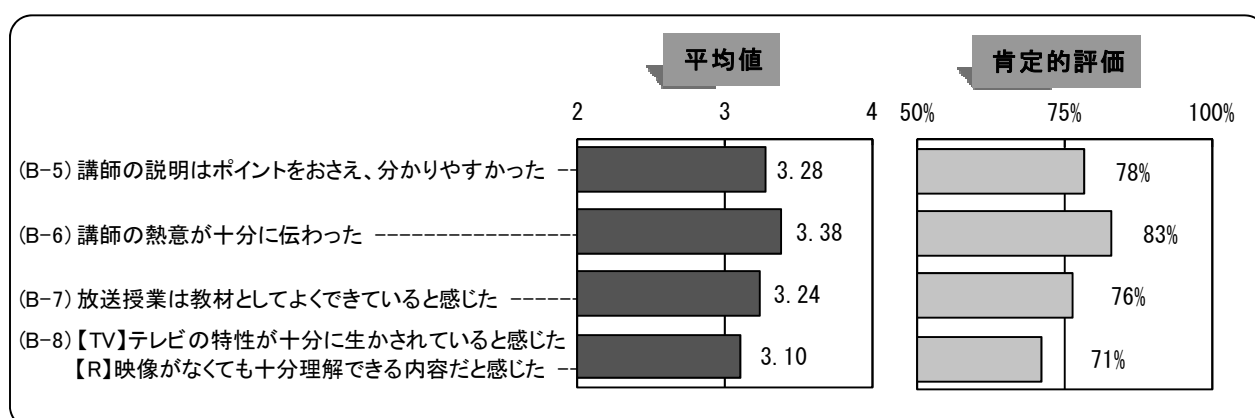


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると(図2-76)、放送授業の総合評価でもある(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.24、肯定的評価 76%と比較的高くなっている。また(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が最も評価が高く、平均値 3.38、肯定的評価 83%となっており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」も平均値 3.28、肯定的評価 78%とやや高くなっている。一方、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平均値 3.10、肯定的評価 71%に留まっている。それぞれの媒体の特性を生かす工夫が必要である。

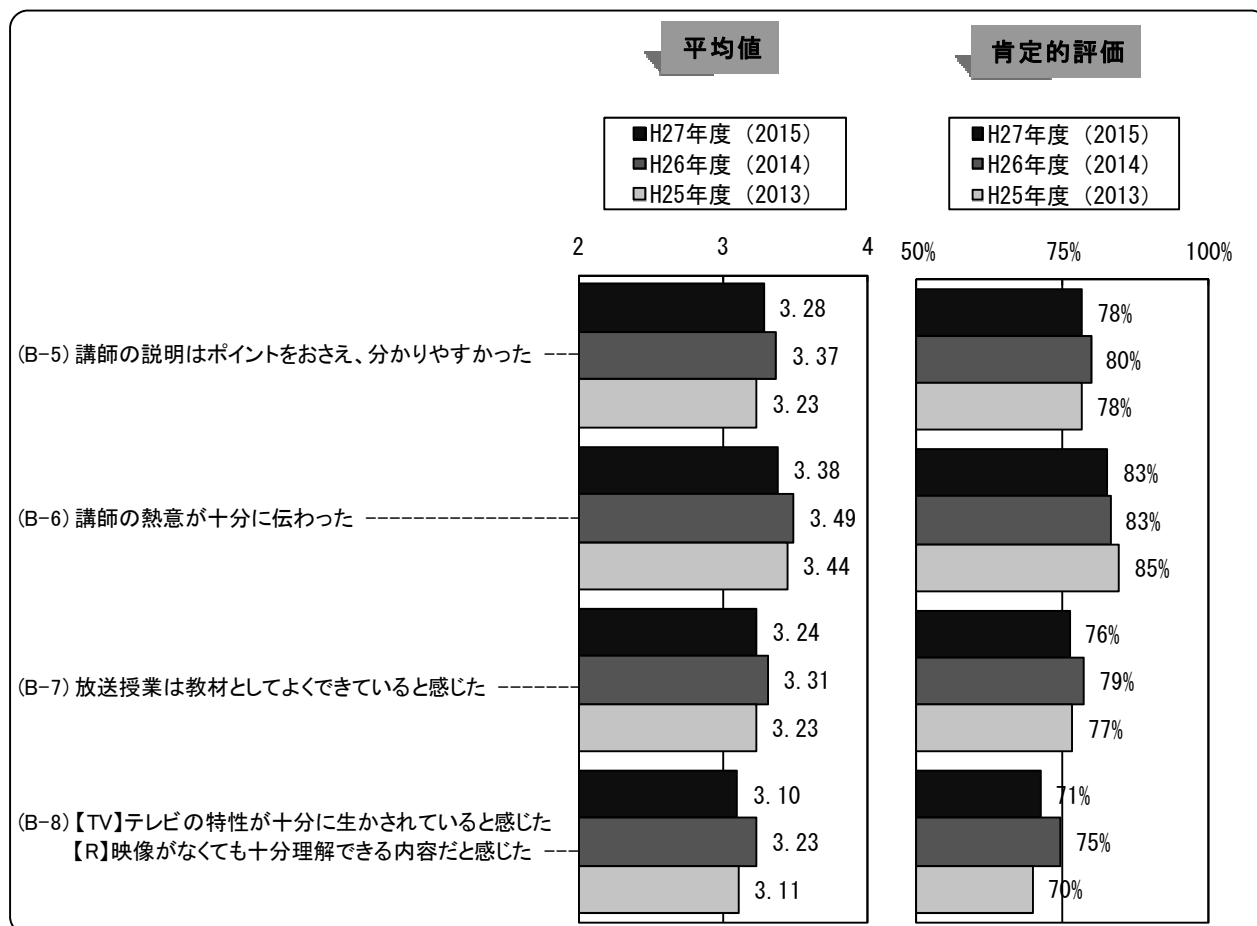
図2-76 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-77）、今年度の調査ではほぼ全ての項目において評価が下がっている。（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」の肯定的評価は昨年度と同じだが、平均値では低くなっている。これは、肯定的に評価した割合は変わらずとも、より否定的に評価した人が増えた結果である。

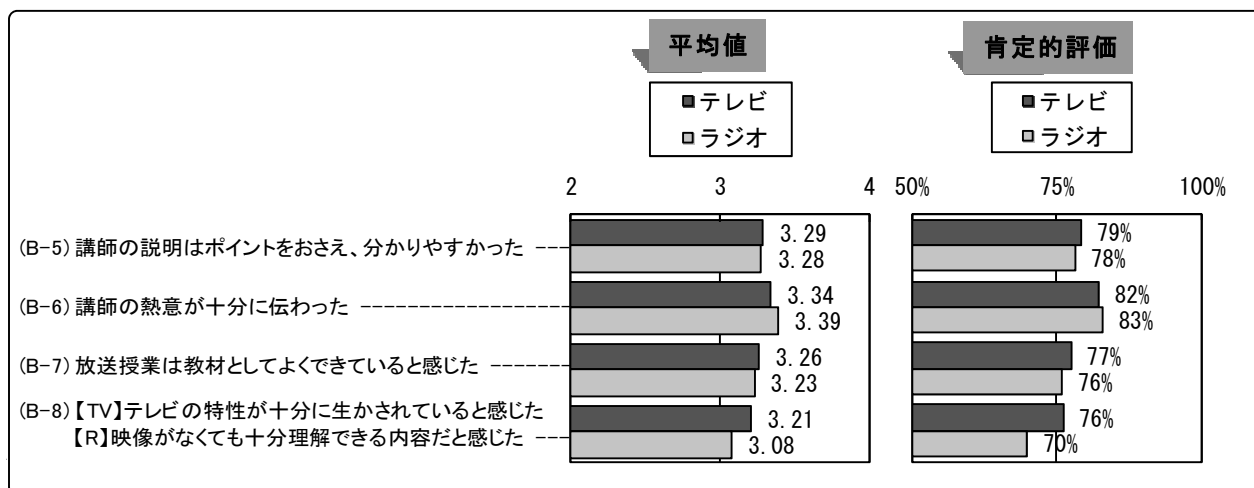
全体的には改善への試みの成果が出なかったと言える。

図2-77 【大学院】 回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図 2-78）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の項目を除きテレビ科目はいずれもラジオ科目より高い評価を得ている。ラジオ科目はテレビ科目に比べ、全体的に評価が低いが、講師の熱意が伝わりやすいようだ。他の項目の評価が上がれば、おのずから高評価につながるであろう。

図 2-78 【大学院】メディア別の放送授業の評価

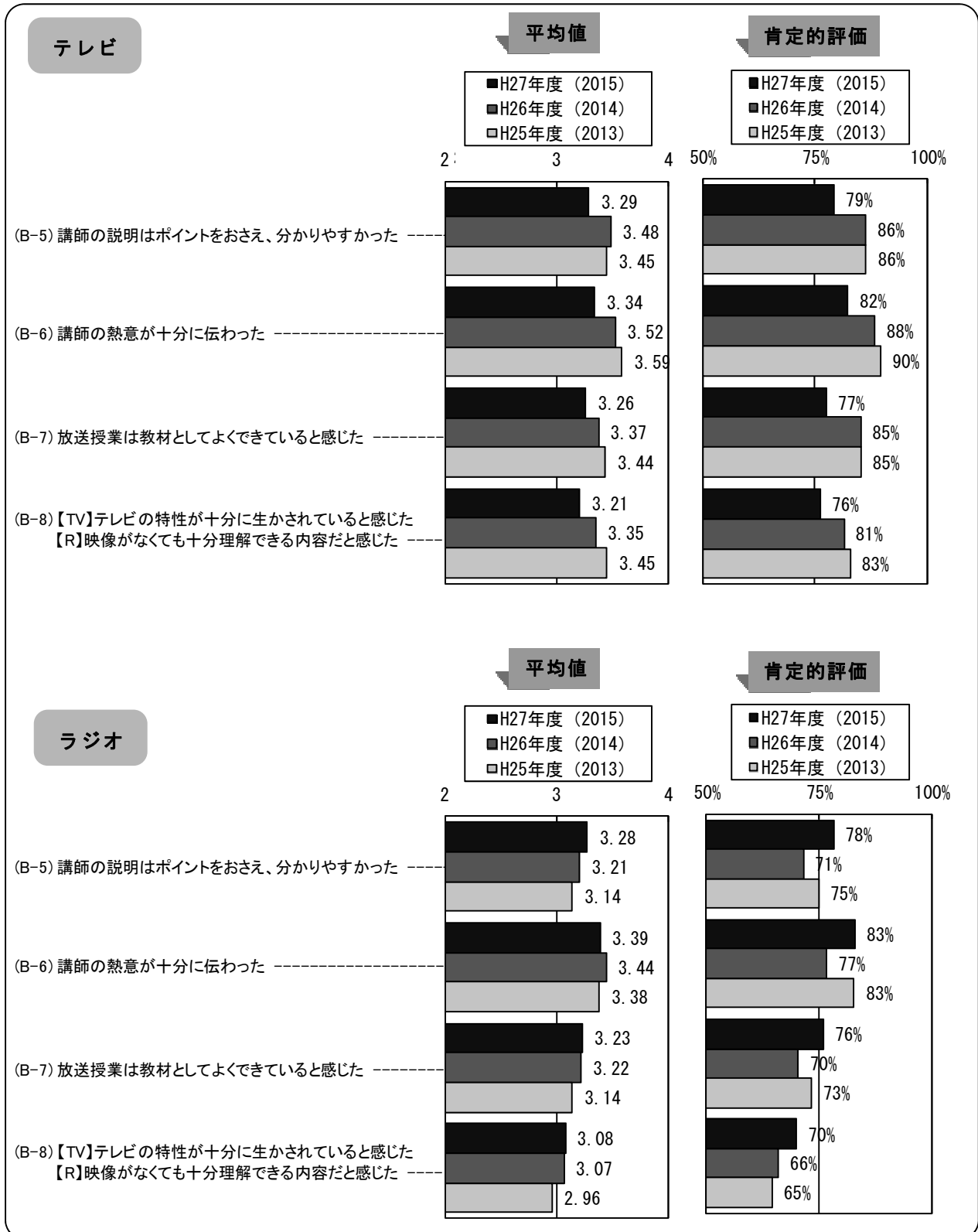


メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図 2-79）、テレビ科目は全体的に 2014 年度に引き続き本年度も下がる傾向が見てとれる。

ラジオ科目については、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の平均値を除き、いずれの項目でも 2014 年度よりも高くなっている。

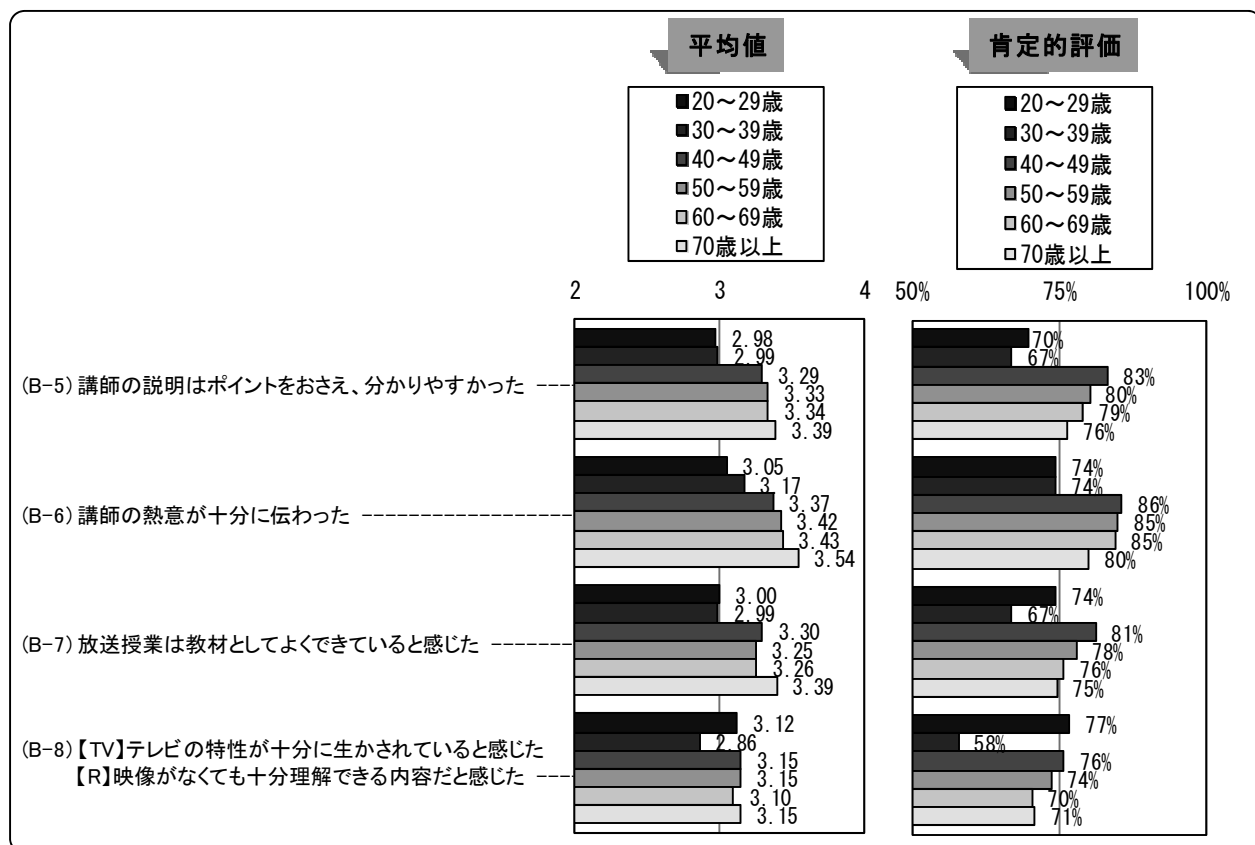
ラジオ科目への改善に注力した結果、テレビ科目への評価は 2014 年度よりも低くなったのが見てとれるが、全ての項目の平均値が 3 を上回っていることから、決して悪い印象を与えているわけではないことがわかる。

図 2 - 7 9 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-80）、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」で30歳代の肯定的評価が際だって低い。20歳代・30歳代ではわずかではあるが3を下回っている項目がある。70歳以上では平均値の高さに比べ肯定的評価では低い傾向があり、特徴的な結果を示しているといえる。

図2-80【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

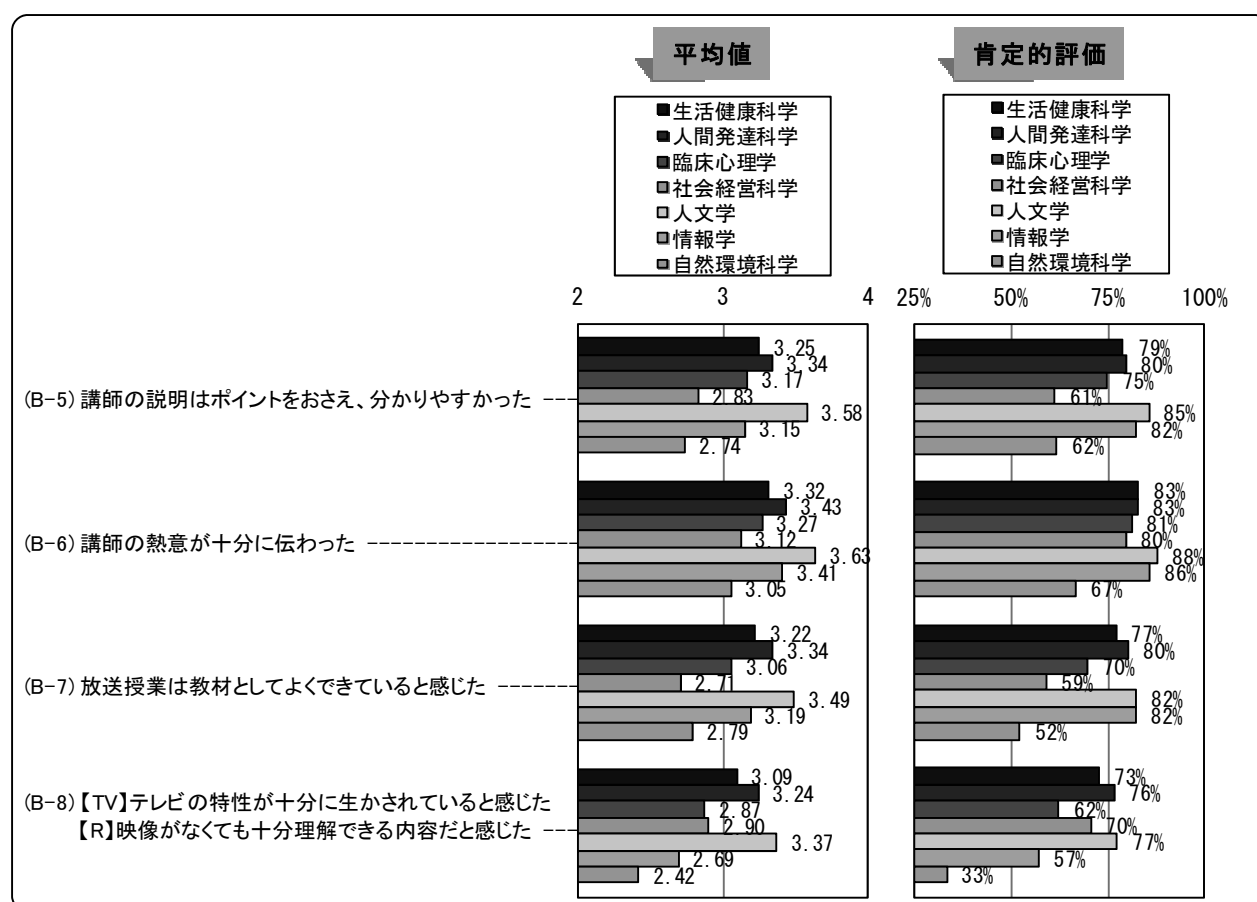


所属プログラム別に放送授業の評価を見ると（図2-81）、「生活健康科学」「人間発達科学」「人文学」の3プログラムからは全体的に高い評価を得ている。

（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「自然環境科学」の評価が極めて低い。

「社会経営科学」では講師の熱意は十分に伝わったものの他の項目においては平均値が3を下回っているため、更なる改善が求められる。「自然環境科学」は全項目において評価が低い。

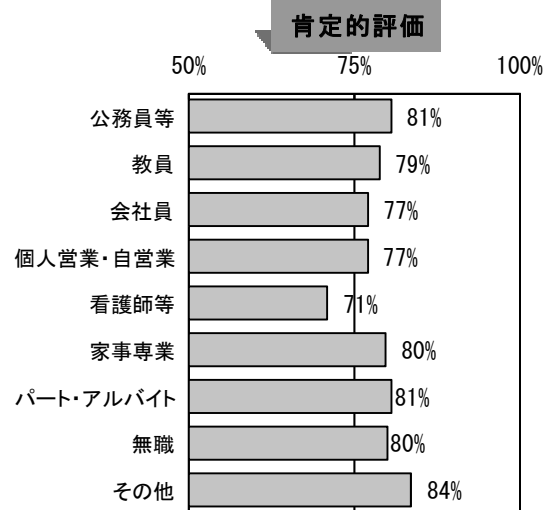
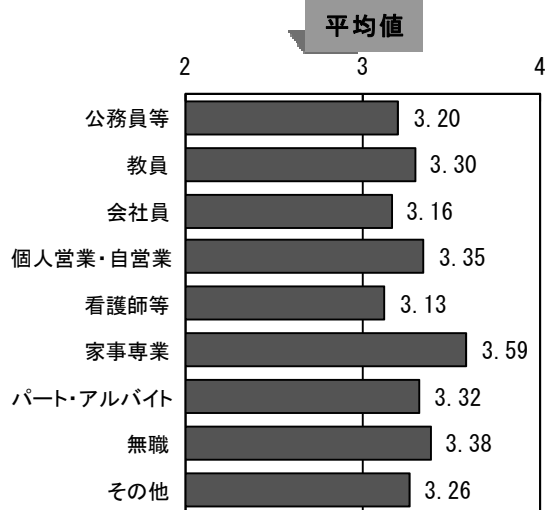
図2-81 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



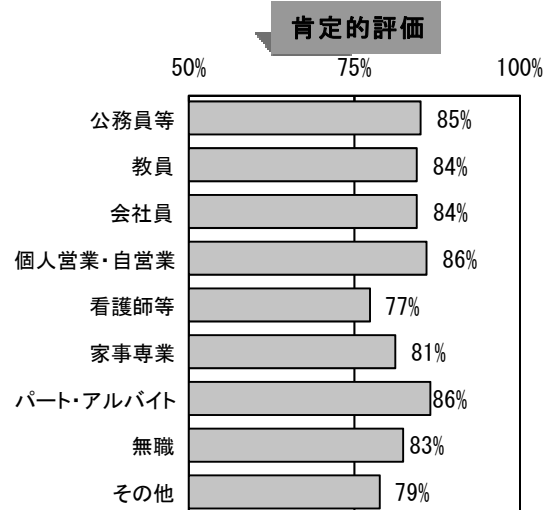
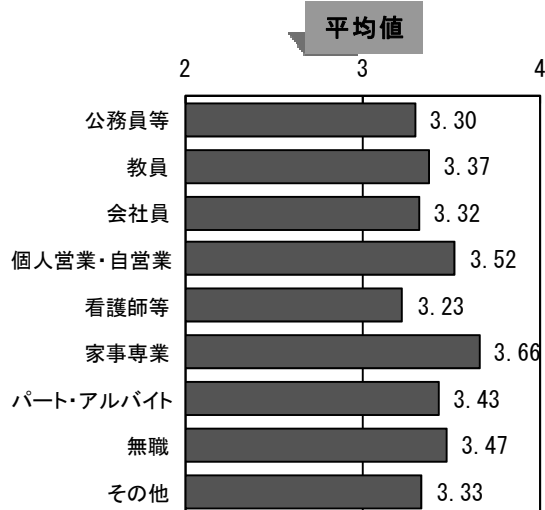
職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図2-82）、どの職業からも総じて高い平均値を示している。中でも「家事専業」からはいずれの項目においても高い値を得ている。一方、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」の講師の評価では「看護師等」が他の職業に比べ低い評価となっている。

図 2 - 8 2 【大学院】職業別の放送授業の評価

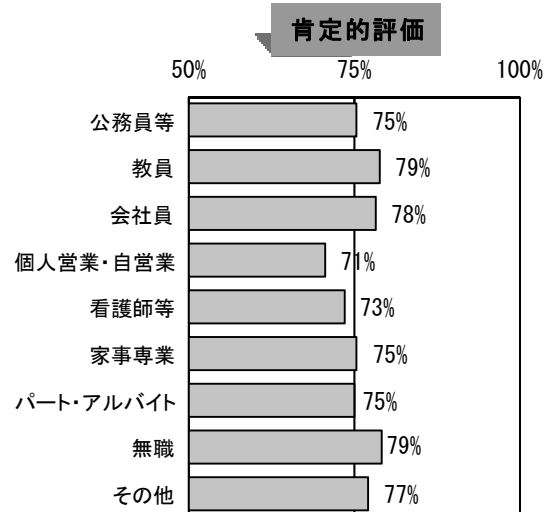
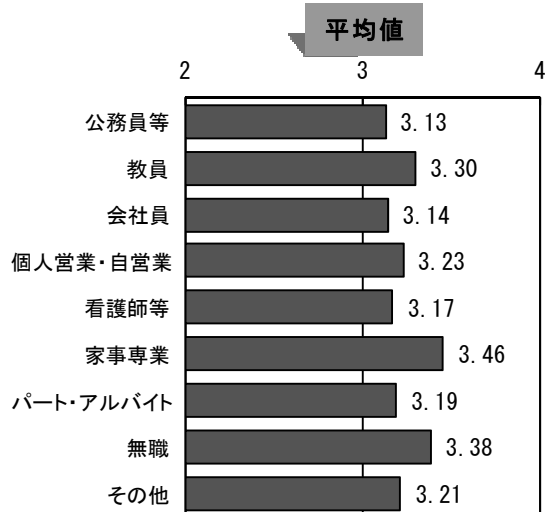
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった



(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた

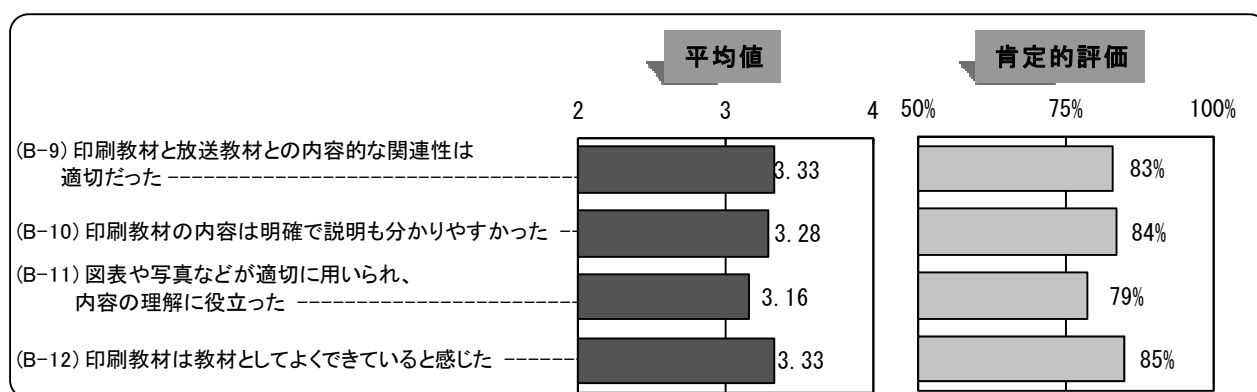


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

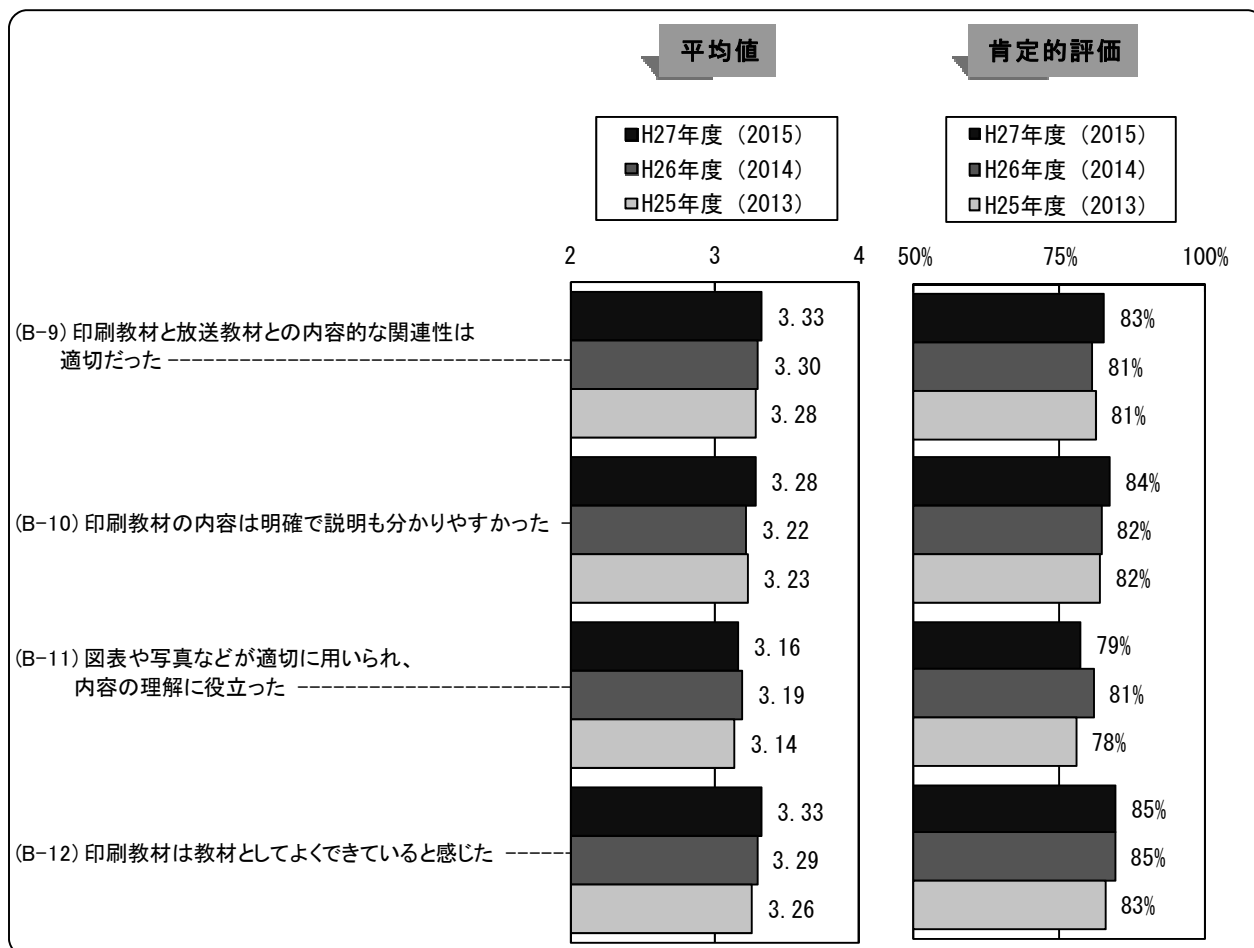
印刷教材の評価項目では(図2-83)、いずれも高い評価を得ている。総合評価としての(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は平均値 3.33、肯定的評価 83%、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は平均値 3.33、肯定的評価 85%と高くなっている。

図 2 - 8 3 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



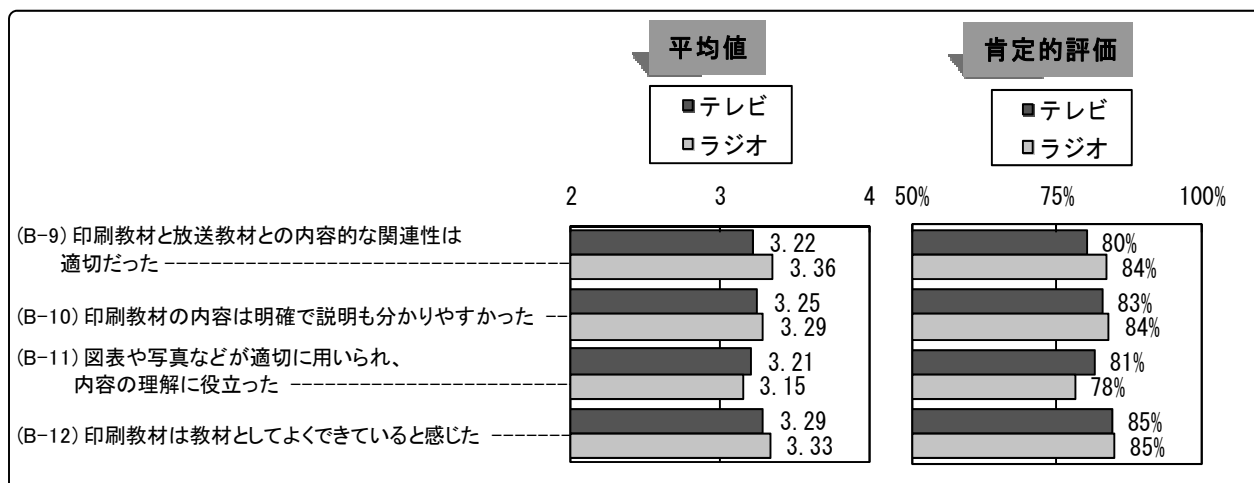
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-84）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では年々評価が高くなっているが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、2013年よりも低くなっている。図表・写真の見直しでさらなる高評価が期待できる。

図2-84 【大学院】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図2-85）、(B-11) 以外はラジオ科目の評価が高くなっている。(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の項目がラジオ科目では低いが、映像のないラジオの放送授業にあっては視覚的要素を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを教材に盛り込むことが必要であろう。

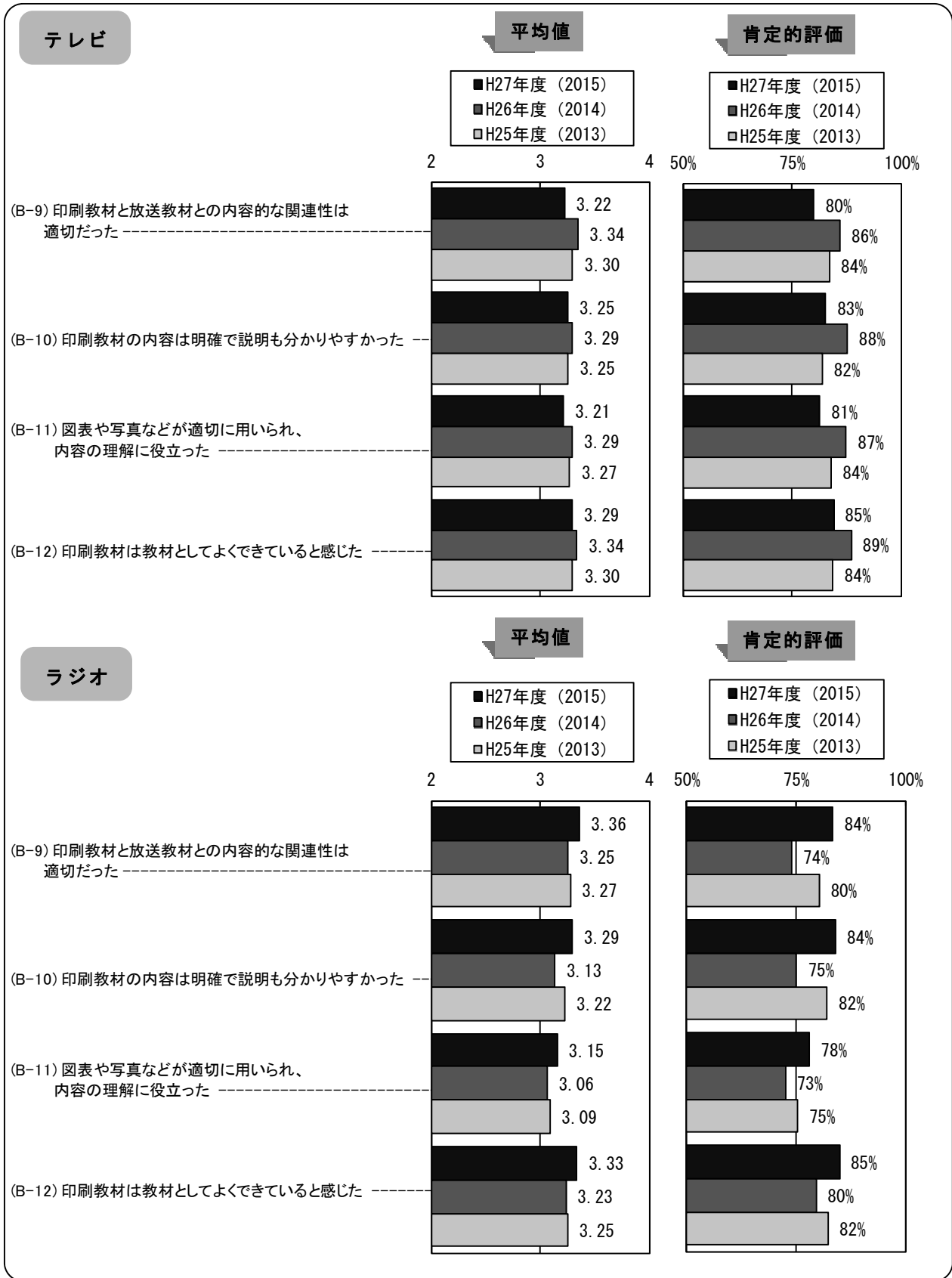
図2-85 【大学院】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図2-86）、テレビ科目については、2014年新規開設科目よりも全ての項目において低くなっている。

ラジオ科目については、今年度調査（2015年新規開設科目）において全ての項目で高くなっている。

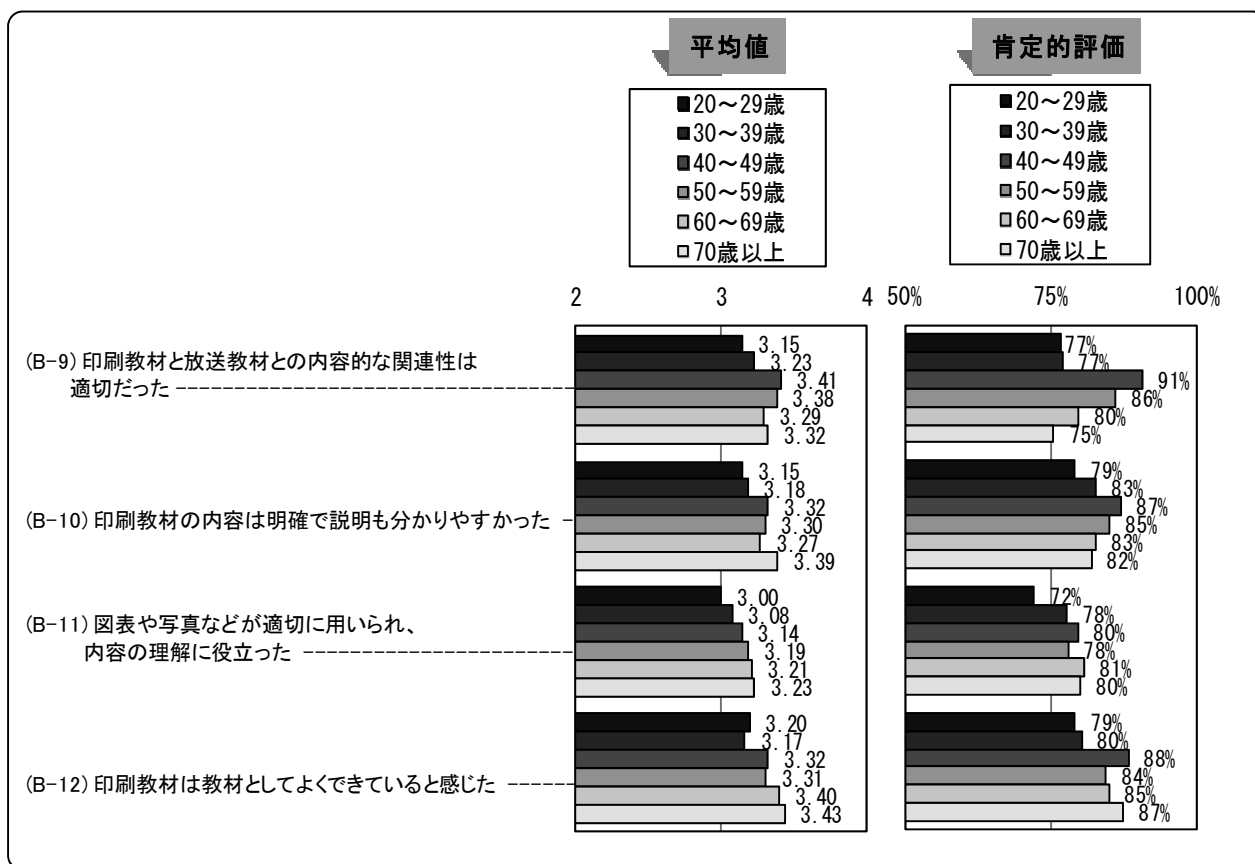
図 2 - 8 6 【大学院】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図2-87)、全体として高い値となっており、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では20歳代、30歳代70歳以上の評価がやや低く、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」では20歳代の評価が低い。

しかしながら、全体的には高い水準の評価である。

図2-87【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価

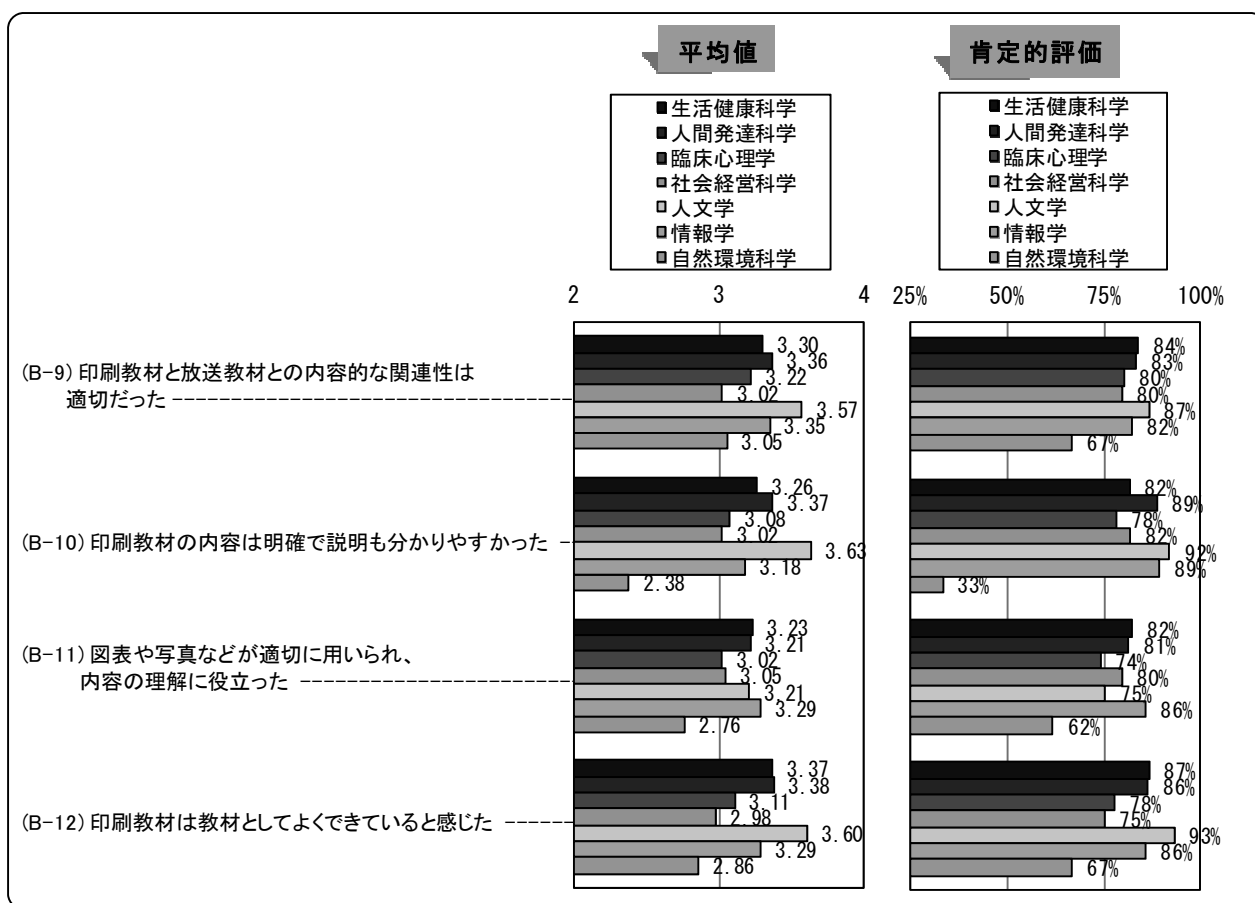


所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると（図2-88）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「生活健康科学」、「人間発達科学」、「人文学」の評価が高い。

ほとんどのプログラムで高い評価がつく一方で、「自然環境科学」の評価の低さは際立っている。

「自然環境科学」は、特に（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、の評価が極めて低く、それが総合的な評価につながったと考えられる。

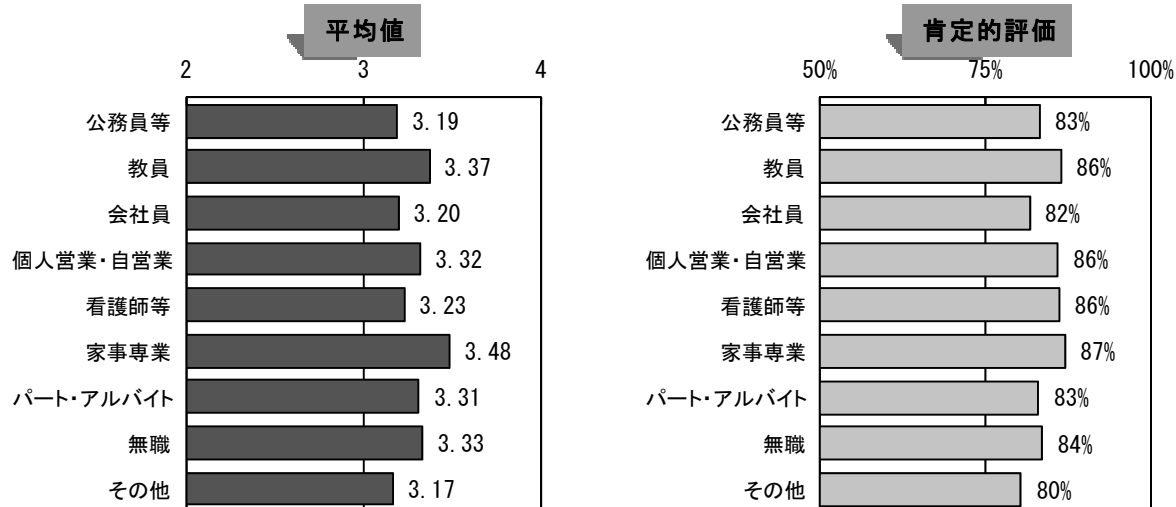
図2-88 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



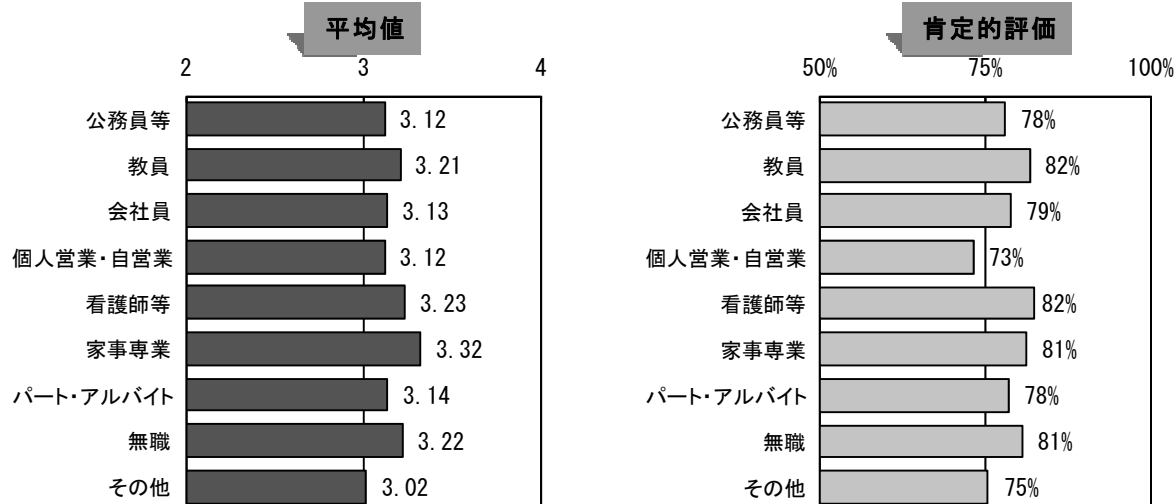
職業別に印刷教材の評価を見ると（次頁図2-89）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、全体的に評価が高い。「家事専業」では全ての項目でことごとく評価が高い。一方、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の評価では「公務員」、「個人営業・自営業」が他の職業に比べ低い評価となっている。これは、学習に費やせる時間的余裕が関連していることも考えられる。

図 2 - 8 9 【大学院】職業別の印刷教材の評価

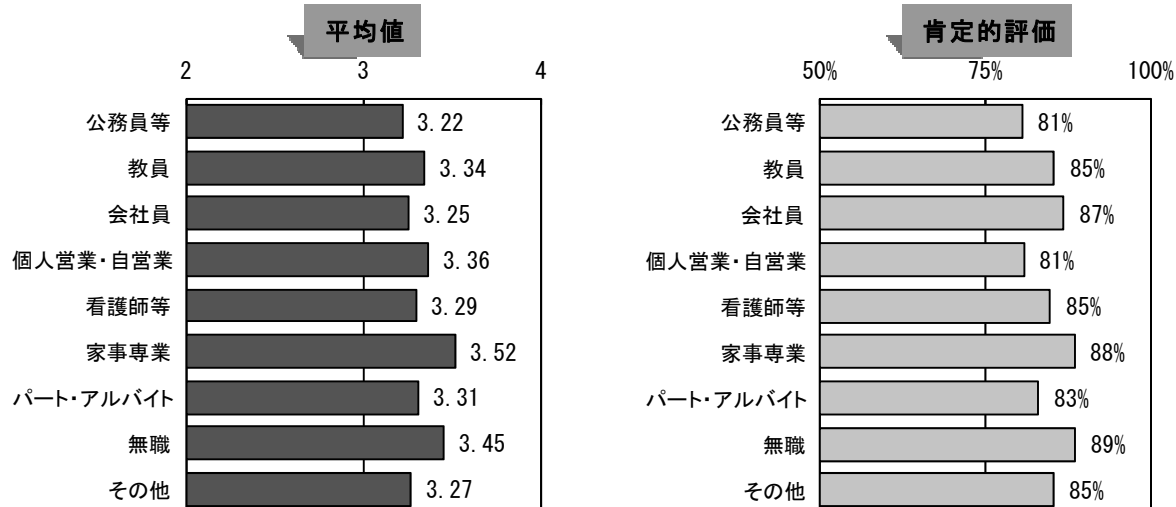
(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた



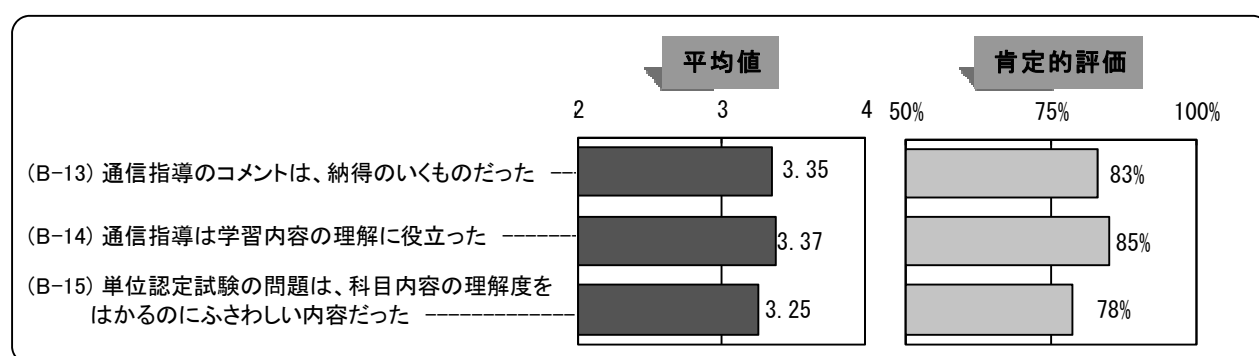
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については(図2-90)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.35、肯定的評価 83%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.37、肯定的評価 85%と、いずれも高評価である。

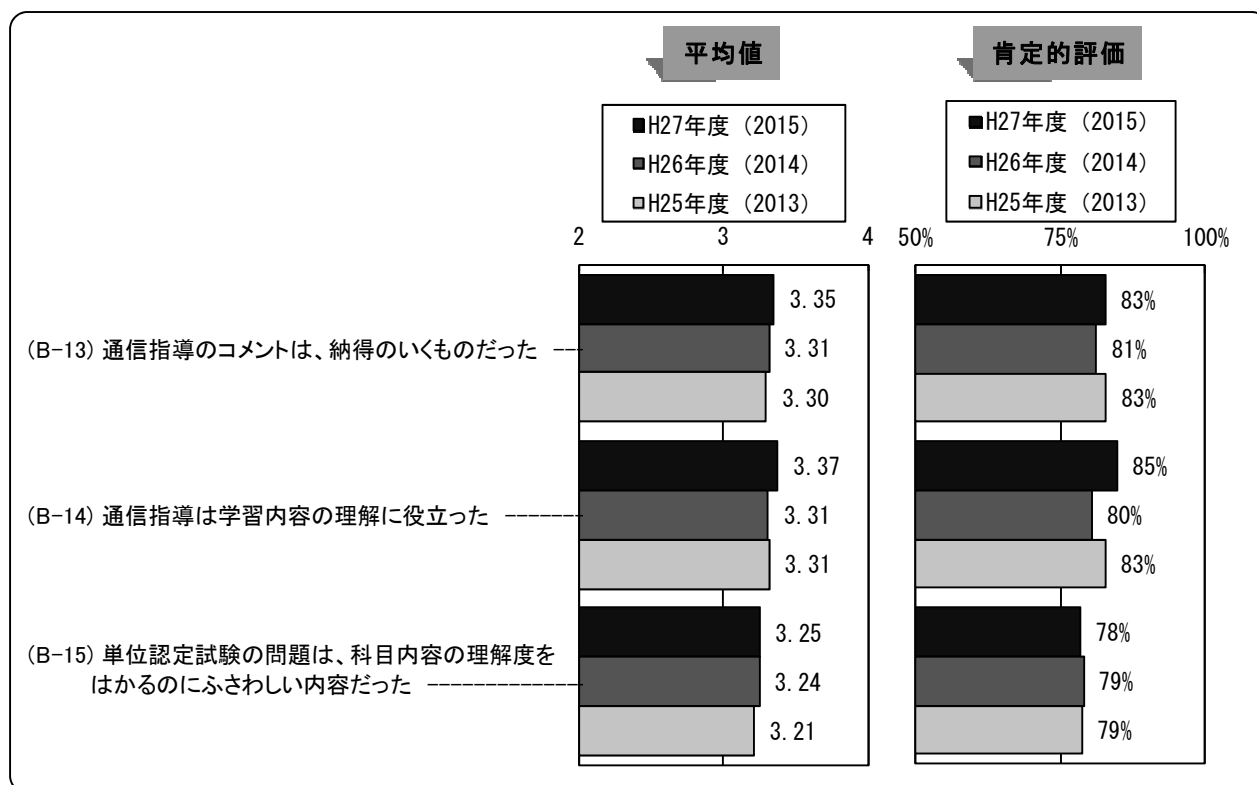
単位認定試験についても(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.25、肯定的評価 78%と比較的评价が高いと言える。

図2-90【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



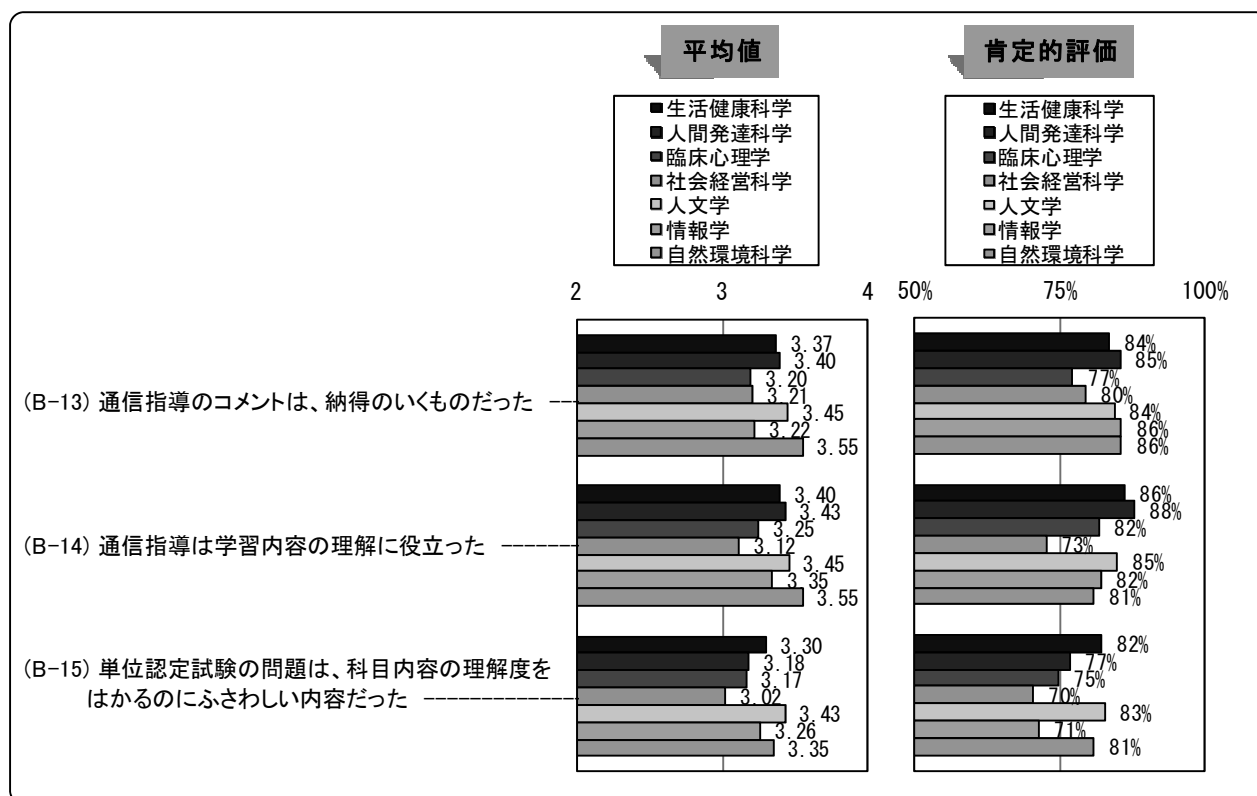
通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(次頁図2-91)、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が2014年新規開設科目と比較し、高い評価を得ているが、(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では、わずかに評価を下げている。

図 2-9 1 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図 2-9 2）、通信指導は、「人間発達科学」「情報学」「自然環境科学」で評価が高く、「社会経営科学」は評価が低い。単位認定試験においても、「社会経営科学」の評価が低い。

図 2-9 2 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．参考

ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく（相関係数の意味と見方については、巻末資料を参照されたい）。

（表２－７）は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表２－７ 【大学院】放送授業と各項目との相関係数

	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A-2) 放送授業を十分に視聴した	1.000	0.399
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.404	0.628
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.400	0.641
(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.392	0.791
(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.426	0.732
(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.399	1.000
(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.288	0.613

これを見ると、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は全体としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は0.399と、やや相関は見られるものの、強くはない。

また（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目の間では、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」の相関係数が0.426とある程度の相関を示しており、放送授業の視聴に際して何らかの影響を与えていることがわかる。

一方、（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られ、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数0.791、（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数0.732と、強い相関を示している。したがって、総合評価を高める上では、特に講師の説明内容や熱意が重要だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)及び(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)の相関係数を見たのが表2-8である。

表2-8 【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.283
(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.323	0.598
(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.340	0.584
(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.313	0.560
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.328	0.772
(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.255	0.662
(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.283	1.000

まず、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢)と各評価項目の間には、あまり相関は見られない。取組姿勢に対する自己評価では、印刷教材に対する評価はあまり表れていない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価)と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数0.772、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が0.662と強い相関を示している。であるから、印刷教材の総合評価をさらに高めるためには、逆に難易度や適量等に注力することが重要と言える。

続けて(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」及び(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが(次頁表2-9)である。

表2-9 【大学院】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.493	0.446
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.527	0.271	0.260
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.690	0.433	0.353
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.404	0.560	0.574
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.407	0.520	0.540
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.351	0.604	0.610
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.379	0.551	0.590
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.386	0.556	0.626
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.424	0.495	0.554
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.395	0.538	0.649
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.319	0.519	0.531
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.385	0.498	0.555
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.355	0.633	0.679
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.292	0.466	0.527
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.355	0.592	0.706
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.282	0.402	0.510
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.335	0.475	0.561
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.286	0.507	0.602
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.379	0.521	0.624
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.448	0.633	0.742
	(B-18)新しい知識が身につく視野が広がった	0.423	0.594	0.708
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.493	1.000	0.768
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.446	0.768	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と全体評価の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度と理解度は 0.493、熱心度と満足度は 0.446 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間には緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.768 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.690 と強い相関が見られるが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は相関係数 0.527 となっており、印刷教材中心の学習実態がうかがえる。さらに全体評価の各評価項目とも緩やかな相関が見られる。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」以外の各評価項目と相関が見られる。理解度は、放送授業や印刷教材の難易度・分かりやすさ、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につく視野が広がるものであったかどうかなど、さまざまな項目が要因となっている状況がうかがえる一方、取組姿勢とはあまり密接な関連は見られない。しかし、放送授業の存在意義を考えればさらなる改善が必要であろう。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は、各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」である。科目の満足度を高める上では全ての要素が連動して満足度に寄与する必要があるが、特に印刷教材の分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが重要なポイントと言える。

また、学部で行った分析と同様の方法で放送授業、印刷教材の改善点の分析を試みる。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を基準に、この項目に対して 1、2 の評価を下した標本を母集団に各項目との相関係数を求めたのが（次頁表 2 - 10）である。

表2-10 【大学院】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた。 (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.169
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.287
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	-0.043
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.247
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.285
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.055
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	-0.031
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.556
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.552
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.334
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.244
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.185
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.157
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.120
通信指導・単位認定試験	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.177
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.158
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.147
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.181
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.237
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.233
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	-0.002
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.145

(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」との相関が強い、ということは放送授業に対する低い評価の大きな改善点がこの項目であることを示唆している。

自由記述でも、講師に対する言及・要望が散見された。内容を結果を精査し、改善に生かすべきと考える。

最後に、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」に対して1、2の評価を下した標本を母集団として同様に分析したものが(次頁表2-11)である。

表2-11 【大学院】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。 (評価1または2)
取組姿勢	(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.154
	(A-2) 放送授業を十分に視聴した	0.099
	(A-3) 印刷教材を熱心に学習した	0.052
授業の難易度・分量	(B-1) 放送授業の難易度は適切だった	0.313
	(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.242
	(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.339
	(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.262
放送授業	(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.363
	(B-6) 講師の熱意が十分に伝わった	0.251
	(B-7) 放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.365
	(B-8) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.014
印刷教材	(B-9) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	-0.015
	(B-10) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.371
	(B-11) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.227
	(B-12) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
通信指導・単位認定試験	(B-13) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.206
	(B-14) 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.171
	(B-15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.111
全体評価	(B-16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.218
	(B-17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.335
	(B-18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.269
	(B-19) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.139
	(B-20) この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.312

この結果から、印刷教材に対して低い評価を下す標本は、放送授業に対しても否定的評価を下す傾向にあるということがわかる。

放送授業に対して否定的評価を下す学生にとって、印刷教材の理解に放送授業が効果的な成果を伴っていないと考えられる。

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ-1. 総括

自由記述については、かなり多くの学生が回答を寄せており、全回答合わせて約12,800件の記入があった。回答の傾向は、コース・科目・メディア等（さらに、年齢や職業も関係しているのだろうが）によってその言わんとするところは異なっている。

これらの自由記述における意見を読み込み、記述内容を分析することで、彼らの要望や志向、興味や学習意欲など、さまざまな情報を得ることができる。しかし、数が多いのでそのすべてをここに列記することはただ煩雑を増すだけである。個々の回答については、全ての回答の原文を査読いただくとして、ここでは学生の意見の全体像を俯瞰するために、前年度に倣い、自由記述に記入された意見を傾向ごとに分類・集約した。

集約方法は、コース（プログラム）ごとに、その科目を受講して①「よかった点」②「気になった点」を、その意見内容の傾向によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」を抽出した。

さらに、留意しておきたいのは、入学試験のない放送大学の性質上、受講生の素養や理解度のレベルにはかなり大きな差があるということである。加えて年齢の問題も関係してくる。実際に「老齢なので、小さい文字が読めない。」「新しい言葉はわからないので説明してほしい。」「記憶力が衰えているので、記憶力が問われるテストは困る。」「論述ではなく選択式にしてほしい。」等の意見が目立つ。また、同じ科目であっても、「難しすぎる」「もっと高度な内容にしてほしい」という意見が並列することもある。普通の大学では、このような要望を目にすることはあまりないと思われるが、放送大学では頻出している。以下の自由記述のまとめは、以上のことを踏まえたいうで参考にしていたきたい。

まず学部の科目全般を集約すると、「よかった点」として以下の意見が多く見られた。

- 勉強になった、役に立った
- 知識の整理・深耕に役立った
- 今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ
- 基礎的な知識を得られた
- 視野が広がった、視点・考え方が変わった
- 学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった

全体的に要約すれば、「教養の深まりと広がり」「知的好奇心の喚起・知的欲求の高まり」「実生活への反映と実践」に寄与したことが高評価の3大要因となっている。

その他、「学校側の対応が良かった／学習センターや図書館が良かった／受講しやすい環境だった、システム面が良かった」等、放送大学の存在や体制に対する好意的な意見も目立った。

次に、放送授業のよかった点としては、以下の意見が多かった。

- 分かり易く講義していた
- 講師の熱意や人柄の良さを感じた
- 講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた
- 現場取材やインタビュー、実験があつてよかった
- 映像や写真が多用され、分かり易かった
- 放送授業と印刷教材の内容が異なった（同じだった）

「講師が分かり易く熱意をもって講義すること」「ビジュアルや音の要素を活用し、面白く見せる・聞かせること」「印刷教材との連動性・補完性に留意すること」の3つが、放送授業の高評価につながる要素と言えるだろう。

印刷教材については、以下が挙げられている。

- 引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった
- 体系的に良くまとまり、整理されていた
- 放送授業と内容が連動している
- 放送授業と異なる情報が得られた
- 読み物として面白い内容だった
- 図版や表が役に立った

要約すれば、「分かり易く面白く読める構成と内容であること」「図版や表などでビジュアル的にも訴えかけること」「引用・参考文献の紹介、練習問題でさらに進んだ学習ができること」「放送授業との連動性・補完性に留意すること」の4つがより良い印刷教材作成の鍵となる。

通信指導については、以下が目立つ意見であった。

- 分かりやすく丁寧な指導だった
- さらなる学習のヒントや情報を与えられた
- 現在の学習課題や問題点を知ることができた
- 専門的な内容の指導だった／添削・コメントをしてもらえた

日常的に指導陣とコミュニケーションできない受講生にとっては、「添削やコメントを交えた分かり易く丁寧な指導」「さらなる学習への導き」「問題点を的確に指摘し課題を与えること」が学習意欲を高めるのに、必要となる。

単位認定試験については、以下が挙げられた。

- 単位がとれた
- 試験内容が適切だった
- 現在の理解度、学習課題や問題点を知ることができた

試験に受かるのは当然としても、試験内容については「やりがいのある試験だった」と「簡単だった」、「記述式で良かった」と「〇×式で良かった」が並列されており、受講生によってかなり温度差も感じられる。

一方、科目全般で「気になった点」としては、「よかった点」の裏返しで、難易度、内容や説明の不足、内容の広さ、具体例・事例不足、学校側の対応や設備利用、実生活と学習の調整に関する不満が多かった。

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 現実に活かせる内容にしてほしい
- 内容・講師に思想的偏りがある
- 質問や相談がしたい
- 事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい
- 面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい
- 各種施設の利用について、充実・改善してほしい
- 費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい
- 放送大学の体制改善やイメージアップが必要
- 働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい

難易度に関しては、前期のように受講生の理解度・素養のレベルに差があるので、すべてに対応するのはなかなか困難であろう。「内容・講師に思想的偏りがある」については、「学校側の対応や設備利用、施設の充実度」については、どうしても地域差が出てしまうようだ。「働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい」は放送授業の時間や単位認定試験の実施日時・場所も含むが、今後可能な限り調整することも考えなければならないだろう。

「面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい」「質問や相談がしたい」は、学習意欲にプラスして何らかの人的交流の要求ということである。

次に放送授業で気になった点では、以下が目立った。

- 難しい、高度すぎる、理解できない。説明が不十分
- 印刷教材と内容が異なる
- 印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった
- まとめや学習ポイント、総括がほしい
- テレビ、ラジオ両方で対応してほしい
- 録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい
- 講師の話し方や発音、講義態度が良くない
- 手話通訳または字幕がほしい

授業についていけないという受講生への対応は難しいが、科目全般にあった「事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい」という意見との関連性も考えられる。実際に「最初は、こんなに難しいとは思わなかった。自分の思っていた内容と違った」という趣旨の意見もあった。

「印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった」は非常に多い意見である。講師の意識改革も必要という事が読み取れる。「テレビで受講したい」という要望は多いが、さらに「手話通訳や字幕」がほしいという要望は、今後検討しなければならないであろう。

印刷教材で気になった点は、以下が挙げられている。

- 難しい。文章が回りくどい
- フリガナ、専門用語の説明などがほしい
- 和訳・英訳がほしい
- 文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった
- 放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい

- 放送授業と内容が変わらない（異なる）
- 誤植がある
- 図・写真・イラスト・表を増やしてほしい
- DVD、CDの添付を考えてほしい

テキストの難易度については、やはり受講者の理解度・素養が大きく関係している。「フリガナ・専門用語の説明がほしい」や「和訳・英訳がほしい」も同様である。

印刷やグラフィックの質を向上させることも必要であるが、関連資料やデータ・ビジュアル面の充実も望まれる。「誤植がある」は、特に数字の間違いが多いという記述が目立った。これは、早急な改善が必要であろう。「DVD、CDの添付を考えてほしい」は、放送授業が見れないという人や見逃した人からの要望が多い。

通信指導については、以下の意見が寄せられている。

- 課題の内容・量が的確ではない。
- 指導内容、コメント、対応に不満がある
- 質疑応答がしたい
- インターネットで行いたい
- 放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている
- 提出期間が短い。スケジュールの改善を。

講義の流れに沿った内容で、個人のレベルに寄り添った丁寧な指導が求められている。

単位認定試験については、以下になる。

- 試験内容の設問・難易度に違和感があった
- 問題が多かった。範囲が広がった
- 問題の解答・解説・用紙がほしい
- 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった
- 結果通知が届くのが遅い
- 早くに会場を出る人がいて、気にかかる

これらの要望は、主に受講者の学習進度や受講体制に関連しているものである。「難しすぎる」という意見に対して「簡単すぎる」という意見もある程度出ているし、「問題が多かった」という意見に対して、「少なすぎる」という意見も目立つ。また、「記述式がよい」と「〇×式、選択式がよい」のどちらも上がっていた。

「試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった」には、印刷授業のみで学習している受講者からの意見もあった。また、試験の進行・運用の不備に対しても苦言が見られた。

以上、学部生の意見を大きく集約すれば、以下が求められていると言えるだろう。

- 興味を持てる内容を、分かりやすく、おもしろく講義する
- 丁寧な指導とアドバイス
- 適切な試験でスムーズに単位が取得できる

可能な限り受講者の要望に沿うことが求められるが、これは全体を俯瞰した内容であり、さらに個々の科目ごとに見ていくとそれぞれの差異がみられる。それらを分析し、今後そのカリキュラム編成を見直し、科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていきたい。

次に、大学院の集約した結果を見ると基本的には学部と大差なく、サンプル数が少ないこともあり、学部ほど目立った差異を見出すことはできないが、「よかった点」よりも「気になった点」の方が多くなっている。これは、学究の進捗とともに要望も高度なものになっていると考えられる。

まず、全体的な「よかった点」として、知の深まりに喜びを感じている気持ちが表れている。

- 今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ
- 新しい知識、知らなかった知識が身に付いた
- さらなる学習意欲がわいた
- 今まで知らない内容で興味深かった。新鮮だった
- 自分の意見・考え持てるようになった
- 分かりやすく、勉強になった
- 体系的によくまとまり、整理されていた
- 添削・コメントをしてもらえた

他、「インターネットで受講できること」を評価する意見もいくつか見られた。

大学院であるから当然ではあるが、それぞれの探求の姿勢と方向性が専門的かつ明確であり、志学の焦点がはっきりしていることが感じられる。

一方、科目全般の「気になった点」としては、内容の高度さととまどう面とさらなる学習意欲が並列している。

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 分かりにくい、説明・解説が不十分
- 具体例・事例・実践的な内容を増やして欲しい

放送授業で「気になった点」は、以下が非常に多く見られた。学部とほぼ同様であり、放送大学全体としての検討が必要である。

- 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- テレビ科目にして欲しい

印刷教材の「気になった点」では、内容・構成や編集への要望や誤植の指摘が多かった。

- 図やイラストを増やしてほしい
- 誤植があった
- 構成・内容が良くない、面白くない

通信指導での「気になった点」は記述が少ないが、以下が目につくので、さらに丁寧・熱心な指導が求められている。

- 指導内容、コメント、対応に不満がある

単位認定試験での「気になった点」では、相反する意見があるが、高度な試験を期待する声の方が若干優位であった。

- 試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき
- 試験が難しすぎる、難易度を下げるべき
- 記述式および記述に関して改善してほしい

以上、大学院ともなると、さすがにある程度学習が進んだ受講生が多いせいも、「試験を簡単にしてほしい」とか「授業が理解できない」という声は全体で極めて少なく、テレビ化への要望を別にすれば、授業そのものへの不満も少ない。印刷教材でも内容・構成や編集への要望が多くなっている。

大学院では、受講する側も高度な教育を求めている。それは、単に講義内容のみならず、学部以上に科目構成の充実や講師の熱意・指導力も必要とされるということである。

受講生も限られているので、教育の頂点としての大学院を目指しつつ、一つ一つの事例に対応することが求められている。

Ⅲ-2. 学部

【学部】「基礎科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般 意見	科目全般		
	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった、視点・考え方が変わった	40	34	74
勉強になった、役に立った	40	28	68
知識の整理・深耕に役立った	47	14	61
基礎的な知識を得られた	47	12	59
内容がよかった、分かりやすかった	38	10	48
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	25	17	42
興味が持てた、関心が持てた	30	8	38
さらなる学習意欲がわいた	24	11	35
楽しく受講できた、面白かった	30	4	34
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	23	8	31
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	16	11	27
現在の課題や身近な問題点を学べた	7	13	20
現状のままでもいい、満足している	9	5	14
身近に感じることが出来る内容だった	10	3	13
最新の情報・研究が学べた	5	6	11
他の科目と関連性が良かった	8	3	11
自分の意見・考えが持てるようになった	5	3	8
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4	2	6
具体的な事例・実験があった	5	1	6
学校側の対応が良かった	4		4
面接授業や実習が良かった	1	3	4
学習センターや図書館が良かった	2	1	3
専門的な内容だった、レベルが高かった	2		2
受験・資格取得に役立った	2		2
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	2		2

印刷教材 意見	印刷教材		
	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	4	3	7
新しい知識・視点を得ることができた	1	2	3
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	2		2
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1
読み物として面白い内容だった	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
最新の情報や研究が紹介されていた	1		1
図版や表が役に立った	1		1

通信指導 意見	通信指導		
	テレビ	ラジオ	合計
さらなる学習のヒントや情報を与えられた	1	3	4
興味・関心が深まった	1		1
新しい知識・情報を得られた	1		1
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1
現在の学習課題や問題点を知ることができた		1	1
添削・コメントをしてもらえた	1		1

単位認定試験 意見	単位認定試験		
	テレビ	ラジオ	合計
記述式がよかった	1	1	2
受験して良かった		1	1
やりがいがある試験だった		1	1
〇×式でよかった	1		1

放送授業 意見	放送授業		
	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	22	2	24
講師の熱意や人柄の良さを感じた	12		12
受講して良かった	8	3	11
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	11		11
タレントの参加が良かった	10		10
映像・テレビでよかった	9		9
映像や写真が多用され、分かり易かった	9		9
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	8		8
新しい発見や驚きがあつた	4		4
インターネットで受講できた	3	1	4
対話形式の授業がよかった	2	2	4
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	2	1	3
専門的に掘り下げていた	3		3
アシスタントがよかった	3		3
実例や身近な例を取り上げていた	2	1	3
最新の情報や研究が学べた	1	1	2
ラジオでよかった	1		1
社会的な課題や問題点を知ることができた		1	1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 授業・教材内容で試験のポイントを明確にする。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。
- 学生のレベルは千差万別であることを留意し、科目構成・授業を行う。
- 興味を喚起する教材を用意する。
- 通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する。

【学部】「基礎科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	35	22	57
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	16	14	30
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	21	8	29
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	14	7	21
分かりにくい、説明・解説が不十分	14	6	20
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	15	5	20
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	11	6	17
質問や相談がしたい	10	5	15
最新の内容の講義にしてほしい	9	1	10
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	5	3	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	7	7	7
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	7	7	7
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2	4	6
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4	2	6
現実に活かせる内容にしてほしい	4	2	6
内容・講師に思想的偏りがある	3	3	6
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	4	2	6
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	4	2	6
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	3	5
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	3	2	5
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	2	3	5
学校の対応が悪かった	4	1	5
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	3	1	4
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	3	1	4
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	2	2	4
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	2	1	3
資格取得ができるようにしてほしい	3	3	3
交流の場を用意してほしい	3	3	3
参考文献を紹介してほしい	2	2	2
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1	1	2
アンケートは必要性や実施時期に疑問	2	2	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	1	1
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	1	1	1
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1	1	1
判断・評価できるレベルに達していない	1	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	9	4	13
試験内容の設問・難易度に違和感があった	8	3	11
試験の会場・日程について一考を	7	2	9
問題の解答・解説・用紙がほしい	5	5	5
問題数が少なかった	4	4	4
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	4	4	4
記述式および記述に関して改善してほしい	4	4	4
評価方法に疑問を感じる	2	2	2
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2	2	2
教材・電卓持込み可にしてほしい	1	1	2
教材の持込みは不要	1	1	2
問題が多かった、範囲が広がった	1	1	1
〇×式、選択式にしてほしい	1	1	1
面接授業を受けなくても単位が取れる様にして欲しい	1	1	1
インターネットを利用した受験	1	1	1
先の試験日を事前に知りたい	1	1	1
鉛筆だけでなくシャーペンも可としてほしい	1	1	1
カンニング等の不正防止に努めてほしい	1	1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	22	5	27
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	10	1	11
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	8	2	10
構成・内容がよくない、面白くない	6	2	8
難しい、文章が回りくどい	4	2	6
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	6	6	6
放送授業と内容が異なる	4	2	6
誤植がある	5	5	5
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	3	1	4
内容が薄い、少なすぎる	3	3	3
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	3	3	3
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	1	2
設問の解も載せてほしい	1	1	2
和訳・英訳がほしい	1	1	1
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1	1	1
DVD・CDの添付を考えてほしい	1	1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	5	1	6
指導内容、コメント、対応に不満がある	4	2	6
質疑応答がしたい	5	5	5
課題範囲が広すぎる、難しい	3	1	4
インターネットで行いたい	3	3	3
課題の内容・量が的確ではない	2	2	2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれてい	1	1	2
単位認定試験のヒントがほしい	1	1	2
提出期間が短い、スケジュールの改善を	1	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	19	10	29
テレビ科目にしてほしい	13	14	27
構成・内容がよくない	14	3	17
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	11	5	16
印刷教材と連動していない	10	5	15
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	10	2	12
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	11	11	11
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	11	11	11
図・表・写真を利用してほしい	5	5	10
印刷教材と内容が異なる	4	5	9
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	6	1	7
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	5	1	6
放送授業の時間が合わない	4	2	6
まとめや学習ポイント、総括がほしい	3	2	5
講師の独りよがりになっている	3	2	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4
補助教材や参考文献の発行・紹介を	3	1	4
放送授業が聞き取りづらい	4	4	4
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	3	3	3
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	3	3	3
例題・実習・演習を取り入れてほしい	2	2	2
ノートを取る余裕がほしい	1	1	2
手話通訳または字幕がほしい	1	1	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1	1	1
1科目の放送時間が短い	1	1	1
2科目の放送時間が長い	1	1	1

【学部】「基礎科目」

よかった点

- グローバル化が私たちの身近なことに直接影響していることがよくわかった。印刷教材は多角的な面からコンパクトにまとめられていて良いと思った。日本がグローバルスタンダードの発信元になることの必要性や日本の良い部分はグローバルで生かす工夫やアイデアが重要になるとわかり教育が今後増々大事になると思った。
- 「市民自治の知識と実践」を受講して、市民自治という学問の奥深さがよくわかりました。世の中は今までこんなふうに戻って来たのだという事が少し理解出来ました。新聞やテレビのニュースもわかるようになり、世の中広く感じるようになりました。
- 教材についても、先生方についても、たいへん良く勉強させられた、考えさせられたと思う。市民自治は未だ善意や理想で成立している。公のものである以上、組織手続や法や客観性、責任が明確でなくてはならない部分があることを、実は多くの市民が気付いていない。合意形成からいかに経営、法務、労務を成立させるのか？共助や包括システムに行政が移行していくならば、しっかりととらえるべき課題であると思う
- 私達の日々の生活に影響を及ぼす気象についての基礎的な知識を学ぶことができた。また、ニュースで流れる異常気象による災害や、天気予報などを、授業で学んだことと関連づけて興味深く見ることができるようになりよかった。放送授業は、理解しづらい物理学や化学の知識を実験の映像で説明があったり、気象に関する施設の紹介など判りやすく、楽しく学ぶことができ良かった。
- 普段、何気なく見ていた天気予報を専門的な視点で見られるようになったのは良かったと思います。テキストの文章だけではイメージするのが難しかった事象を実験映像で見ることができたのは、この科目を理解する上でとても役立ちました。
- まず第一に大気のマカニズムを地球の成り立ちから含めて、ダイナミックにとらえることができたこと。次に、その性質に基づいて、今後発生するかもしれない気象災害や警報にきちんと状況を理解しながら対処を考えることができそうだ。第三に、いかに地球は壊れ易く、精妙なバランスの上で生物は生かされているか、理解できたこと。オゾンホールや地球温暖化等の問題について考える、基礎的な知識を得ることができたことである。
- 苦手な科目の集合で、各科目同志の共通点やポイントが判りやすく説明されていました。数学、物理、化学、生物学と高校時代から理解不足でしたが、新しい学び方かと思いました。宇宙もです。
- 退職後の余生は、自然科学全般を学ぶ楽しみに費やしたい。そういう意欲はあるものの、長年学習の機会から遠ざかっていた者にとっては、(特に数学や物理などは、) 再び始めようとしてもなかなかハードルが高くちゅうちょしてしまっていた。しかしこの科目が開設されて、広い分野の基本を学ぶことができ、次の一歩を踏み出すきっかけになったことはありがたかった。
- 「とっつきにくい」自然科学！でしたが、今回“自然科学はじめの一歩”という表題を見て、とたんに、こんな自分でも自然科学の世界に足を踏み入れられるのでは・・・と。そんな思いになり受講しました。学友としてアシスタントの方が心強く共に学ぶという感覚は有用だったと思います。試験は大変でギリギリの合格でしたが、この教科書を今後も手の届くところに置き学び続けていきたいと思ひます。初心者に対し分かりやすく配慮していただけたと思ひます。
- 日本語の言語学特徴、地理的、歴史的事情をふまえて、私達のコミュニケーションが成り立っているかをよく分析していると思ひます。日本人のネガティブな面から、変化してポジティブな面へと現日本人となりつつある。(流れの理解) いろんな立場、状態でのコミュニケーションの取り方、表わし方が相手の言葉、自分の言葉等、「ああ、そうか」と理解しました。日本語の文化として、わかったような気がします。

気になった点

- 各回先生が違うので、学習の取り組みに迷うことがありました。印刷教材中心だったり、それはそれとして、と印刷教材から離れたところでの話だったり。放送を聴いている時は楽しく聴けるのですが、テストとなるとどこをポイントにしていいいか、迷いました。
- ラジオ科目は印刷教材の棒読みという印象をまぬがれない。映像を使わないなら、その分印刷教材をもっとビジュアル面に訴えかける工夫をしないと、抽象的な理解にとどまるにすぎず、今後使える知識として定着しないのではと残念に思う。その割に印刷教材のボリュームが多いとも感じる。同じことをくりかえし述べている文章がかなりあるので、できれば何割かそぎ落としてかわりに写真でも表でも視覚的にインパクトのある素材を使い内容を直観的に促えられるようになると多忙な学生にはありがたいです。
- この科目を受講して一言「難しい」と思いました。五人の先生方の授業は男性や公務員にとってはよかったと思うだろうが、私にとっては、日本の借金はこんなに税金を払うのに少しも減らないのはなんでだろうとか、安保法案はどうしてこんなに反対が多いのか等こういう身近な問題をわかりやすい教材があるとまた勉強してみたいと思います。
- 印刷教材に沿った講義ではなかったと感じました。基礎科目でしたが、これが基礎科目とすると、共通・専門になれば自分にはついていけないのではないか不安になりました。私には難しすぎた講義でした。
- 記述式試験の評価方法や結果を本人にどのように伝えるか？AとかBとかの最終結果ではなく、なぜその結果になったのかという事まで本人に理解されないと、次への展開（応用など）にプラスにならないと考える。
- ・一般に見られる天気図から読み取れる事項をもっと多く知りたい。・温度の表現を一定にしてほしい。（ある時はK ある時はC。 を統一願ひ度）・図の読み方をもっと解りやすく説明してほしい。例）ジェット気流の鉛直断面など今だによく解らない。・図が白黒のみでありしかも小さくてとても見難い。
- 放送授業と印刷教材の難易度のひらき（特に物理学）があまりにも大きく、特にはじめての科目なのでどのレベルに合わせて学習すれば良いのか大いに悩みました。放送授業は楽しく、印刷教材は苦しく、そんな感じでした。放送授業、印刷教材それぞれ単独で見れば、とても良くできていると思います。どちらにウエイトをおいた学習すれば良いのか迷うとのことと思います。物理学の通信指導の講師の方のコメントは冷たく感じられましたし…。
- 自然科学へのまさにポータル科目という主旨はすばらしいが、範囲が広すぎるのと、それぞれの分野への解説の深さが中途半端になっていると思います。天文と化学、物理と生物など2つの程度に内容を分け、「はじめの一步Ⅰ、Ⅱ」に分けた方が良いでしょう。
- 放送授業を視聴しなければ答えがわからない問題があり、視聴を強要されているように感じて不快だった。視聴できない場合もあることに配慮してほしい。
- 放送授業のわかり易い内容と、印刷教材の内容（難易度）にギャップがありすぎ。単位認定試験もさらにむずかしくて安易にとって失敗した感があった。専門的に学んでいた者でもそう感じた。放送授業の親しみ易い内容に魅かれてると痛い目に合う。
- もう少し双方向的なやり取りが増えればと感じています。今は中間のレポート提出がありますが、毎回の授業毎の課題の提出、check、学生の質問の内容の公開等がもっと充実できればと考えます。

基礎科目総覧

基礎科目は、入学してまず取り組む科目なので、慣れや理解度の差もあるのであろう。科目全般の良かった点では、まず、「新しい知を得たこと」や「楽しくて分かり易かったこと」の素直な喜びが目立つが、やはり「視野が広がった、視点・考え方が変わった」が最も多い意見となっている。また、「仕事・生活・余生に現実的に役立つ」という意見も多かった。

放送授業では「分かり易く講義していた」点が評価されている。やはり基礎的なことで分かり易い授業が大事である。授業内容では、「取材やインタビュー」を盛り込み、「画像・映像・CGを駆使」した授業が好まれるようである。

印刷教材でも「分かり易さ」がまず第一であって、そこに新しい知識や情報が盛り込まれたことが評価されている。

気になった点は、良かった点の裏返しで、「難しく、分かりにくいこと」を挙げている受講生が多い。また、基礎科目に限ったことではないが、「テレビ科目にしてほしい」という要望が多く、講師に対しても「印刷教材の棒読み」を批判する意見が多い。

通信指導に対しては、「問題の解答例・解説」「親身な指導や質疑応答」を求める声が上がっている。

単位認定試験では多数の「難しい」という意見に対し、「問題数が少ない、簡単すぎる」と言った声もあった。受講生の理解度に差があることをうかがわせる。

【学部】「共通科目：人文系」

よかった点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役立った	39	49	88
勉強になった、役に立った	29	49	78
視野が広がった、視点・考え方が変わった	38	33	71
基礎的な知識を得られた	23	31	54
さらなる学習意欲がわいた	21	32	53
興味が持てた、関心が持てた	17	33	50
楽しく受講できた、面白かった	18	28	46
内容がよかった、分かりやすかった	16	28	44
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	13	18	31
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	8	23	31
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	9	15	24
現状のままでもいい、満足している	5	15	20
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	8	9	17
自分の意見・考えが持てるようになった	7	2	9
身近に感じる内容が出来る内容だった	4	5	9
学校側の対応が良かった	6	3	9
他の科目と関連性が良かった	5	3	8
現在の課題や身近な問題点を学べた	3	4	7
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	3	4	7
最新の情報・研究が学べた	3	1	4
専門的な内容だった、レベルが高かった	1	2	3
学習センターや図書館が良かった	2	1	3
面接授業や実習が良かった	1	1	2
受験・資格取得に役立った	1		1

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
分かりやすく、勉強になった		9	10	19
新しい知識・視点を得ることができた		3	6	9
体系的に良くまとまり、整理されていた		3	2	5
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	2	3
ポイントが明確に押さえられていた			2	2
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1	2
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1		1
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		1		1
コラムや関連情報が面白かった			1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった		1		1
読み物として面白い内容だった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
添削・コメントをしてもらえた			2	2
パソコン・インターネットが利用できた		2		2
楽しく受講できた、面白かった			1	1
記述式がよかった		1		1
分かりやすく丁寧な指導だった		1		1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた		1		1
現在の学習課題や問題点を知ることができた			1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	21	10	31
分かり易く講義していた	15	13	28
受講して良かった	9	6	15
新しい発見や驚きがあった	6	6	12
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	8	2	10
映像・テレビでよかった	5	2	7
インターネットで受講できた	4	3	7
放送のテンポや時間構成がよかった	1	3	4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	2		2
社会的な課題や問題点を知ることができた	1		1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった	1		1
映像や写真が多用され、分かり易かった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
単位がとれた		1	1	2
やりがいがある試験だった		1	1	2
受験して良かった		1		1
評価がよかった			1	1
簡単だった		1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。

気になった点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	6	28	34
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	15	18	33
分かりにくい、説明・解説が不十分	15	17	32
難しい、高度すぎる、理解できない	14	13	27
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	11	10	21
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	9	11	20
質問や相談がしたい	5	13	18
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	6	8	14
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	7	5	12
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	5	8
内容・講師に思想的偏りがある	5	3	8
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	5	2	7
学校の対応が悪かった	4	3	7
最新の内容の講義にしてほしい	1	4	5
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	3	2	5
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	3	2	5
現実に活かせる内容にしてほしい	2	2	4
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	2	2	4
資格取得ができるようにしてほしい	1	3	4
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	1	3	4
参考文献を紹介してほしい	2	1	3
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	3		3
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	1	3
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	2	1	3
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	1	2	3
交流の場を用意してほしい		3	3
判断・評価できるレベルに達していない	1	2	3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	1	2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		2	2
興味・意欲がわかenかった、面白くなかった	1	1	2
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	7	33	40
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	13	4	17
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	10	6	16
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	7	7	14
構成・内容がよくない	6	6	12
印刷教材と連動していない	5	7	12
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	8	3	11
印刷教材と内容が異なる	6	3	9
図・表・写真を利用してほしい	8		8
まとめや学習ポイント、総括がほしい	3	4	7
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	6	1	7
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	4	6
印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	2	6
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2	2	4
講師の独りよがりになっている	4		4
放送授業の時間が合わない	3	1	4
補助教材や参考文献の発行・紹介を	2	1	3
ラジオの放送を充実してほしい	2	1	3
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	3		3
ノートを取る余裕がほしい	2	1	3
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		2	2
放送授業が聞き取りづらい	1	1	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5	20	25
構成・内容がよくない、面白くない	11	6	17
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	9	7	16
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	2	6	8
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	5	2	7
放送授業と内容が異なる	4	2	6
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	4	5
内容が薄い、少なすぎる	1	2	3
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		3	3
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		3	3
教材の装丁・デザインを改善してほしい	2	1	3
設問の解も載せてほしい	2	1	3
難しい、文章が回りくどい	2		2
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1	1	2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		1	1
誤植がある		1	1
DVD・CDの添付を考えてほしい	1		1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
課題範囲が広すぎる、難しい		5	5	10
指導内容、コメント、対応に不満がある	0	6	6	6
講師の字が汚い		4	4	4
インターネットで行いたい	1	1	2	2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている		2	2	2
提出期間が短い、スケジュールの改善を		2	2	2
課題の内容・量が的確ではない		1	1	1
質疑応答がしたい		1	1	1
単位認定試験のヒントがほしい		1	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式および記述に関して改善してほしい	4	11	15
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	6	6	12
試験内容の設問・難易度に違和感があった	4	6	10
問題の解答・解説・用紙がほしい	5	5	10
教材・電卓持込み可にしてほしい	1	7	8
問題が多かった、範囲が広がった	1	6	7
○×式、選択式にしてほしい	3	4	7
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	5	6
試験の会場・日程について一考を	2	1	3
試験の進行に不備があった		3	3
問題数が少なかった		2	2
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	1	2
評価方法に疑問を感じる	1	1	2
インターネットを利用した受験	1		1
結果通知が届くのが遅い		1	1
教材の持込みは不要		1	1

【学部】「共通科目：人文系」 科目

よかった点

- 考えてみれば当然だったのですが、「教育」することが学問となり、研究対象となるということを実感として認識できた点でよかったと思った。
- 少子高齢化、グローバル化、格差社会、都市と地方等の問題の顕在する中で学校、家族、地域社会がどのように教育に関わっていくべきかを真剣に考える機会が得られた事です。
- 教育を社会的な視点から考えていく事の重要性を知る事ができた。国の政策と教育事業の関係性、そこに生き日々生活している大人、子どもとかわり影響を与えている事が学習できて、自分の教育事業に関して見る目が広がった。
- 教育を社会事象とみなして社会との関連を科学的に研究することに驚きました。そして学校教育だけでなく多様な形態の教育、時代とそこに生活する環境人達の教育実践などを研究していく分野がこれからの教育がどう変化していくのかその地平の広がり期待したい。
- 人格心理学は共通科目なのですが心理専門科目を学ぶうえで必要な科目だとわかりました。基礎がわかかっていないと、応用もきかないので大変勉強になりました。テスト問題は、重複がほとんどないので教材と放送授業を繰返しながら勉強しました。先生もかなり勉強されていると感じました。これからもがんばってください。
- 高校時代までの歴史の勉強は、権力者や歴史上の有名な人物や年代、若干の流れについて学ぶ程度であったが、今回は、その時その時の流れの中で、地域の人々がどのように活動してきたのかを学ぶことができたと思います。「歴史と人間」の教科でもありましたが、歴史の流れの中で人々がどのように関わってきたかは、大切であり、学ぶこともおもしろいと感じました。
- 政治にフォーカスを当てた内容ではなく、村社会の変化、日本の経済成長を支えてきた日本人の生活の変化など、人生で学んだことのない内容で刺激的だった。難しい内容でしたが、近現代の日本人のすごしてきた社会が想像できる科目でした。
- これまでに経験した学習はヨーロッパをある程度一体化し、各地、各国の出来事、現象を時系列的学んできました。今般は古代から近代までを形成する過程で、特徴づける事件、現象等から学ぶことによって、地理的な面の広がりや出来事の芽生えから現象までの時の長さ等、広がりや繋がりがあって、現在があり、未来に通じると歴史への興味と無知であることも認識。第1と15章の対設は良かったです。
- 政治・経済中心でクロニクル的な歴史に慣れてきた我々年代には、新しい歴史観が他の学問分野の手法、内容がとり入れられて、歴史を紡ぎ出す方法が変わってきたことに新鮮味を覚えた。個人的には宗教・キリスト教が現在の欧米の、又欧米が中心の世界観をベースに新大陸発見以降のまってきた歴史の意味がよく理解できた。それだけに我々や非欧米社会の文化や歴史や宗教を大事に扱うことが肝要だと痛切に感じた。
- 古事記の成立の意味、意義が良く理解できた。特に日本書紀との対比に於いて理解が深まった。また誦習、撰録の意味が明瞭に理解できた。磐姫皇后、雄略天皇について非常に興味深く学習できた。万葉集では額田王と柿本人麻呂の位置づけが理解できて非常に面白かった。
- はるか遠い昔の特別な世界の人々の歴史物語や、文学と思って受講したのだが、実はそれにも増して、生身の人間の生き生きとした生命の奔流、感情のリアリティーが実感できました。

気になった点

- 放送授業がほとんど対話で、テキスト（印刷教材）の内容が置いてきぼりであった。基礎科目、ましてや科目名に“入門”とついているのだから、テキストのポイントをおさえた放送授業をしてほしかった。もしくは記述テストは持込可にしてほしい。
- 成績が悪かったからいうのではないが、単位認定試験の出題については、不満である。理解しているか、ではなく、記憶しているか、が問われている。再考して欲しい。落としてもう一回試験を受けたい気持である。
- 受講する立場からは、印刷教材と放送授業で提示される内容ができるだけ一致しているほうが安心して受講できます。理解もしやすいと思います。印刷教材にないフリップが放送授業で多用されると、映像をいちいちとめて書きとったりして、時間がかかり負担です。印刷教材の棒読みではよくありませんが、そのマッチングにおいて印刷教材をみながら放送授業を受ける側にもっとわかりやすく効率のよい内容提示方法をとっていただきたいと感じています。
- 学んだことに対して、発展的に学習できる上級講座的な位置付けの授業があればなお良いと思う。実際にそういう繋がりのある科目もあるが、分かりにくいところもあり、生涯学習的な要素を放送大学として有するなら分かりやすくするほうが良いと感じます。また生涯学習的であるがゆえに科目数は多いが、科目に偏りを感じます。元々私自身が“理系”出身であるため“文系”特有の言い回しが理解しづらいです。授業では問題ないですが試験では（通信指導も）苦労しました。
- この科目は、ラジオ放送では理解するのは到底無理で、テレビ授業+面接授業の組み合わせにしてほしいと思います。何にもりカイできなかったと、感じています。通信教育では、学習不可能な、科目なのかもしれませんが。
- 学問として面白かった反面、当時の人々の話・声等、人々の考えはどうであったか知りたかった。
- 明治・大正・昭和に区分したほうが理解し易いと思う。章ごとに前後すると理解しにくい。
- 専門的な視点を取り入れた授業であった為、共通科目というより、専門科目に属する内容であった。私を含め、人文科学や歴史学の初心者には難解な部分もあった。共通科目として、ヨーロッパ通史的な授業があれば、初心者にはヨーロッパ史のより良い導入編となると思う。
- ヨーロッパ史に関する講座を増やして欲しい。どういう切り方でもいいが、各講座をそれぞれ受講していけば最終的にはヨーロッパ史全体が見えるようにして欲しい。
- 万葉集は知識向上の点では面白いものがあつたが、万葉集自体のもつロマンを味わうという意味では物足りなさも感じた。
- 神話などの接点、広がりなどわかつたが、もう少しその時の歴史、日本史の中での位置など、わかつた方がよかつたのでは。
- 「古事記」「万葉集」の成立時期の歴史の流れや皇統の系諸等の歴史年表が添付されておれば全体の流れの理解もより深まるのではないかと感じました。

共通科目：人文系総覧

共通科目でも、良かった点は基礎科目とあまり変わらないが、「基礎的な知識を得られた」の割合が若干下がり、「視野が広がった、視点・考え方が変わった」と「知識の整理・深耕に役立った」が増加している。学習の進行の表れであろう。

放送授業では、基礎科目で「分かり易く講義していた」が多かったのに対し、「講師の熱意や人柄の良さを感じた」がトップになっている。初めは授業について行くのに一所懸命だったのが、講義を客観的に評価する余裕が出てきたということか。印刷教材も「分かり易い」ことが評価されている。

気になった点では、「難しい、高度すぎる、理解できない」「分かりにくい、説明・解説が不十分」に対して「関連する科目・基礎科目を増やしてほしい」や「内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい」という意見が圧している。「印刷教材の棒読み」や「講師の講義態度」に対す苦言も相変わらず多い。また、共通科目の他の系に比較して「テレビ科目にしてほしい」の割合が多い。

印刷教材については、難易度に加えて構成・内容についての意見が増加している。

単位認定試験では、「難しい」との答えと合わせて、「記述式にしてほしい」の割合が増加している。

【学部】「共通科目：社会系」

よかった点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識を得られた	22	4	26
勉強になった、役に立った	11	14	25
視野が広がった、視点・考え方が変わった	4	21	25
知識の整理・深耕に役立った	8	13	21
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	11	3	14
現在の課題や身近な問題点を学べた	0	12	12
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	3	8	11
内容がよかった、分かりやすかった	6	4	10
興味が持てた、関心が持てた	2	8	10
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	0	10	10
さらなる学習意欲がわいた	2	6	8
学校側の対応が良かった	3	3	6
楽しく受講できた、面白かった	4	4	4
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2	2	4
現状のままでもいい、満足している	2	2	4
具体的な事例・実験があった	1	1	2
他の科目と関連性が良かった	2		2
自分の意見・考えが持てるようになった		1	1
身近に感じることが出来る内容だった		1	1
受験・資格取得に役立った	1		1
学習センターや図書館が良かった	1		1
面接授業や実習が良かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	5	3	8
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	2		2
愛情・熱意が伝わる教材だった		2	2
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1
新しい知識・視点を得ることができた		1	1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	1	1	2
現在の学習課題や問題点を知ることができた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		1	1
やりがいがある試験だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	2	2	4
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1	3	4
受講して良かった		2	2
社会的な課題や問題点を知ることができた		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		1	1
映像・テレビでよかった	1		1
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	1		1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった	1		1
映像や写真が多用され、分かり易かった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

- 理論以上に具体的な方法論を取り入れる。(現実と理論の遊離に注意する)
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 教材や試験に誤字が散見されるので、校正をしっかりとしてほしい。
- 通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する。

気になった点

(単位：人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2	7	9
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	6	3	9
難しい、高度すぎる、理解できない	6	2	8
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	6	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	5	7
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4	2	6
質問や相談がしたい		5	5
交流の場を用意してほしい	3	2	5
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3	1	4
現実に活かせる内容にしてほしい	2	1	3
内容・講師に思想的偏りがある		3	3
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった		3	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		2	2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1	1	2
学校の対応が悪かった	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
最新の内容の講義にしてほしい		1	1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	1		1
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい		1	1
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1		1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、文章が回りくどい	2	4	6
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2	3	5
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2	2	4
構成・内容がよくない、面白くない	2	1	3
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	2	3
内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		2	2
誤植がある	2		2
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	1		1
放送授業と内容が異なる		1	1
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
質疑応答がしたい	2	1	3
課題の内容・量が的確ではない		1	1
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくない	6	7	13
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	4	6	10
テレビ科目にしてほしい	4	3	7
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	5	6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	4	6
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	2	4
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	3		3
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1	2	3
印刷教材と内容が異なる	2		2
印刷教材と連動していない	2		2
放送授業が聞き取りづらい		2	2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1	1	2
まとめや学習ポイント、総括がほしい		1	1
補助教材や参考文献の発行・紹介を		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1		1
ラジオの放送を充実してほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1		1
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1		1
講師の独りよがりになっている	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある		1	1
放送授業の時間が合わない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が少なかった	6	1	7
試験内容の設問・難易度に違和感があった		4	4
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1	2	3
試験の会場・日程について一考を	3		3
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	1	2
問題の解答・解説・用紙がほしい	2		2
結果通知が届くのが遅い	2		2
問題が多かった、範囲が広がった		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
○×式、選択式にしてほしい	1		1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1
教材・電卓持込み可にしてほしい		1	1
教材の持込みは不要		1	1

【学部】「共通科目：社会系」科目

よかった点

- 現代の日本において、今まで知らなかった貧困の問題を身近な事として考える機会を与えてもらえて良かったです。担当講師は、貧困について本当に各方面から研究されており、実際に自分の体験や自分の言葉で表現されていて説得力がありました。
- 貧困については、子供の貧困とか、ネットカフェ難民とか、社会的な問題となっており、この日本の憲法の中で、生存権が機能していないような中で、日本は国民をどうしていこうとしているのか、わからないという思いで受講した。貧困について、どう考えていけばいいのか、貧困は作りだされている。とか「そもそも貧困とは？」というような定義というような事が整理されていて考えさせられた。
- 社会調査の方法や考え方を学べたことで、今後修士論文の作成に活かせると思う。印刷教材のまとめ方や表現が分かりやすく、理解がスムーズだった。今まで受講した科目の中でも上位に来る教材であった。
- 社会調査という身近でありながらきちんと知らない事をじっくり学べ楽しかったし、他の科目と関連があったので勉強の幅が広がり新しい知識欲がわき良かった。通信指導の説明も丁寧だったし、教科書も読みやすくとっつきやすかったので勉強がしやすくて良かった。
- 社会調査の実施については、事前の文献調査の他、本当に必要な調査かどうか十分に検討すべきことがよく理解できた。又、近年社会調査が困難になりつつあることについても、その理由がよく理解できた。

気になった点

- あまりにも「確証バイアス」が強く、問題の枕詞に「この講義の内容にそった答え」を求める課題でなく、貧困者からの視点と、それを支える費用を負担する側の視点も総合的に公正に見る視点も大切でないか。又、批評するだけでなく、上記を考慮した具体案も主張するものであってほしい。
- 放送授業を見なくても印刷教材を読めばよいという放送授業の内容であった。せっかく時間を割いて視聴するので、印刷教材には載せていないちょっとしたエピソードなどを織り込んでいただけるとよいのではないかと思います。
- 共通科目とはいうものの、内容が難しい。やはりかなり高度な専門性を求めているなぁと印刷教材を見て思った。(専門用語など)何よりもテストが難しい。学部の社会調査の基礎アイテムを学ぶだけならこんなに難しくしなくてよい、平易なテストが大事。

共通科目：社会系総覧

良かった点では、科目全般で「基礎的な知識を得られた」が目立って多くなったのが注目される。「視野が広がった、視点・考え方が変わった」と合わせて考えると、それまで見えていなかった福祉や貧困・格差についての現状や問題に目が開かれたことがあるようだ。個々の記述にも具体的にそのような内容が見られる。

気になった点で、これとって突出した意見は見られないが、人文系同様、高度な内容の欲求やステップアップのための科目の要望など、さらなる学習の意欲が垣間見える。

印刷教材では「難しい、専門用語の説明がほしい」など、高度化した内容についていけない様子も見えてきた。

単位認定試験では「問題数が少なかった」と、試験に歯ごたえを求める意見も増加している。

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	28	24	52
知識の整理・深耕に役立った	20	17	37
興味が持てた、関心が持てた	22	12	34
楽しく受講できた、面白かった	23	11	34
さらなる学習意欲がわいた	19	10	29
内容がよかった、分かりやすかった	15	12	27
視野が広がった、視点・考え方が変わった	18	5	23
基礎的な知識を得られた	10	8	18
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	9	9	18
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	9	7	16
現状のままでもいい、満足している	7	9	16
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	5	6	11
学校側の対応が良かった	3	6	9
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	5	3	8
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	4	7
身近に感じることが出来る内容だった	2	3	5
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	4	1	5
現在の課題や身近な問題点を学べた	2	1	3
最新の情報・研究が学べた		2	2
受験・資格取得に役立った	1		1
他の科目と関連性が良かった	1		1
学習センターや図書館が良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	20	10	30
受講して良かった	15	5	20
分かり易く講義していた	12	4	16
対話形式の授業がよかった	7	1	8
映像・テレビでよかった	6	1	7
新しい発見や驚きがあった	5	1	6
インターネットで受講できた	4	2	6
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	4	1	5
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	4	1	5
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2	1	3
放送のテンポや時間構成がよかった	3		3
アシスタントがよかった	2		2
実例や身近な例を取り上げていた	2		2
タレントの参加が良かった	1		1
ラジオでよかった		1	1
専門的に掘り下げていた	1		1
放送時間や長さが適当だった		1	1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった		1	1
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	7	4	11
CD・テープが役に立った	7	2	9
新しい知識・視点を得ることができた	3	1	4
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1	3	4
体系的に良くまとまり、整理されていた	2	2	4
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		2	2
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1
ポイントが明確に押さえられていた	1		1
読み物として面白い内容だった	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
具体的な事例や実験が紹介されていた		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識・情報を得られた	1	1	2
楽しく受講できた、面白かった		1	1
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた	1		1
パソコン・インターネットが利用できた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		1	1
放送授業・印刷教材・通信指導と同じ内容だった		1	1
現在の理解度、学習課題や問題点を知ることができた		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 複数の講師が担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- 興味を喚起する教材を用意する。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。

気になった点

(単位：人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	10	17	27	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	12	4	16
難しい、高度すぎる、理解できない	16	8	24	和訳・英訳がほしい	6	10	16
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	9	5	14	構成・内容がよくない、面白くない	6	5	11
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	5	9	14	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	6	2	8
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	7	4	11	内容が薄い、少なすぎる	5	1	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	2	7	参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	6		6
現実に活かせる内容にしてほしい	4	2	6	放送授業と内容が異なる	5		5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	2	5	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3	2	5
質問や相談がしたい	3	2	5	難しい、文章が回りくどい	2	1	3
学校の対応が悪かった	4	1	5	資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1	2	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4	誤植がある		3	3
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	3	4	DVD・CDの添付を考えてほしい	2	1	3
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	2	4	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		1	1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	2	4	放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	1		1
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	1	3	4	教材の装丁・デザインを改善してほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	3	1	4				
最新の内容の講義にしてほしい	1	2	3				
資格取得ができるようにしてほしい	2	1	3				
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	2	1	3				
興味・意欲がわかなくなった、面白くなかった	3		3				
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2				
内容・講師に思想的偏りがある		2	2				
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	2		2				
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1				
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1				
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		1	1				
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1		1				
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1		1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある		2	2
課題の内容・量が的確ではない	1	2	3
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1	1	2
課題範囲が広すぎる、難しい		1	1
問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1
質疑応答がしたい	1		1
インターネットで行いたい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問・難易度に違和感があった	4	5	9
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	2	4	6
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	4	2	6
問題の解答・解説・用紙がほしい	4	1	5
問題数が少なかった	3	1	4
試験の会場・日程について一考を	3		3
評価方法に疑問を感じる	1	1	2
記述式および記述に関して改善してほしい		2	2
インターネットを利用した受験	1	1	2
結果通知が届くのが遅い	1	1	2
教材の持込みは不要	1	1	2
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1
教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1
鉛筆だけでなくシャーペンも可としてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	9	18	27
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	14	8	22
構成・内容がよくない	9	9	18
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	10	7	17
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	9	4	13
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	6	4	10
まとめや学習ポイント、総括がほしい	4	3	7
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	3	4	7
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4	2	6
補助教材や参考文献の発行・紹介を	5	1	6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4	1	5
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	4	1	5
印刷教材と内容が異なる	3	1	4
放送授業が聞き取りづらい	2	2	4
講師の独りよがりになっている	2	2	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2	1	3
印刷教材と連動していない	3		3
図・表・写真を利用してほしい	2	1	3
1科目の放送時間が短い	1	2	3
ノートを取る余裕がほしい	3		3
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1		1
ラジオの放送を充実してほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある		1	1

【学部】「共通科目：外国語」科目

よかった点

- 外国人がどのような視点で日本を見ているのかという、その一端をうかがい知ることができました。当たり前で、普段気にして来なかったようなことが、彼らには関心があることが改めてわかりました。英語という語学の勉強だけでなく内容が勉強になりました。今学期は予備期間として受講しました。今後、内容を含めて時間をかけて勉強したいと思います。
- ラジオやテレビの授業での講義はすべて良く構成されていて、理解し易いですが、専門分野になると基礎知識が必要になってくると思います。面接授業では質問にも詳しく丁寧に答えてくださり、よく理解できました。
- 数学の二乗、三乗、平行根、分数、四角形、立方体等、ほとんどの事務系、大学生は英語で何と言うか知らないと思う。英語を使ってプレゼンをやる、人に説明をする時には必須だが、英語教育の盲点になっている。今回の英語科学はそうした所を補ってくれた。
- 60代半ばでの初チャレンジでした。何度も何度も放送を視聴しました。発音、動詞の変化、名詞の格等々覚えることが多く、何度も挫折しそうになりましたが、テレビ授業で先生の「Guten Tag!」に励まされて15回を終えました。認定試験ではパニックになりましたが、何とかクリアしました。覚えてもすぐ忘れ、また覚え直すのくり返しで初めてのドイツ語学習がテレビ授業だったことが大変良かったと思います。
- すぐに使えそうな内容で非常に良かった。ドイツ語（'11）に続き2度目だが内容も変化に富み、とても楽しく受講できた。先日機会がありドイツオーストリアに旅行したが、会話が通じてとても嬉しかった。授業だけでなく後半のゲストを招いてのコーナーもとても役に立つと感じた。CDも使いやすく、常に用いた。とても内容の濃い、わかりやすい素晴らしいテキスト、番組であった。
- 先生の熱意が伝わりました。フランス語、スペイン語も以前受講しましたが、このドイツ語が一番わかりやすく、懇切丁寧にすし工夫がされています。先生が時折さりげなく学生を励ましてくれる言葉もうれしく思いましたし、ドイツについて先生と話すことで、受講者の興味を増させてくれたと思います。フランス語に比べ、学習者に対する配慮、思いやりがあると感じました。語学教育者として優秀な方だと思います。中級、上級クラスがないのが残念です。
- 平日は夫の会社の手伝いをしながら従業員と共に働いていますので殆んど録画、(音)でした。もう少し時間が長くてもいいかなというところです。文法内容も本ではなかなかマスターできない所が先生の一言で“あっ”と解明される事が多々ありました。私は同時にドイツ領事館の主催する会話教室にも通い、ドイツ語の基礎を教えて頂いた事への感謝が少し実を結んだような気がします。

気になった点

- 単位認定試験の問題で印刷教材では全く触れられていない放送授業で出演者が驚いたポイントを答える問題があったが、その問題には意地悪さを感じた。放送授業でのみ触れられている事柄を出すのはいいが、その分野の知識が専門家なみにある人でも答えられない問題であったので、それは改善すべきと感じた。印刷教材に単語の意味は書いてあるので辞書の持ち込みは不可で構わないと感じた。
- 取り上げた教材に一貫性がなく、科目名と合わない。講師がよく理解できている内容ではない気がした。SMSよりは、その部分で15回にわたる短文を取り上げてほしいかと思った。科学者のちょっとしたエピソードなど。内容について。物理や化学について選択するのであれば、ゲストは、ある程度、その道の専門家を呼び、エピソードをまじえると、もっとおもしろいと思う。量を少なくし、科学英語に親しめるような方がよかったと思う。
- 講義の意図、目的そのための方針を決めて採択実行した。そのため、目的、意図それに関しての具体的な計画、分量、人員選択したのであろうが、目的が明確でない。科学など標題に掲げるのは、具体性がない「科学用語の使われ方」ぐらいにした方が適切かも知れぬ。内容は分り難い、解り難いと考えから、難しく構える。何も難しいことには触れておらぬ。教師たちも分らぬらしい。難しい選択であろうが、英国ではないかも知れぬが、アメリカには「科学用語の歴史と解説」などあったのでないか？そんな選択が一部にあってもよかったのではないか？
- 単位認定試験の解答（自分が答えた）を教えて欲しいです。点数だけではなくどこをまちがえたか検証したいし、不合格であればなおさらです。
- ドイツ語、フランス語の授業がもう少しあればよいのですが・・・。ⅠとⅡだけでものたりない。
- 正直なところ半生で、この教材をマスターするのは（実際に身に付けるという意味で）大変です。なかなか現実のものとしては使えません。ドイツ語Ⅰに1年かけて、授業で7割程度の成績で、実用的なドイツ語にする為には、教材にのっている文法や基本的な骨組みを、くりかえしくりかえし練習し、これ以上のことは、半年で読んだり入れてもムリがあると思われます。
- 高校時代のように、問題を多く出して欲しい。教科書、ビデオやラジオ、通信指導だけだと、試験勉強のやり方がよく分からないし、どこまで理解しているのかもつかみにくい。

共通科目：外国語系総覧

良かった点では、圧倒的に「勉強になった、役に立った」という意見が多く、実際に「外国旅行で役に立った」という記述も見受けられた。さらに、以前大学で外国語を学び、改めて学びなおした人が「意識の整理・深耕に役立った」と答えているケースも多い。

放送授業では、外国人講師のパーソナリティーに魅了された受講者も多かったようだ。「英語で描いた日本／英語で読む科学」は一般大学で言うところの原書講読に当たるのだろうか、英語という媒介を通して見直す日本文化やサイエンスに興味をかきたてられたようである。

また、語学に関わるので当然ことではあるが、印刷教材で「CDやテープが役に立った」という意見が目立っている。

気になった点では、どちらかという要望であるが「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」が非常に多い。学習が進むにつれ、他言語への興味や多面的な語学習得の必要性を感じるようだ。

放送授業では「テレビ科目にしてほしい」が他を圧しており、語学学習では講師の表情やしぐさが見えることも求められている。加えて、「難しさ」「構成・内容」「講義テンポ」に対しての意見も目立つが、これらはそれぞれ関連していると思われる。

印刷教材で「和訳・英訳がほしい」という要望が多かったが、それが学習にとって良いか悪いかは判断が難しいところである。ひとつ気になるのは、「英語で読む科学」で化学的事実と異なる記述があるという意見が複数見られたことである。早急の改訂が求められる。

単位認定試験はさらに高度な内容を求める受講生も多い。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位:人)

意見	科目全般		
	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	138	46	184
勉強になった、役に立った	94	22	116
知識の整理・深耕に役立った	68	17	85
内容がよかった、分かりやすかった	55	13	68
基礎的な知識を得られた	47	14	61
視野が広がった、視点・考え方が変わった	40	10	50
現在の課題や身近な問題点を学べた	30	10	40
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	28	9	37
身近に感じる事が出来る内容だった	25	9	34
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	21	10	31
さらなる学習意欲がわいた	26	4	30
興味を持てた、関心を持てた	23	5	28
楽しく受講できた、面白かった	15	9	24
最新の情報・研究が学べた	16	6	22
学校側の対応が良かった	10	7	17
現状のままでいい、満足している	9	4	13
自分の意見・考えが持てるようになった	5	2	7
具体的な事例・実験があった	6	1	7
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	6		6
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	1	4
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2	1	3
他の科目と関連性が良かった	3		3
受験・資格取得に役立った	1		1
学習センターや図書館が良かった	1		1

意見	印刷教材		
	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	12	4	16
体系的に良くまとまり、整理されていた	4		4
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	3		3
図版や表が役に立った	2	1	3
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1	1	2
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		2	2
読み物として面白い内容だった	1	1	2
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1	1	2
最新の情報や研究が紹介されていた	1	1	2
新しい知識・視点を得ることができた	1		1
ポイントが明確に押さえられていた	1		1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1
価格・ボリュームが適切であった		1	1

意見	通信指導		
	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	3	2	5
添削・コメントをしてもらえた	3		3
体系的に、幅広く、詳細に学べた	1		1
新しい知識・情報を得られた	1		1
受験・資格取得に役立つ		1	1
専門的な内容の指導だった	1		1
他の科目と関連性があつた	1		1

意見	放送授業		
	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	21	3	24
講師の熱意や人柄の良さを感じた	13		13
映像・テレビでよかった	9	2	11
アシスタントがよかった	11		11
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	9	1	10
受講して良かった	3	2	5
対話形式の授業がよかった	4	1	5
インターネットで受講できた	4		4
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	3		3
映像や写真が多量で、分かり易かった	3		3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	2		2
新しい発見や驚きがあつた	1		1
タレントの参加が良かった	1		1
社会的な課題や問題点を知ることができた	1		1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった		1	1
放送のテンポや時間構成がよかった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が異なつた	1		1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1

意見	単位認定試験		
	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材が持ち込めて良かった	4		4
受験して良かった	1	1	2
簡単だった	2		2
試験の日程・会場が良かった		2	2
単位がとれた		1	1
試験内容が適切だった	1		1
やりがいがある試験だった	1		1
現在の理解度、学習課題や問題点を知ることができた	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 複数の講師が担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- 理論以上に具体的な方法論を取り入れる。(現実と理論の遊離に注意する)
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。

【学部】「生活と福祉」

気になった点

(単位:人)

科目全般	印刷教材		
	意見	テレビ	ラジオ
難しい、高度すぎる、理解できない	42	5	47
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	22	2	24
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	20	3	23
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	15	6	21
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	14	5	19
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	14	4	18
分かりにくい、説明・解説が不十分	12	5	17
現実に活かせる内容にしてほしい	15	2	17
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	7	4	11
内容・講師に思想的偏りがある	8	2	10
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	8		8
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	5	3	8
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	7		7
最新の内容の講義にしてほしい	7		7
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	4	3	7
質問や相談がしたい	4	2	6
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	5		5
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	3	2	5
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	3	2	5
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	5		5
アンケートは必要性や実施時期に疑問	2	2	4
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	3		3
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	1	2	3
学校の対応が悪かった	2	1	3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	2		2
資格取得ができるようにしてほしい	2		2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1	1	2
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	2		2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1	1	2
交流の場を用意してほしい	1	1	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
参考文献を紹介してほしい		1	1
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	1		1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1		1

印刷教材	放送授業		
	意見	テレビ	ラジオ
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	19	8	27
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	10	8	18
放送授業と内容が異なる	10	1	11
構成・内容がよくない、面白くない	8	1	9
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	7		7
内容が薄い、少なすぎる	4	1	5
資料・データが古かった、改定版を出してほしい			5
教材の装丁・デザインを改善してほしい	2	3	5
難しい、文章が回りくどい	2	2	4
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	4		4
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	2	1	3
誤植がある	3		3
放送授業と内容が変わらない	1	1	2
設問の解も載せてほしい		2	2
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	1		1
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題範囲が広すぎる、難しい	3	1	4
指導内容、コメント、対応に不満がある	3	1	4
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	3	1	4
問題の解答・解答例・解説がほしい	3		3
提出期間が短い、スケジュールの改善を	2		2
課題の内容・量が的確ではない	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	38	5	43
テレビ科目にしてほしい	18	14	32
印刷教材と連動していない	23	3	26
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	22	3	25
印刷教材と内容が異なる	16	8	24
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	10	3	13
構成・内容がよくない	12		12
まとめや学習ポイント、総括がほしい	9		9
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	6	2	8
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	6	2	8
講師の独りよがりになっている	4	4	8
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	7		7
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	5	1	6
放送授業の時間が合わない	5	1	6
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	3	2	5
印刷教材と異なる講義が聴きたい	5		5
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	4	1	5
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	2	3	5
図・表・写真を利用してほしい	1	2	3
ラジオの放送を充実してほしい		3	3
例題・実習・演習を取り入れてほしい	2		2
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	2		2
放送授業が聞き取りづらい	2		2
ノートを取る余裕がほしい	2		2
手話通訳または字幕がほしい	1		1

【学部】「専門科目：生活と福祉」科目

よかった点

- 情報通信システムの最前線と現在の生活の関係が広く学べた点はよいと思う。また、実際の機材や測定結果などを映像で見られた点は、TV科目として非常によかったと思う。
- 仕事上、デジタル化されて、基礎的な用語や使用法上、少しでも参考になればと考えて受講しました。増々、広く、深く利用度が上がる分野と考えておりましたので、受講して良かったと考えています。
- 統合失調症の方々の症状やピアサポートの映像がありました。印刷教材では、表現しづらい部分であり、患者との接触は難しいので理解する上で助けられました。講師の解説のみより、アシスタントの質問が入ることにより、興味が増し視聴しやすい印象を受けました。
- 高齢社会で人々は認知症に高い関心を持ち、マスメディアも多く取り上げています。当科目1～15章において大切なことが、ほとんど網羅されていたと思います。特に問題行動に関しての捉えかたが、本人の問題でなく介護する側の問題行動という意識の転換を知り嬉しくなりました。今後全介護の現場に浸透することを期待しています。
- 認知症に関する本を読んだり、セミナーを受けたりしているが、本講義が特に良かった。1) 加藤先生の話は認知症を外から病気として見ているのではなく、よりそい認知症側からの視点が多く参考になった。2) 劇の伝える力を実感した 3) アナウンサーが入りながらの進行が良かった。4) 書ききれないが、他の章も良かった。
- 後期高齢者となって健康寿命維持のため自己流の運動実績を記録紙に記入していたが、是非について学術的裏付けが欲しかった。科目案内を読んで本科目を選定したが私の要求品質に合致した内容構成で履修してよかったですと大変満足しています。最新の知識、知見が織込まれており同年代・世代に広く浸透されるべきものと思います。
- スポーツロジーという新語に引かれ受講しましたが、健康志向の強い今の日本人には打って付けのテーマだと思いました。身体のメカニズムから運動機能の役割、それらを向上させるための技術、日常に起こりうる様々な疾患の問題に至るまで、多才な教授陣によって構成された内容は、自身を省みる機会ともなり、健康管理の重要性を認識できました。現代社会が抱える諸問題がここにある、と言える内容をもつ教材だと思いました。
- 一般教養科目としての「公衆衛生学」ということで受けてみました。内容は多岐にわたっているが、順を追って、わかり易く解説されていて、一家庭人として知っておくべき基本的な情報が多く興味深く勉強できました。是非、他の学生にも受講して欲しいと思います。
- 今日の子どもが置かれている状況、人口構成、社会生活など、多様な側面から解説されていて、子どもを家庭福祉の立場から、学習することができて、とても有意義であった。テレビで、いろいろな福祉施設等を訪問し取材していることで現場や現状を理解することに役立った。とても良かったと思う。
- 先進国として国民自身も自負している（であろう）日本が、児童の事となると、諸外国より遅れている事実すら知らなかった。「子ども」に対する日本人の価値観から考えさせられる、非常に良い科目だったと思う。日本人全体が、今学ぶべき科目だと思った。
- 社会福祉の国際的な視野が開かれた気がします。通信指導の内容を単位認定試験に出す場合、いくつかを丸々出すことが多いのですが、この先生は、それらの中の一文をとり入れているので、きめ細いなと思った。
- 日本の社会福祉システムを外の視点から見ることができました。日本の社会福祉の特殊性、もともと終身雇用、片働きをベースにして作られたシステムであること、そして格差が広がっていること。統計モニタによる比較、ヨーロッパやアジアの社会福祉システム、など…。社会福祉ってその国のありようそのものなんだなあと感じました。

気になった点

- 専門用語が多く、理解しづらい点があったので、専門用語や外来語を使う場合は説明が欲しい。
- 以前より放送テレビを見てもわからないため教科書のみ利用している。通信指導の場合、それが妥当か、1冊の本から、10問のみという試験問題は妥当なのか、もう少し考慮して頂きたい。
- (4)おとなの男性と女性の回が女性にかたよりすぎだと思った。中高年の男性のメンタルヘルスについてももっとくわしく知りたかった。
- 第15回「自殺とその予防」について、講義自体は悪くなかったが、実際の自殺予防の動きを汲み入れればもっと良かったように思う。
- もっと現場のケースを取り入れ、実際起こっていること、その対処方法、今後の問題の視野に入れて具体的な事例をたくさんとり入れてほしい。
- 認知の病の方の実際の言動と対処のやり方で、正しいやり方、間違ったやり方をもっと、映像で紹介してもらいたかった。
- 前半は論文を紹介する内容が多く、医療関係者でなければ難解だと思われる。本科目と合わせて受講を推奨している科目が何故「公衆衛生'15」であるのか分からない。他に適切な科目があるのではないかと考える。試験内容(問題)が学生に理解して欲しい内容から、やや、かけ離れていた印象があり、主任講師のねらいが分からない。テキストや講義の内容からも簡単な事や、さほど重要ではないと思える問題が多く、教材を持ちこみ可とする理由や意義はないと思える。
- スポーツの必要性は理解が深まるが「具体的にどのようなトレーニング内容が必要か？」のバリエーションを多く示して欲しかった。そうでなければ学問のための学問にとどまってしまう、実践的ではない。一方では、ここから先は各自の取り組みという思いも有る。
- 子どもの貧困は随分前から改善を求められている。養老、虐待、ひとり親 障害 関連性など、もう少しページをさいて詳細を教えてほしかった。
- 私自身、社会福祉制度になじみがなく、制度のしくみ、行政のかかわり、しくみが理解できず最後まで頭の整理ができなかった状態でした。どこから手をつけて、どう理解していけば良いのか難しい授業でした。情報収集不足・勉強不足と(自分自身の反省になってしまいました。)感じています。症例での具体的な授業が理解しやすいのではないかと思います。
- ①分担執筆者の先生方の知識や思いが盛り沢山で、一つの教科としては、テーマが多過ぎた。②放送教材はニュースソース的で、印刷教材とかけ離れている点も多いと感じる。③更に、試験は担当毎に分離され、一連性に欠ける。
- 同じ科目で、先生方の個性が大きく異なっていると、とまどう事がある。ご説明いただく先生によって同じ科目でも理解しやすい場合と難しく感じて理解しにくい場合があるのは私の理解度の問題か。
- 医療系に関し専門用語的表現については理解に苦しむ部分があり。学生は医療に携わる人ばかりではないと思うのでもう少し詳しく記して頂ければより理解が深まるのではと思います。
- 印刷教材を見ながら、インターネットで勉強していたが、担当教授によって、「印刷教材の〇〇ページ図〇-〇を見て下さい。」と解りやすい場合と、言って下さらない場合があった。なるべく生徒に理解しやすく話して下さいと助かる場合が多い。

専門科目：生活と福祉総覧

自分や家族の生活や健康にも関わる内容であるせいか、良かった点では「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」という意見が圧倒的に多い。「勉強になった、役に立った」も実際の生活に益したという意味が含まれているだろう。

放送授業・印刷教材・通信指導では、まず「分かり易かった」が評価されている。実益に資する科目では、何よりも分かり易さが求められているようだ。

気になった点の科目全般で「難しい、高度すぎる、理解できない」がきわめて多いが、これは講義にメンタルヘルスや医療の専門用語や専門的内容が多かった点を指していると考えられる。印刷教材・単位認定試験の「難易度」に対する記述も同様であろう。「具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい」は、介護や子育て、運動・衛生の現実的な対応を知りたいという要望を示している。「テレビ科目にしてほしい」は、同様に具体的な対応のイメージが見たいという要求の表れと言える。

【学部】「心理と教育」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		97	97
基礎的な知識を得られた		79	79
知識の整理・深耕に役立った		73	73
勉強になった、役に立った		41	41
内容がよかった、分かりやすかった		40	40
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた		32	32
視野が広がった、視点・考え方が変わった		29	29
さらなる学習意欲がわいた		22	22
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		19	19
興味を持てた、関心を持てた		18	18
受講しやすい環境だった、システム面がよかった		18	18
現在の課題や身近な問題点を学べた		17	17
学校側の対応が良かった		16	16
受験・資格取得に役立った		13	13
楽しく受講できた、面白かった		12	12
最新の情報・研究が学べた		11	11
専門的な内容だった、レベルが高かった		11	11
現状のままでいい、満足している		9	9
身近に感じることが出来る内容だった		8	8
自分の意見・考えが持てるようになった		7	7
具体的な事例・実験があった		6	6
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		4	4
学習センターや図書館が良かった		3	3
他の科目と関連性が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた		17	17
分かり易く講義していた		13	13
受講して良かった		10	10
インターネットで受講できた		7	7
放送授業と印刷教材の内容が異なった		6	6
映像や写真が多用され、分かり易かった		5	5
映像・テレビでよかった		4	4
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった		4	4
事例や身近な例を取り上げていた		4	4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		3	3
実際の仕事や生活に役立つ内容だった		3	3
新しい発見や驚きがあった		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		2	2
対話形式の授業がよかった		2	2
放送時間や長さが適当だった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		21	21
体系的に良くまとまり、整理されていた		4	4
手元に置き、今後も読みたい内容だった		4	4
放送授業と内容が連動している		3	3
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		2	2
ポイントが明確に押さえられていた		2	2
放送授業と異なる情報が得られた		2	2
読み物として面白い内容だった		2	2
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1
新しい知識・視点を得ることができた		1	1
CD・テープが役に立った		1	1
コラムや関連情報が面白かった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
具体的な事例や実験が紹介されていた		1	1
図版や表が役に立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった		1	1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった		3	3
印刷教材が持ち込めて良かった		3	3
単位がとれた		2	2
簡単だった		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 学生の学びの速度と講義の進捗に留意する。
- 理論以上に具体的な方法論を取り入れる。(現実と理論の遊離に注意する)
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。
- 練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。

【学部】「心理と教育」

気になった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		22	22
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	17		17
分かりにくい、説明・解説が不十分	14		14
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	14		14
難しい、高度すぎる、理解できない	13		13
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	13		13
現実に活かせる内容にしてほしい	12		12
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	9		9
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	9		9
質問や相談がしたい	8		8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	7		7
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	6		6
最新の内容の講義にしてほしい	5		5
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	5		5
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4		4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4		4
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4		4
資格取得ができるようにしてほしい	4		4
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	4		4
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	4		4
学校の対応が悪かった	4		4
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	3		3
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	3		3
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	3		3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	2		2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	2		2
交流の場を用意してほしい	2		2
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	2		2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
内容・講師に思想的偏りがある	1		1
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	12		12
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	12		12
問題の解答・解説・用紙がほしい	11		11
教材・電卓持込み可にしてほしい	10		10
試験内容の設問・難易度に違和感があった	7		7
試験の会場・日程について一考を	5		5
記述式および記述に関して改善してほしい	3		3
問題が多かった、範囲が広がった	2		2
評価方法に疑問を感じる	2		2
インターネットを利用した受験	2		2
教材の持込みは不要	2		2
試験の進行に不備があった	2		2
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		1
面接授業を受けなくても単位が取れる様にして欲しい	1		1
結果通知が届くのが遅い	1		1
カンニング等の不正防止に努めてほしい	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		19	19
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		19	19
構成・内容がよくない、面白くない	6		6
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	5		5
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	5		5
放送授業と内容が異なる	5		5
内容が薄い、少なすぎる	4		4
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	4		4
難しい、文章が回りくどい	3		3
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	3		3
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	3		3
教材の装丁・デザインを改善してほしい	2		2
設問の解も載せてほしい	2		2
放送授業と内容が変わらない	1		1
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1		1
誤植がある	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		47	47
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		37	37
印刷教材と連動していない		16	16
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	14		14
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	13		13
構成・内容がよくない	10		10
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	10		10
印刷教材と内容が異なる	8		8
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	6		6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	6		6
まとめや学習ポイント、総括がほしい	5		5
図・表・写真を利用してほしい	5		5
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	5		5
講師の独りよがりになっている	5		5
放送授業の時間が合わない	4		4
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3		3
印刷教材と異なる講義が聴きたい	3		3
放送授業が聞き取りづらい	3		3
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	2		2
ラジオの放送を充実してほしい	2		2
2科目の放送時間が長い	2		2
手話通訳または字幕がほしい	2		2
補助教材や参考文献の発行・紹介を	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1		1
1科目の放送時間が短い	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の内容・量が的確ではない		5	5
問題の解答・解答例・解説がほしい		5	5
指導内容、コメント、対応に不満がある		3	3
課題範囲が広すぎる、難しい	1		1
質疑応答がしたい	1		1
参考文献や補助教材を紹介してほしい	1		1
講師の字が汚い	1		1

【学部】「専門科目：心理と教育」科目

よかった点

- 現在、教育関係の仕事をしているが、教育行政に関する国の動向や学校経営について、全体を客観視することが、仕事をしていると案外難しい。自身の職務を見直すことに有益であったと思う。
- 現在の日本の教育体制を知ることが出来、このような教育システムでは優秀な人材は育たないだろうなと思った。（予算があるとか無いとかで教員の数を調整する等質をあげるべき）教育が政治に支配されている実態を知ることが出来、未来は明るくないと思った。
- 今年、出産し育児をしている中で今回の授業内容はとても興味深いものでした。今後の参考にできるという点でも、かねてから学習している心理学についての理解を深めるという点でも大変意義深い講義だったと感じました。
- 道徳について、家庭での教育は勿論、学校教育の場など生活するすべての場が教育の対象ととらえる考え方が大変勉強になりました。学校では何を教えればよいか？という疑問が1つ解けたような気がしました。
- 年代的に道徳教育は解っていると思っておりましたが、日本の歴史や諸外国の歴史を知ることができ、家庭教育、学校教育、地域社会との関係などよく理解ができました。又、これからの道徳教育の有り方も理解ができました。又、悩んでいる娘（孫の教育）にも理解が深まりました。
- 支援学校に勤務し、知っているようで、知らなかった事が非常に多くあり、間違った知識ではなく、正しい知識で子どもたちが将来、自分らしく生きていける為に、教育の方法や方向性が分かりやすく、受講ができてよかったです。
- 特別支援教育を取りまく、現在の最新状況を知ることができ、大変有意義であった。必要性を感じながら、その学習領域の広さに同時に難しさを感じた。今後、この学習をスタートに更に学習を積み重ねていきたい。
- 近年増加気味にある様々な障害のある児童生徒に対しての理解と指導内容・方法等の基礎的な部分が理解できました。学んだ事をベースにし、1つ1つの障害をもっと掘り下げて学びたいと思いました。
- 特別支援学級の教員として5年勤務しており、今回特別支援学校の免許状取得のため、受講しました。5年間の勤務で学んだこと以外に、新たな知識を得ることができてとても良かったです。この知識を生かして今後も勤務していければと思います。
- 知的障害について実態や特別支援教育ならではの内容（領域・教科を合わせた指導など）が実践なども含め、わかりやすく詳しく書かれており、知識として整理しながら学習できただけでなく、現場での実践の手がかりや参考書としてもとても活用できそうな内容であり、ありがたく感じた。
- 障害者の理解や教育について知ることが出来、同じ人間として学習していくたくさんの試みがされていることと、就業に向けての教育の状況が理解出来よかった。健常児にとっても参考になる点が多く、本の抜粋（例えば、積極的行動支援）を、保育園の他の職員に紹介し共有した。
- 印刷教材の内容で、特に実際のカウンセリングのやり取りや、カウンセラー側に必要な心構えなど、具体的で臨場感があり、ただ暗記するという事が苦手な私にとっては、とても興味深く取り組む事ができました。教材は繰り返し読みました。先生方の人柄が伝わってくるような内容でした。

気になった点

- この科目は難しいが、関心は非常に高いものであった。教育関係者ではない一般の学習者にも理解が進むよう、内容の分量・整理などを工夫していただきたい。
- 教育政策の変遷を語る上で、中教審の答申が出されることがよくあったが、それらの答申が、具体的な政策に反映されたのか否か、反映されなかったのであれば、なぜか、反映されたのであれば、どのような政策で、どのような効果があったのか、が、指されなかった。
- 学校教育や幼稚園に関する内容が多いと感じた。「乳幼児」の保育という点で、乳児に関する内容がもう少しあっても良いかと思います。個人的には児童虐待についてももう少し詳しく知りたかった。
- 例がもう少し多かったらと思いましたが、現実での道徳は多種で同じものはないのでむずかしいですね。日本特有の”恥”や国際的な部分で差別等もっと身近な事がもっとあればもう少し知識への欲が出た気がします。
- 世界との比較をもう少し細かく分析し、今後の日本の教育の進むべき方向性が見えると良かった。また、最新の情報が少なく、抽象的であるので、出来るだけ具体的な表記が望まれる。
- 基礎論であるが、内容の幅が広すぎていて学習が消化しきれないまま単位試験だった。試験内容をもっと少し平易なものにしてもらいたい。持込可にしてもらわないと、テストに対応できない。(内容が多すぎて) よろしくおねがいします。
- ひっかけ問題の試験ではなく、障害者、児に向き合う時に本当に必要なことに関するものを中心にして出題してほしい。学校の先生方が多く試験を受けにきているようなので、なおさら今、早急に必要な知識について問うてほしいし、記述式の問題も少しあってもいいと思う。
- テストで、総論の内容と基礎でかかれていたことも入っており、どちらのテストをうけているのかこんらんしてしまった。テスト内容を少し見なおしたほうが良いと思う。
- 質問と解答が明確でなくて難しく感じました。解答が全体合っていても、『それが全てではありません』という理由で×だったりして、初めて学ぶ者にとっては難しさを何度も感じました。私自身の理解力が低いのですが、分かりづらかったです。
- 早期療育から見る乳児期・幼児期の支援方法が特支キャリア教育学習プログラムのようにより詳しく解説されると成人に向けての療育プログラムがより充実するように思った。
- 講師の熱意は伝わるが、印刷教本と合致しない又は無い所があったり、せっかくノートをまとめても認定試験にほとんど生かされず、この科目を学ぶ前に得た心理系の資格試験に伴う知識が大部分で役立ってしまった事が残念。
- テストが放送授業で話された具体的なストーリーの細かい部分について出たりしていますが、具体例の細かいことではなく、もっと根本的なところ、について問うてほしい。放送授業を見るようにという意図は分かりますがそのようなやり方はどうなのだろうかと思います

専門科目：心理と教育総覧

この科目も「生活と福祉」と通じるところがある。良かった点の「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「勉強になった、役に立った」が挙げられているのは、同様の理由と考えられる。

放送授業では、「分かり易さ」以上に「講師の熱意や人柄」が評価に大きく影響しているが、教育者には熱意が求められていることの表れであろう。印刷教材では「分かり易さ」が大きく評価されている。

気になった点で「内容の浅さ」の指摘や「時間が取れない」という記述は、現実に教育や子育てに携わっている受講者が多いためと考えられる。放送授業ではここでも「テレビ科目にしてほしい」がきわめて多いが、カウンセリングや障害児教育の実際に接したいという要望である。

しかし、印刷教材や単位認定試験で「難しさ」が挙げられているのは、専門的な知識を持たない一般的な受講者からの意見もあるが、この分野に必要となる専門知識や統計学の難しさに言及する受講者が多いためと考えられる。

【学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	61	14	75
基礎的な知識を得られた	52	16	68
知識の整理・深耕に役立った	40	19	59
内容がよかった、分かりやすかった	40	10	50
興味を持てた、関心が持てた	34	8	42
視野が広がった、視点・考え方が変わった	29	9	38
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	23	15	38
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	34	3	37
現在の課題や身近な問題点を学べた	22	6	28
さらなる学習意欲がわいた	21	4	25
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	17	7	24
最新の情報・研究が学べた	14	4	18
楽しく受講できた、面白かった	10	6	16
現状のままでもいい、満足している	11	2	13
身近に感じることが出来る内容だった	9		9
自分の意見・考えが持てるようになった	8		8
学校側の対応が良かった	7		7
具体的な事例・実験があった	5	1	6
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4		4
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		3
学習センターや図書館が良かった	3		3
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	3		3
他の科目と関連性が良かった	2		2
面接授業や実習が良かった	2		2
受験・資格取得に役立った		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材やインタビュー、実験があってよかった	28		28
分かり易く講義していた	19	2	21
受講して良かった	10	2	12
講師の熱意や人柄の良さを感じた	12		12
講師以外の人や複数の専門家のお話を聞いた	8		8
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	6	1	7
実例や身近な例を取り上げていた	7		7
映像・テレビでよかった	5	1	6
映像や写真が多用され、分かり易かった	6		6
インターネットで受講できた	4	1	5
新しい発見や驚きがあった	4		4
対話形式の授業がよかった	3		3
社会的な課題や問題点を知ることができた	1	1	2
専門的に掘り下げていた	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なった		2	2
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	2		2
タレントの参加が良かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	7		7
図版や表が役に立った	5		5
新しい知識・視点を得ることができた	1	1	2
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	2		2
ポイントが明確に押さえられていた	2		2
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1
読み物として面白い内容だった	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	2		2
興味・関心が深まった		1	1
新しい知識・情報を得られた	1		1
記述式がよかった		1	1
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	4		4
やりがいがある試験だった	1	1	2
評価がよかった	1		1
簡単だった	1		1
記述式がよかった		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい言葉・用語は説明する。
- 学習をスムーズに進められるよう、必要に応じて、開講前に事前アナウンスを行う。
- 授業・教材内容で試験のポイントを明確にする。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。
- 通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。

【学部】「社会と産業」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	23	9	32
難しい、高度すぎる、理解できない	19	5	24
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	19	5	24
分かりにくい、説明・解説が不十分	16	7	23
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	15	3	18
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	9	6	15
最新の内容の講義にしてほしい	12	1	13
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	7	5	12
現実に活かせる内容にしてほしい	9	1	10
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	6	2	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5	2	7
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	6	1	7
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	4	3	7
質問や相談がしたい	3	3	6
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	5	1	6
学校の対応が悪かった	3	3	6
内容・講師に思想的偏りがある	4	1	5
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	3	1	4
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	2	2	4
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	3	1	4
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	4	4	4
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	2	2	4
参考文献を紹介してほしい	2	1	3
交流の場を用意してほしい	2	1	3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	2	2
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	2	2	2
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	2	2	2
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	2	2	2
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	1	1	2
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2	2	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	1	1
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1	1	1
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	9	3	12
試験内容の設問・難易度に違和感があった	9	2	11
試験の会場・日程について一考を	10	10	10
問題が多かった、範囲が広がった	8	1	9
記述式および記述に関して改善してほしい	5	4	9
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	6	1	7
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	6	6	6
問題の解答・解説・用紙がほしい	4	2	6
評価方法に疑問を感じる	3	1	4
問題数が少なかった	2	2	2
教材・電卓持込み可にしてほしい	2	2	2
結果通知が届くのが遅い	1	1	2
○×式、選択式にしてほしい	1	1	1
早くに会場を出る人がいて気にかかる	1	1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	19	3	22
構成・内容がよくない、面白くない	10	1	11
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5	6	11
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	6	3	9
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	6	1	7
放送授業と内容が異なる	6	6	6
難しい、文章が回りくどい	4	1	5
内容が薄い、少なすぎる	2	2	4
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	4	4	4
教材の装丁・デザインを改善してほしい	4	4	4
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	2	1	3
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3	3	3
設問の解も載せてほしい	2	2	2
和訳・英訳がほしい	1	1	1
誤植がある	1	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	22	5	27
テレビ科目にしてほしい	8	18	26
構成・内容がよくない	19	2	21
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	17	2	19
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	15	2	17
印刷教材と連動していない	14	2	16
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	13	1	14
講師の独りよがりになっている	5	3	8
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	5	3	8
図・表・写真を利用してほしい	6	1	7
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	5	2	7
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	4	2	6
印刷教材と内容が異なる	3	1	4
印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	4	4
ラジオの放送を充実してほしい	1	3	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	3	3
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	2	1	3
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	2	3
補助教材や参考文献の発行・紹介を	3	3	3
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	3	3	3
放送授業が聞き取りづらい	2	1	3
科目や講義内容そのものが古くなっている	1	1	2
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1	1	2
放送授業の時間が合わない	2	2	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	1
2科目の放送時間が長い	1	1	1
ノートを取る余裕がほしい	1	1	1
手話通訳または字幕がほしい	1	1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	6	1	7
問題の解答・解答例・解説がほしい	1	1	2
質疑応答がしたい	1	1	2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1	1	2
課題の内容・量が的確ではない	1	1	1
レポートの提出期限を事前に知りたい	1	1	1
インターネットで行いたい	1	1	1
講師の字が汚い	1	1	1
提出期間が短い、スケジュールの改善を	1	1	1

【学部】「専門科目：社会と産業」科目

よかった点

- 財政という若干距離感があるが、この科目では実生活に密着した年金や税金について、日頃疑問に思っていた点について説明してもらえて明確になった。今年始まった科目で資料や内容が最新である点良かった。
- 1～15課を学び終え、最初のページに戻って「まえがき」を読み返しました。(どの教科もそうしますが)、今回は安保法制で国が揺れ動いている今だから、なおさらまえがきに書かれているすべてが政治を考える私たちに必要とされている心がけだと、よく理解でき、学習して本当によかったと思いました。
- 毎回、政治家や学者、業界関係者の方々へインタビューを行っていたが、それらの映像には臨場感があり、テレビ科目である点を上手く生かしていると思った。また、本講義では統治機関全般に渡る解説もしていたが、その中でも、特に議会と政府の関連性についての理解が深まったのは良かった。
- 関心はあっても漠然としていた基本的事柄が学習できたことです。ソ連時代の理念に対する人々の姿勢をはじめ、崩壊後の権力機構や指導者、旧ソ連独立国の名称、ロ連邦構成主体の多様性、民族問題、資源依存性、経済格差、その他汚職や、『自由度』など。また、日本の対ロ政策のまずさ（対米過偏重）や、交渉力の低さ等もあらためて認識しました。
- 中小企業やアジアの日系海外工場などの既知の知識の整理が出来た事、アーキテクチャーや日本～韓国・台湾～中国での国際分業の状況など新しい知識が学べたのは良かった。また、放送授業では、ダイキン・デンソー・村田製作所などのアジア海上の例が多く取り上げられていて良かった。
- 環境を多方面において可視化できる（予測も含めて）ことがわかった。テレビや新聞に可視化の図がのっていたが、それがどんなふうにしてできあがるか考え方がわかった。家の中の暑さ寒さ対策も参考にできた。今まで知らなかったことを知ることができ視野が広がった。非常に参考になった。私自身公式があたり計算のこととなると、もっと勉強すべきだと思った。十分は理解できるまで勉強をできなかった。しかし可視化の考え方、視点を学んでとても良かった。
- 私たちは殆んど情報を視覚から得ていますが、さまざまな技術を駆使して行われる可視化は、科学的データに基く、貴重な資料だと言うことがよく分かりました。可視化は多くの学問分野での基礎的な領域になり、また、直感的な理解の手助けにもなるので、一般の人々の環境理解の面でも大いに役立つと思います。以上のような内容が理解できて良かったと思います。

気になった点

- 統計のチャートは分かり易いが、経済学者や財政学者の理論をグラフや計算式で表したものは、放送や印刷教材でも理解できないことがある。経済学のバックグラウンドが必要なのかも知れないが、もう少しかみくだいて説明して欲しい。
- 前学期位から試験の内容が難しい方へシフトされ、文章が難解な言い回しを多用していたり、過去問からは全く出題されなくなったりしております。それは、まだ納得できるのですが、放送授業や印刷教材で重要な部分としては全く扱われてない所から出題されるのは困ります。問題文を作る上で苦肉の策なのかもしれませんが、試験でのみ深く掘りさげられても解答を導き出すのは無理です。
- 「現代日本の政治」といっても日本国はこうだ外国（例えばドイツ）はこうだと比較して読みとれる資料の提供もより多くあった方がよいと思う。
- 最近のロシアの動向としてのウクライナ問題やクリミア問題に対するプーチン大統領の動きが大きな関心であったが、この問題は最新すぎて言及がない点残念。また、プーチンやメドベージェフ大統領の政治思想・手法が今後のロシアをどう見るかのポイントであり、この点についても言及して欲しかった。
- ・通信指導のコメントが投げやりな感じで誠意を感じなかった・「政治と外交」というタイトルにも関わらず、内容が政治中心だったため外交についてももっと触れて欲しい。またテキスト発刊時以降の時事ニュースや最近の日本とロシアの動きについて放送で触れてもらえるとさらに理解が深まると思う・最近出版された参考文献も紹介して欲しい
- 放送で取り上げられたアジア海上の例を印刷教材にももっと多く、具体名で載せてもいいのではないか、同じく「モノ作り」の概念に関し、非製造業（サービスと農業）での具体例がなかった点と、放送授業では、今後の展望に関して、インストラクタースクールや地域での活動などの具体的な映像での説明がなかったのが残念。
- 理系出身者にとっては、概論的な部分は比較的勉強しなくても理解できてしまうところがあり、知識欲を満たすという点では不全感が残ってしまうところがあります。
- 文系の人には、数理的要素が多く難しいのではないか。
- 環境の可視化によって、私たちは環境改善…… ひいては持続可能な社会に向けて何をしなければならぬのか、この点をもう少し掘り下げた内容が欲しかった。

専門科目：社会と産業総覧

良かった点としては、他と大差はないが、放送授業で「現場取材やインタビュー、実験があってよかった」がトップになっているのが特徴的である。政治や経済・産業の第一線で活躍する人の生の声や各分野の最前線の取材がアピールしたようだ。

気になった点で「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」「内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい」という要望が多いのは、この科目への期待の表れともいえる。「難しい・・・」「分かりにくい・・・」という意見も多かったが、専門用語や経済学の数式にとまどう人が多かったようだ。「構成・内容が良くない」には、特定の企業や政治家・政党が取り上げられたことに対する違和感も表れている。

【学部】「人間と文化」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	30	23	53
楽しく受講できた、面白かった	32	2	34
知識の整理・深耕に役立った	17	15	32
視野が広がった、視点・考え方が変わった	21	10	31
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	20	11	31
基礎的な知識を得られた	16	14	30
興味を持てた、関心を持てた	19	5	24
内容がよかった、分かりやすかった	17	4	21
さらなる学習意欲がわいた	10	8	18
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	11	5	16
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	12	2	14
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	7	13
現在の課題や身近な問題点を学べた	1	5	6
現状のままでもいい、満足している	4	2	6
学校側の対応が良かった	2	3	5
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	5	5	5
面接授業や実習が良かった	3	1	4
最新の情報・研究が学べた	2	1	3
専門的な内容だった、レベルが高かった	2	1	3
身近に感じる事が出来る内容だった	2	1	3
受験・資格取得に役立った	1	1	2
他の科目と関連性が良かった	1	1	2
具体的な事例・実験があった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい発見や驚きがあった	9	1	10
講師の熱意や人柄の良さを感じた	10		10
受講して良かった	6	2	8
映像や写真が多用され、分かり易かった	7		7
映像・テレビで良かった	6		6
対話形式の授業が良かった	6		6
現場取材やインタビュー、実験があつて良かった	5		5
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	3		3
インターネットで受講できた	1	1	2
分かり易く講義していた	1		1
専門的に掘り下げていた	1		1
放送のテンポや時間構成が良かった	1		1
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
手元に置き、今後も読みたい内容だった	4	1	5
分かりやすく、勉強になった	2	1	3
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1
ポイントが明確に押さえられていた	1		1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1
図版や表が役に立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった		2	2
添削・コメントをしてもらえた	2		2
身近に感じる事が出来る内容だった	1		1
記述式が良かった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった	1		1
試験内容が適切だった	1		1
やりがいがある試験だった		1	1
記述式が良かった	1		1
放送授業・印刷教材・通信指導と同じ内容だった	1		1
現在の理解度、学習課題や問題点を知ることができた	1		1
試験の日程・会場が良かった	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 担当講師は、放送前に十分な準備を行う。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。
- 扱う範囲が広いので、科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 授業内容に連続性を持たせて理解の促進を望む。
- 専門的な授業は前提となる知識の復習を初めに行う。

【学部】「人間と文化」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	24	8	32
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	14	7	21
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	16	5	21
難しい、高度すぎる、理解できない	15	4	19
分かりにくい、説明・解説が不十分	11	6	17
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	8	4	12
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	6	4	10
学校の対応が悪かった	5	2	7
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	2	3	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	1	4
内容・講師に思想的偏りがある	3	1	4
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4		4
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	3	1	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2	1	3
質問や相談がしたい	1	2	3
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	3		3
交流の場を用意してほしい	2	1	3
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	3		3
参考文献を紹介してほしい	1	1	2
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	2		2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	2		2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	2		2
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	1	1	2
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	2		2
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2		2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
最新の内容の講義にしてほしい		1	1
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1		1
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1		1
判断・評価できるレベルに達していない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げべき	7	7	14
試験内容の設問・難易度に違和感があった	4	3	7
問題が多かった、範囲が広がった	3	2	5
問題数が少なかった	3	2	5
記述式および記述に関して改善してほしい	4		4
教材・電卓持込み可にしてほしい	3	1	4
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		2	2
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		2	2
評価方法に疑問を感じる	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
結果通知が届くのが遅い	1		1
試験の会場・日程について一考を		1	1
教材の持込みは不要		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくない、面白くない	6	4	10
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5	4	9
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	4	3	7
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1	3	4
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	4		4
放送授業と内容が異なる	2	1	3
教材の装丁・デザインを改善してほしい		3	3
内容が薄い、少なすぎる		2	2
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		2	2
難しい、文章が回りくどい	1	1	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	1		1
誤植がある	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		8	28
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	16	3	19
構成・内容がよくない	10	4	14
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	3	7	10
図・表・写真を利用してほしい	3	6	9
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	8	1	9
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	5	3	8
印刷教材と連動していない	6	1	7
印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	3	7
講師の独りよがりになっている	5	1	6
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	3	2	5
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	2	3	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	1	3
放送授業の時間が合わない	3		3
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
印刷教材と内容が異なる	1	1	2
まとめや学習ポイント、総括がほしい	2		2
放送授業が聞き取りづらい	2		2
科目や講義内容そのものが古くなっている	1		1
補助教材や参考文献の発行・紹介を	1		1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1		1
ラジオの放送を充実してほしい	1		1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1
1科目の放送時間が短い	1		1
ノートを取る余裕がほしい	1		1
手話通訳または字幕がほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題範囲が広すぎる、難しい	3	2	5
課題の内容・量が的確ではない	2		2
問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1
講師の字が汚い	1		1
提出期間が短い、スケジュールの改善を	1		1

【学部】「専門科目：人間と文化」科目

よかった点

- 韓国朝鮮というとても近い国のことを今まであまり知らなかったことに気が付いた。歴史を勉強した上で韓国のドラマやニュースを聞くと、また新しい視点でとらえることができ、大変興味深く、面白いと感じました。日本の歴史と合せて改めて受講し、勉強してとても良かったと思います。
- 私は高校教員を長くやっており、世界史で断片的に朝鮮の歴史が出てくることはあっても、全体としての流れがどうなっているのか、教えているこちらにも、さっぱりわかりませんでした。上っ面だけかもしれませんが、通史を学べたことで、ある程度のアウトラインはつかめたのかな、と思います。
- ヨーロッパの歴史Ⅱは植物を中心としたものでヨーロッパの歴史Ⅰとは違う視点で学べた事がとても良かった。宗教は絵画や音楽とも密接な関係にあり、植物も又、関係していること私たちの命を保つために必要な食物から心をいやしてくれる花や植物を中心とした環境のことなどとても大切な学びが出来ました。
- 日本語の奥深さと過去から歴史、変遷等、自分の日本語の知識が不足している事を痛感した。日本語に対する、自分のレベルの低さが解った事と、新しい感覚での日本語文法等を勉強できた事が良かった。
- ふだん特に意識せずを使用している日本語について、深く掘り下げることができて、1回1回の授業がたいへん有意義でした。高校までの古文や日本語文法とはひと味もふた味もちがっていて、学ぶことの楽しさと興奮を存分に味わうことができました。

気になった点

- 一科目で古代から現代は範囲が広すぎる。古代～中世（高麗）までと近世（朝鮮王朝）～現代までの二科目に分けた方がよいと思う。特に古代の高句麗、新羅、百済と日本の関係（交流など）についてはもっと詳しく学びたい。古代朝鮮と日本のかかわりは、現代の韓国と日本との関わりよりももっと密接で軍事面、文化面、経済面とすべての面で現代の関係より密接。
- 少し内容が広すぎるようにな気もする。3ヶ月半の勉強では全てを学びきれなかった。また、ヨーロッパの歴史ではあるが、イギリス、オランダ中心だったので、他の国スペインやイタリア、フランスなどのことも、もう少し触れてほしかった。ガウディなども植物と深く関連していると思ったので。
- 各章において植物に関するテーマの理解は困難に思えませんが、15章まで学習した段階で、全体として、つかめるものが軽いように思えました。ネットワーク、連続性といったものへの理解が、おのずと出来るようなものであればいいのでは・・・。
- 言語学の知識があるといいと思った。共通科目や基礎科目に言語学の概論的な科目を作るべき。
- 一般的な文法の復習を第1課で入れると、その後の理解が深まったかもしれないと思う。各課の内容がわりと細かく専門的な印象があり、全体を概観する余裕が持てなかったのが残念。印刷教材では、文法事項の具体例を文中で記すのではなく、図式化してしまう方が、より理解しやすいかと思う。

専門科目：人間と文化総覧

この科目では、歴史的な問題を抱えながら、あまり知られていない「朝鮮半島の歴史」「植物を媒介としたヨーロッパの歴史」「歴史の中の日本語」という視点が評価されたようだ。

気になった点では、これまでの科目と大きな相違は見られない。

【学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
基礎的な知識を得られた	20	11	31
勉強になった、役に立った	10	6	16
知識の整理・深耕に役立った	8	3	11
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	9	2	11
最新の情報・研究が学べた	3	5	8
さらなる学習意欲がわいた	7	1	8
内容がよかった、分かりやすかった	3	4	7
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	5	1	6
興味が持てた、関心が持てた	2		2
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1	1	2
他の科目と関連性が良かった	1	1	2
楽しく受講できた、面白かった	1		1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1
専門的な内容だった、レベルが高かった	1		1
身近に感じることが出来る内容だった	1		1
現状のままでいい、満足している		1	1
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		1	1
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しく受講できた、面白かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		1	1
試験内容が適切だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた	2	4	6
新しい発見や驚きがあった	1		1
インターネットで受講できた	1		1
現場取材やインタビュー、実験があってよかった		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 扱う範囲が広いので科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 専門的な授業は前提となる知識の復習を初めに行う。

【学部】「情報」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	3	5	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	1	6
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5	1	6
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	4	1	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4	1	5
質問や相談がしたい	5		5
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	4	1	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	1	4
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	3	4
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	2	2	4
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	4		4
現実に活かせる内容にしてほしい	2	1	3
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	2	1	3
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	1	3
最新の内容の講義にしてほしい	2		2
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	1	1	2
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1	1	2
学校の対応が悪かった	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
資格取得ができるようにしてほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1		1
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	5	6	11
テレビ科目にしてほしい	1	9	10
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	5	3	8
構成・内容がよくない	4	2	6
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	6		6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	3	2	5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	3	2	5
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1	1	2
補助教材や参考文献の発行・紹介を		1	1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	1		1
講師の独りよがりになっている	1		1
放送授業の時間が合わない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	6	3	9
構成・内容がよくない、面白くない	1	1	2
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい		1	1
DVD・CDの添付を考えてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	1	1	2
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問・難易度に違和感があった	1	1	2
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	1	2
試験の会場・日程について一考を	1	1	2
問題数が少なかった	1		1
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		1	1
評価方法に疑問を感じる	1		1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1

【学部】「専門科目：情報」科目

よかった点

- 情報技術を一度学んだことがあります。しくみをていねいに説明して頂いたので、わかっていたつもりになっていた部分の発見に役立ったと思います。もっと、知っていくべき部分もありそうだと再認識でき、謙虚な気持ちで、しくみを理解していく努力を継続していかねばならないと思いました。
- 職業として IT 関連業務に携わっているが、本科目のテーマ（Web およびその応用分野）は専門外であり体系的な知識が不足していた。本科目の受講を通して不足していた知識を補うきっかけが得られた。
- 情報コース専門科目の最高峰を占めるにふさわしい十分に高度な知識を伝える優良科目である。この分野の専門書の多数を網羅するだけの広い内容と簡潔な表記と最新知識あふれる内容を受講できた。（人口知能研究の途上過程がよく理解できた。）（ラジオ教材の録音が出来なかったが、是非、後から聴き直したい。）

気になった点

- Web 自体が難しい内容を含んでいると思われるので、理解するのに努力は必要と思うが、講義が難しく、Web は身近な存在であるが、やはり別世界の事柄かと思った。何か訳がわからないところで、行われているのだという思いがぬぐいきれなかった。
- Web とデータベースの関係は重要ですが、データベースの説明が多く Web との関連性を主に説明してほしかった。Web とデータベースを組み合わせることで応用が可能となったものなどを説明していただけたらもっと良かったのではと思うところです。
- 自然言語の学問は全く初めての体験で、考え方になじまず、理解ができなかった。科目の前後がアンバランスになっても、前段で平易な解説をして考え方になれようにして頂きたい。
- 言葉と文の解析になるので、ラジオの授業よりも、テレビやオンラインの授業にすべきだと思う。その方が理解度が高まると思う。

専門科目：情報総覧

この科目についてはかなり専門的かつ先進的な内容であったと思われる。そのためか、良かった点で「基礎的な知識が得られた」という記述がきわめて多い。また「仕事・生活・学習に役立った」「最新の情報・研究が学べた」という意見も目立っている。反対についていけない人もある程度いたのであろうことは「気になった点」に顕著である。

気になった点で、「難しい、分かりにくい」といった内容の記述が相当数あった。放送授業・印刷教材でも「分かり易い」と「難しい」が並列している。内容をダウンさせることなく分かり易い講義・教材にすることが、今後の課題となろう。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役立った	74		74
勉強になった、役に立った	67		67
基礎的な知識を得られた	60		60
興味が持てた、関心が持てた	45		45
さらなる学習意欲がわいた	42		42
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	39		39
内容がよかった、分かりやすかった	31		31
最新の情報・研究が学べた	30		30
視野が広がった、視点・考え方が変わった	29		29
楽しく受講できた、面白かった	25		25
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	18		18
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	10		10
他の科目と関連性が良かった	10		10
専門的な内容だった、レベルが高かった	9		9
身近に感じることが出来る内容だった	9		9
学校側の対応が良かった	8		8
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	7		7
現状のままでいい、満足している	4		4
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	4		4
自分の意見・考えが持てるようになった	3		3
面接授業や実習が良かった	3		3
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		2
学習センターや図書館が良かった	2		2
受験・資格取得に役立った	1		1
具体的な事例・実験があった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		6	6
手元に置き、今後も読みたい内容だった		5	5
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		4	4
最新の情報や研究が紹介されていた		3	3
新しい知識・視点を得ることができた		2	2
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		2	2
ポイントが明確に押さえられていた		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
文字が大きく、読みやすかった		1	1
放送授業と内容が連動している		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった		2	2
添削・コメントをしてもらえた		2	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		3	3
単位がとれた		1	1
印刷教材が持ち込めて良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	18		18
分かり易く講義していた	16		16
受講して良かった	12		12
映像・テレビでよかった	12		12
映像や写真が多用され、分かり易かった	7		7
新しい発見や驚きがあった	6		6
インターネットで受講できた	5		5
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	4		4
現場取材やインタビュー、実験があってよかった	4		4
アシスタントがよかった	4		4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
対話形式の授業がよかった	2		2
最新の情報や研究が学べた	2		2
専門的に掘り下げていた	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 以前の同様科目との連続性に留意する。
- 学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。
- 実験や体験などを多く取り入れる。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 扱う範囲が広いので科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 授業内容に連続性を持たせて理解の促進を望む。
- 専門的な授業は前提となる知識の復習を初めに行う。

【学部】「自然と環境」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	63		63
難しい、高度すぎる、理解できない	45		45
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	27		27
分かりにくい、説明・解説が不十分	26		26
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	24		24
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	23		23
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	13		13
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	12		12
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	12		12
質問や相談がしたい	10		10
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	9		9
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	8		8
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	7		7
参考文献を紹介してほしい	6		6
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	6		6
学校の対応が悪かった	6		6
現実に活かせる内容にほしい	5		5
最新の内容の講義にしてほしい	5		5
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	5		5
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	4		4
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	4		4
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	4		4
交流の場を用意してほしい	4		4
内容・講師に思想的偏りがある	3		3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	3		3
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	2		2
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	1		1
資格取得ができるようにしてほしい	1		1
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1		1
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	1		1
判断・評価できるレベルに達していない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	9		9
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	9		9
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	9		9
問題の解答・解説・用紙がほしい	8		8
試験内容の設問・難易度に違和感があった	6		6
記述式および記述に関して改善してほしい	6		6
問題数が少なかった	4		4
教材・電卓持込み可にしてほしい	4		4
問題が多かった、範囲が広がった	3		3
先の試験日を事前に知りたい	2		2
教材の持込みは不要	2		2
○×式、選択式にしてほしい	1		1
結果通知が届くのが遅い	1		1
試験の会場・日程について一考を	1		1
試験の進行に不備があった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	25		25
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	25		25
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	11		11
構成・内容がよくない、面白くない	9		9
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	8		8
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	8		8
難しい、文章が回りくどい	7		7
内容が薄い、少なすぎる	7		7
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	7		7
放送授業と内容が異なる	7		7
教材の装丁・デザインを改善してほしい	5		5
誤植がある	4		4
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	3		3
設問の解も載せてほしい	3		3
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1
事前に教材の内容を確認したい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	45		45
構成・内容がよくない	19		19
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	16		16
図・表・写真を利用してほしい	15		15
テレビ科目にしてほしい	12		12
印刷教材と連動していない	11		11
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	11		11
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	10		10
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	10		10
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	9		9
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	5		5
印刷教材と内容が異なる	5		5
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	5		5
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4		4
まとめや学習ポイント、総括がほしい	4		4
例題・実習・演習を取り入れてほしい	4		4
補助教材や参考文献の発行・紹介を	3		3
講師の独りよがりになっている	3		3
手話通訳または字幕がほしい	3		3
放送授業の時間が合わない	2		2
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
科目や講義内容そのものが古くなっている	1		1
テレビ、ラジオ両方に対応してほしい	1		1
1科目の放送時間が短い	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	6		6
指導内容、コメント、対応に不満がある	5		5
課題範囲が広すぎる、難しい	4		4
課題の内容・量が的確ではない	2		2
質疑応答がしたい	2		2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1

【学部】「専門科目：自然と環境」科目

よかった点

- 多方面にわたって、動物のことが理解できよかった。人獣共通感染症は名前だけを知っていた、色々なおそろしい病気のことがくわしくわかり、勉強になった。第7回ではH0X遺伝子群の話がおもしろく、興味もてた。第14回では今まではぼんやりとしか理解していなかった免疫の仕組みがくわしくわかり、とても参考になった。
- 野生動物の進化ではニッチシフト、適応放散、収斂進化、分子系統存など、目からウロコでした。またカースト分化など興味のわくものばかりで大変勉強になりました。最も理解が深まったことは、動物は従属栄養生物で、みずから、必須アミノ酸を生成できず、他からとり入れなくてはならず、植物という生物がなくてはならないものだということでした。人間が決して忘れてはならないことだと思います。
- 1. 植物分類について、中学校で学んだ常識のパラダイムシフトを学習できた。2. 胚発生・発芽・成長について科学的な視野で理解でき、各器官の構成を知ることができた。3. 人間が自然を無視して作ってしまった「人間中心社会」における①今後の地球への②動物への③植物への影響を考慮すべきテーマを受け止めることを感じた。
- 単子葉類などの区分が昔と変わってきているなど、最近の研究により分かってきた事実が大変興味深かった。写真や実物の植物など用いて分かりやすかった。講師の先生が海外に行かれて現地の植物の説明をしていた回がとても良かった。
- 量子化学の内容が簡潔に提示されていると感じました。「量子化学('09)」の単位を取得していたので、比較的理解が容易でした。群論を用いた説明は「量子化学('09)」には、なかったのでこの方面について、他書を参照して勉強しました。群論について、新たに目を向けるようになったのが一番の利点でした。また、時間分解分光、空間分解分光等、最先端への応用の解説にも興味をもちました。理論と実験がバランスよく配分されていました。
- 物理現象の数学的表現の意味を、アニメーションやモデル、実験などを使いながら、ていねいに説明していました。若い時に学んでわからなかったところが少しわかってきた部分があり、未だ理解できていない項目も概略だけでも知ることができてよかったですと思います。
- 宇宙は夢の世界であるが（あったが）、本科目の授業を受けるにつれ、宇宙の実態が少しずつ、理解ができ、現実の世界もそう遠くないと感じた。教授陣の豪華さと映像の素晴らしさよかったです。
- 宇宙に関する関心はあったが学生時代から最近まで学習する機会がなかったが今回この科目を学習し、1. 宇宙に関し、その基本的知識が得られ、楽しく学習できた。2. 孫達との会話の中で「宇宙の謎」について話題にコミュニケーションが深まり、子供達の学習意欲向上にも役立ったと思う。3. 宇宙に関する研究が極めて進んでいることが理解でき、自分の今後の学習意欲向上に役立ったと思う。
- 球面上の三角形や双曲面上の三角形について理解することができ、視野が広がったこと。
- 印刷教材では理解できなかった内容を放送教材を視聴することで理解することができ、放送教材で理解できなかった内容を質問を通して理解できたこと。
- 単位認定試験の内容が通信指導と自習型課題の内容を踏まえて出題されていたことと、単位認定試験で印刷教材の持ち込みが認められていたので、試験時間中に学習内容を振り返ることができたこと。

気になった点

- 具体的な内容としてウィルス及びウィルス感染症についての記述がもう少し多いと良いと思いました。
- 各章の順番がどうしてこうなのか、よくわからなかった。勉強内容に方向性、順番性が感じられない。また動物にもいろいろの種があるので、各章がどの動物種についての説明なのか混乱してしまう。個別種（例えばヒト又は哺乳類）の話か、すべての動物種なのか、わかりにくい。
- 専門的な科目であるので、妥当だとは思いますが、強いて言うならば、遺伝子の発現を説明するならば、植物の遺伝子発現の基礎も合わせて説明するべきだと思いました。→動物の遺伝子発現をくわしく説明する科目はあるが、植物のはない。
- 総合的な内容としては問題無いが、広く浅すぎる感じがした。対となる「動物の科学」にも云える事だが、ミクロバイオロジー分野（形態・生理・細胞・分子）で2科目、マクロバイオロジー分野（分類・系統・生物地理・生態）で1科目程度に分けた方が良いと思う。
- 内容が多量であり、やや多過ぎる印象をもちました。勉強はしたつもりですがそれでも何となく体系のイメージが湧いたかなといったレベルです。分光装置でなくとも、原理的な実験を交えたようなものを見せていただければさらに良いのではとも感じました。
- “量子力学”を別に基礎科目として、予め勉強してから分光法を学ぶ方が理解しやすい。
- やはり、量子力学と統計力学は別々の科目として扱うべき。
- 内容が盛りだくさん。2科目くらいに分けてもらえると助かった。例えば「量子と統計の物理 1」「同2」15週間で完全に理解できる内容ではないと思う。（だから、まだまだ勉強しているが）適当な参考書を紹介してもらえるといいと思いました。
- テキストの内容を親切にいいに、初心者に興味をいだかせる工夫が欲しい。宇宙の誕生から銀河団の進化の過程、今後の宇宙など、話題を見つけて研究者の取り組んでいること、わかって来たことなどより詳細に話して欲しい。
- すでに一般科目「宇宙を読みとく」、専門科目「太陽系の科学」を履修している方が多いと思うので、もう少し専門的な分野について踏み込んでも良いのではと思った。又、新しい発見が続々と出てきているので、紹介する事にも試みてほしい。一般の書籍とは違い、3年くらいでどんどん改訂できるので、ぜひ最新の知見を取り上げて、学習意欲を高めてほしい。それから教科書について、少し厚くなったも図表など多く入れてほしい。理解の助けになる。
- 内容が多いので、非ユークリッド幾何と時空その(1)とその(2)など、2つの科目に分けた方がよい。
- 問題解答のページ数を増やし、略という解答ではなくヒント程度は掲載して欲しい。
- 非ユークリッド幾何とあるので、一般相対性理論に通有するリーマン・クリストッフェルの記号に習熟する機会があるものと期待していたが、この方面の講義がなく、少々ものたりなかった。特殊相対性理論については理解が深められたが、数学的に一般相対理論についても理解を深めたい。

専門科目：自然と環境総覧

この科目で展開された講義の幅は広い。生物から物理、数理、天文、最新の量子論にまで及んでいる。そのため、ある程度の基礎知識を持った人には意欲をかきたてられる内容だったと思われるが、そうでない人にはかなり歯ごたえがあったのだろう。「知識の整理・深耕に役立った」「勉強になった」「基礎的な知識を得られた」が多い中、「難しい、理解できない」という声もかなり見られた。

単位認定試験でも「簡単すぎる」と「難しすぎる」が同数になっているのはその表れだろう。また、「関連科目・基礎科目を開設してほしい」「内容が浅い」という声が多いのは、興味を喚起する科目であったためと思われる。

【学部】「総合科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった、視点・考え方が変わった	64	13	77
勉強になった、役に立った	46	23	69
基礎的な知識を得られた	48	19	67
知識の整理・深耕に役立った	40	13	53
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	38	10	48
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	41	7	48
興味が持てた、関心が持てた	36	10	46
現在の課題や身近な問題点を学べた	26	12	38
内容がよかった、分かりやすかった	26	10	36
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	24	11	35
さらなる学習意欲がわいた	22	9	31
楽しく受講できた、面白かった	21	3	24
最新の情報・研究が学べた	17	3	20
現状のままでもいい、満足している	16	1	17
身近に感じることが出来る内容だった	8	4	12
学校側の対応が良かった	9	3	12
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	8	2	10
自分の意見・考えが持てるようになった	7	2	9
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	2	5
面接授業や実習が良かった	5	5	10
具体的な事例・実験があった	3	3	6
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	3	3	6
他の科目と関連性が良かった	2	2	4
学習センターや図書館が良かった	1	1	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	6	5	11
図版や表が役に立った	3	1	4
基本的な知識を得られた、概要がわかった	3	3	6
新しい知識・視点を得ることができた	2	2	4
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	2	2	4
体系的に良くまとまり、整理されていた	2	2	4
手元に置き、今後読みたい内容だった	1	1	2
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1	1	2
ポイントが明確に押さえられていた	1	1	2
コラムや関連情報が面白かった	1	1	2
放送授業と異なる情報が得られた	1	1	2
読み物として面白い内容だった	1	1	2

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	4	4	8
楽しく受講できた、面白かった	1	1	2
新しい知識・情報を得られた	2	2	4
分かりやすく丁寧な指導だった	2	2	4
体系的に、幅広く、詳細に学べた	1	1	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった	3	3	6
記述式がよかった	3	3	6
印刷教材が持ち込めて良かった	1	1	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	31	3	34
分かり易く講義していた	10	3	13
受講して良かった	11	1	12
映像・テレビでよかった	10	10	20
現場取材やインタビュー、実験があってよかった	10	10	20
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	9	9	18
映像や写真が多用され、分かり易かった	9	9	18
インターネットで受講できた	7	7	14
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	4	4	8
新しい発見や驚きがあった	2	2	4
タレントの参加が良かった	1	1	2
社会的な課題や問題点を知ることができた	1	1	2
過去の問題を取り上げていた	1	1	2
実際の仕事や生活に役立つ内容だった	1	1	2
放送のテンポや時間構成がよかった	1	1	2
最新の情報や研究が学べた	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1	1	2
実例や身近な例を取り上げていた	1	1	2

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 専門的な授業は前提となる知識の復習を初めに行う。
- テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。
- 実験や体験などを多く取り入れる。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 講師以外の人材を適切に活用する。

【学部】「総合科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	30	12	42
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	20	9	29
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	20	6	26
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	18	6	24
分かりにくい、説明・解説が不十分	21	3	24
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	11	9	20
最新の内容の講義にしてほしい	17	2	19
現実に活かせる内容にしてほしい	11	7	18
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	11	3	14
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	7	6	13
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	10	1	11
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4	2	6
内容・講師に思想的偏りがある	4	2	6
質問や相談がしたい	2	4	6
各種施設の利用について、充実・改善してほしい	4	2	6
学校の対応が悪かった	5	1	6
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4	1	5
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	4	1	5
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	4	1	5
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	4	1	5
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	3	1	4
交流の場を用意してほしい	3	1	4
参考文献を紹介してほしい	3		3
資格取得ができるようにしてほしい	2	1	3
科目登録申請について簡略化・改善してほしい	2	1	3
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	3		3
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	1	1	2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	2		2
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	2		2
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	2		2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい		1	1
判断・評価できるレベルに達していない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	9	10	19
試験内容の設問・難易度に違和感があった	12	1	13
問題の解答・解説・用紙がほしい	7	5	12
試験の会場・日程について一考を	9	3	12
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	8	3	11
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	6		6
教材・電卓持込み可にしてほしい	5	1	6
評価方法に疑問を感じる	4	1	5
記述式および記述に関して改善してほしい	4	1	5
問題が多かった、範囲が広がった	4		4
問題数が少なかった	4		4
結果通知が届くのが遅い	2	1	3
○×式、選択式にしてほしい	2		2
インターネットを利用した受験	1		1
先の試験日を事前に知りたい	1		1
鉛筆だけでなくシャーペンも可としてほしい		1	1
試験の進行に不備があった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	17	3	20
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5	6	11
構成・内容がよくない、面白くない	7	3	10
放送授業と内容が異なる	6	3	9
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	6	2	8
内容が薄い、少なすぎる	6		6
設問の解も載せてほしい	3	3	6
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	5		5
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	3	2	5
印刷教材のPDF化やダウンロードを考えてほしい	3	1	4
難しい、文章が回りくどい	3		3
教材の装丁・デザインを改善してほしい	3		3
誤植がある	3		3
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	2	1	3
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	2		2
DVD・CDの添付を考えてほしい	1	1	2
和訳・英訳がほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	23	9	32
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	22	7	29
テレビ科目にしてほしい	11	9	20
構成・内容がよくない	19		19
印刷教材と連動していない	10	4	14
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	13	1	14
印刷教材と内容が異なる	5	5	10
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	8	2	10
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	8	1	9
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	5	3	8
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	7		7
放送授業が聞き取りづらい	5	2	7
図・表・写真を利用してほしい	4	2	6
講義のテンポが良くない(早い、遅い)	5	1	6
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	5		5
まとめや学習ポイント、総括がほしい	4	1	5
講師の独りよがりになっている	2	2	4
例題・実習・演習を取り入れてほしい	2	1	3
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	1	2
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2		2
放送授業の時間が合わない	2		2
補助教材や参考文献の発行・紹介を	1		1
ラジオの放送を充実してほしい	1		1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1
2科目の放送時間が長い		1	1
ノートを取る余裕がほしい	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある		1	1
手話通訳または字幕がほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	2	1	3
レポートの提出期限を事前に知りたい	1	1	2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1	1	2
課題の内容・量が的確ではない	1		1
指導内容、コメント、対応に不満がある	1		1
質疑応答がしたい	1		1
提出期間が短い、スケジュールの改善を	1		1

【学部】「総合科目」科目

よかった点

- バイオサイエンスと聞くと難しい科学であり生活で関わりがあると感じていても、生物学や物理学および化学などを履修して理解を深めていなければ分わることの出来ない学問と思っておりましたが、より身近な日本古来の酒、味噌、醤油などの微生物を理解することにより、題名にもなっています暮らしに役立つ考え方や、好奇心へとつながったと思います。また先生方が地域代表ということもありまして、日本が今こそ大事にすべきである地域に根ざした文化についても本当に考えるきっかけとなりました授業であったと思います。
- 燃料等のエネルギーがどのように産出され、どのように使われるのか、埋蔵量も含め詳しく知ることができた。また、新しいエネルギーにどのようなものがあるのかも知ることができ、将来への展望ができた。全体的な問題点もよく理解できた。難しく、おもしろかった。非常に重要な科目である。
- もう少し若い頃この科目を受講したかった。自分のライフプラン、ライフコースを考える際に役立てたかった。しかし、今後の人生へも大いに役立てる科目だと思った。又、これから職業、キャリアを考えていく方々へのアドバイスをする機会に参考になる科目でした。
- これからのキャリアをどのように形成していくか模索している中で、今年新しく開講された科目で興味を持ったので受講しましたが、ほぼ期待通りの内容で、テレビ授業ならではのメリットを活かして各第一線で働く方々のインタビューなど、とても参考になり、役に立ったと思います。
- 今日的な問題である環境問題の社会的側面に、経済的・法的なアプローチを行ない、筆者からの建設的な提言も行なっている。テーマもレベルも「総合科目」にふさわしい骨太の内容だったと思う。
- リーマンショックなどの金融市場の事件が、私たちの生活に大きな影響を与えると感じ、証券市場の仕組みについて知りたいという動機で、受講しました。その目的はほぼかなえることが出来たように感じます。
- 証券市場と経済のつながりの全体像と歴史的背景の要点を知り得たことは有意義でした。普段、株式投資を行っていますが、狭い知識と狭い考え方をしている自分に気づきました。金融市場及び証券市場の役割の重要性を改めて知りました。
- 今まで知らなかった北欧の歴史（特にフィンランドの歴史）について学習することが出来た。教育で知られるフィンランドが、国の政策として、制度の改革を行ったというのも興味深かった。後半の日本についての授業も面白かった。放送授業で、実際に現地に行き、ロケ、インタビューがあるのが、とてもいい
- コンピューター導入による情報技術の発展に伴い、職場、生活の場でも、その技術に接してきた。しかし、その現状は、よく理解できていなかった。しかも、この流れは、変わらないと漠然と感じていた。本講義は、情報通信について過去から現在、そして今後について、具体的に示されていた。そのため、自分の立ち位置を確認する手助けとなった。

気になった点

- エネルギー基礎の熱力学説明が省略と飛躍に富んでいてついていけない。勿論これを理解できるようにするには1科目全体を要するのは分かるが、もう少し分かり易いアプローチはないのか。またこの理論面と他の社会、市場、近年の技術開発の記述との間の差が大きい。
- 原発の取り上げ方に不満が残った。福島原発事故以降の問題について「安全性などの問題、課題がある」とさらっと述べてあるだけでは不十分。事故原因も津波と断定しているのが気になった。脱原発に向けての専門家としての具体的な提言を期待していたのに残念でした。専門家として世の中の非原発への世論にどう向き合うのか知りたかった。
- 第8章にて職場の崩壊について述べられていましたが、それでもエスカレーター式に大学を出て定年まで働くことがいような印象の内容であったため、他の生き方や、それ以外の仕事についてもう少し触れてもらいたかったと思います。
- テレビ授業で作ったグラフ等の資料がそのまま印刷教材にコピーした様な感じで、印刷がにじんで、見えにくい事があり、それがそのまま単位試験の問いに出てくる事もあるので、見えやすく、印刷して頂けると助かります。
- 環境問題が発生した事象を時系列的にもう少し深く説明が欲しかった。地球温暖化、原子力廃棄物に関する説明の最始結末について明確なことが判りにくい。法制的説明が長すぎ（詳しすぎる？）ので難解であった。
- もう少し証券市場の現代的な問題点など現実的な課題もあった方が良いと思う。
- この講義が”世界の中の日本”ということなのでイスラムを中心とするだけでなく、もう少し全世界的視点で論じて欲しかった気もするが、紙数の関係でやむを得なかったかとも思われる。
- 「日本政治外交史」も受講しましたが、この科目は教科書も放送内容も内政に関することに終始しており「日本政治内政史」とすべきと思います。日本の政治家のオーラルヒストリーにそって、日本の政治家の仔細な点を紹介する科目であり、世界に対する日本の政治外交を学びたかった私には非常に残念な科目でした。
- 著作権や知的財産関係の部分は、詳しく説明しているのだと思うが、全体的な内容ではなく、大切なところを明確にし、簡潔にまとめてもらえると良いと思う。

総合科目総覧

総合科目は、ひとつの分野にとどまらず、私たちの身近に存在している現代的な問題を、複眼的な視点で捉えようとする、文字通り総合化された科目である。極めて魅力的かつ今日的な科目が用意されており、受講生からの評価も「視野が広がった、視点・考え方が変わった」が多く、総合科目としての狙いは、まず達成されたと言えるだろう。

「難しい、理解できない」という声も多いが、それと同等以上に新しい科目の開設や、内容の深化、面接授業への参加希望など、積極的な学びの姿勢を示す受講生も存在している。

ここでも「印刷教材の棒読み」に対する批判が目立つ。総合科目を受講する学生は、「総合科目というあり方」にそれ相応の期待を抱いているのであろう。共通科目・専門科目とは異なった講師・講義の質も要求されているのかもしれない。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	4	20	24
知識の整理・深耕に役立った	6	4	10
視野が広がった、視点・考え方が変わった		10	10
勉強になった、役に立った	3	6	9
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	4	4	8
さらなる学習意欲がわいた	4	3	7
内容がよかった、分かりやすかった	1	5	6
興味が持てた、関心が持てた	1	3	4
基礎的な知識を得られた	1	2	3
自分の意見・考えが持てるようになった	1	2	3
具体的な事例・実験があった		3	3
受講しやすい環境だった、システム面がよかった		3	3
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		2	2
受験・資格取得に役立った	1	1	2
楽しく受講できた、面白かった	1		1
最新の情報・研究が学べた	1		1
専門的な内容だった、レベルが高かった		1	1
他の科目と関連性が良かった	1		1
学校側の対応が良かった		1	1
学習センターや図書館が良かった		1	1
現状のままでもいい、満足している		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	1	3	4
新しい知識・視点を得ることができた	1		1
CD・テープが役に立った		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1
文字が大きく、読みやすかった	1		1
放送授業と内容が連動している		1	1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
具体的な事例や実験が紹介されていた		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった		1	1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業・印刷教材・通信指導と同じ内容だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた		7	7
分かり易く講義していた		3	3
インターネットで受講できた	1	2	3
受講して良かった	1	1	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		2	2
実際の仕事や生活に役立つ内容だった		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1	1	2
社会的な課題や問題点を知ることができた		1	1
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった		1	1
映像や写真が多用され、分かり易かった		1	1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
- 実験や体験などを多く取り入れる。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものに。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。

【学部】「夏季集中科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	4	1	5
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	3	5
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	3	2	5
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1	2	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2
質問や相談がしたい		2	2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1	1	2
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1	1	2
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2		2
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる		1	1
参考文献を紹介してほしい		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		1	1
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	1		1
学校の対応が悪かった		1	1
交流の場を用意してほしい		1	1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	5	4	9
テレビ科目にしてほしい	1	4	5
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		5	5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2	3	5
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1	4	5
構成・内容がよくない	1	2	3
印刷教材と内容が異なる	2	1	3
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1	1	2
講義のテンポが良くない(早い、遅い)		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
印刷教材と連動していない		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい		1	1
ノートを取る余裕がほしい		1	1
放送授業の時間が合わない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2		2
内容が薄い、少なすぎる		2	2
難しい、文章が回りくどい	1		1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		1	1
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい		1	1
放送授業と内容が異なる	1		1
教材の装丁・デザインを改善してほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある		5	5
提出期間が短い、スケジュールの改善を		4	4
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1
単位認定試験のヒントがほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		5	5
試験内容の設問・難易度に違和感があった	1	1	2
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		1	1
試験官の声が小さい・話し方が平坦	1		1
試験の会場・日程について一考を	1		1
試験の進行に不備があった	1		1

【学部】「夏季集中」科目

よかった点

- 読書指導が、子どもの豊かな人間性の形成に、どのような役割を果たしているかが良く分かった。その役割を達成するために、どのような図書館が必要なのかという、図書館教育のあり方についても考えることができ良かったと思う。
- 現在の仕事をしていて疑問に感じていたことがありました。この科目を受講したことで、答えがみえたような気がしました。読書活動の意義や読書指導の意義について学んだことで、これまで以上に、本に関わる仕事が楽しく感じられるようになりました。
- 「精神看護の歴史」が興味深く、学習しやすい内容だった。現代と比較しながら、過去を容易に想像できる構成で、現在に至る過程が理解できた。
- 精神科に関する法律や制度の変化が理解できていなかったが、この授業により、理解を深める事ができたと思う。

気になった点

- 何故ラジオ講座なのかがわからなかった。本の読み上げのように感じてしまい、ラジオ講座を聴く必要性が感じられなかった。具体的な本の事例や児童、生徒の様子、書籍（印刷教材）では取り上げられない最新の動向や現場の声を聞いてみたいと思う。
- 司書教諭の資格関連の授業は、どれもレポートの内容が高度で、それを2回提出するのが負担に感じた。2回のうち、どちらかは、授業内容を確認するのみの簡易なものにするなど工夫して欲しい。
- 単位認定試験が大変難しく、他の科目と比較しても難易度が高いと思いました。勉強してのぞみましたが、（過去問や、通信指導問題）自信を失くしました。もう少し、過去問、通信指導問題の勉強が生かされた試験であって欲しいと思いました。

夏季集中科目総覧

夏季集中講座は、「司書教諭資格取得」、「看護師資格取得」に資する科目である。すでに資格を取得し、働きながらさらなるキャリアアップを目指す人もいると思われる。「今後の人生や仕事・生活・学習」「知識の整理・深耕」に役立ったという答えが圧倒的に多く、「基礎的な知識が得られた」はきわめて少ない。

資格取得や仕事と連動している以上、受講生の目的は明確で、授業や教材に対する目は厳しくなるのは当然であるが、基本的な知識・実践があるせい気になった点自体は多くなく、「難しい、分からない」という答えも少ない。若干気になるのは「働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい」で、理解はできる意見である。

決して突出しているわけではないが、「印刷教材の棒読み」に対する批判はここでも目立っている。

「学部」「オンライン科目」

よかった点

科目全般	
意見	合計
内容がよかった、分かりやすかった	4
勉強になった、役に立った	4
今後の人生や仕事・学習に役立つ	3
受講して良かった	3
知識の整理・深耕に役立った	2
学習意欲が湧いた	2
映像があるおかげで集中できた	1

(単位:人)

オンライン教材	
意見	合計
確認テストが理解に役立った	5
講師の指導が良かった	1
内容がよかった、分かりやすかった	1
講義ノートが理解に役立った	1
映像教材が良かった	1
情報提供物が良かった	1
具体例・事例があった	1
学習のポイントが分かりやすく説明されていた	1
1回の講義が分割されていて短時間でも取り組めた	1

気になった点

科目全般	
意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1

単位認定試験	
意見	合計
教材の持込みは不要と感じる	1
問題が少なかった	1
試験問題が確認テストと同じだった	1
通信指導を受けたが単位認定試験を受けなかった	1

オンライン教材	
意見	合計
講義ノートの印刷教材が欲しい	4
確認問題数を増やして欲しい	2
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1
講義ノートにページ番号がほしかった	1
誤植を直して欲しい	1
資料が多く閲覧・印刷が大変だった	1
最後にまとめて練習問題がほしい	1
映像教材の回毎の質にバラツキがあった	1
オンライン上の操作・説明がわかりにくかった	1
学習の進捗状況がわかる画面がほしかった	1
確認テストが1問ずつしかできず、面倒だった	1
講師の話し方がよくなかった	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 講義ノート等映像教材以外の情報提供物をまとめ、印刷物として提供する。
- 確認問題は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切に出題とする。

【学部】「オンライン授業」科目

よかった点

- 一回分ずつがわかりやすく、まとまっていました。座学は何十年ぶりになってしまい仕事をしつつで（パソコンも苦手なので）とても不安でしたが、理解しやすかったです。確認テストが一回の講義の中でも一コマずつにあったので忘れないうちに確認でき、まちがえた時もすぐにもう一度学習しなおしてテストが受けられました。映像もよかったですが映像教材以外の情報提供物はとても助かりました。講義ノートは保存してすべて印刷して読み、資料も保存して数十枚となるもの意外は印刷して、いつも見られるようにしました。とても役に立ちました。ありがとうございました。
- 講師はベテランの保育者だということが伝わってきた。熱意が感じられ、学ぶ意欲が高まった。
- 1回の講義が分割されていたので、短時間でも取組めてよかった
- 確認テストが回ごとに設定されていたので、その回のポイントがどこにあるのかを理解することができた。
- 幼児理解について、言葉で再認識することができたことが、よかった点です。ポイントをおさえることができたように思います。また、近年の幼児期の教育と保育における、社会情勢との関連性を詳しく知ることができたこともよかった点です。とても勉強になりました。

気になった点

- オンラインで学びやすいが、印刷教材がないので、ダウンロードして印刷するのにかなりの労力経費がかかった。かなりの量を準備して単位認定テストは非常に簡単で驚いた。
- 確認テストが1問ずつしかできず、面倒。各回にまとめてほしかった。また、全回の確認テストをまとめたページが欲しかった。
- 印刷教材は必要。印刷したら用紙が結構多かった。
- 幼児理解と保育計画の単元が少し難しかったので、やや掘り下げた説明や授業の進め方だと助かりません。
- 講師により、楽しく学べる回と、ちょっと残念に思う授業になってしまった回があり、講義ノート中心に進めることになった。

オンライン授業科目総覧

本年度開設したオンライン授業科目は、「幼稚園教諭免許状取得」に係る特例対象となる科目である。すでに保育士資格を取得し、働きながらさらなるキャリアアップを目指す人が多いと思われ、「今後の人生や仕事・生活・学習」「知識の整理・深耕」に役立ったという前向きな意見が多く、当該科目に対する否定的な意見は少なかった。

なお、オンラインでの授業そのものについても肯定的な意見が多く、中でも「確認テスト」「講義ノート」のおかげで各章の学習に役立ったという意見が複数あった。

また、否定的な意見の多くは、「映像以外の情報提供物の印刷が大変」「印刷教材は必要」などであり、教材として印刷物を作成し提供するかどうかは今後の検討課題と思われる。

Ⅲ-3. 大学院

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	8	42	50
勉強になった、役に立った	7	31	38
視野が広がった、視点・考え方が変わった	2	21	23
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4	18	22
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	6	15	21
知識の整理・深耕に役立った	1	17	18
さらなる学習意欲がわいた	6	8	14
内容がよかった、分かりやすかった	1	12	13
基礎的な知識を得られた	3	4	7
興味を持てた、関心を持てた	2	5	7
楽しく受講できた、面白かった	1	6	7
現在の課題や身近な問題点を学べた		5	5
自分の意見・考えが持てるようになった		4	4
他の科目と関連性が良かった	1	3	4
専門的な内容だった、レベルが高かった	1	2	3
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		3	3
最新の情報・研究が学べた		2	2
身近に感じることが出来る内容だった		2	2
受験・資格取得に役立った		2	2
具体的な事例・実験があった		2	2
受講しやすい環境だった、システム面がよかった		2	2
学習センターや図書館が良かった	1	1	2
面接授業や実習が良かった	1	1	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		5	5
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
放送授業と内容が連動している		1	1
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
図版や表が役に立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しく受講できた、面白かった		1	1
記述式がよかった		1	1
分かりやすく丁寧な指導だった		1	1
現在の学習課題や問題点を知ることができた		1	1
添削・コメントをしてもらえた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
受験して良かった		1	1
試験内容が適切だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた		8	8
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1	6	7
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった		4	4
実例や身近な例を取り上げていた		3	3
受講して良かった		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1		1
映像・テレビでよかった	1		1
インターネットで受講できた		1	1
最新の情報や研究が学べた		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- ジェンダーや身体的条件、家族のありように配慮する。
- 扱う範囲が広いので、科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものに。
- 放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- 通信指導での評価や試験結果を踏まえて、指導ポイントを本人に確実にフィードバックする。

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	12	6	18	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	1	7	8
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	1	8	9	放送授業と内容が異なる	1	5	6
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3	5	8	誤植がある		4	4
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1	6	7	構成・内容がよくない、面白くない	1	2	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	5	6	放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	3		3
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	2	5	内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		5	5	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		2	2
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	3	2	5	教材の装丁・デザインを改善してほしい	1	1	2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	2	4	難しい、文章が回りくどい		1	1
資格取得ができるようにしてほしい	1	3	4	内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	2	3	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		3	3	放送授業と内容が変わらない	1	1	1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		3	3				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	2	3				
内容・講師に思想的偏りがある		3	3				
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		3	3				
学校の対応が悪かった	1	2	3				
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい		3	3				
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	1	2				
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい		2	2				
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった		2	2				
交流の場を用意してほしい		2	2				
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	1	1				
参考文献を紹介してほしい		1	1				
最新の内容の講義にしてほしい		1	1				
質問や相談がしたい		1	1				
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		1	1				
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい		1	1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	1	24	25
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった		8	8
印刷教材と運動していない	2	5	7
印刷教材と内容が異なる	3	3	6
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1	5	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2	3	5
構成・内容がよくない	1	3	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	3	4
印刷教材と異なる講義が聴きたい		4	4
まとめや学習ポイント、総括がほしい		3	3
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		2	2
図・表・写真を利用してほしい	1	1	2
放送授業が聞き取りづらい		2	2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		2	2
講義のテンポが良くない(早い、遅い)		2	2
講師の独りよがりになっている		2	2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1		1
1科目の放送時間が短い	1		1
手話通訳または字幕がほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある		4	4
課題の内容・量が的確ではない		3	3
レポートの提出期限を事前に知りたい		1	1
質疑応答がしたい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設定・難易度に違和感があった	2	8	10
問題の解答・解説・用紙がほしい	2	3	5
問題数が少なかった		3	3
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	2	3
記述式および記述に関して改善してほしい		2	2
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	1	2
試験の会場・日程について一考を		2	2
試験が難すぎる、難易度を下げるべき	1	1	1
評価方法に疑問を感じる	1		1
結果通知が届くのが遅い		1	1
教材の持込みは不要	1		1

【大学院】「生活健康科学」科目

よかった点

- 現代の生活諸問題を様々な角度からガバナンスを通して、とらえられた。特に、環境問題（原子力エネルギーに代わるものを求めている）については、大変考えさせられました。“生活リスク研究”の科目よりも、原子力エネルギーについての内容が深められていた。
- 現在の世界を覆う民主主義体制の”ゆらぎ”の中で、「カウンター・デモクラシー」に大きな関心があります。本講座は市民目線で、各生活の場を切り取り、問題点をあげ、それらの解決方法を提示している。特に失われた家族や地域の絆を別の形で再生する考え方を提示していて、新鮮さを感じました。
- 家族生活（日本）の様子を各時代ごとに学習できた。各時代ごとに変化していることを理解できました。各時代とも課題を解決しながら、現代の家族生活を形作っていることを学ぶことができました。科目ごとに課せられる問題と単位認定試験の問題を解くことで科目全体の内容を理解することができました。
- 家族という集団の変化、現在の個人化、個別化という事に必ずしも同じではなく、社会の中で起きている社会問題を考えるにあたって概念を知る事が出来た。
- 私自身、内容を理解できる基礎的な力が乏しかったので、何回も放送授業とテキスト、その他、webや本などを見ることになり、今回はよく学習に取り組んだと思います。結果的に今まで知っていた栄養学より、より専門的に知るキッカケが出来たので、とても良かったです。ありがとうございました。
- 病理学に対する健理学という考え方はもっと一般に普及されるべき概念だと思った。人のあら探しをするのではなく、肯定的に人間をとらえる姿勢は素晴らしい。年を取ること自体、マイナスをとらえる風潮がある一方で、ポジティブに生きるヒントをたくさん得ることが出来た。今後の仕事や生活に生かしていきたい。
- 内容が濃く、スポーツと健康の歴史から個々の関連(女性とスポーツ、高齢者とスポーツなど)を知ることができ、満足している。また通信指導に記述問題を2題盛り込んだことで、学習内容をしっかりと頭に入れることができた。
- 20数年に渡り少年野球のコーチ、監督を経験してきました。子供達の健康について勉強したことはありませんでした。定年を過ぎて、一度体系的に勉強し、子供達の正しい育成方法と自分の健康について学習したく受講はしたが、とても役に立つ勉強となりました。

気になった点

- “生活”この概念の大きさから、人が生きていくためのすべてを網羅しなければならないかもしれないが、参考文献の多さからみても、テーマが大きすぎるように思える。基礎的なことを学ぶ上では良いかもしれないが、浅い所、深い所が大きいように思える。
- ラジオでなく、TVのほうが良かったのではないのでしょうか？第5章の「子どもと生活ガバナンス」オランダ、英国の街並み、11章の「住まいと生活ガバナンス」などは映像で見たいです。
- 単位認定試験の問題数が10問しかなく5分で解答してしまうほど簡単で残りの時間が退屈だった。最低でも40問出すべきで、そうすればやりがいもあると感じる
- 具体的な事例を盛り込んだ講義は理解しやすいのだが、学問的な裏付けや理論的な説明が足りないと感じた。こうした部分は自習学習しなくてはならず、大学院の科目として物足りなく思った。しかも、こうした学問的な部分は通信指導や単位認定試験には必要なく、本来の勉学、研究と単位勉強のレベルに差があり過ぎたのが残念だった。
- 食品の機能と健康において、糖質、脂質の科学、タンパク質、ビタミンとミネラル等各分野に渡り解説にて専門的で良いのですが、理解出来ない人が多いと思います。簡略して、この学科を構成して下さい。
- 化学構造式など専門的な内容でとっかかりが難しい。栄養士養成でなく、生活健康科学としての知識を得る為の授業にしては、難しすぎる。しかし、テストは教科書持ちこみで結局学生に何を求めているのかわからない。
- 質的な調査研究以降、住民参加、行政の役割などの解説が、やや冗長なところがあるように感じられた。
- 国民や世界の人々の健康を維持するために、いろいろなプランがありますが、結果としてそのプランを改善する前の問題点などもう少しくわしく知りたいです。
- 印刷教材に載っていない内容をかなり話していらして、理解するのが大変でした。単位認定試験の問題は、通信指導の問題よりも選択する答えがあまりにシンプルすぎて、何故と思いました。
- 解剖学において、筋と神経をもっと詳細にしないと記憶に残りにくい。あと脈管系もか。理解度が浅くなってしまう。生理学にしても中途半端なので、もっと詳しくしてほしい。生化学の範囲をもっと入れてもいいと思います。

生活健康科学総覧

大学院になると、かなり高度かつ専門的な講義内容になる。受講生の学びに対する意欲は共通であっても、要求する知の内容は科目になって異なってくるであろう。「生活健康科学」は自分たちの生活と健康維持（抗老化）に関わる科目であるためか、「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」が最も多かった。「視野が広がった、視点・考え方が変わった」や、健康を「学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった」という内容の記述も多く、実際の生活に生かそうと言う意欲が見て取れる。この科目では「テレビでの講義」を望む声が圧倒的に多い。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	7	43	50
知識の整理・深耕に役立った	8	27	35
視野が広がった、視点・考え方が変わった	8	27	35
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	8	17	25
さらなる学習意欲がわいた	5	19	24
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	3	13	16
内容がよかった、分かりやすかった	1	11	12
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	10	12
現状のままでいい、満足している	2	8	10
基礎的な知識を得られた	8	8	8
最新の情報・研究が学べた	2	5	7
興味を持てた、関心を持てた	2	4	6
楽しく受講できた、面白かった	4	2	6
現在の課題や身近な問題点を学べた	5	5	5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1	4	5
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	3	3
自分の意見・考えが持てるようになった	3	3	3
身近に感じることが出来る内容だった	3	3	3
具体的な事例・実験があった	3	3	3
学習センターや図書館が良かった	3	3	3
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	1	2	3
他の科目と関連性が良かった	1	1	1
学校側の対応が良かった	1	1	1
面接授業や実習が良かった	1	1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	3	9	12
体系的に良くまとまり、整理されていた	3	3	3
新しい知識・視点を得ることができた	1	1	1
ポイントが明確に押さえられていた	1	1	1
最新の情報や研究が紹介されていた	1	1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	1	1	1
さらなる学習のヒントや情報を与えられた	1	1	1
添削・コメントをしてもらえた	1	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2	6	8
分かり易く講義していた	1	5	6
インターネットで受講できた	1	4	5
現場取材やインタビュー、実験があつてよかった	4	4	4
映像・テレビでよかった	2	1	3
放送授業と印刷教材の内容が異なった	3	3	3
受講して良かった	2	2	2
映像や写真が多用され、分かり易かった	2	2	2
実例や身近な例を取り上げていた	2	2	2
新しい発見や驚きがあった	1	1	1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1	1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1	1	1
実際の仕事や生活に役立つ内容だった	1	1	1
放送のテンポや時間構成がよかった	1	1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。
- 授業内容に連続性を持たせて理解の促進を望む。
- 扱う範囲が広いので科目を分けてより詳細な授業を望む。
- 複数の講師が担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。

【大学院】「人間発達科学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3	12	15
難しい、高度すぎる、理解できない	1	10	11
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	6	4	10
質問や相談がしたい	1	8	9
分かりにくい、説明・解説が不十分		8	8
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		8	8
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	2	5	7
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		6	6
現実に活かせる内容にしてほしい		5	5
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1	4	5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	3	4
最新の内容の講義にしてほしい		4	4
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	3	4
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		3	3
資格取得ができるようにしてほしい		3	3
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		3	3
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	1	2	3
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい		3	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		2	2
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい		2	2
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	2		2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		2	2
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1	1	2
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		2	2
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1	1	2
交流の場を用意してほしい		2	2
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1	1	2
アンケートは必要性や実施時期に疑問	1	1	2
学校の対応が悪かった	1	1	2
現在の講義・受講体制を残してほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	2	16	18
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	2	13	15
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	2	7	9
構成・内容がよくない	1	6	7
印刷教材と連動していない	3	3	6
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1	5	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	3	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		4	4
印刷教材と内容が異なる		3	3
図・表・写真を利用してほしい	1	2	3
講義のテンポが良くない(早い、遅い)		3	3
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		2	2
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	1	2
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1	1	2
ノートを取る余裕がほしい		2	2
科目や講義内容そのものが古くなっている		1	1
補助教材や参考文献の発行・紹介を		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1
手話通訳または字幕がほしい	1		1
放送授業の時間が合わない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2	7	9
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		9	9
構成・内容がよくない、面白くない	2	5	7
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	1	2	3
放送授業と内容が異なる	2	1	3
難しい、文章が回りくどい		2	2
内容が薄い、少なすぎる		2	2
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2		2
誤植がある		2	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の内容・量が的確ではない		3	3
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1	2	3
課題範囲が広すぎる、難しい	1		1
指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1
質疑応答がしたい	1		1
インターネットで行いたい	1		1
単位認定試験のヒントがほしい		1	1
提出期間が短い、スケジュールの改善を		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設定・難易度に違和感があった	7	6	13
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	6	5	11
教材・電卓持込み可にしてほしい	3	4	7
試験の会場・日程について一考を	2	5	7
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		6	6
問題の解答・解説・用紙がほしい	2	3	5
記述式および記述に関して改善してほしい	1	4	5
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	2	3
問題数が少なかった		1	1
インターネットを利用した受験	1		1
試験官の声が小さい、話し方が平坦		1	1

【大学院】「人間発達科学」科目

よかった点

- 科目名から期待したもの以上の充実した内容であり、受講の価値は非常に高いと思います。特に複数の講師がオムニバスの授業を行うのではなく、科目名に相応の見識をお持ちの講師が教材、授業ともに全てを担当された事が、科目の性質上、一貫性を持った理解しやすい内容を提示いただける事に繋がっていると思います。
- どうしても教育と言うと学校教育が前面に出てしまいましたが、大学や高等学校卒業した後も社会人として教育を受けている事をあらためて考えさせられました。社会教育とは、こうあるべきという事は各個でまちまちとは思いますが、そう言った生涯教育・社会教育が大へん重要である事を知ることができました。その理論といろいろな人の話しを聞けてたいへんよかったです。
- 中国の大学で二年間日本語教師として赴任していました。その際感じた大学のあり方や改革について世界の動向を知りたいという思いが高まりました。その疑問点解消のために意欲的に取り組み、その要求に充分応えてくれた教材でした。ヨーロッパ、アメリカ、アジア、そして日本と、教育制度の違いや、経緯、課題等々良くまとめて編成され、理解が深まりました。
- 世界の主要、特長ある各国の改革の現状及び背景について比較しながら学ぶことができた。また、そこから日本の課題について見直す視点のヒントが見えてきた。
- 情動、認知、逆流性等の発達の切り口と、乳幼児～高齢者への発達の切り口との両面からの指導で、切り口が変化していて、おもしろかった点が受講してよかったと思う点でした。
- 人間の発達について、研究の歴史について、体系的に学ぶ機会を得られたことはありがたいことでした。また、印刷教材の内容をさらに放送授業で図表・映像(VTR)にて解説していただいたことで理解が深まる場面がありました。
- 社会の中で生きている自分の在り方が、どのようなものであるのか自身に対して少し距離を置いて考えるきっかけになりました。自己は他を判断する存在でもあり、他から判断される存在でもあるという自明なことを新たに思い知らされた気持ちが致しました。私自身は自分の内面に関心が行く傾向がありますが、社会(人 etc)との接点がいかに重要であるかという事を今回の授業で学ばせて頂きました。
- 一般的な人間のもともと持っている心理、行動特性について、学ぶことができておもしろかった。自分の持っている特性が、自分だけのものではなかったこと、進化の中で得てきたことだったりすることが、知り得たことも良かった。間にコーヒープレイクがあり、興味深い話題を提供してくれるのも良かった。
- 情緒的コミットメントやジョブインボルブメントという言葉は初めて聞きました。自分の職場や職業人としての自分に重ね合わせて考えると納得できることが多々ありました。また、サードエイジ論にも強い関心を持ってました。何歳になっても、学ぶことは大事だと改めて思いました。これからも学び続けようという意欲がもてました。

気になった点

- 社会教育を論ずるにあたって、この講座や教材は、法制度や法律の条文、あるいは審議会答申などの文献を中心に進めているか、そのような研究方法に馴染めてなかったなか、最初非常に取っ付きが悪かった。私の個人的要望なのかもしれないが、文献だけでなく、現場の状況（たとえば、社会教育を実施している主に行政職員や自治体等の状況、あるいはそれに参加する市民の状況）など、身近な実態に触れていただけたなら、もっと理解が進み、馴染めたのではないかと思う。（もしかすると、参考文献として挙げられたものの中にあっただのかもしれないが。）
- あまり実学、現場では役に立たないと思った。後半、学芸員、博物館について触れられる機会が多かったが、偏っていると思った。本学では私自身のように図書館司書の人も多く受講しているはずである。図書館司書、図書館についての先生の考え、現場の方のインタビューが聞きたかった。（レポートで触れたが失礼ながらあまりご存じではない感じでした。）少し先生が早口であった。
- 十分な内容でしたが、息切れする程の内容や重複する所もあり、もう少しコンパクトにならないかと自分なりにノート整理をしましたが、大変な作業でした。日本と同じような内容なのに名称の違いで意味の取り難い所もあり、もう少し説明が欲しかった点もありました（PTA との比較など）。
- 印刷教材について、グラマースクールを「文法学校」と訳すなど、正確性に疑問を覚える内容も入っており、内容についてはもっと精査すべきと感じた。
- 試験では論者の氏名を問うような問題が多かったが本質的でないと感じた。
- 全体としてバランスがよくないと思う点があった。先生が変わると、他の先生の言っていることをもう一度言っていたり、授業により、密度が違いすぎて、全体の方向性が分かりづらかった。
- 言葉の定義を説明してから詳しい内容を記述している点は他の学問と同様で科学的であると思いません。しかし、心理学全般にいえることですが、イメージや概念、モデル等の図があると、もっと理解しやすいと思いました。（印刷教材のみで受講）
- キャリアの展開や転機の理論と今日的対応の現実論・実態論について、もう少し深い掘り下げがあった。
- 文字の「羅列」ではなく、やはり写真や図などを多用してほしい。

人間発達科学総覧

「実生活に生かす」ことよりも、「勉強になった」「知識の整理・深耕」「視野の広がり」など、純粋に知的な興味が若干勝った科目のようである。「内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい」という記述も目立ったので、受講生は一層深い講義を求めている。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	5	26	31
知識の整理・深耕に役立った	8	22	30
内容がよかった、分かりやすかった	12	3	15
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	10	4	14
さらなる学習意欲がわいた	3	9	12
基礎的な知識を得られた	2	9	11
具体的な事例・実験があった	9	1	10
視野が広がった、視点・考え方が変わった	4	5	9
身近に感じる事が出来る内容だった	2	7	9
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	1	7	8
興味を持てた、関心を持てた	1	5	6
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		6	6
現状のままでいい、満足している	1	4	5
専門的な内容だった、レベルが高かった		4	4
受講しやすい環境だった、システム面がよかった	2	2	4
受験・資格取得に役立った	1	2	3
最新の情報・研究が学べた	1	1	2
他の科目と関連性が良かった		2	2
学校側の対応が良かった	1	1	2
学習センターや図書館が良かった	1	1	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
自分の意見・考えが持てるようになった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	1	3	4
具体的な事例や実験が紹介されていた	3		3
体系的に良くまとまり、整理されていた		2	2
文字が大きく、読みやすかった		1	1
放送授業と内容が連動している	1		1
放送授業と異なる情報が得られた	1		1
図版や表が役に立った		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
やりがいがある試験だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
実例や身近な例を取り上げている	8	1	9
分かり易く講義していた	4	3	7
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4	1	5
受講して良かった		3	3
映像・テレビで良かった	3		3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1	1	2
インターネットで受講できた		2	2
映像や写真が多用され、分かり易かった	2		2
新しい発見や驚きがあった		1	1
ラジオで良かった		1	1
専門的に掘り下げている		1	1
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	1		1
対話形式の授業が良かった	1		1
放送のテンポや時間構成が良かった	1		1
最新の情報や研究が学べた		1	1
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 教材や試験に誤字が散見されるので、校正をしっかりとしてほしい。
- 難しい言葉・用語は説明する。
- 扱う範囲が広いので科目を分けてより詳細な授業を望む。
- TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。

【大学院】「臨床心理学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	5	5	10
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		10	10
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい	3	7	10
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった	2	8	10
難しい、高度すぎる、理解できない	2	6	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	6	8
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる	4	2	6
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3	3	6
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4	1	5
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	3	2	5
現実に活かせる内容にしてほしい	1	3	4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	2	3
質問や相談がしたい	1	2	3
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
放送大学の体制改善やイメージアップが必要	1	1	2
学校の対応が悪かった		2	2
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい	1		1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1		1
資格取得ができるようにしてほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい		1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		1	1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1		1
判断・評価できるレベルに達していない	1		1
現在の講義・受講体制を残してほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	3	24	27
構成・内容がよくない	7	6	13
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2	10	12
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	4	8	12
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	3	6	9
印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	4	8
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	6	1	7
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1	4	5
図・表・写真を利用してほしい	1	4	5
まとめや学習ポイント、総括がほしい	3	1	4
印刷教材と内容が異なる		2	2
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1	1	2
講師の独りよがりになっている	2		2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
講義のテンポが良くない(早い、遅い)		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2	10	12
誤植がある		8	8
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	1	5	6
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい		5	5
構成・内容がよくない、面白くない		2	2
内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		2	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい		2	2
放送授業の参考資料やページデータなども載せてほしい	1		1
放送授業と内容が変わらない		1	1
設問の解も載せてほしい		1	1
DVD・CDの添付を考えてほしい		1	1
その他		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある		4	4
問題の解答・解答例・解説がほしい	2	1	3

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
教材・電卓持込み可にしてほしい		7	7
試験内容の設問・難易度に違和感があった	2	4	6
試験の会場・日程について一考を	2	2	4
問題数が少なかった		3	3
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	2	1	3
問題の解答・解説・用紙がほしい		2	2
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
評価方法に疑問を感じる	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1

【大学院】「臨床心理学」科目

よかった点

- 知りたいと思うことが系統的に丁寧に説明してあった。私の能力ではちょっと高すぎる内容であったがおもしろかった。勉強時間が足りなかったのでテストは受けなかったが、2学期には納得のいく勉強をして必ずテストを受けます。
- 臨床心理学プログラムの教科は、人間の発達から成長、躓き、最終までを学ぶことができ、最高の教科だと思います。臨床心理士を取得する目的で学んでいます。自殺を実行する直前に命の大切に気づいてくれたクライアントが居ます。臨床心理学を学んで本当によかったと思います。
- 心理学や教育学に統計的な実証性が求められる根拠がわかりました。統計をくしして、わかること、限界等、理解が深まりました。テキスト以外でも易しく解説した統計本をひもとき、理数を嫌手とする私も、少しずつ理解に至り、答えを求められた時、頑張れば出来るじゃないかというかすかな自身も持てました。
- 心理と教育に関する統計手法を広く学ぶことができ有益でした。市販の書籍等ではなかなかここまで広く網羅しておらず、また心理、教育にフォーカスしているものが少ないように思われます。
- 目次、まえがきからスタートして各章の学習は大変研修になりました。第1章の①～④は学習を始めるにふさわしい入口である内容でよくまとまっています。表 1-2 (P27) 教師と SC の仕事中心点の違いなどは、大変理解しやすかった。私は現在中学校の学校カウンセラーとして勤務していますので、この科目は、受講して、なるほど、この様なことに「留意しなければならないことが」よくわかりました。研究課題等も、実践する時に事前に学習しておく職場で役立つことになった。
- 平成 26 年 2 学期に「臨床心理面接特論」を受講し、知識を得たことで、「学校臨床心理学・地域援助特論」の内容はすごく分かりやすく大変勉強になりました。また、すぐに実践できる内容も盛り込まれていて体験的に学ぶこともできました。具体的には“ストレスマネジメント教育”です。紙芝居を作成して実践したところ、園児にも効果が見られました。

気になった点

- 心理臨床の世界で日本は、ガラパゴス化が進んでいるのではないかと。日本と他の国や地域との違い(心理臨床の方向性)、アセスメントの考え方等。将来のイメージを示唆するものがほしい。
- “投影査定”は実際に査定をしなければならないとなると難しいことを痛感しています。印刷教材だけで、実習がないので、少し物足りない。出来れば通信指導が実習を取入れたものであればと思いました。
- 印刷教材の各所にタイプミス、あるいは、明らかに計算違いと思われる誤植が少なくなかったことです。それは通信指導の解答にもありました。ただでさえ、難解な数学的計算例や問題解説において、数学を苦手とする学生は正否の判断がつかず、大変混乱したと思います。教材作成に関しては、多忙な講師の先生方が無理に時間を割いて作成されたと思いますが、もう少し推敲を重ねてほしかったです。
- 出演している講師のカウンセリングの技法を肯定している点が良く見受けられた。他の技法についても触れてみると良かったのではないかと感じられた。
- 学校臨床心理、地域援助共に合わせて1つの科目にすると、臨床心理の学問の中での各々のボリュームを考えると無理がある。それぞれ別立ての科目としてじっくり学びたい。

臨床心理学総覧

この科目も、「勉強になった」「知識の整理・深耕」「視野の広がり」など、知的な興味が前面に出た科目のようである。かなり学習の程度が高いのか、「難しい、理解できない」より「内容が浅い」「具体例を増やしてほしい」など、積極的な要望が目立つ。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視野が広がった、視点・考え方が変わった			8 8
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた			5 5
勉強になった、役に立った			3 3
知識の整理・深耕に役立った			3 3
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった			3 3
具体的な事例・実験があった			3 3
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ			2 2
楽しく受講できた、面白かった			2 2
内容がよかった、分かりやすかった			1 1
興味を持てた、関心を持てた			1 1
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった			1 1
身近に感じる内容が出来る内容だった			1 1
さらなる学習意欲がわいた			1 1
受講しやすい環境だった、システム面がよかった			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった			1 1
ポイントが明確に押さえられていた			1 1
体系的に良くまとまり、整理されていた			1 1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の日程・会場が良かった			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かり易く講義していた			1 1
講師の熱意や人柄の良さを感じた			1 1
現場取材やインタビュー、実験があってよかった			1 1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。
- 内容に偏りが感じられたので、より広範な視野での授業を望む。

【大学院】「社会経営科学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		4	4
質問や相談がしたい		3	3
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		3	3
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった		3	3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		2	2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		2	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
資格取得ができるようにしてほしい		1	1
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		1	1
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい		1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	8		8
テレビ科目にしてほしい	5		5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	5		5
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	4		4
構成・内容がよくない	2		2
放送授業が聞き取りづらい	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1		1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1		1
図・表・写真を利用してほしい	1		1
講師の独りよがりになっている	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、文章が回りくどい		2	2
構成・内容がよくない、面白くない		1	1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		1	1
放送授業と内容が変わらない		1	1
教材の装丁・デザインを改善してほしい		1	1
誤植がある		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題範囲が広すぎる、難しい		2	2
指導内容、コメント、対応に不満がある		2	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解説・用紙がほしい		3	3
問題が多かった、範囲が広がった		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		1	1

【大学院】「社会経営科学」科目

よかった点

- 内発的発展について、学習することができた。また、レポートテーマを通して、フィールドワークを行ったが、楽しかった。自分なりに考える機会をもつことができた。
- 現代日本の地域の発展を考えるうえで、アジアの国々の取り組み事例も関係してくる。視野が広がったように思います。第1章から第15章まで一つの流れで内容が繋がっていると思います。

気になった点

- テキストを読み上げるだけの放送講義ならば、ラジオであっても放送する必要はないし、ただの傍読みでは頭に入ってこない。しかも日本語が古い言葉遣いで理解させようとする意志を感じない。しかも講義内容が海外事例ばかりで、それを日本にどう応用させるかという視点がなく興味がない内容に終始した。経済学や社会学の講師を呼び込むべきで、農学者がこのテーマの講座を主管するのは無理があると感じた。この内容であれば、講義内容に合った科目名にして欲しい。これで地域学をうたうのは無理があると思った。

社会経営科学総覧

サンプル（受講生）は少ないが、それだけに学習の進んだ受講生が選択した科目なのであろう。「難しい、理解できない」という反応は極めて少なく、「視野・知識の深耕・広がり」に喜びを感じている様子が見て取れる。優秀な学生が多いのか、「内容の浅さ」や「印刷教材の棒読み」、「講師の質」に対する改善の要求も見られる。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		31	31
さらなる学習意欲がわいた		22	22
知識の整理・深耕に役立った		18	18
視野が広がった、視点・考え方が変わった		16	16
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた		9	9
現状のままでいい、満足している		9	9
基礎的な知識を得られた		8	8
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		8	8
楽しく受講できた、面白かった		7	7
内容がよかった、分かりやすかった		6	6
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		5	5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		5	5
受験・資格取得に役立った		5	5
具体的な事例・実験があった		5	5
興味を持てた、関心を持てた		4	4
他の科目と関連性が良かった		3	3
学校側の対応が良かった		3	3
身近に感じることが出来る内容だった		2	2
学習センターや図書館が良かった		2	2
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1
専門的な内容だった、レベルが高かった		1	1
自分の意見・考えが持てるようになった		1	1
受講しやすい環境だった、システム面がよかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		7	7
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		3	3
体系的に良くまとまり、整理されていた		3	3
愛情・熱意が伝わる教材だった		2	2
読み物として面白い内容だった		2	2
ポイントが明確に押さえられていた		1	1
放送授業と内容が連動している		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式がよかった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材が持ち込めて良かった		3	3

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた		17	17
分かり易く講義していた		14	14
受講して良かった		6	6
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		3	3
実例や身近な例を取り上げていた		3	3
インターネットで受講できた		2	2
放送のテンポや時間構成がよかった		2	2
新しい発見や驚きがあった		1	1
映像・テレビでよかった		1	1
専門的に掘り下げていた		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
- 認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- 扱う範囲が広いので科目を分けてより詳細な授業を望む。
- テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
- 学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。

【大学院】「人文学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		25	25
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		15	15
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		8	8
学校の対応が悪かった		6	6
内容・講師に思想的偏りがある		5	5
受講・卒業の規定や証明を見直してほしい		5	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		4	4
時間がとれない、勉強についていけない、努力不足だった		4	4
分かりにくい、説明・解説が不十分		3	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		3	3
質問や相談がしたい		3	3
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		3	3
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい		3	3
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		3	3
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
内容を詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		2	2
現実に活かせる内容にしてほしい		2	2
一流講師・有名講師・活躍中の講師を招聘してほしい		2	2
最新の内容の講義にしてほしい		2	2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい		2	2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい		2	2
交流の場を用意してほしい		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
参考文献を紹介してほしい		1	1
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1
資格取得ができるようにしてほしい		1	1
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		1	1
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		1	1
科目登録申請について簡略化・改善してほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		9	9
内容の詰め込みすぎ、ボリュームが多すぎる		5	5
フリガナ、専門用語の説明などがほしい		4	4
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		3	3
構成・内容がよくない、面白くない		2	2
教材の装丁・デザインを改善してほしい		2	2
難しい、文章が回りくどい		1	1
内容が薄い、少なすぎる		1	1
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		1	1
放送授業と内容が異なる		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題範囲が広すぎる、難しい		3	3
課題の内容・量が的確ではない		2	2
問題の解答・解答例・解説がほしい		2	2
指導内容、コメント、対応に不満がある		2	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問・難易度に違和感があった		5	5
記述式および記述に関して改善してほしい		5	5
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		4	4
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		2	2
試験の会場・日程について一考を		2	2
問題が多かった、範囲が広がった		1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
教材・電卓持込み可にしてほしい		1	1
先の試験日を事前に知りたい		1	1
教材の持込みは不要		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		23	23
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		12	12
構成・内容がよくない		6	6
印刷教材と異なる講義が聴きたい		5	5
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		3	3
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		3	3
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		3	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		2	2
印刷教材と内容が異なる		1	1
印刷教材と連動していない		1	1
まとめや学習ポイント、総括がほしい		1	1
補助教材や参考文献の発行・紹介を		1	1
図・表・写真を利用してほしい		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1
放送授業が聞き取りづらい		1	1
講師の独りよがりになっている		1	1
手話通訳または字幕がほしい		1	1
放送講義に学生も参加させてほしい		1	1

【大学院】「人文学」科目

よかった点

- 古代史を学習中の自分にとって、初めて接する歴史資料の名前や種類の多い事に新鮮な感動を覚えました。学習の指針を示して頂いたと思います。今までは、ただ闇雲に雑学書などを見て居りましたので、この科目は自身の今後のバイブルになると感じて居ります。
- 古代より日本で残され、大切に保管されてきた史料を読み解き、各時代の生活や文化を垣間見ることはとても興味深く、当時の人々が歴史の変化に対し、どう考え、対処してきたのかを知ることは、とても面白かった。古文書の漢文で表記されているものを読み下す方法も教えてもらえたので良かった。
- 国文学に限らず、論文を書く時に役立つ理念と方法であると思った。全体的にうなずきながら学習した。もっと早くこの科目が欲しかった。一度修士論文を書いているので、内容はわかり易かったが、論文というものは、書いてみなければ理解できない部分もあるかもしれないと思った。先生の学問に向かう姿勢が良くわかり、自分もそうありたいと思った。
- まず心構えを説き、基礎知識を与え、ご自身の実例を示し、最後に実践上の技術を教えるという巧みな構成で、初心者でも無理なく研究に取り組めるよう配慮されています。何より有難かったのは、この科目のおかげで執筆の勇気を持ち続けられたことです。『国文学研究法』は、私が国文学研究を続ける限り、座右になくってはならない書となるでしょう。

気になった点

- 内容的に多岐に渡っているので、古代、中世、近世、近代の古文書、全てについて十分理解できず、自分の好きな中世の章以外の史料については、時間をとって勉強できず、あまり理解できなかった。単位認定試験の問2は近代の内容だったので、印刷教材から探したが、時間内にまとめられず、書けなかった。放送授業では、ほとんど、ふれていない内容が試験に出たので大いに困った。
- 歴史の時代区分に特化して史料論を講義した方が、大学院の専門教科として相応しい。2年前に通信制大学の史学科を卒業したが、大学でのシラバスと比べ専門性に欠けると感じた。大学での授業内容がより充実していた。
- 授業科目案内を読み、期待して受講したが、実際の内容は、それと大きく異なっていた。また、内容は講師の主観が強く客観性の点では疑問が感じられた。また、放送授業を最初に数回聴いたが、テキストをただ読んでいたものだったので、それ以降、印刷教材のみで学んだ。
- 内容的には高度で、物語として読んでもわかりやすく、面白いのですが、印刷物が少し量が多すぎるように思える。放送授業内容より、若干多い程度でいいのではないかと思える。ただ、引用文献、参考文献は上記程度の多くしてほしいと思う。

人文学総覧

実学ではない事もあって、生活や仕事に資するという受講生は多くない。純粹に「勉強になった」、「知識・視野が広がった」という記述が多かった。また、「講師の人柄」や「分かり易い講義」への評価が高いのも特徴である。「科目の新設」や「テレビ科目」といった要望も肯定的評価の裏返しかもしれない。ただし、「範囲が広すぎる」「内容を詰め込みすぎ」「内容が浅い」「構成が良くない」との意見も散見される。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた		5	5
勉強になった、役に立った		4	4
知識の整理・深耕に役立った		2	2
内容がよかった、分かりやすかった		2	2
視野が広がった、視点・考え方が変わった		2	2
最新の情報・研究が学べた		2	2
自分の意見・考えが持てるようになった		2	2
基礎的な知識を得られた		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
専門的な内容だった、レベルが高かった		1	1
他の科目と関連性が良かった		1	1
さらなる学習意欲がわいた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた		2	2
分かり易く講義していた		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		1	1
最新の情報や研究が学べた		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 授業内容に連続性を持たせて理解の促進を望む。
- 教材や試験に誤字が散見されるので、校正をしっかりとほしい。
- 授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにす。

【大学院】「情報学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
最新の内容の講義にしてほしい		2	2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		1	1
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1
資格取得ができるようにしてほしい		1	1
各種施設の利用について、充実・改善してほしい		1	1
アンケートは必要性や実施時期に疑問		1	1
交流の場を用意してほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		9	9
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分		2	2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
ラジオの放送を充実してほしい		1	1
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		1	1
放送講義に学生も参加させてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくない、面白くない		1	1
内容が薄い、少なすぎる		1	1
誤植がある		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
教材・電卓持込み可にしてほしい		1	1
結果通知が届くのが遅い		1	1
試験の会場・日程について一考を		1	1

【大学院】「情報学」科目

よかった点

- ほぼ各章で、各テーマを専門とする現役の研究者をゲストとして招いて、対談を行っていた点。プレゼンテーションや学術コミュニケーションを学ぶ上で、大いに参考になった。
- 私は会社で以前はコボル、現在はウィンドウズ系のプログラムで業務用のアプリケーションを開発していますので、安易にとり組みましたが、内容の高度さに驚きました。実務と学問の差を痛切に感じました。
- コンピューティングの流れを概観できた。コンピューティングの背景を知ることができた。コンピューティングの今後の方向性を把握できた。

気になった点

- ・あまりに総花的であり、それぞれの計算モデルの説明が浅すぎ。・チューリングマシンと入計算にしぼってしまった方が良かったと思った。・ホーア論理は、理解できなかった。説明を増やすか、逆になくしてしまってもよかったのではないか。・印刷教材にまちがいが多すぎる。
- 進歩の速い先端科学の知見を得るために学んでいる。5年毎の改訂では陳腐化する。可能であれば補講の方法を考えていただきたい。
- 印刷教材が厚くなってもよいから、なるべく論理的なすじ道を飛躍させないで記述してほしい。

情報学総覧

サンプルが少ないので、これといった傾向を見出すまでにはいかないが、かなり高度に学習している受講生が集っているように思える。「難しい、理解できない」は少なく「実践的な内容」「最新の内容」を求める意見が見られる。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた			4	4			
勉強になった、役に立った			3	3			
興味が持てた、関心が持てた			3	3			
さらなる学習意欲がわいた			2	2			
基礎的な知識を得られた			1	1			
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった			1	1			
自分の意見・考えが持てるようになった			1	1			
具体的な事例・実験があった			1	1			
					添削・コメントをしてもらえた		2
							2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた			1
			1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
- 教材や試験に誤字が散見されるので、校正をしっかりとほしい。
- 実験や体験などを多く取り入れる。

【大学院】「自然環境科学」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない			4 4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			3 3
分かりにくい、説明・解説が不十分			2 2
質問や相談がしたい			2 2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい			1 1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい			1 1
各種施設の利用について、充実・改善してほしい			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった			3 3
テレビ科目にしてほしい			3 3
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分			1 1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる			1 1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい			1 1
補助教材や参考文献の発行・紹介を			1 1
図・表・写真を利用してほしい			1 1
1科目の放送時間が短い			1 1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
誤植がある			4 4
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい			3 3
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分			2 2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき			1 1
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき			1 1
記述式および記述に関して改善してほしい			1 1

【大学院】「自然環境科学」科目

よかった点

- 差分和分という今まで学んだことがなかった概念を知ることができ、また過去に学んだ微分積分および複素数の復習にもかなり役立てることが出来た点。読んでみたい論文や書籍を多く知ることができた点。
- 学習してみて、離散数学が非常に面白く感じました。特に複素積分、解析接続、ニュートンの折れ線、リッカチフラクタル、これらは、問題を解くのも概念を理解するのも感動的でした。複素数の振る舞いの可視化のあたりは美しさにふるえました。夢中で学習しました。とても面白く、未知の世界でした。ありがとうございます。放送での石崎先生の声もとても素敵でした。

気になった点

- 印刷教材、放送授業において誤字・脱字・言い間違いなどがあったので、改訂版を出した方がいいと思う。特に計算式での間違いは、それに気づくのに時間がかかった。しかしよく考えたので勉強にもなった。
- 例えば、数理解析系、プログラミング系は、ソースコードを提示して実際に動かしてみるなどすると良いのではなかろうか。(Mathematica、MatLab、Maxima、Maple など) C++などは、やや難しくなってしまうので適切かどうかはわからない。

自然環境科学総覧

数理科学は極めて知的であり、抽象思考とパースペクティブ的計算能力が要求される学問である。

今回は離散数学を扱っているということで、かなり専門知識のある受講生であったと思われる。印刷教材の誤植の指摘が目立った。

平成27年度学生による授業評価集計結果概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送により質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基礎科目	共通科目： 人文系	共通科目： 社会系	共通科目： 外国語	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
H27(2015)	6	6	2	4	8	7	5	3	2
	自然と環境	総合科目	夏季集中科目	計					
	6	7	2	58					

【大学院】

	生活健康科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	人間発達科学	計
H27(2015)	5	3	1	2	1	1	5	18

① 対象者 平成27年度第1学期履修登録者
 ※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出
 ※登録者数が上記の人数未満の科目は全数
 ※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期 質問紙配布： 8月15日(平成27年度第1学期単位認定試験終了後)
 質問締切： 10月13日
 調査結果の集計： 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H27(2015)	16,236	13,698	2,538	7,049	5,901	1,148	43.4%	43.1%	45.2%

付録) 平成27年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
H25(2013)	9.2%	11.7%	14.2%	17.6%	2.9%	10.3%	71.8%	16.7%	7.3%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	71.8%	16.7%	7.3%
	1.8%	0.4%	1.0%	0.6%	1.5%	0.8%			
H26(2014)	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	13.3%	17.1%	9.7%	14.3%	5.8%	7.1%	70.5%	16.5%	7.7%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	70.5%	16.5%	7.7%
	1.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.6%	0.5%			
H27(2015)	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	13.8%	14.4%	13.3%	12.6%	2.6%	8.8%	69.2%	16.4%	8.9%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	69.2%	16.4%	8.9%
	1.7%	0.4%	0.5%	0.2%	0.6%	0.4%			

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H25(2013)	51.7%	46.4%	0.4%	8.5%	14.2%	19.9%	16.9%	26.3%	13.4%
H26(2014)	48.9%	49.5%	0.4%	7.8%	13.6%	21.1%	19.5%	25.2%	11.9%
H27(2015)	51.2%	47.3%	0.4%	7.3%	12.5%	18.5%	18.3%	27.6%	14.9%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

(2) 回答者の属性

【大学院】

	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
H25(2013)	2.3%	2.0%	2.2%	6.7%	-	4.9%	4.6%	3.0%	27.2%	59.7%	7.6%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	27.2%	59.7%	7.6%		
		文化情報	環境システム								
	1.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.2%	59.7%	7.6%		
	H26(2014)	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生
生活健康科学		人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
	4.4%	0.8%	1.3%	9.4%	-	5.0%	2.4%	4.8%	28.7%	59.8%	8.1%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	28.7%	59.8%	8.1%		
		文化情報	環境システム								
	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.7%	59.8%	8.1%		
	H27(2015)	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生
生活健康科学		人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
	6.1%	3.3%	1.7%	2.4%	-	4.2%	0.7%	1.4%	20.1%	66.5%	9.0%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理	20.1%	66.5%	9.0%		
		文化情報	環境システム								
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	20.1%	66.5%	9.0%		

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H25(2013)	61.2%	35.4%	3.4%	13.8%	22.0%	23.8%	24.4%	11.1%
H26(2014)	63.5%	33.1%	2.6%	8.4%	22.1%	25.2%	27.4%	13.7%
H27(2015)	52.4%	44.0%	3.7%	10.5%	21.3%	26.7%	27.0%	9.6%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

付録) 平成27年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H25(2013)	3.14	3.16	3.12	3.24	3.25	3.22	3.21	3.23	3.18	3.22	3.28	3.14	3.21	3.22	3.19	3.27	3.23	3.32	3.29	3.28	3.29
H26(2014)	3.10	3.18	3.06	3.23	3.27	3.18	3.22	3.25	3.19	3.23	3.34	3.08	3.17	3.20	3.14	3.24	3.24	3.24	3.28	3.31	3.25
H27(2015)	3.14	3.17	3.10	3.24	3.25	3.21	3.22	3.21	3.23	3.22	3.29	3.09	3.19	3.21	3.16	3.26	3.26	3.25	3.23	3.24	3.20

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区別						
	全対象科目	TV	R	基礎科目	共通科目：人文系	共通科目：社会系	共通科目：自然系	共通科目：外国語	生活と福祉	心理と教育
H25(2013)	3.27(3.71～2.72)	3.26	3.27	3.35	-	3.28	3.34	3.05	3.16	3.31
H26(2014)	3.26(3.75～2.72)	3.29	3.23	3.23	3.14	-	3.16	3.19	3.13	3.42
H27(2015)	3.27(3.75～2.65)	3.26	3.29	3.27	3.30	3.32	-	3.29	3.30	3.34

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区別					
社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	総合科目	夏季集中科目
3.24	3.35	3.22	3.15	3.21	3.29
3.23	3.28	3.18	3.27	3.43	3.16
3.38	3.15	3.08	3.17	3.21	3.19

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H25(2013)	3.25	3.28	3.59	3.21	3.26	3.23	3.27	3.28	3.31
H26(2014)	3.24	3.28	3.17	3.16	3.24	3.29	3.28	3.28	3.24
H27(2015)	3.26	3.28	2.69	3.21	3.28	3.25	3.30	3.29	3.29

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H25(2013)	3.25	3.40	3.19	3.29	3.40	3.24	3.31	3.44	3.26	3.25	3.48	3.16	3.23	3.28	3.21	3.27	3.33	3.25	3.36	3.46	3.31
H26(2014)	3.21	3.29	3.10	3.32	3.38	3.24	3.33	3.39	3.26	3.35	3.43	3.23	3.25	3.31	3.17	3.29	3.32	3.24	3.36	3.43	3.28
H27(2015)	3.21	3.17	3.22	3.31	3.29	3.32	3.33	3.28	3.35	3.25	3.28	3.24	3.28	3.24	3.28	3.32	3.30	3.33	3.30	3.27	3.30

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区別							
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報科学	人文学	情報学	自然環境科学
H25(2013)	3.32(3.61～2.93)	3.45	3.27	3.21	3.45	3.44	3.21	-	3.44	3.24	2.93
H26(2014)	3.34(3.53～2.67)	3.41	3.25	3.28	-	3.38	3.40	-	3.46	3.06	3.40
H27(2015)	3.34(3.69～2.80)	3.35	3.34	3.42	3.39	3.16	2.91	-	3.57	3.18	2.81

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H25(2013)	3.24	3.47	3.14	3.45	3.41	3.30	3.25	3.26
H26(2014)	3.34	3.36	3.40	3.40	3.35	3.27	3.37	3.32
H27(2015)	3.30	3.41	3.24	3.26	3.40	3.33	3.32	3.44

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

2015年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

参考資料：相関係数について

アンケートの分析などで、近年常識になってきているのが統計学の手法である。

「相関」は統計学での基礎的な理論で、ある項目と別の項目の間の因果関係を分析するアプローチである。

例えば、

項目Aの値が高ければ高いほど項目Bの値も高く、

項目Aの値が低ければ低いほど項目Bの値も低い

などの現象がみられたら項目Aと項目Bは相関関係がある可能性がある。

相関係数は、ある項目と別の項目の相関の程度を数値化したものである。

数値化するにあたっていろいろな理論があるが、最も一般的なのが「ピアソンの相関係数」である。(以下、「相関係数」と略記)

これを求める理論の詳細は省略するが、

重要な点は次の2点である。

1) 相関係数は $-1 \sim 1$ までの値を取り得る

2) 相関係数の絶対値が 1 に近ければ近いほど、比べている項目の相関は高いと言える。

1) に関して、相関係数が負の値になるということは、

項目Aの値が高ければ高いほど項目Bの値は低く、

項目Aの値が低ければ低いほど項目Bの値は高い

というような逆転現象がおきている場合である。

2) に関しては、次のよう目安がある。(R は相関係数の値)

$1.0 \geq |R| \geq 0.7$: かなり高い相関がある

$0.7 \geq |R| \geq 0.5$: 高い相関がある

$0.5 \geq |R| \geq 0.4$: 中程度の相関がある

$0.4 \geq |R| \geq 0.3$: ある程度の相関がある

$0.3 \geq |R| \geq 0.2$: 弱い相関がある

$0.2 \geq |R| \geq 0.0$: ほとんど相関がない

参照:

<http://www1.tcue.ac.jp/home1/abek/htdocs/stat/corre.html>

授業評価の組織的な活用

